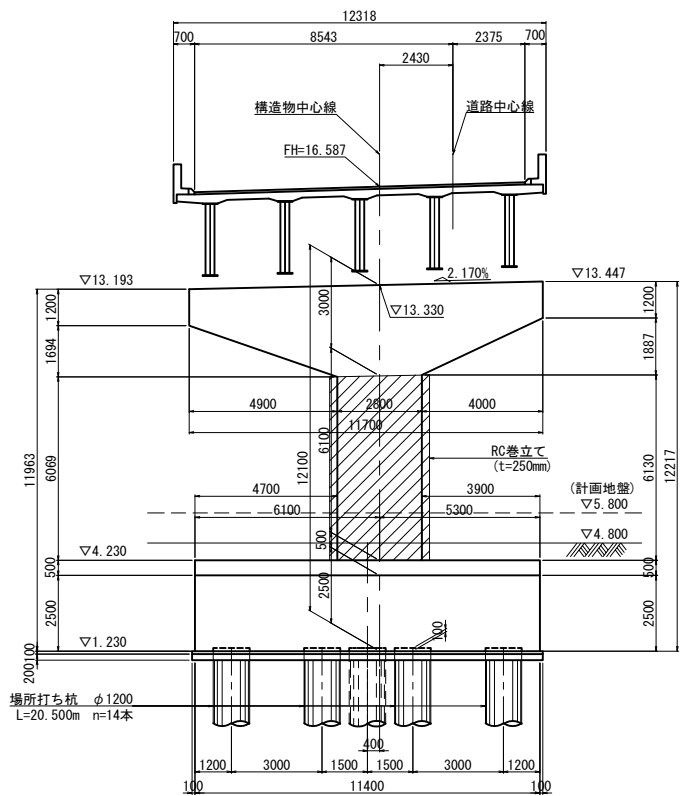
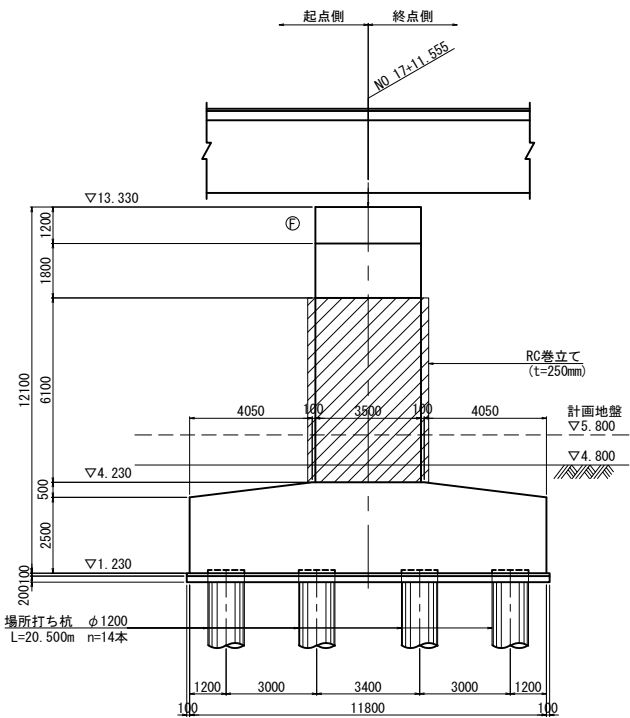


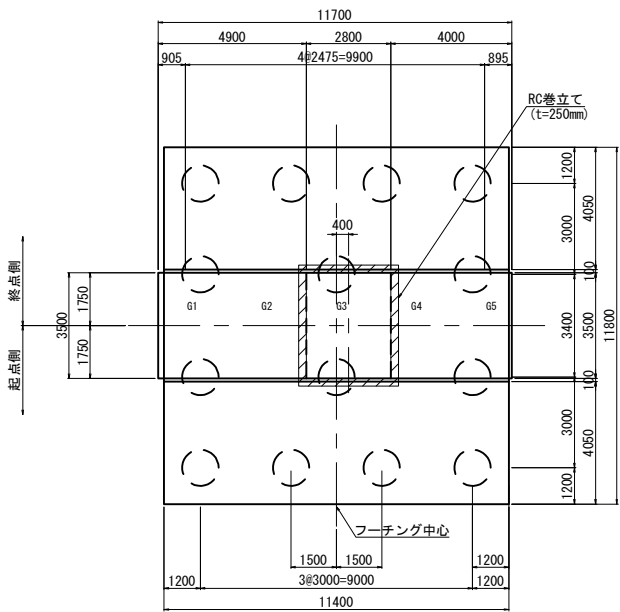
正面図 S=1:250



側面図 S=1:250

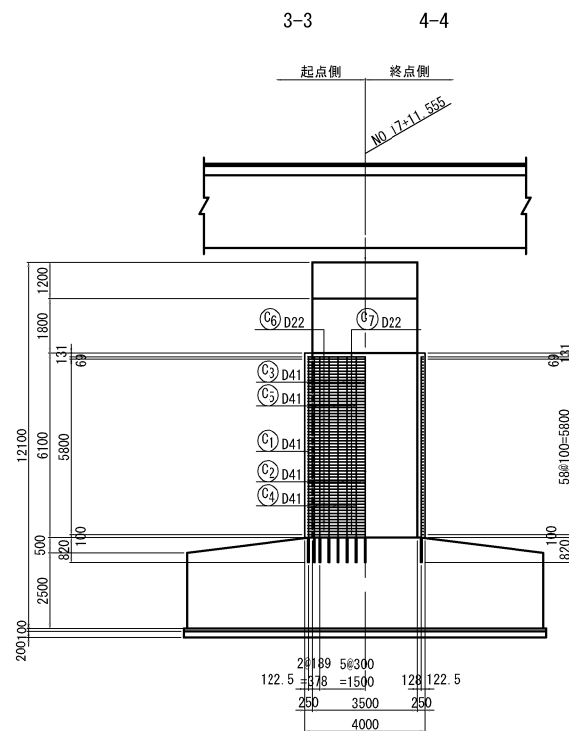


平面図 S=1:250

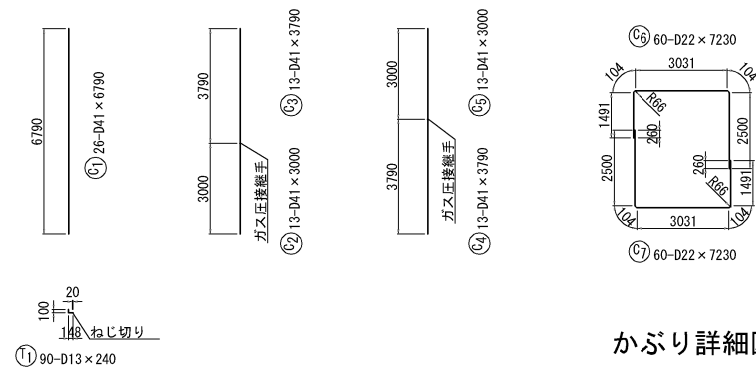


東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準耐震補強構造一般図（RC橋脚 単柱式） RC巻立て 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

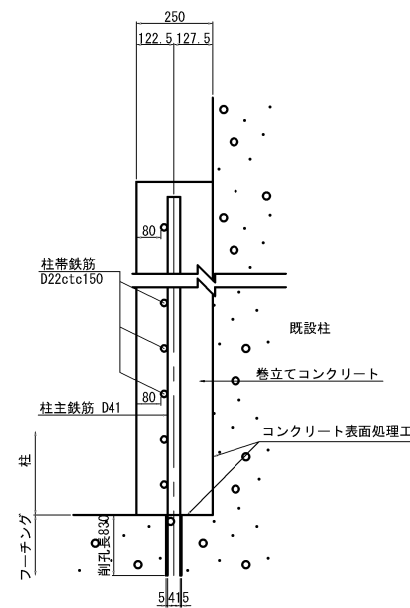
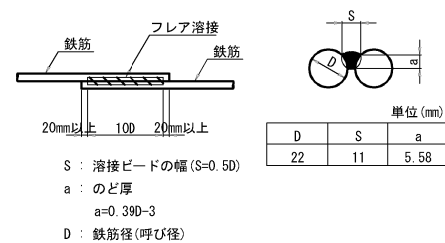
側面図 S=1:250



かぶり詳細図 S=1:25



フレア溶接詳細図 S=1/25



鉄筋曲げ加工表

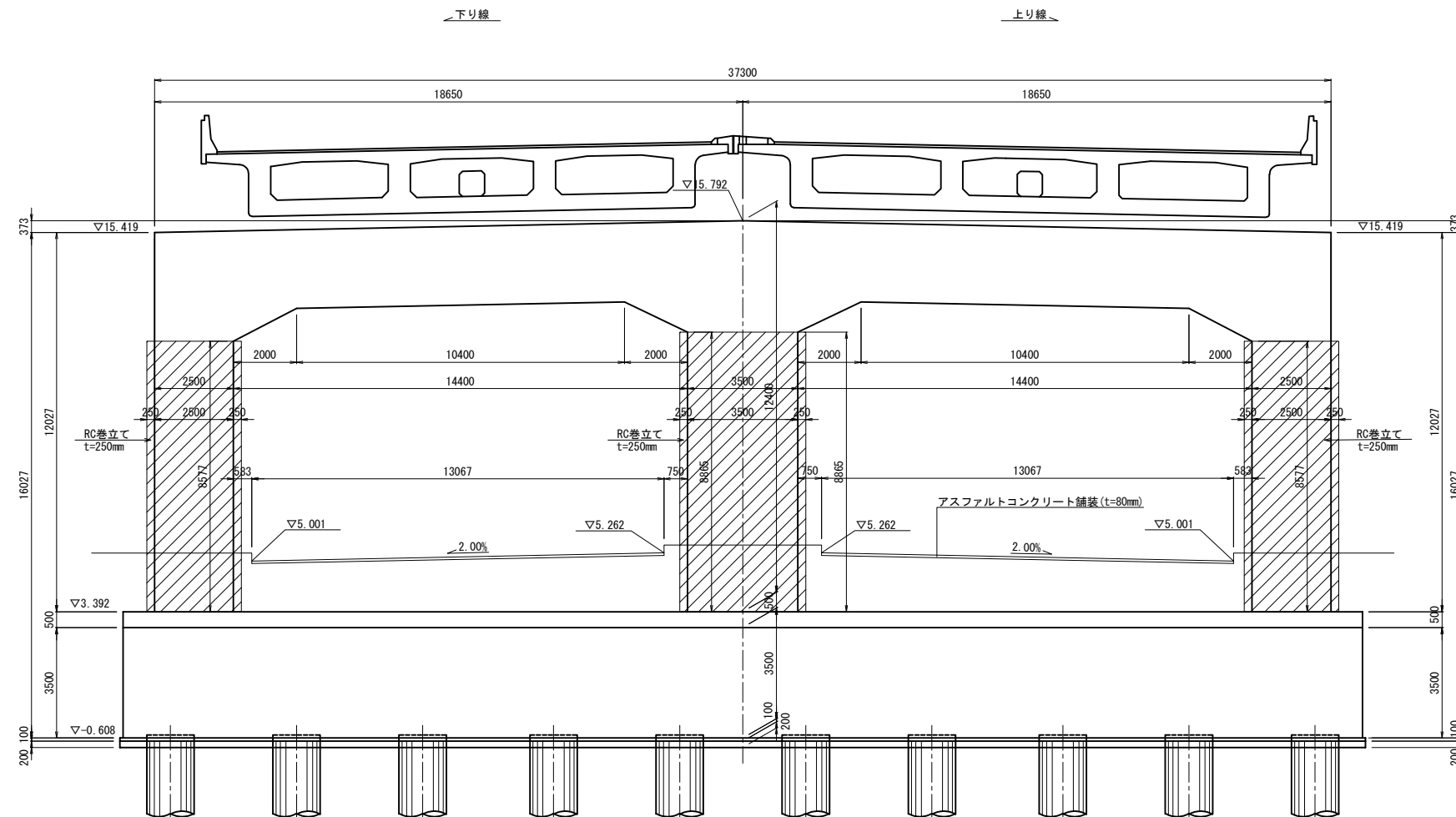
主鉄筋										
径	R=3φ	θ=90°			R=5.5φ	θ=135°			スターラップ	
		a	ΔL			a	ΔL		θ=90°	
		a	ΔL			a	ΔL		a	ΔL
D13	39	61	17	71.5	56	3	32.5	51	14	
D16	48	75	21	88	69	4	40	63	17	
D19	57	89	25	104.5	82	5	47.5	75	20	
D22	66	104	28	121	95	5	55	86	24	
D25	75	118	32	137.5	108	6	62.5	98	27	

RC巻立て補強工数量表（橋脚1基当り）

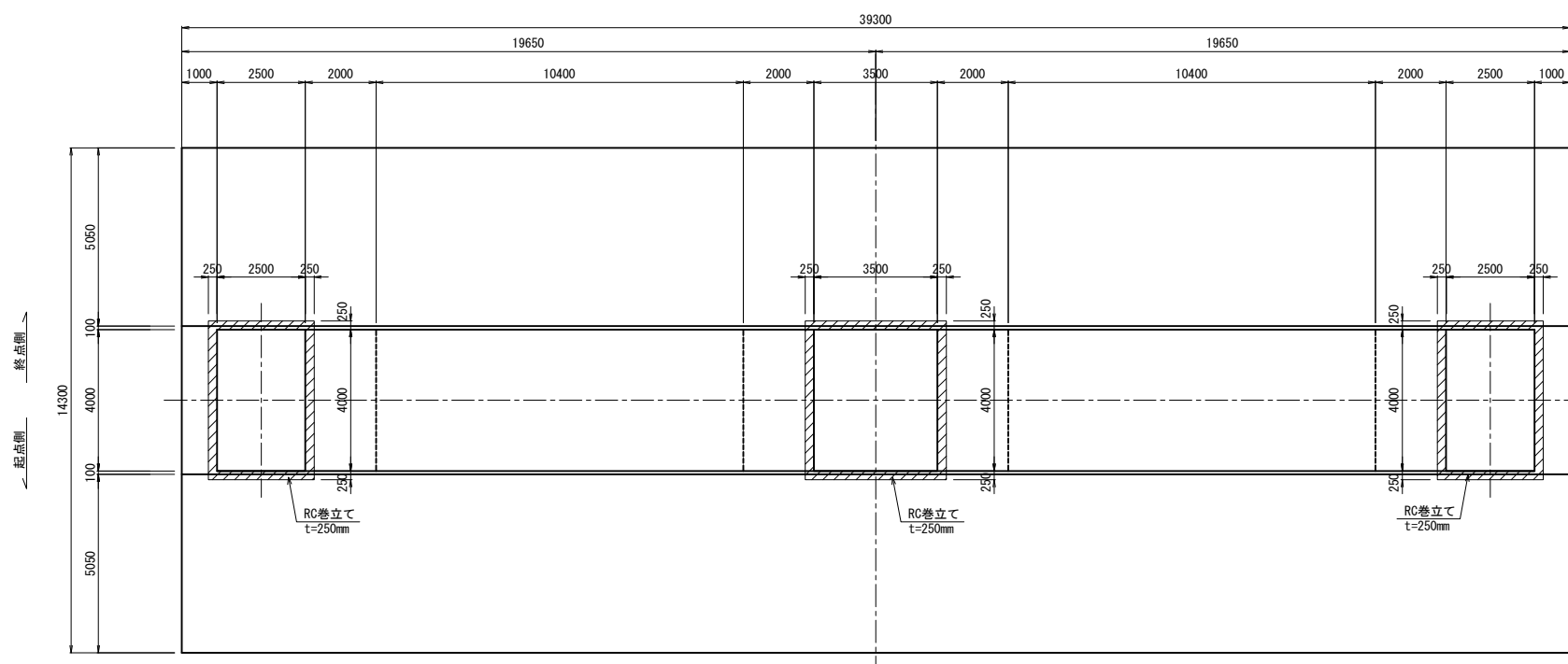
項 目			単位	数 量	備 考
構造物掘削			m3	32.6	普通部（夜）
コンクリート			m3	20.7	A 1－5（夜）
型わく			m2	89.1	T H（夜）
鉄筋 T（夜）	SD345	D22	t	2.638	
		D41	t	3.708	
		合計	t	6.346	
	フレア溶接	D22	箇所	120	
		ガス圧接継手	D41	箇所	26
	組立アンカー	鉄筋（D13）	本	70	
		取壊し発生材運搬費	m3	0.089	
		コンクリート処分費	t	0.218	
		アンカー削孔工	m	43.2	
	アンカー注入工	m	43.2		
耐震補強用コンクリート表面処理工			m2	76.9	
鉄筋位置調査工			m2	79.9	
排水管撤去・新設工			m	4.7	排水管A（硬質塩化ビニル管）

東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事	
図面の種類	標準耐震補強構造詳細図（ＲＣ橋脚 単柱式） ＲＣ巻立て 参考図
縮 尺	図 示 図面番号 参考図 /
設計会社名	株式会社建設技術研究所
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所

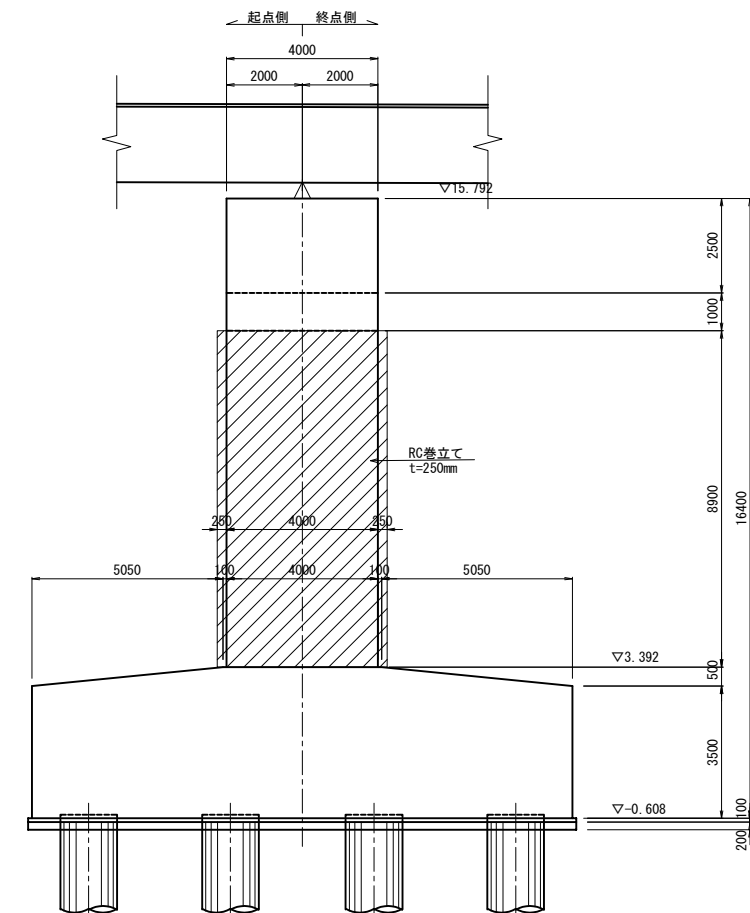
正面図



平面图

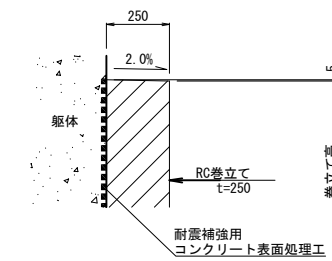


側面図

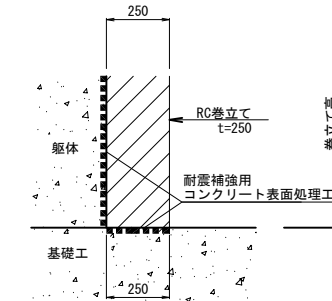


巻立て部詳細図 S=1:30

巻立て部(上部)



卷立て部(下部)

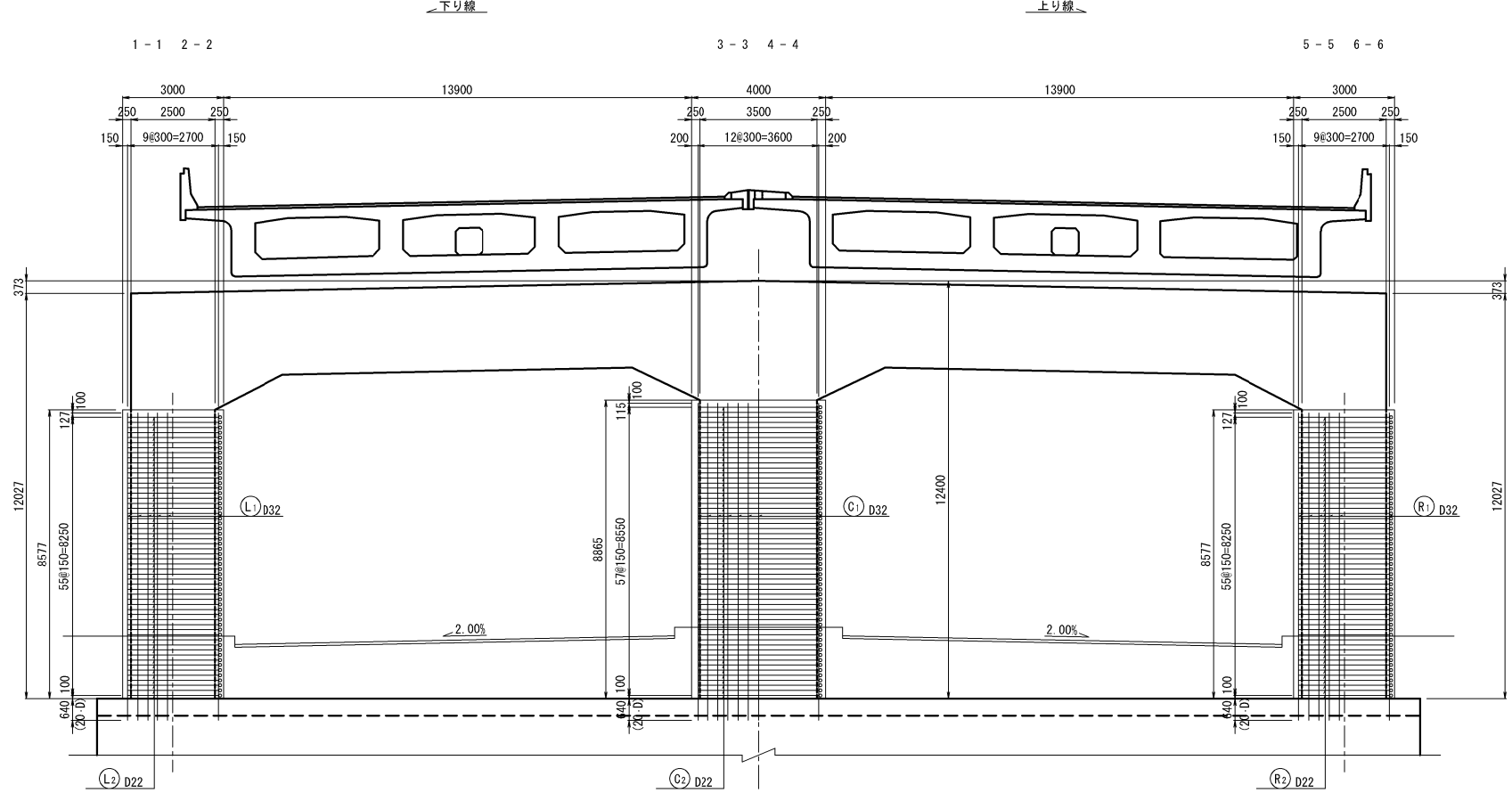


使用材料

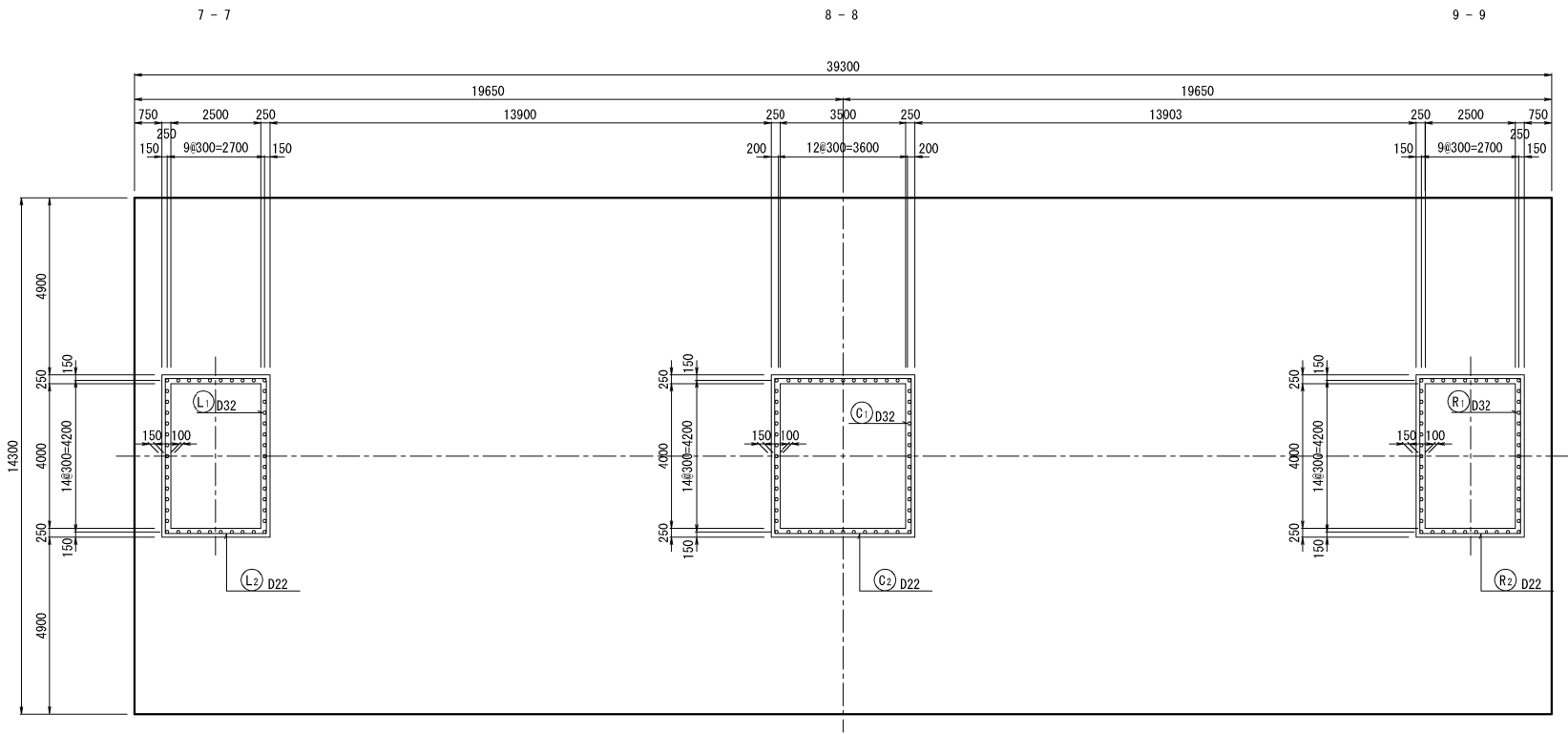
工 種		仕 様
既設部	コンクリート	30 N/mm ²
	鉄 筋	SD345
補強部	コンクリート	30 N/mm ²
	鉄 筋	SD345

東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準耐震構造強固一般図 (RC橋脚 ラーメン式) RC巻立て 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

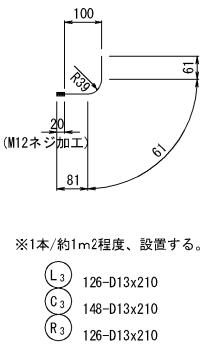
正面図



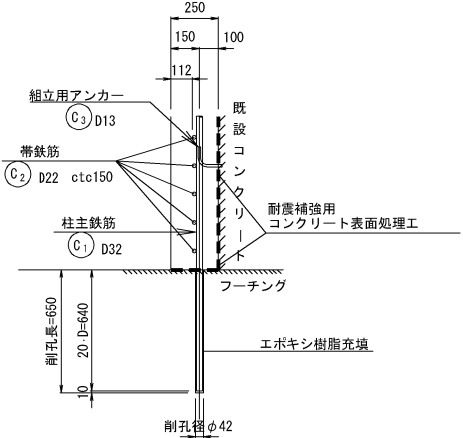
平面図



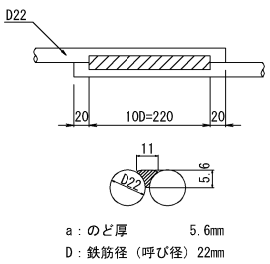
組立筋加工図(参考図) S=1:20



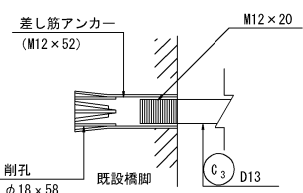
かぶり詳細図 S=1:40



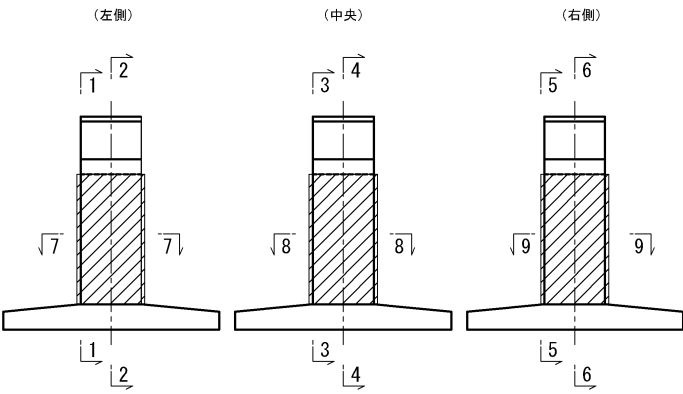
フレアー溶接詳細図 S=1:10



組立て筋アンカー詳細図(参考図) S=1:4



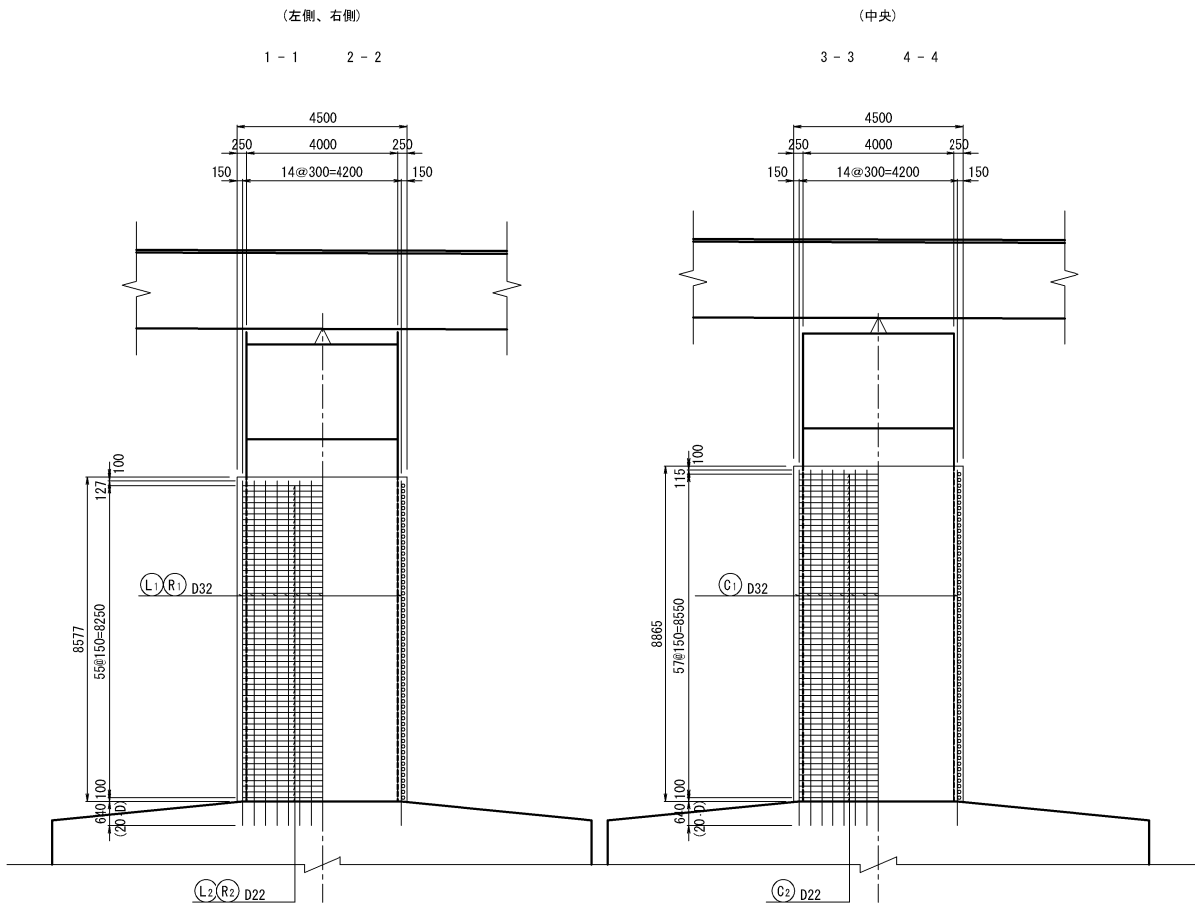
位置図



注) かぶり詳細図および組立て筋アンカー詳細図は、柱によらず同じであるため中柱を代表して示している。

東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準耐震補強構造詳細図(RC橋脚 ラーメン式) RC巻立て(その1)参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

側面図



鉄筋表

種 別	径	長 さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量	摘 要
左側							
L 1	D32	9120	46	6.23	56.8	2613	
2	D22	7220	112	3.04	25.5	2453	
						5066	kg
T							
		D32	2613	kg			
		D22	2453	kg			
		合 計	5066	kg			
フレア溶接箇所 D22 112 箇所							
中央							
C 1	D32	9410	52	6.23	58.6	3047	
2	D22	8120	116	3.04	28.2	2865	
						5912	kg
T							
		D32	3047	kg			
		D22	2865	kg			
		合 計	5912	kg			
フレア溶接箇所 D22 116 箇所							
右側							
R 1	D32	9120	46	6.23	56.8	2613	
2	D22	7220	112	3.04	25.5	2453	
						5066	kg
T							
		D32	2613	kg			
		D22	2453	kg			
		合 計	5066	kg			
フレア溶接箇所 D22 112 箇所							
合計							
T							
		D32	8273	kg			
		D22	7771	kg			
		合 計	16044	kg			
フレア溶接箇所 D22 340 箇所							
注) 無印鉄筋は、T鉄筋(無溶接鉄筋)を示す。							
注) O印鉄筋は、T鉄筋(ガス圧接継手鉄筋)を示す。							
注) △印鉄筋は、T鉄筋(フレア溶接鉄筋)を示す。							

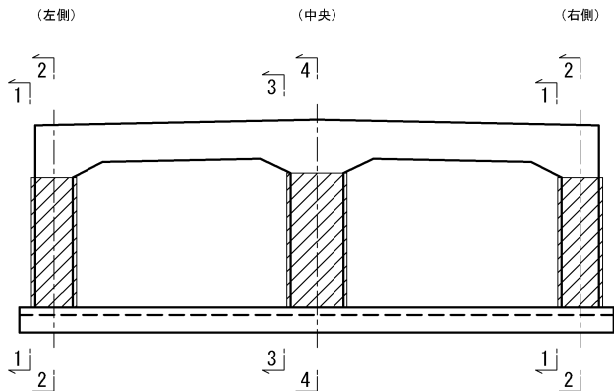
参考
1. 軸方向鉄筋の固定のための組立アンカーは1.0本/m²程度配置する。
組立アンカー (D13) 400本

鉄筋曲げ加工表

φ	主筋-スターラップ											
	θ ≤ 90° R=3φ	θ > 90° R=5.5φ	θ = 45° a	θ = 60° a	θ = 90° a	θ = 135° a	θ = 45° ΔL	θ = 60° ΔL	θ = 90° ΔL	θ = 135° ΔL	θ = 45° a	θ = 60° ΔL
D 13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3	17	56
D 16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4	21	69
D 19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5	25	82
D 22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5	28	95
D 25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6	32	108
D 29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7	37	125
D 32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8	41	138
D 35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8	45	151
D 38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9	49	164
D 41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	10	53	177
D 51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12	66	220

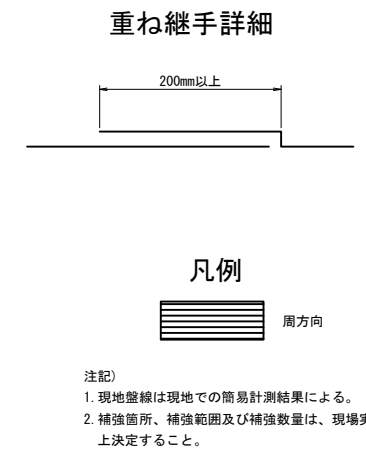
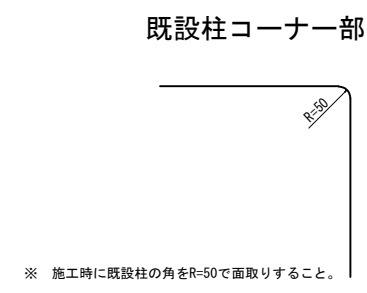
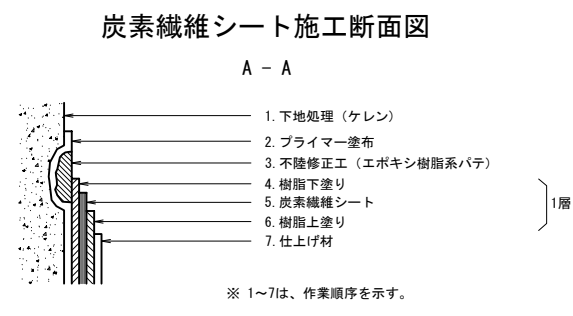
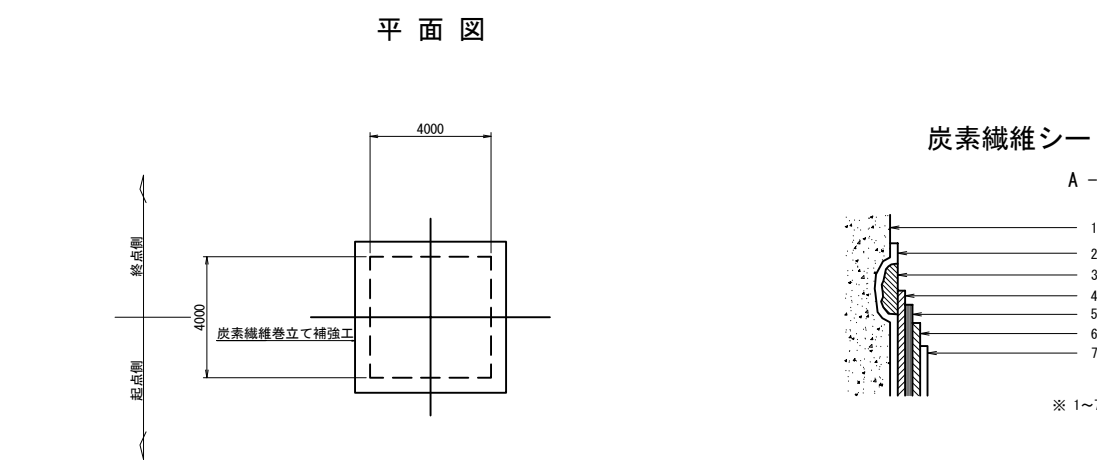
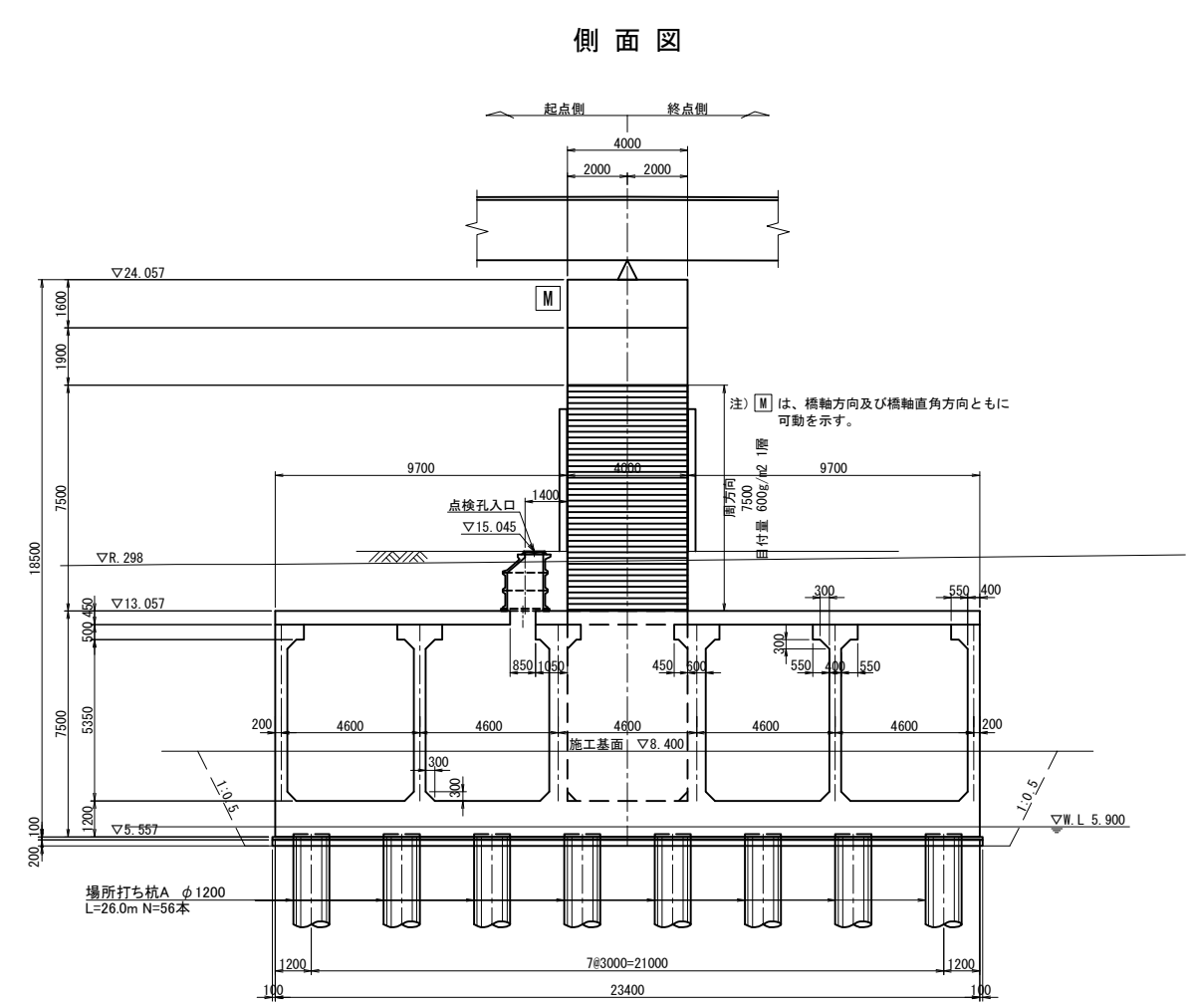
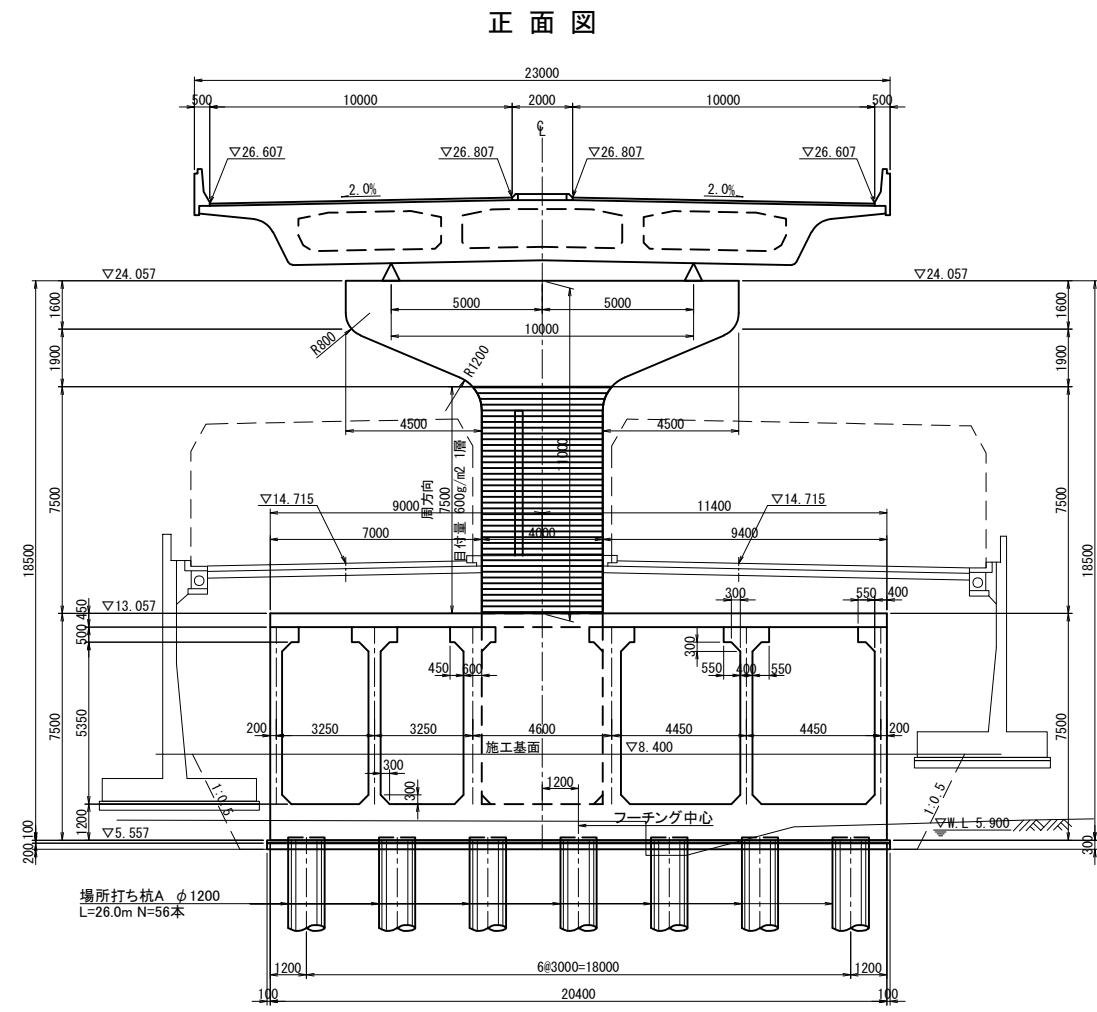
注) 1. ΔL=2L-a
2. θ (曲げ角度)

位置図



注) 1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. アンカー定着鉄筋の剛孔にあたっては、既設構造物の鉄筋を切断しないように現在の配筋状態を事前に鉄筋探索等による調査を実施し、確認すること。
3. 補強部分 (既設面) は、WJによる表面処理を行うこと。

東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準耐震補強構造詳細図 (RC橋脚 ラーメン式) RC巻立て (その2) 参考図		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社建設技術研究所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		



炭素繊維シート 性能表

繊維目付量 (g/m ²)	引張強度 (N/mm ²)	引張弾性率 (kN/mm ²)	設計厚さ (mm)
600	3,400以上	2.45 × 10 ⁵	0.333

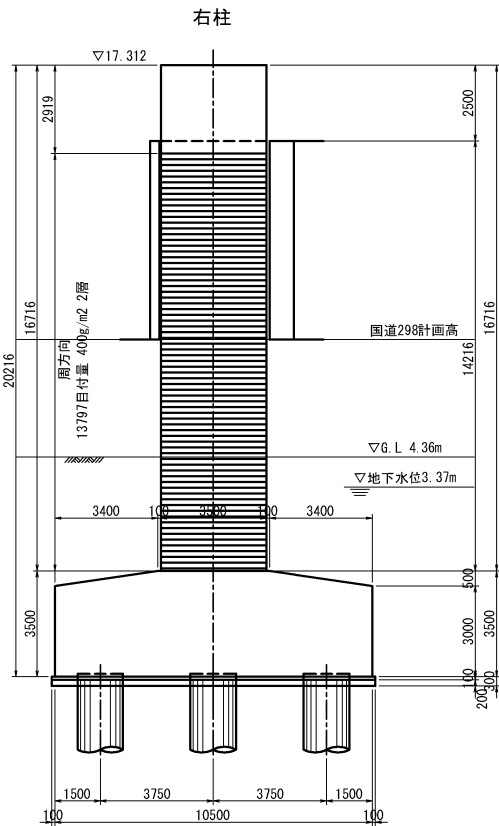
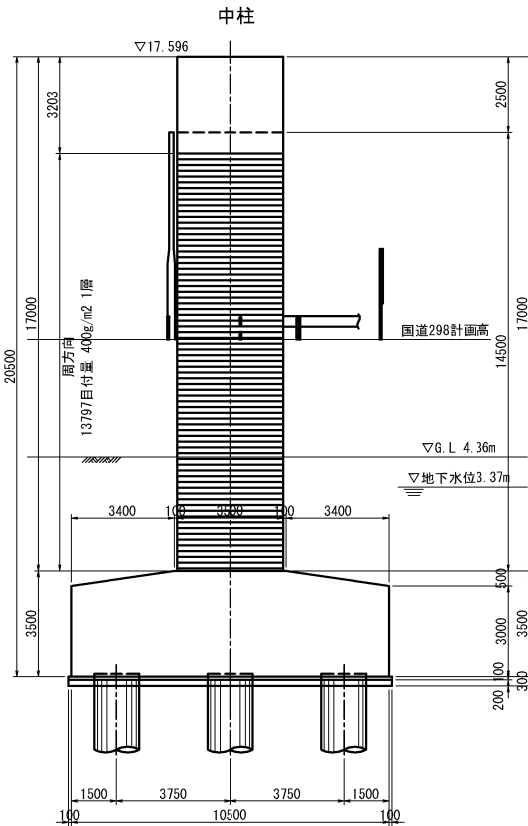
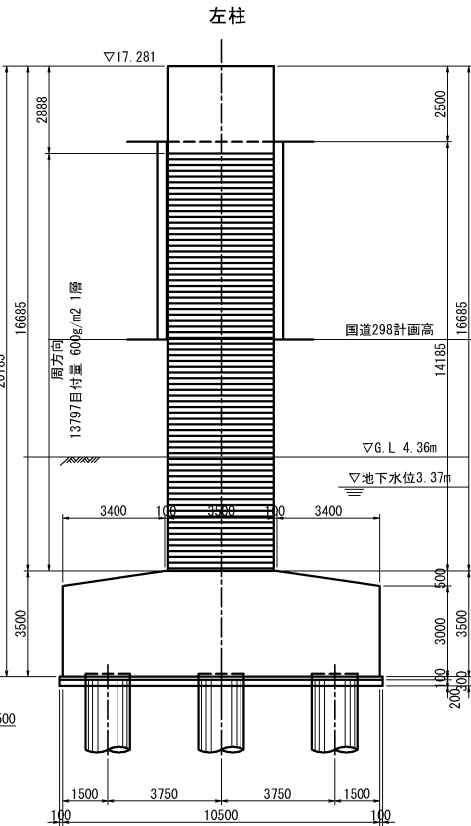
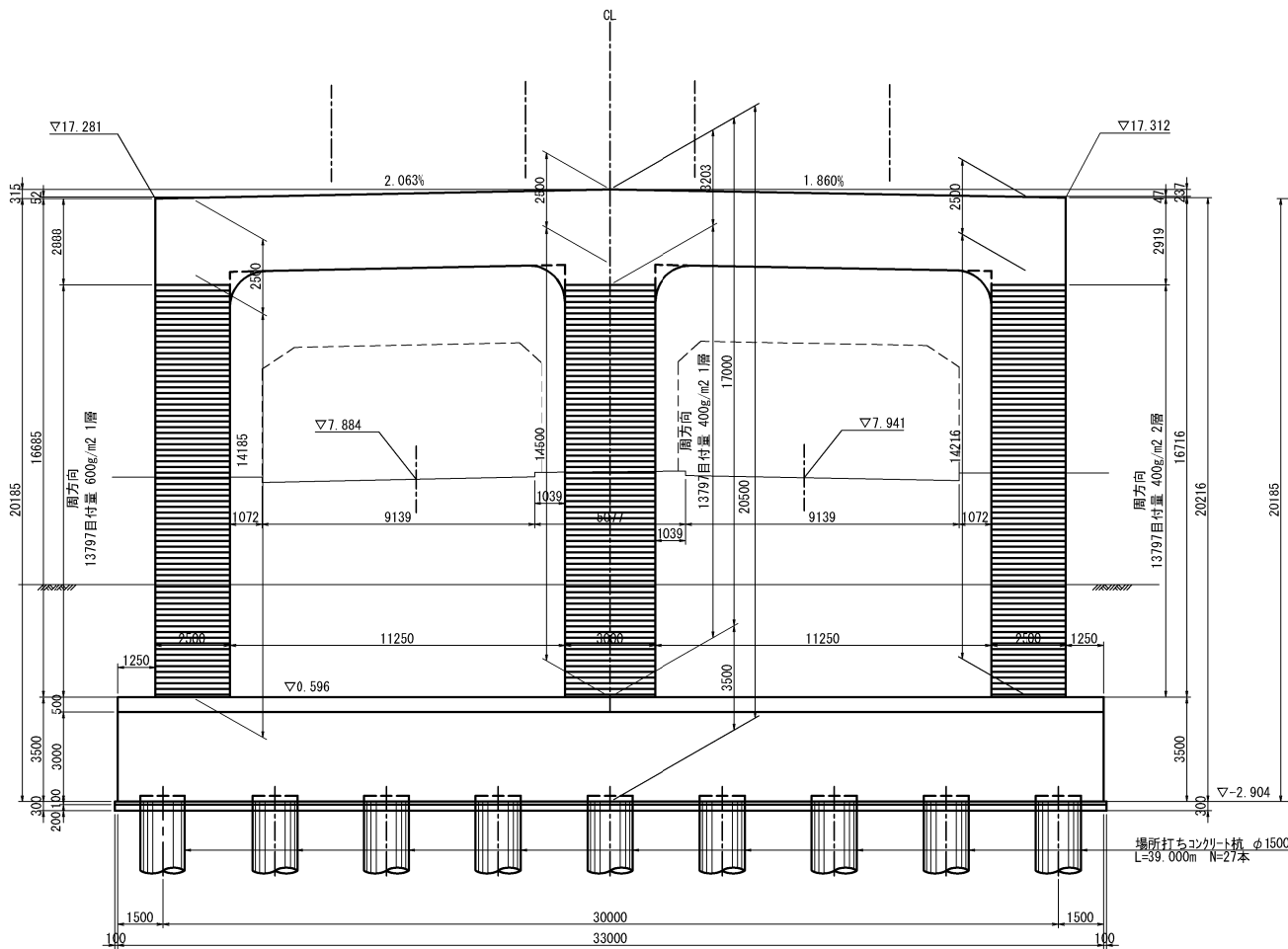
数 量 表

項 目	単位	数 量	備 考
下地面積	m ²	120.0	サンダーケレン
プライマー塗布面積	m ²	120.0	
パテ処理面積	m ²	120.0	
炭素繊維シート 周方向 目付量 600g/m ²	m ²	120.0	
仕上げ材	m ²	120.0	ポリマーセントモルタル t=10mm

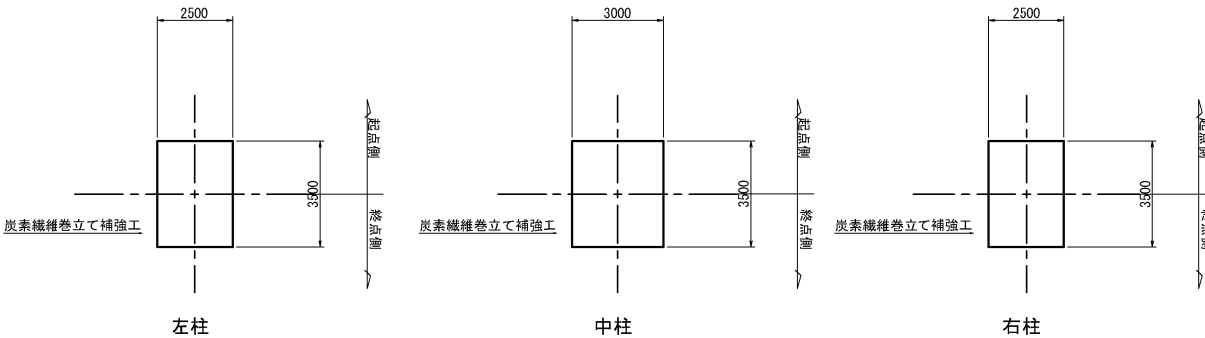
東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準耐震補強構造一般図 (RC橋脚 単柱式) 炭素繊維シート 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

正面図

側面図

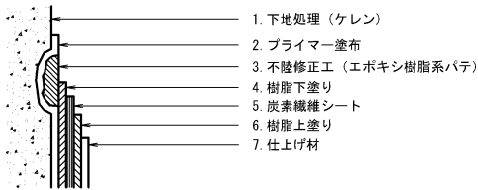


平面図



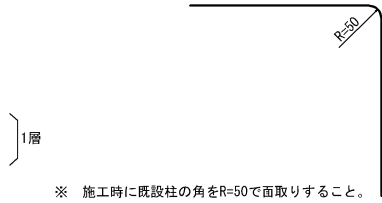
炭素繊維シート施工断面図

A - A



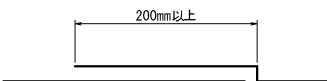
※ 1～7は、作業順序を示す。

既設柱コーナー部



※ 施工時に既設柱の角をR=50で面取りすること。

重ね継手詳細



凡例



注記)
1. 現地壁線は現地での簡易計測結果による。
2. 補強箇所、補強範囲及び補強数量は、現場実測確認の上決定すること。

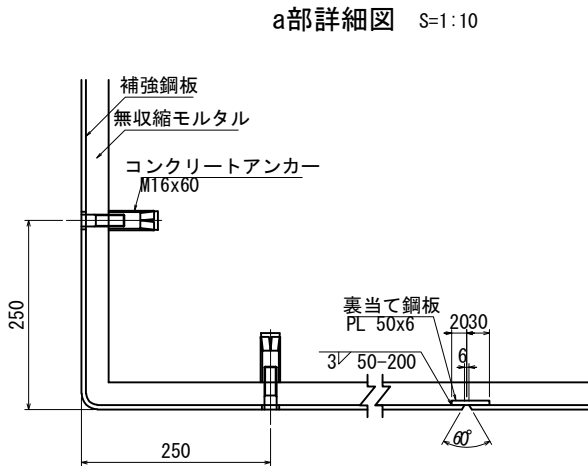
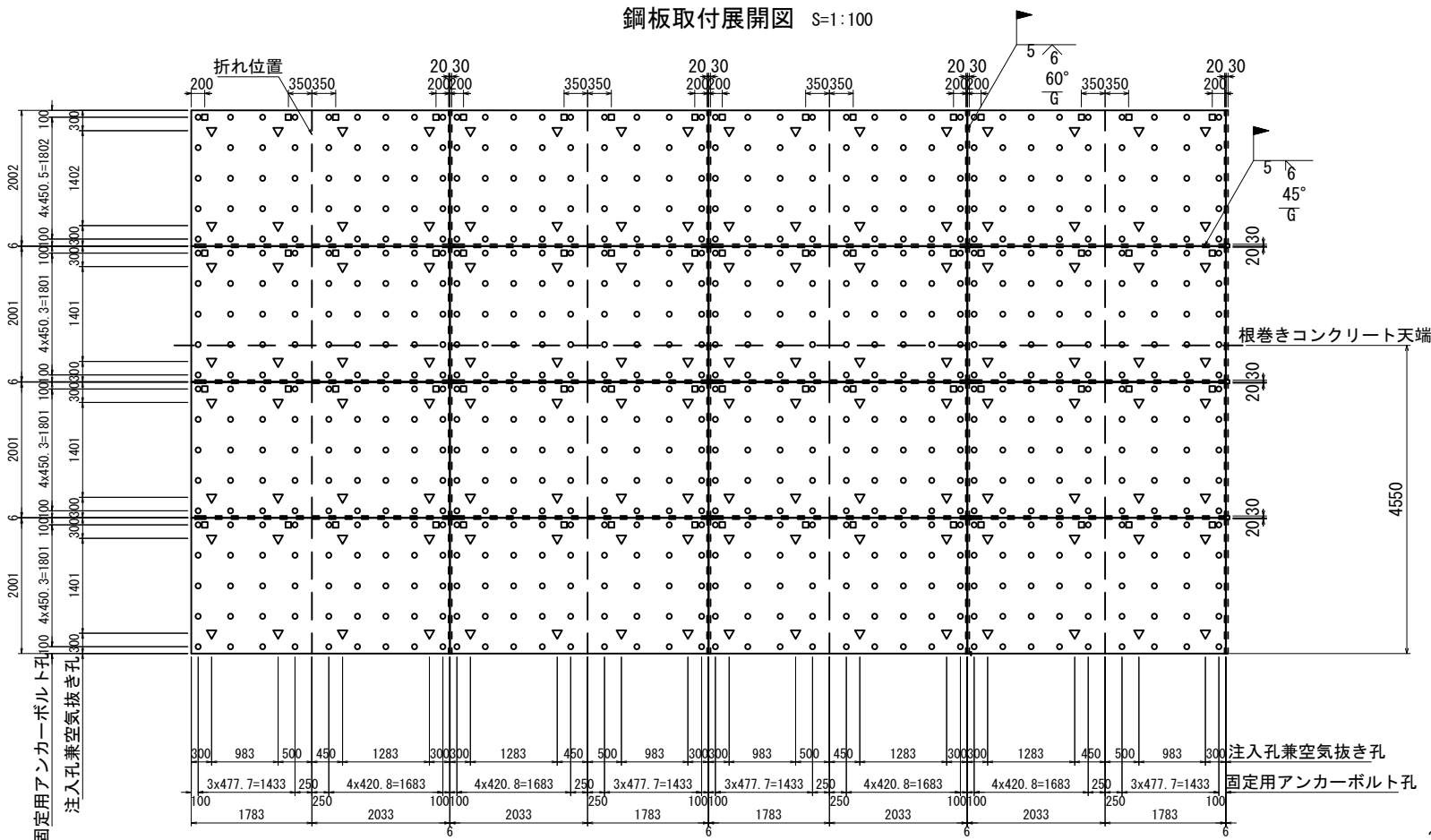
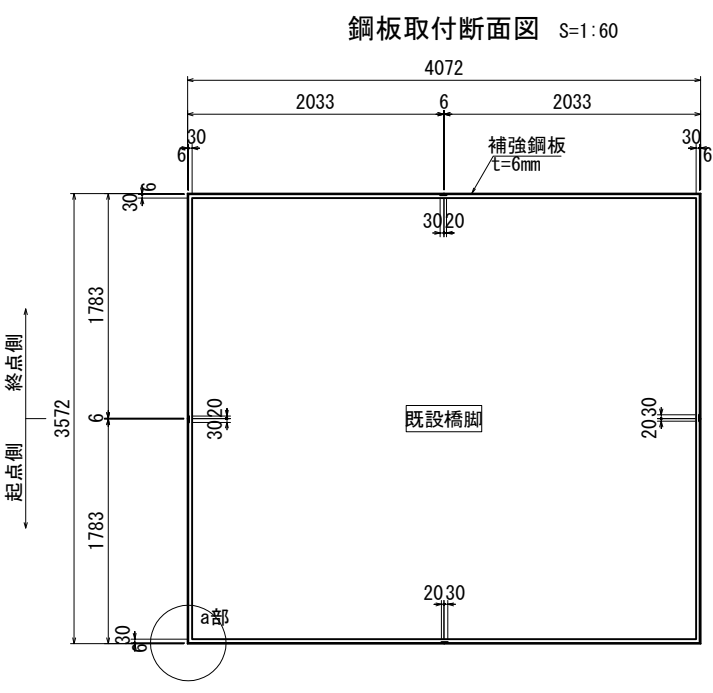
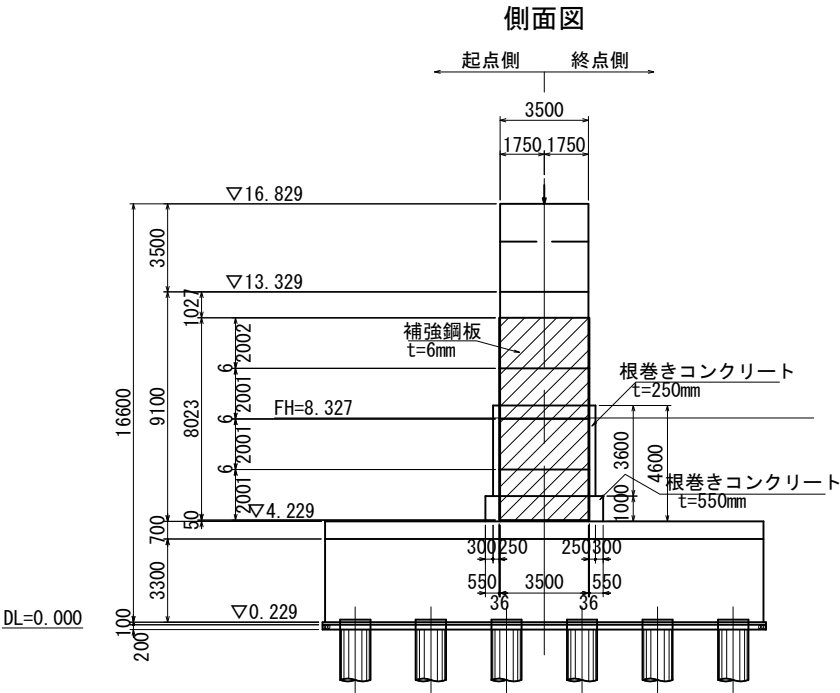
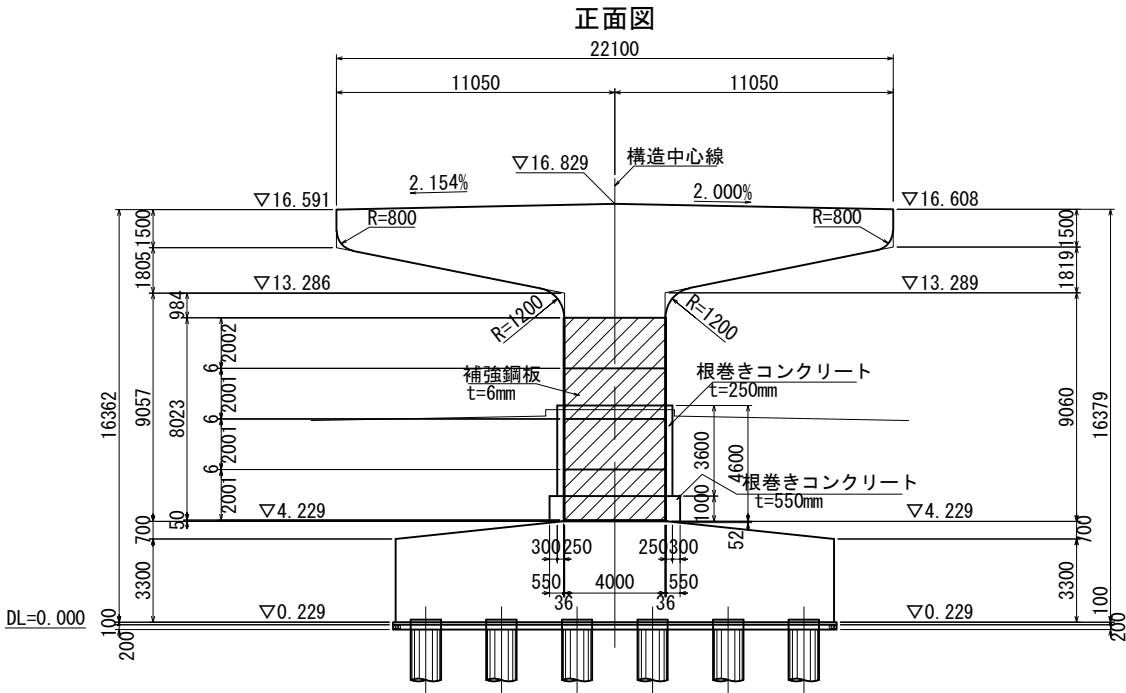
炭素繊維シート 性能表

繊維目付量 (g/m ²)	引張強度 (N/mm ²)	引張弾性率 (kN/mm ²)	設計厚さ (mm)
400	3,400以上	2.45×10 ⁻⁵	0.222
600	3,400以上	2.45×10 ⁻⁵	0.333

数 量 表

項 目	単位	数 量	備 考
炭素繊維巻立下地処理工	m ²	510.5	サンダーケレン
炭素繊維巻立工（目付量400g/m ² ）1層	m ²	179.4	
炭素繊維巻立工（目付量400g/m ² ）2層	m ²	331.1	
炭素繊維巻立工（目付量600g/m ² ）1層	m ²	165.6	
炭素繊維巻立表面仕上げ工	m ²	331.1	ポリマーセントモルタル t=1mm
炭素繊維巻立表面仕上げ工	m ²	179.4	ポリマーセントモルタル t=10mm

東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準耐震補強構造一般図（RC橋脚 ラーメン式） 炭素繊維シート 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

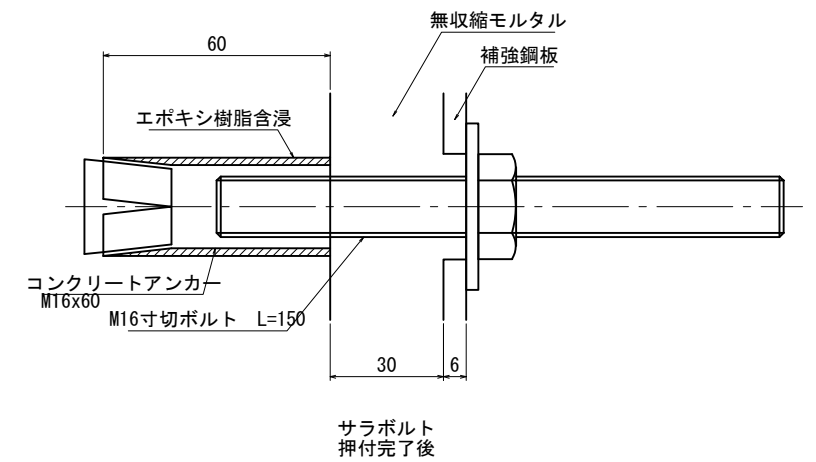


- 固定用アンカーボルト孔
 - ▽ 注入孔兼空気抜き孔
 - 仮設アンカーボルト孔
- 4-PL 2002x6x3816 (SM400)
12-PL 2001x6x3816 (SM400)
4-FB 50x6x1970 (SM400)
8-FB 50x6x1947 (SM400)
4-FB 50x6x1979 (SM400)
12-FB 50x6x3817 (SM400)
- 324-サラボルト M16x55
396-六角ボルト M16x60
64-仮設アンカーボルト M16x150
784-コンクリートアンカー M16x60
128-注入パイプ 25Ax100

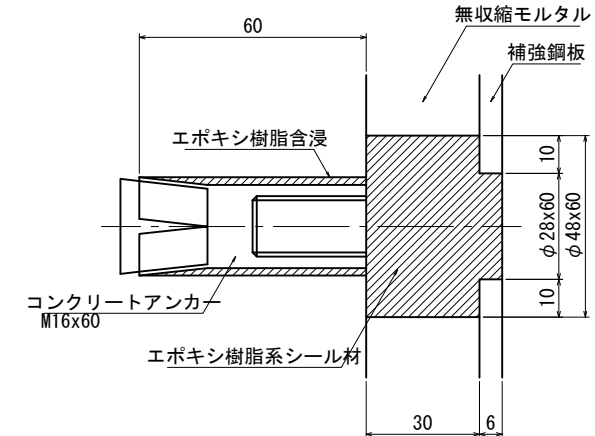
注) 1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. 特記なき材質は全てSS400とする。

東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準耐震補強構造一般図（RC橋脚 単柱式） 鋼板巻立て（その１）参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三 郷 管 理 事 務 所		

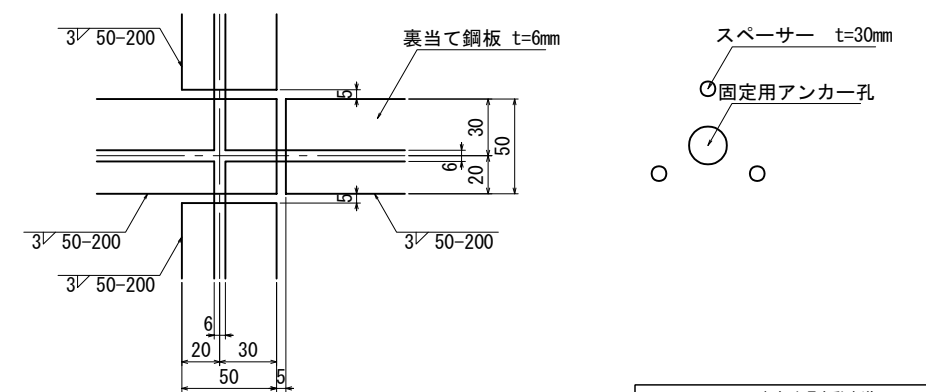
仮設アンカーボルト取付詳細図 S=1:2



普通六角ボルト取付詳細図 S=1:2
(根巻きコンクリート部)




スぺーサー取付図 S=1:4



東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事	
図面の種類	標準耐震補強構造一般図（ＲＣ橋脚 単柱式） 鋼板立柱（その２） 参考図
縮 尺	図 示 図面番号 /
設計会社名	株式会社 エイト日本技術開発
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三 總 管 理 事 務 所

種 別	径	長 さ	本 数	単 位 質 量	一本当り質量	質 量	摘 要
C ₁	D22	3600	110	3. 04	10. 9	1199	┃
C ₂	D22	1340	114	3. 04	4. 07	464	┃
C ₃	D22	900	4	3. 04	2. 74	11	┃
C ₄	D22	8540	74	3. 04	26. 0	1924	┃
C ₅	D22	9740	18	3. 04	29. 6	533	┃
4131							
合 計D22				4131 kg			
総質量				4131 kg			

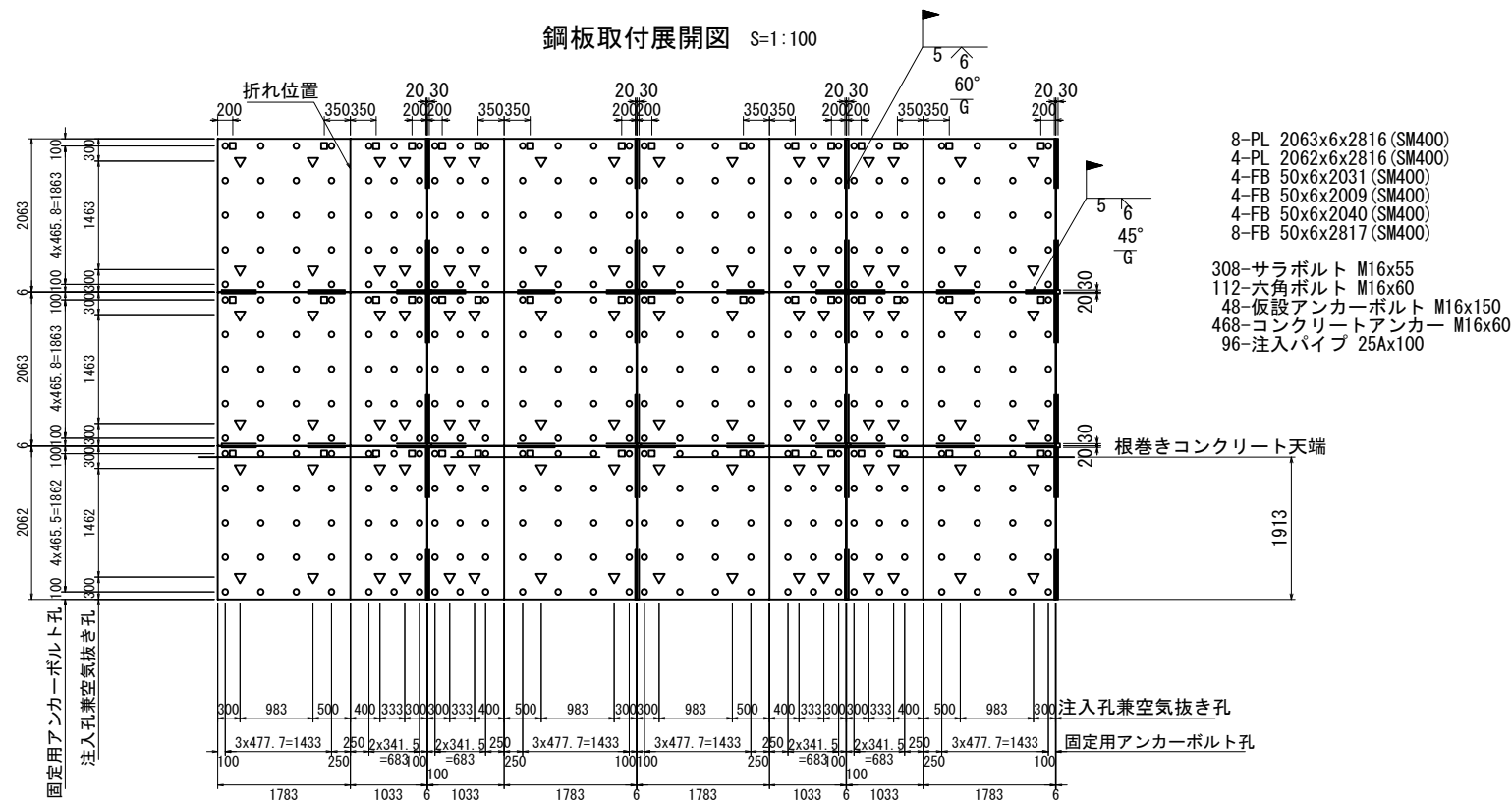
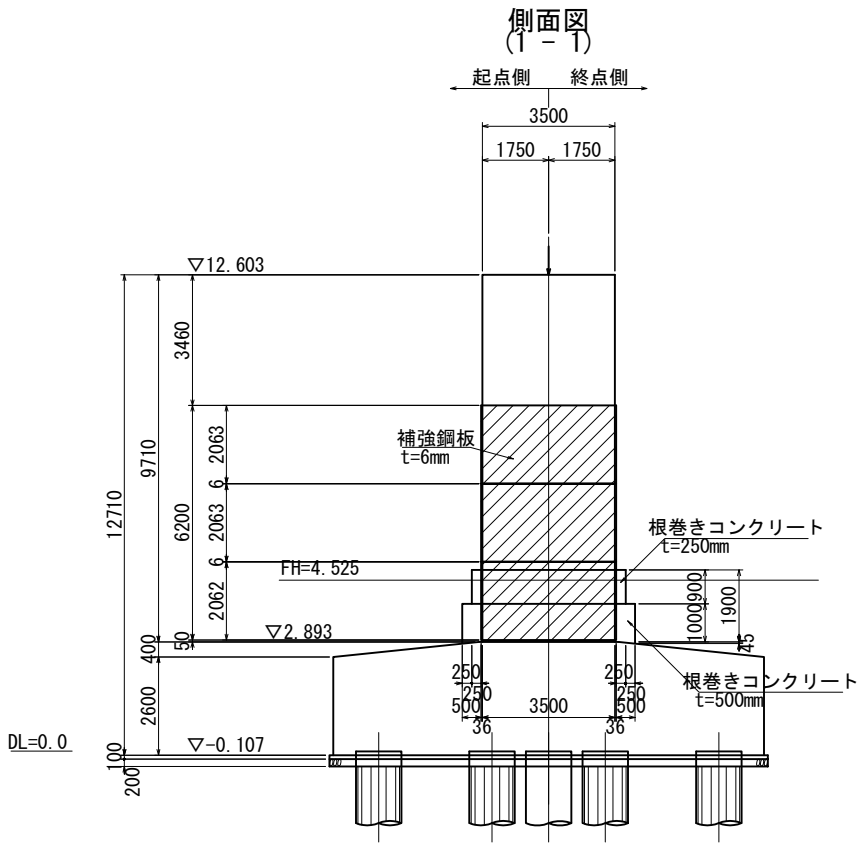
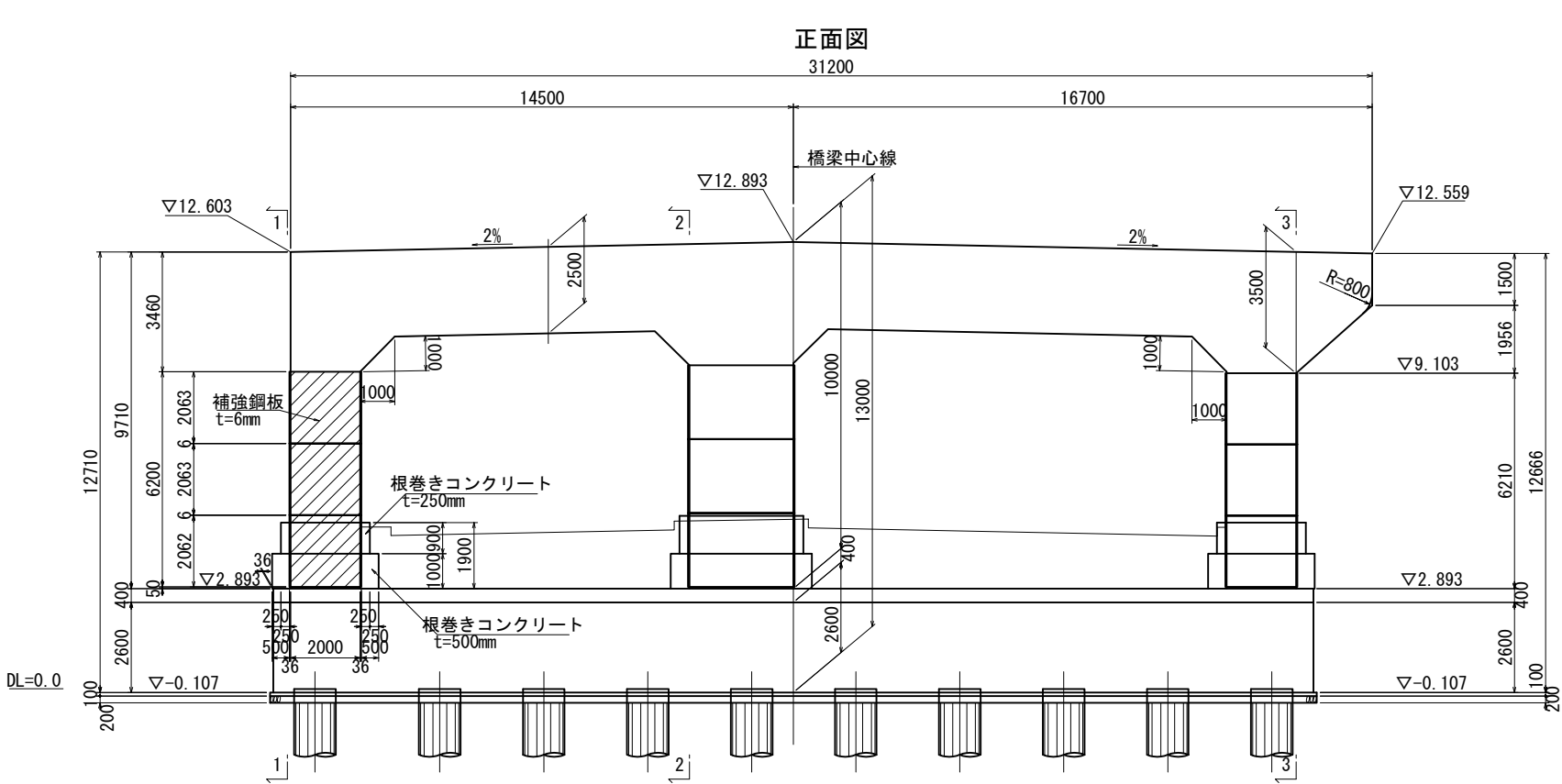


S:溶接ビードの幅:S=0.5D
 a:のど厚
 $a=0.39D-3$ (10mm<D≤22mmの場合)
 D:鉄筋径 (呼び径)

単位(mm)		
D	S	a
22	11.0	5.6

名称	仕様
設計基準強度	24 N/mm ²
鉄筋種別	SD 345
鉄筋最大定尺長	12m

東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準耐震補強構造詳細図(RC橋脚 単柱 鋼板巻いて 参考図)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三 郷 管 理 事 務 所		



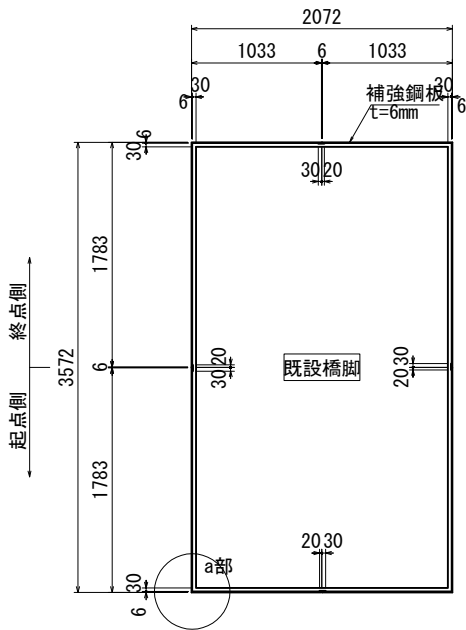
- 8-PL 2063x6x2816 (SM400)
- 4-PL 2062x6x2816 (SM400)
- 4-FB 50x6x2031 (SM400)
- 4-FB 50x6x2009 (SM400)
- 4-FB 50x6x2040 (SM400)
- 8-FB 50x6x2817 (SM400)
- 308-サラボルト M16x55
- 112-六角ボルト M16x60
- 48-仮設アンカーボルト M16x150
- 468-コンクリートアンカー M16x60
- 96-注入パイプ 25Ax100

根巻きコンクリート天端

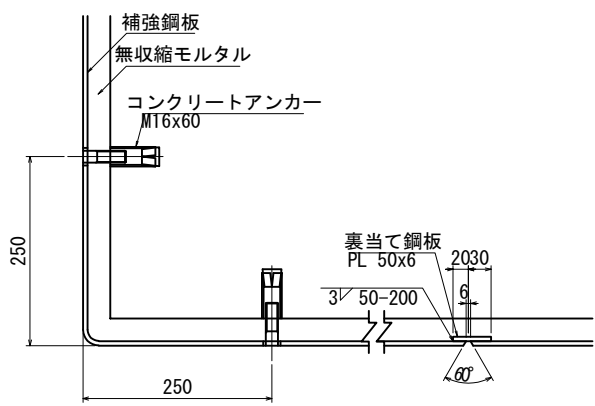
注入孔兼空気抜き孔
固定用アンカーボルト孔

- 固定用アンカーボルト孔
- ▽ 注入孔兼空気抜き孔
- 仮設アンカーボルト孔

鋼板取付断面図 S=1:60

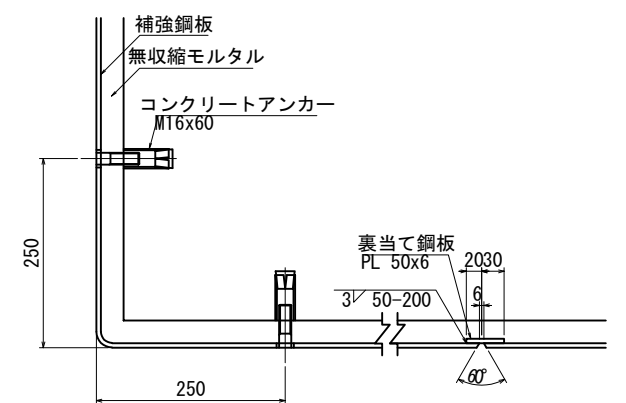
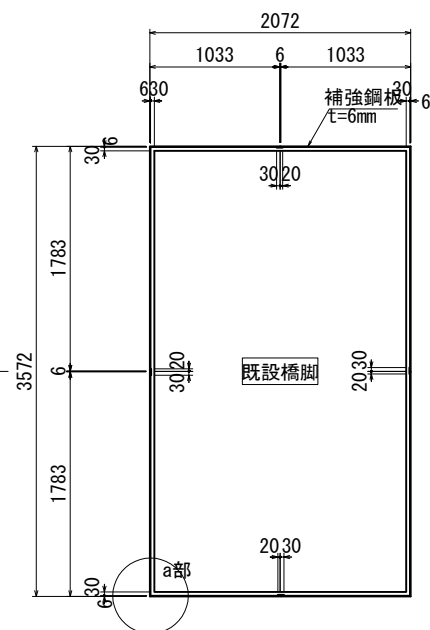
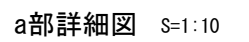
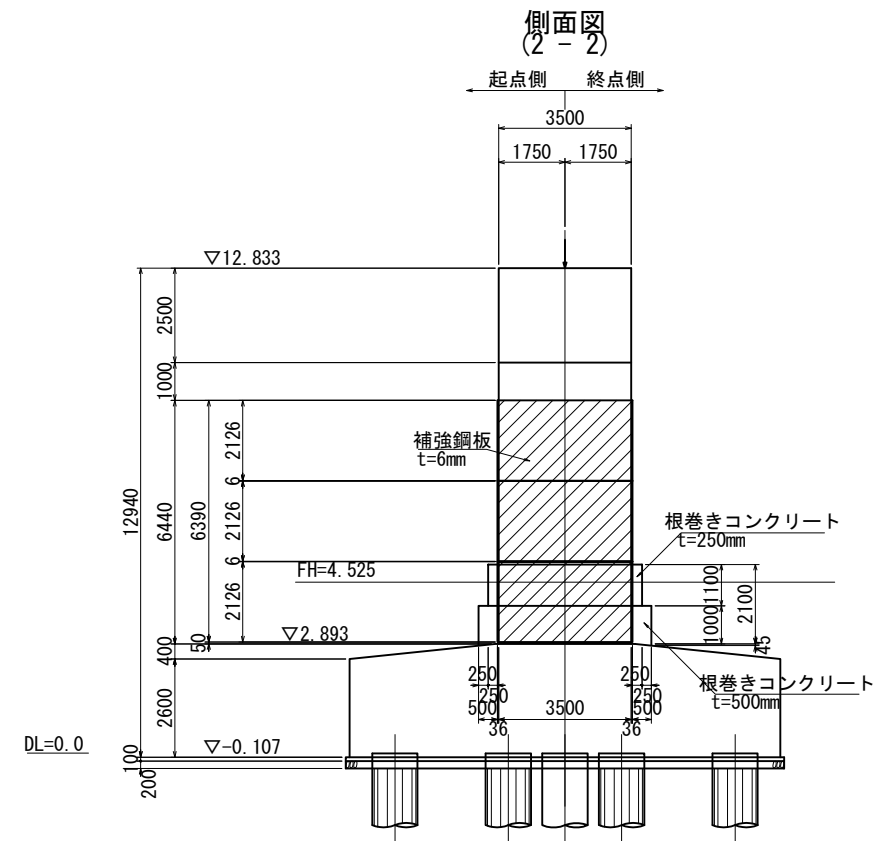


a部詳細図 S=1:10



注) 1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. 特記なき材質は全てSS400とする。

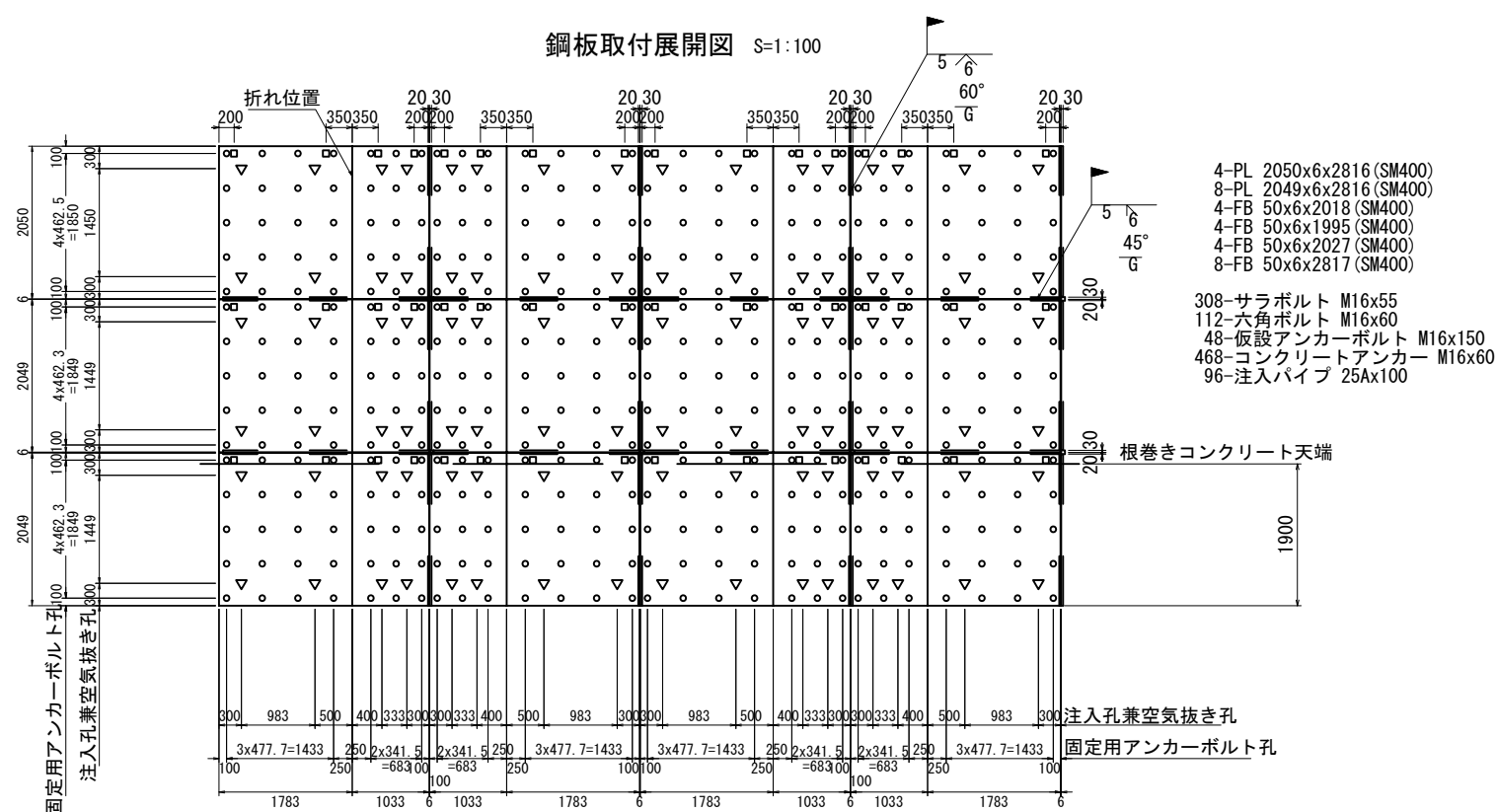
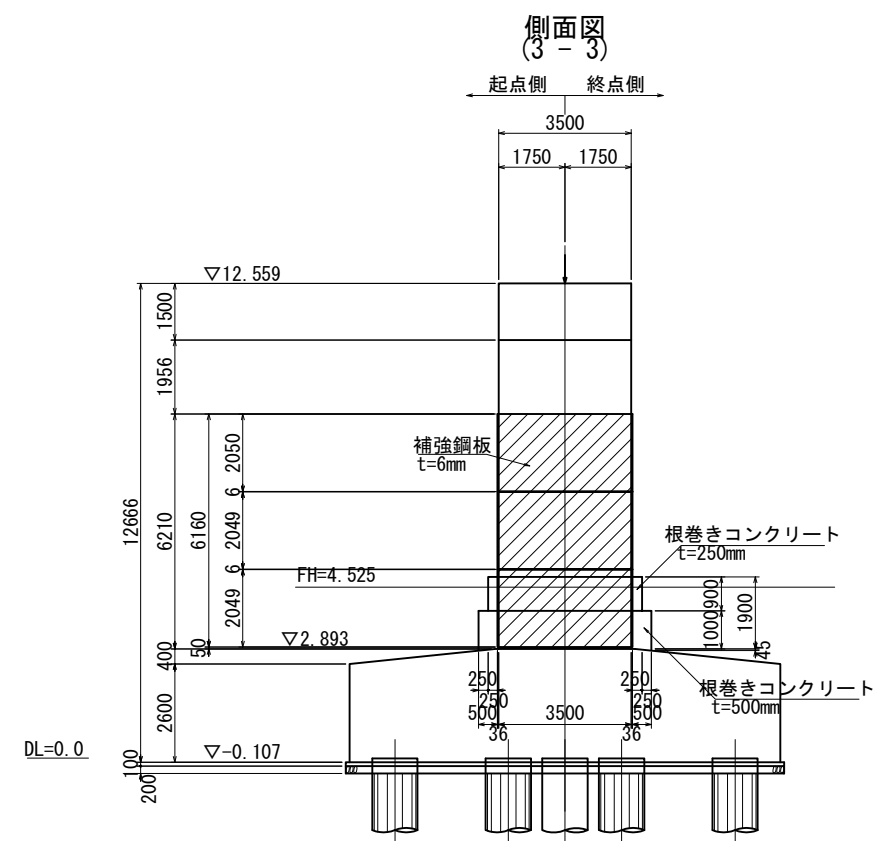
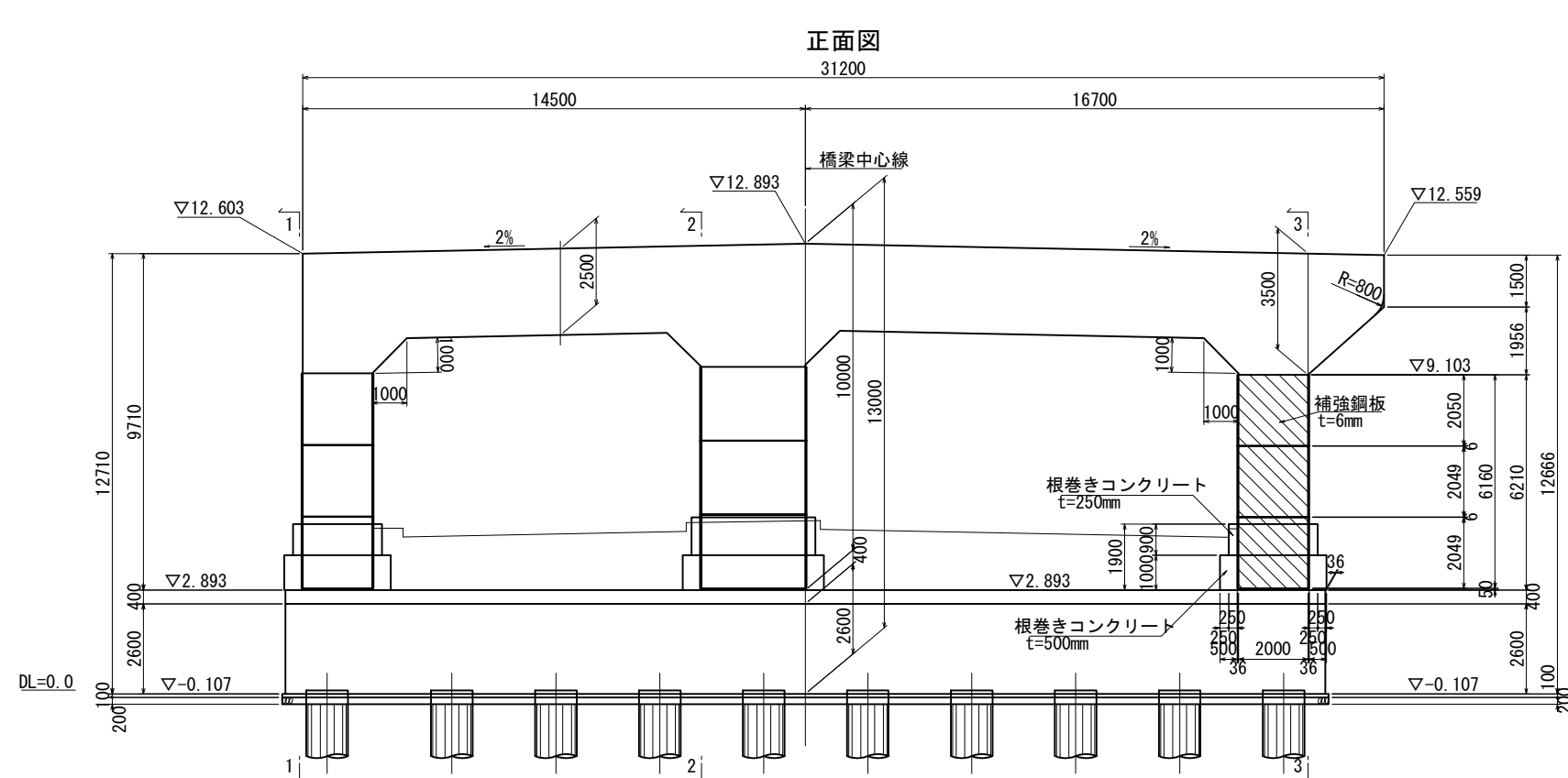
東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準耐震補強構造一般図 (R C橋脚 ラーメン式) 鋼板巻立て (その1) 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三 郷 管 理 事 務 所		



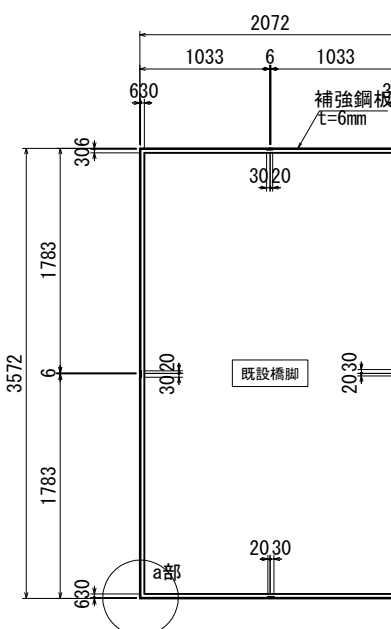
注) 1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. 特記なき材質は全てSS400とする。

東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準耐震補強構造一般図 (P.C橋脚 ラメン式) 鋼板巻立て (その2) 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高遠道路株式会社 関東支社 三郷 管理事務所		

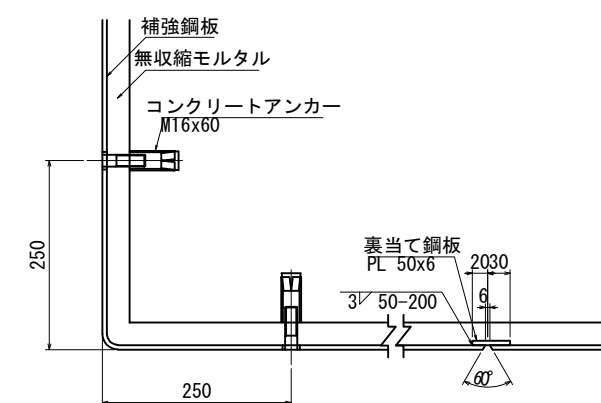
- 固定用アンカーボルト孔
- ▽ 注入孔兼空気抜き孔
- 仮設アンカーボルト孔



鋼板取付断面図 S=1:60



a部詳細図 S=1:10

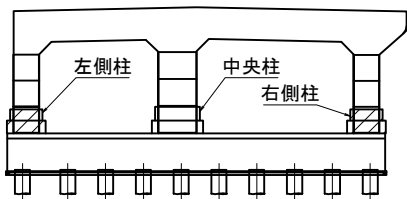


注) 1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. 特記なき材質は全てSS400とする。

東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事				
図面の種類	標準耐震補強構造一般図 R3C橋脚（ラーメン式） 鋼板巻立て（その3） 参考図			
縮 尺	図 示	図面番号	/	
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三 郷 理 事 所			

東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準耐震補強構造一般図 (RC構鋼 ラーメン式) 鋼板巻立て(その4) 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三 郷 理 事 務 所		

位置図

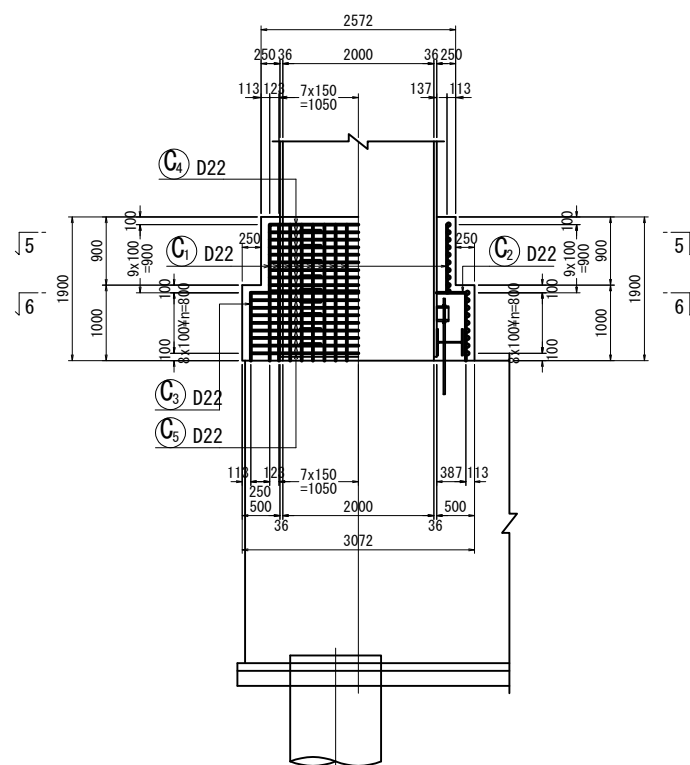


標準耐震補強構造詳細図（RC橋脚 ラーメン式）鋼板巻立て（その1）参考図

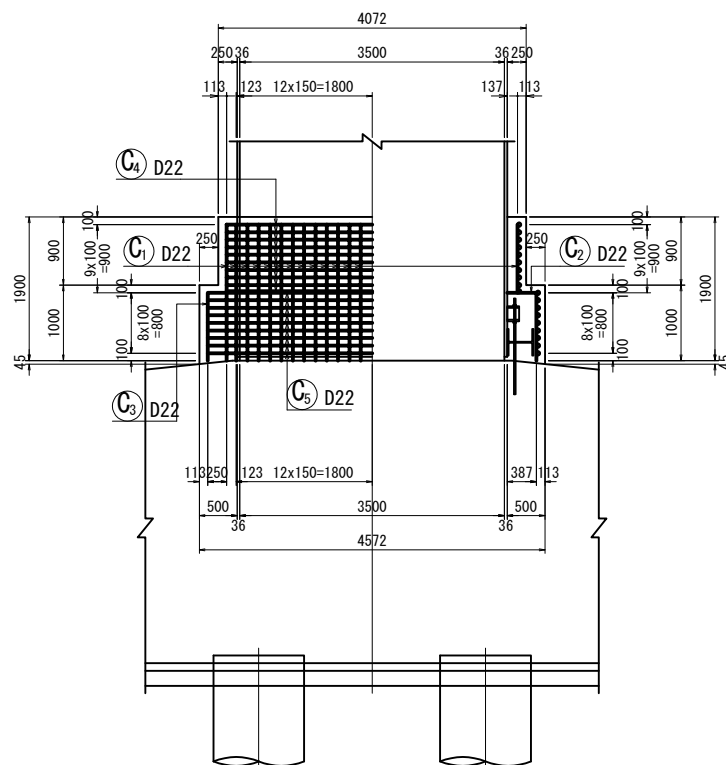
縮尺 1:100

（根巻きコンクリート配筋図）
（左側柱, 右側柱共通）

1 - 1 2 - 2



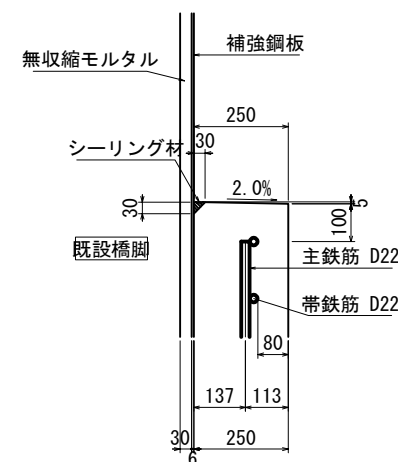
3 - 3 4 - 4



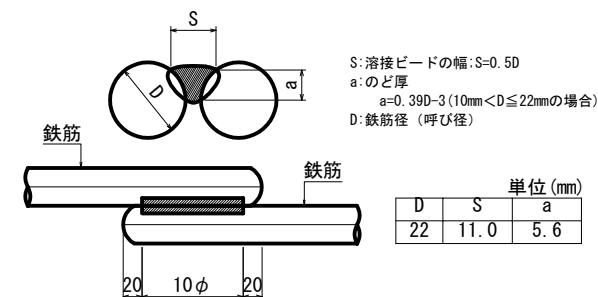
鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
C ₁	D22	900	84	3.04	2.74	230	
C ₂	D22	1290	88	3.04	3.92	345	
C ₃	D22	900	4	3.04	2.74	11	
C ₄	D22	6540	20	3.04	19.9	398	
C ₅	D22	7740	18	3.04	23.5	423	
1407							
合計D22							1407 kg
総質量							1407 kg

根巻きコンクリート天端詳細図 S=1:20



フレアー溶接詳細図



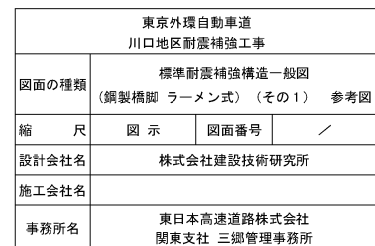
設計条件

名称	仕様
設計基準強度	24 N/mm ²
鉄筋種別	SD 345
鉄筋最大定尺長	12m

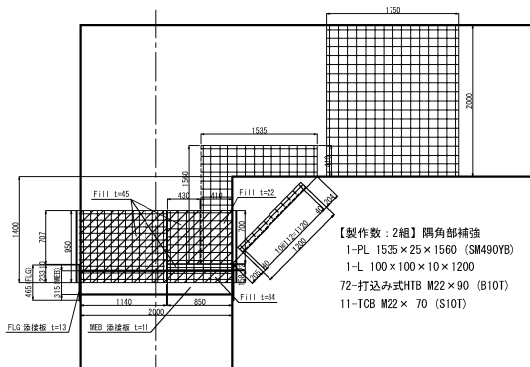
注) 施工前に既設形状寸法を確認すること。

東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準耐震補強構造詳細図 (RC橋脚 ラーメン式) 鋼板巻立て (その1) 参考図		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

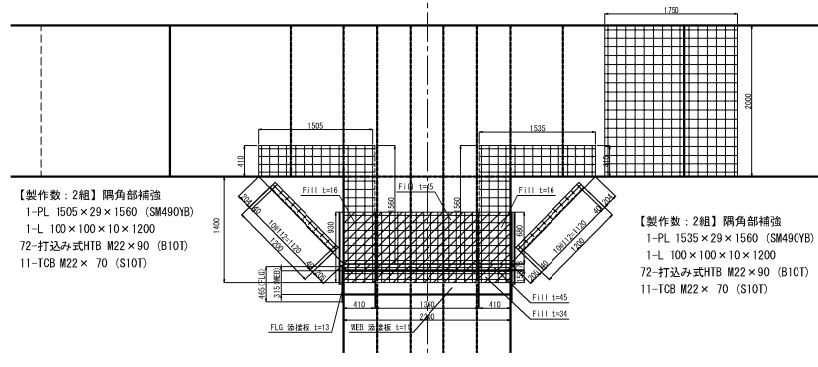
S=1:100 E - E



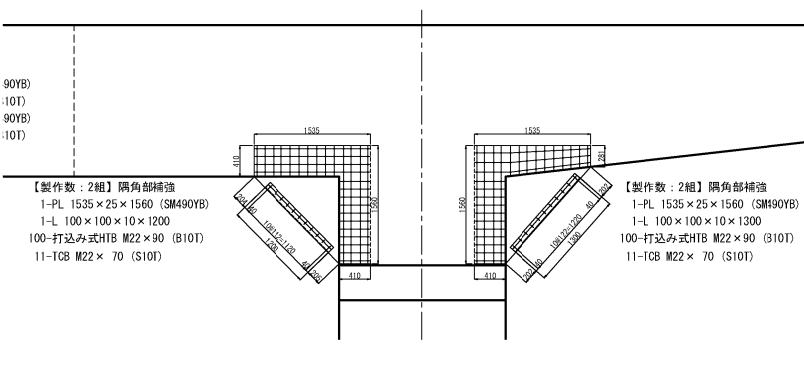
隅角部補強側面図 S=1:100



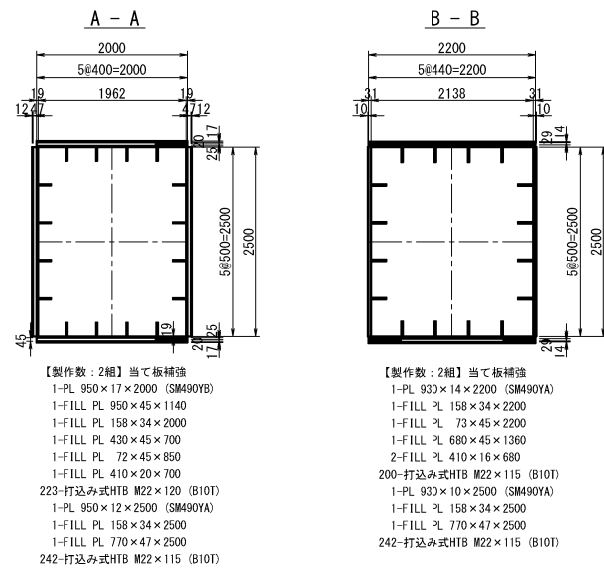
隅角部補強側面図 S=1:100



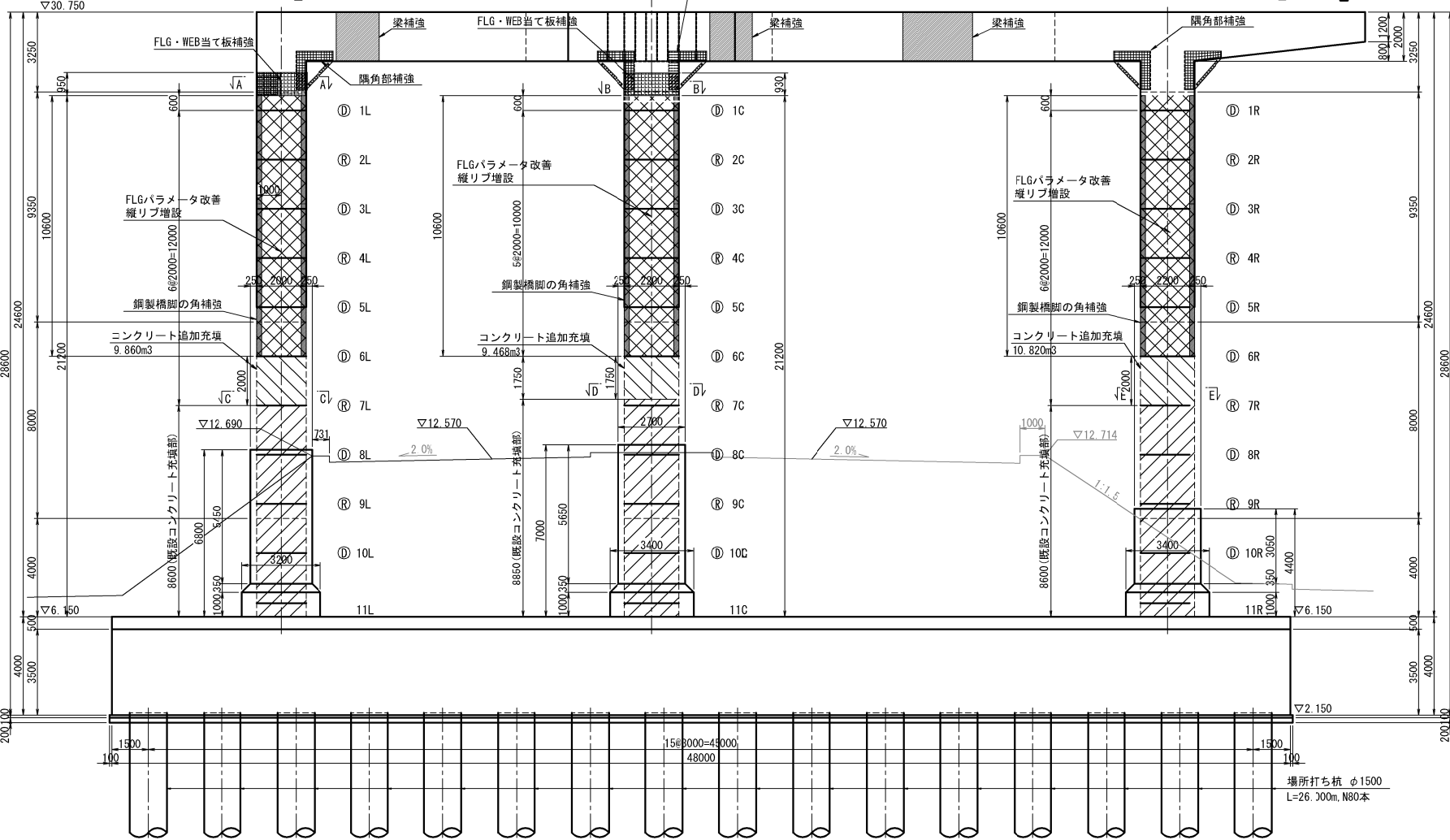
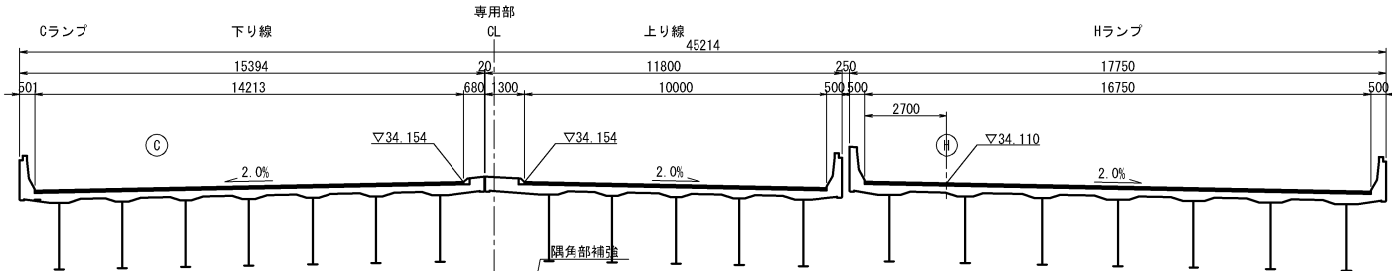
隅角部補強側面図 S=1:100



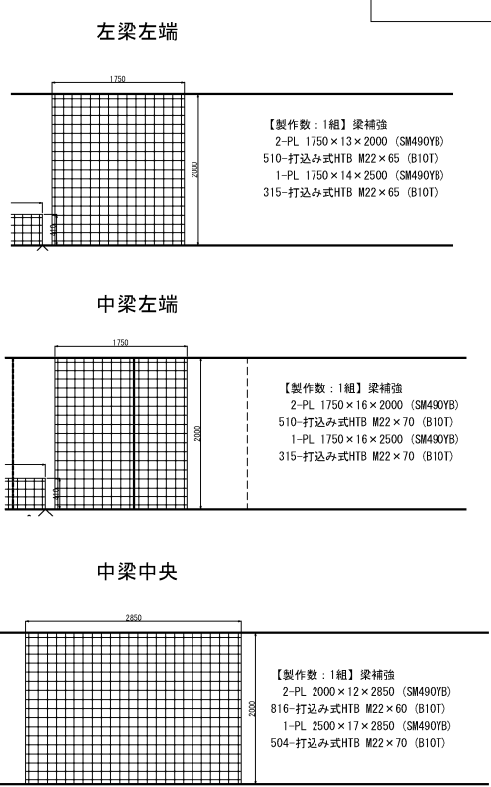
当て板補強断面図 S=1:100



正面図



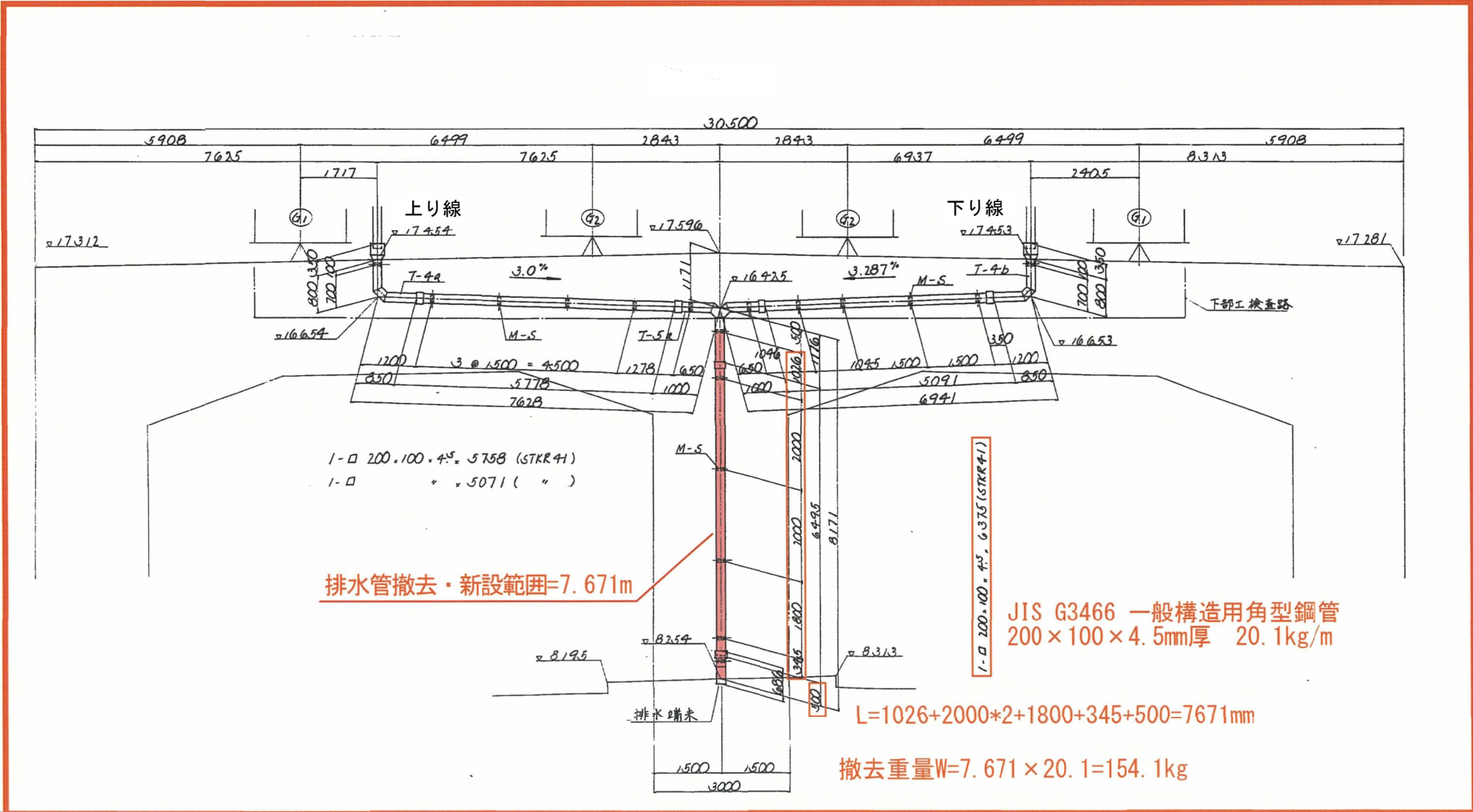
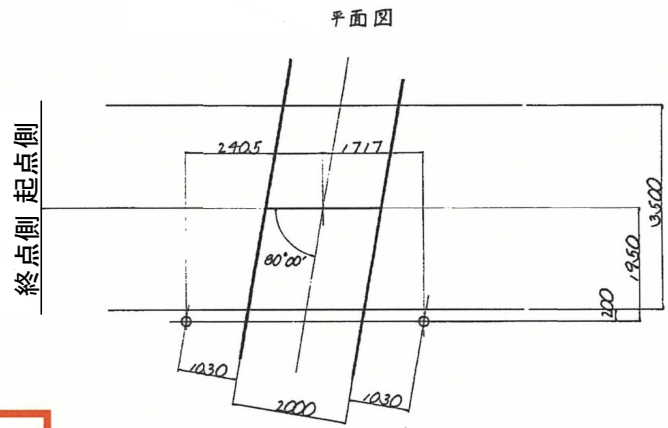
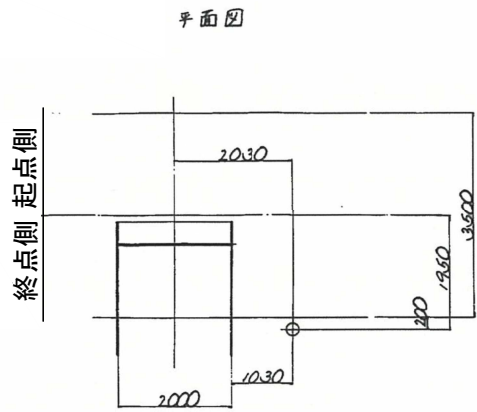
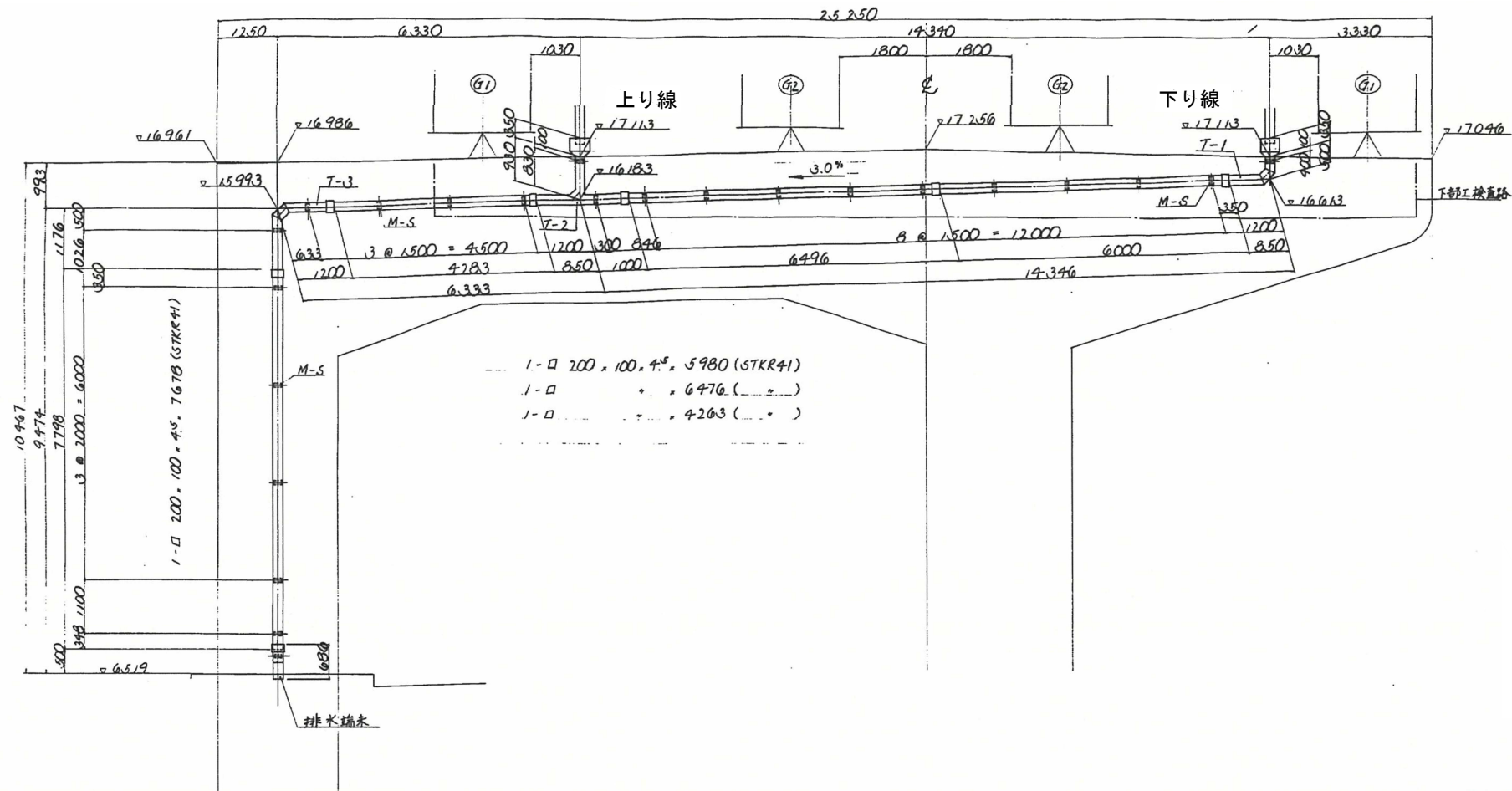
梁補強側面図 S=1:100



数量表

	単位	数 量	適 用
コンクリート C2-1 (夜)	m3	30.1	コンクリート追加充填
角補強鋼材質量	kg	22306	
縦リブ増設鋼材質量	kg	14030	
隅角部補強鋼材質量	kg	5180	
断面当て板補強鋼材質量	kg	8444	
梁補強鋼材質量	kg	6364	

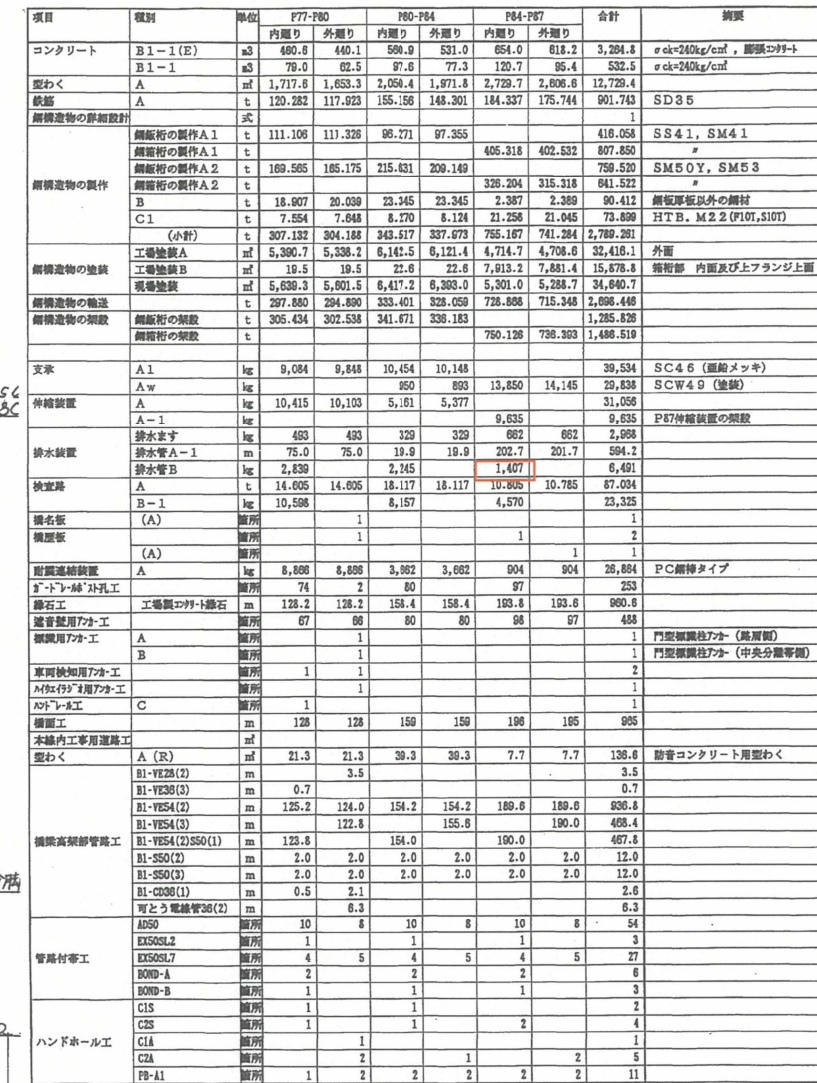
東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準耐震補強構造一般図 (鋼製橋脚 ラーメン式) (その2) 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		



注記
1. 特記がなければ全てJIS41とする。
2. 鋼材は全て溶融重量メッキとする。
鋼材はHDZ55とするがボルト、ナットはHDZ35とする。

東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準排水管 撤去図・新設図 (RC橋脚 ラーメン式) 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

取付要領図 5-10

[illegible]

Technical drawing showing a cross-section of a mechanical assembly. The drawing includes dimensions and labels for materials.

Dimensions:

- Top view: 300 (total width), 50 (left flange), 200 (inner width), 50 (right flange).
- Side view: 200 (top flange), 50 (left flange), 100 (inner width), 50 (right flange).
- Bottom view: 300 (total width), 100 (left flange), 200 (inner width), 100 (right flange).
- Vertical dimensions: 100, 200, 300.

Labels:

- 弾性シール材 (Elastic Seal Material)
- スポンジ (Sponge)

Dimensions and Calculations:

- 2-穴 200 × 6 × 500
- 2-穴 112 × 6 × 300
- 2-穴 112 × 6 × 200

配管図

2600
1300 1300

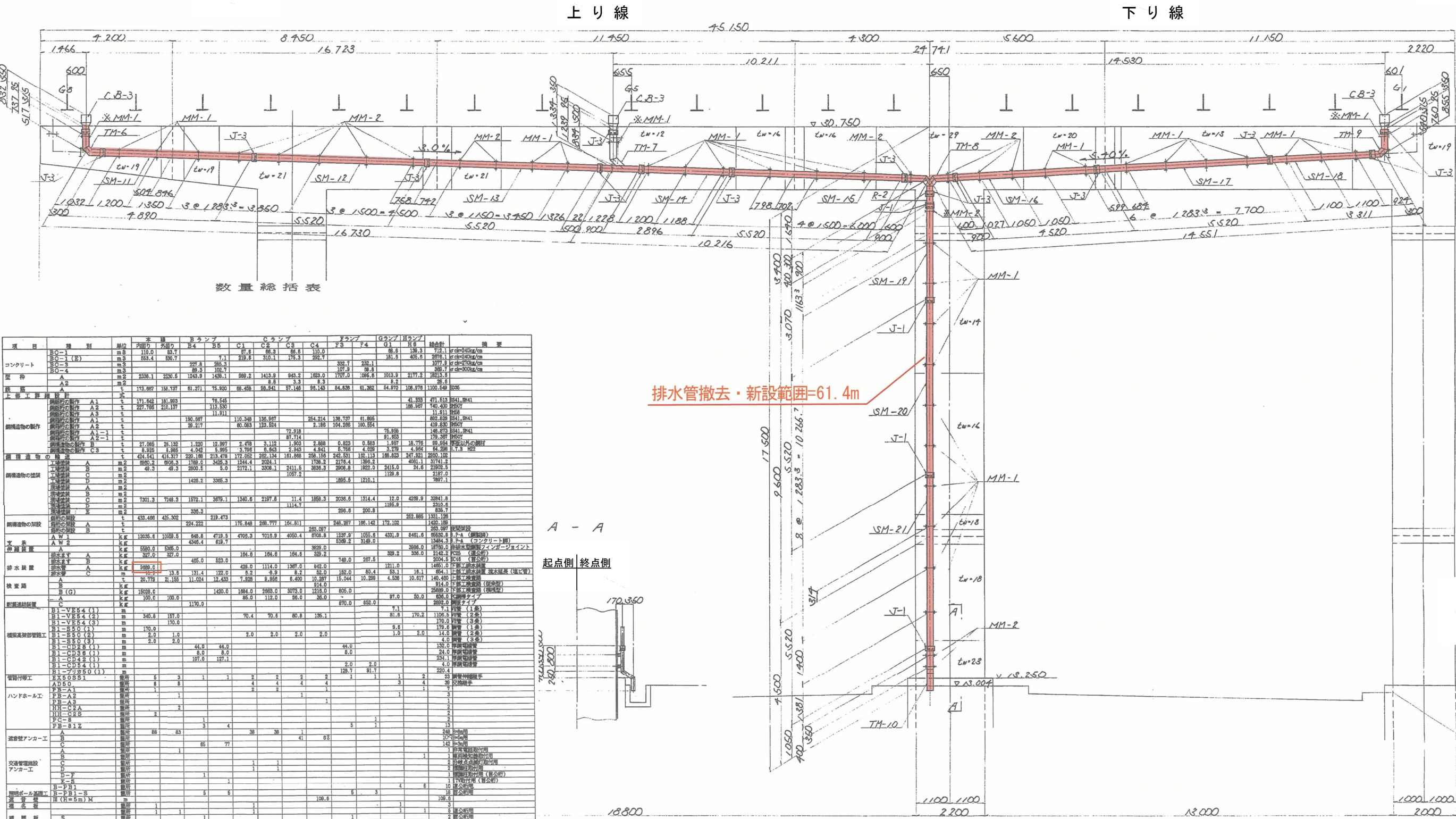
2500
1300 1200

上り線 下り線

排水装置

1

東京大環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準排水管 撤去図・新設図 (鋼製橋脚 単柱式) 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		



P1～P5における下部工排水装置総延長は275.8m
P4橋脚における下部工排水装置撤去延長は61.4mであるため
排水装置撤去・新設工における数量
M=9689÷275.8×61.4=2157.0kg

※印の支保金具の脚付ピースは新規に取付すると
とし、製作範囲とする。

東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準排水管 撤去図・新設図 (鋼製橋脚 ラーメン式) 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

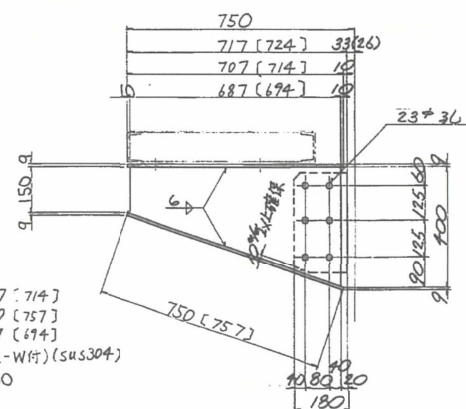
標準断面図 $S = 1/10$



数量總括表

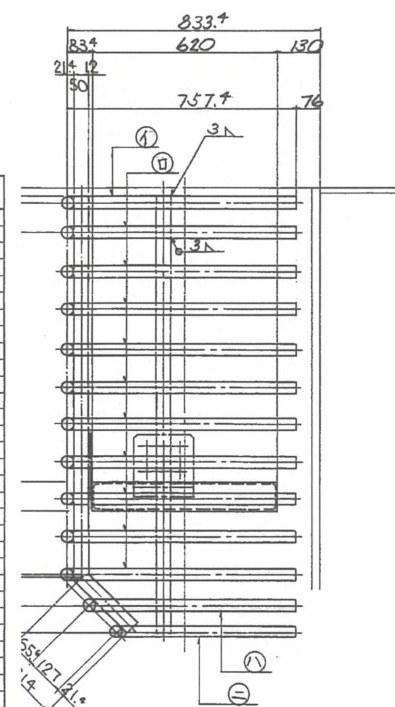
項目	類別	単位	P77-P80	P80-P84	P84-P87	合計	摘要	
			内張り	外張り	内張り	外張り		
コンタリート	B1-1(正)	m ²	490.8	440.1	590.9	531.0	2,052.8	○ek=240kg/cmf, 廊下コンタリート
	B1-1	m ²	78.0	85.7	77.3	85.4	306.4	○ek=240kg/cmf
壁むく	A	m ²	1,717.8	1,653.3	2,050.4	1,971.8	12,729.4	
鉄筋	A	t	120.282	117.923	155.156	148.301	641.663	SD35
鋼構造物の詳細設計	式	式					1	
鋼構造物の製作	鋼板筋の製作A1	t	111.106	111.328	98.271	97.355	418.058	SS41, SM41
	鋼板筋の製作A1	t					977.850	
	鋼板筋の製作A2	t	169.565	165.175	215.631	209.149	759.520	SM50Y, SM53
	鋼板筋の製作A2	t					941.532	
	B	t	18.807	20.939	22.345	23.345	95.436	鋼板厚板以外の鋼材
鋼構造物の輸送	C1	t	7.554	7.948	8.270	8.134	31.906	HTB. M2.2 (F10T, S10T)
	(小計)	t	807.132	804.189	949.617	937.677	3,498.605	
	工場塗装A	m ²	5,390.7	5,338.2	6,142.5	6,121.4	47,714.7	外面
鋼構造物の塗装	工場塗装B	m ²	18.5	19.5	22.6	22.7	7,813.2	廊下板内面及び上フランジ上面
	現場塗装	m ²	5,639.3	5,601.5	6,417.2	6,398.0	5,501.0	
鋼構造物の架設		t	297.880	294.490	333.401	328.699	728.888	
鋼構造物の架設	鋼板筋の架設	t	305.434	302.536	341.671	338.183	715.348	1,285.626
	鋼板筋の架設	t					1,486.519	
支保	A1	kg	9,084	9,348	10,454	10,148	39,534	SC45 (重組メッキ)
	Aw	kg			950	893	29,338	SCW49 (塗装)
伸縮装置	A	kg	10,415	10,103	5,161	5,377	31,056	P67伸縮装置の架設
	A-1	kg				9,635	9,635	
排水装置	排水ます	m	463	493	329	329	862	2,998
	排水管A-1	m	75.0	75.0	19.9	19.9	202.7	594.2
快走路	排水管B	kg	2,839	2,245	2,245	1,407	6,491	
	A	t	14.805	14.805	18.117	18.117	10,805	87,034
	B-1	kg	10,598	8,157			4,570	23,325
橋名板	(A)	箇所						1
橋腰板	(A)	箇所	1			1		2
	(A)	箇所					1	1
前張連結装置	A	kg	8,868	8,868	3,682	3,682	904	28,884
ダクト・トンネル工	工場製コンクリート橋石	m	74	2	80	97		253
橋石工	工場製コンクリート橋石	m	128.2	128.2	158.4	158.4	193.8	960.6
並走管埋め方工		箇所	87	86	80	80	98	484
縦断埋め方工	A	箇所						1
	B	箇所						2
車道狭く用方工		箇所	1	1				1
トンネル4用方工		箇所						2
トンネル工	C	箇所	1	1				1
橋脚工	A (R)	m	128	128	159	159	190	165
本線内工事用道路工		m ²						995
壁むく	B1-VB28(2)	m	21.3	21.3	38.3	38.3	7.7	136.6
	B1-VB38(3)	m		3.5				3.5
	B1-VB54(2)	m	0.7					0.7
橋脚高架部管路工	B1-VB54(2)	m	125.2	124.0	154.2	154.2	189.6	936.6
	B1-VB54(3)	m		122.4		155.6	190.0	458.4
	B1-VB54(2)SSO(1)	m	123.8		154.0		190.0	467.8
	B1-SSO(2)	m	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	12.0
	B1-SSO(3)	m	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	12.0
	B1-CH30(1)	m	0.5	2.1				2.6
	管とう電線管38(2)	m		8.3				6.3
	AD50	箇所	10	8	10	8	10	8
	EXS0L2	箇所	1		1	1		3
	EXS0L7	箇所	4	5	4	5	4	27
管路付寄工	B0D-A	2		2		2		6
	B0D-B	箇所	1		1		1	3
	CIS	箇所	1		1			2
	CDS	箇所	1		1		2	4
	CIA	箇所		1				1
ハンドホール工	C2A	箇所		2		1		2
	PH-A1	箇所	1	2	2	2	2	11

P84～P87における検査路総延長は64.9m
P86橋脚における検査路撤去延長は21.6mであるため
検査路撤去・設置工における数量
 $M=4570 \div 64.9 \times 21.6 = 1.5t$

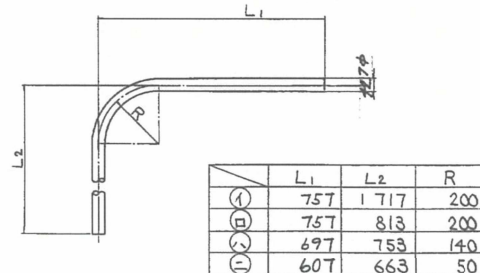


1-Flg $\varnothing 210 \times 9 \times 707$ (714)
1-Flg $\varnothing 210 \times 9 \times 750$ (757)
1-Web $\varnothing 400 \times 9 \times 687$ (694)
6-BN M20 $\times 50$ (2-Whit) (sus304)
※ 1-Conn $\varnothing 180 \times 9 \times 330$

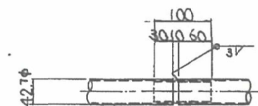
端部断面图 $S=1/10$



手摺曲げ加工①~②詳細 $S=1/10$

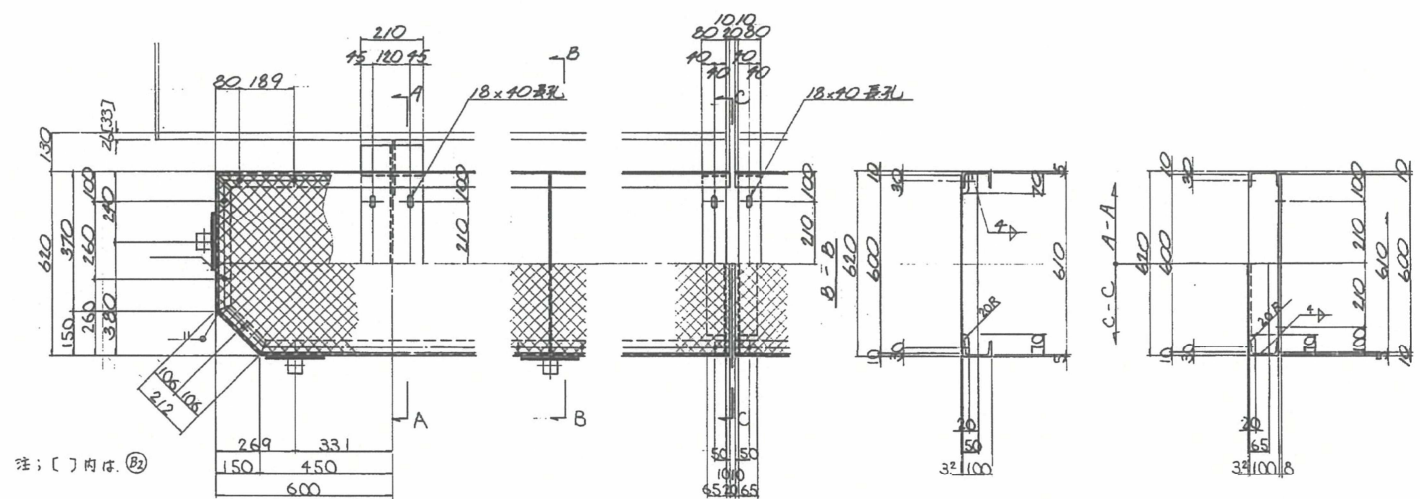


手摺繼手詳細 $S = 1/5$

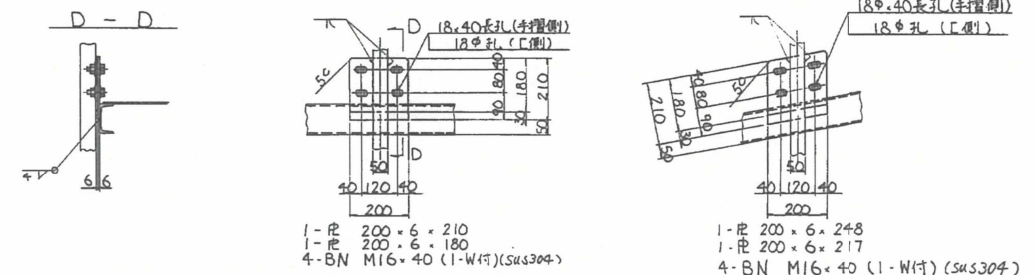


1- PiPe 34.0φ x 2.3 x 100 (STK41)

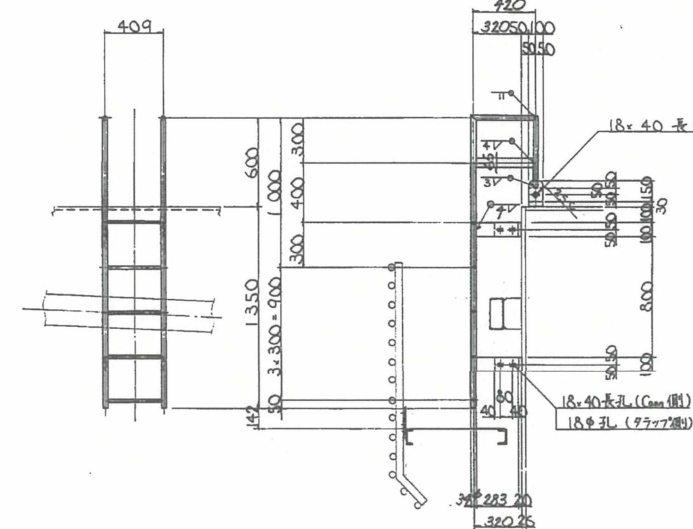
步廊詳細 $S = 1/10$



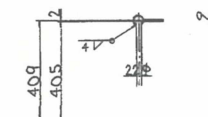
手摺取り付け詳細 $S = 1/10$



タラップ詳細 $S = 1/20$



"Q"部詳細 S=1/10



注記
1. 特記なき枝質は全てSS41とする。
2. ※印部枝以外

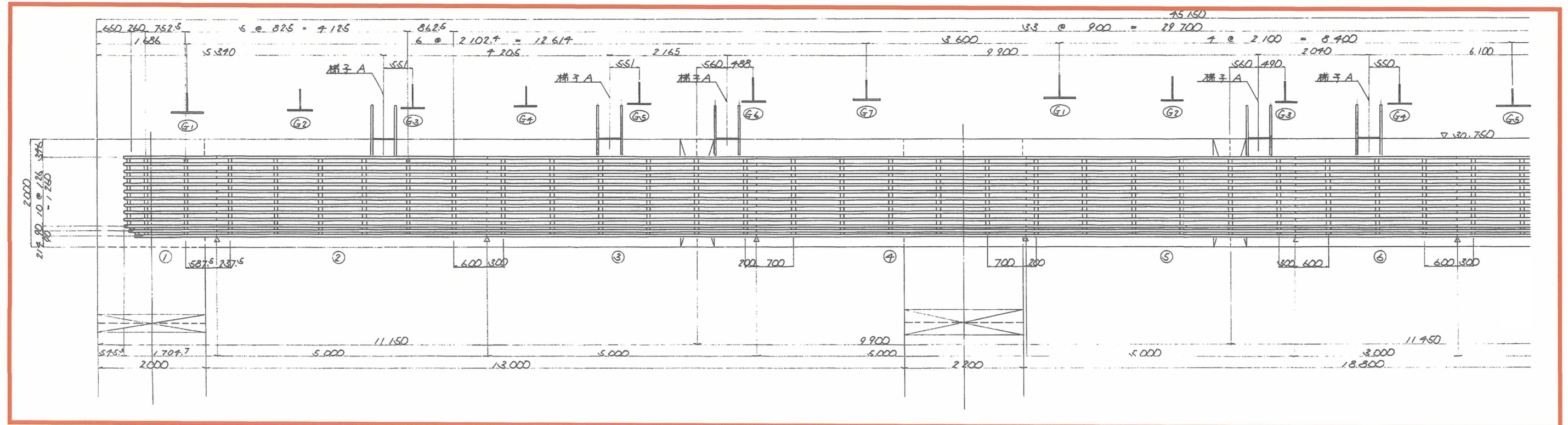
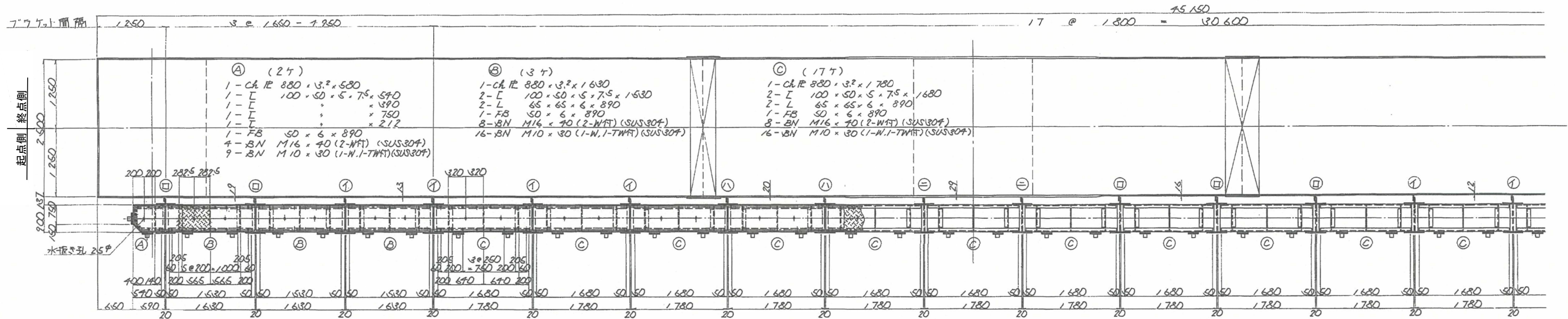
及びボルト以外の鋼材は溶融亜鉛メッキ処理とし、付着量は JIS-H 9641-2 種 HDZ55 とする。

3. *印部材は下部工にて計上する。
4. 図中 TW, W は下記の通りである。
TW : テーパーワッシャー
W : ワッシャー

2- PiPe 34.0φ × 2.3 × 1967 (STK41)
2- PiPe 34.0φ × 2.3, 454 (,)
2- PiPe 34.0φ × 2.3 × 487 (,)

2-FB 65 × 6 × 386
5-RB 22Φ × 405
2-R 100 × 9 × 150
4-R 100 × 9 × 283
10-BN M16 × 45 (2-Wt) (SUS304)
※ 2-Conn R 100 × 9 × 130
※ 4-Conn R 100 × 9 × 180

東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準検査路 撤去図・新設図 (鋼製橋脚 単柱式) (その2) 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		



① (1ヶ)
3-□ 50×50×3.2×1292 (STKR41)
3-□ 233 (")
11-Pipe 42.7φ×2.3×2616 (STKR41)
1-Pipe 34φ×2.3×100 (")
1-Pipe 200×6×220
13-Pipe 34φ×2.3×100 (")
6-IL 200×6×220
12-BN M16×45 (2-WFT) (SUS304)

② (1ヶ)
6-□ 50×50×3.2×1292 (STKR41)
6-□ 233 (")
13-Pipe 42.7φ×2.3×2616 (STKR41)
13-Pipe 34φ×2.3×100 (")
12-IL 200×6×220
24-BN M16×45 (2-WFT) (SUS304)

③ (2ヶ)
6-□ 50×50×3.2×1292 (STKR41)
6-□ 233 (")
13-Pipe 42.7φ×2.3×2616 (STKR41)
13-Pipe 34φ×2.3×100 (")
12-IL 200×6×220
24-BN M16×45 (2-WFT) (SUS304)

④ (2ヶ)
5-□ 50×50×3.2×1292 (STKR41)
5-□ 233 (")
13-Pipe 42.7φ×2.3×2616 (STKR41)
13-Pipe 34φ×2.3×100 (")
10-IL 200×6×220
20-BN M16×45 (2-WFT) (SUS304)

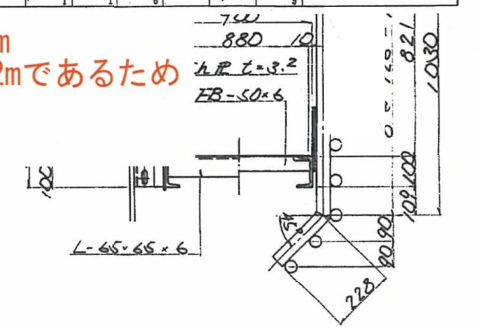
⑤ (1ヶ)
6-□ 50×50×3.2×1292 (STKR41)
6-□ 233 (")
13-Pipe 42.7φ×2.3×2616 (STKR41)
13-Pipe 34φ×2.3×100 (")
12-IL 200×6×220
24-BN M16×45 (2-WFT) (SUS304)

⑥ (1ヶ)
3-□ 50×50×3.2×1292 (STKR41)
3-□ 233 (")
13-Pipe 42.7φ×2.3×2616 (STKR41)
13-Pipe 34φ×2.3×100 (")
6-IL 200×6×220
12-BN M16×45 (2-WFT) (SUS304)

検査路撤去・新設範囲=45.2m

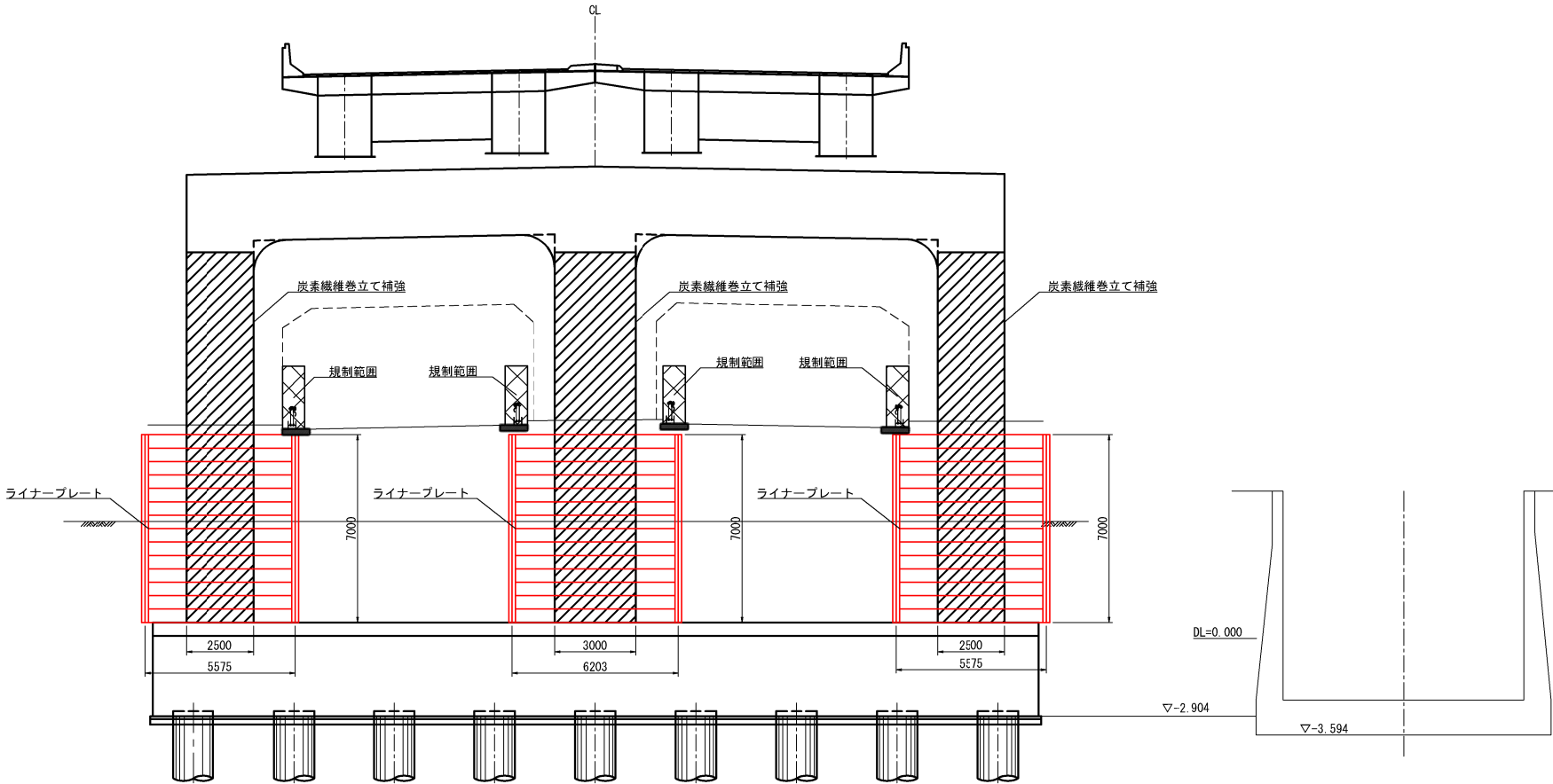
- 注)
- 特記の材料は、全て SUS41 とする。
 - ボルト以外の鋼材は、溶接部を溶接処理とし、付着量は JIS H8641-2 種 H2D に従う。
 - フラット等は、下部工検査路 (その1、5) を参照する。
 - △印は、継ぎ位置を示す。

東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準検査路 撤去図・新設図 (鋼製橋脚 ラーメン式) (その1) 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

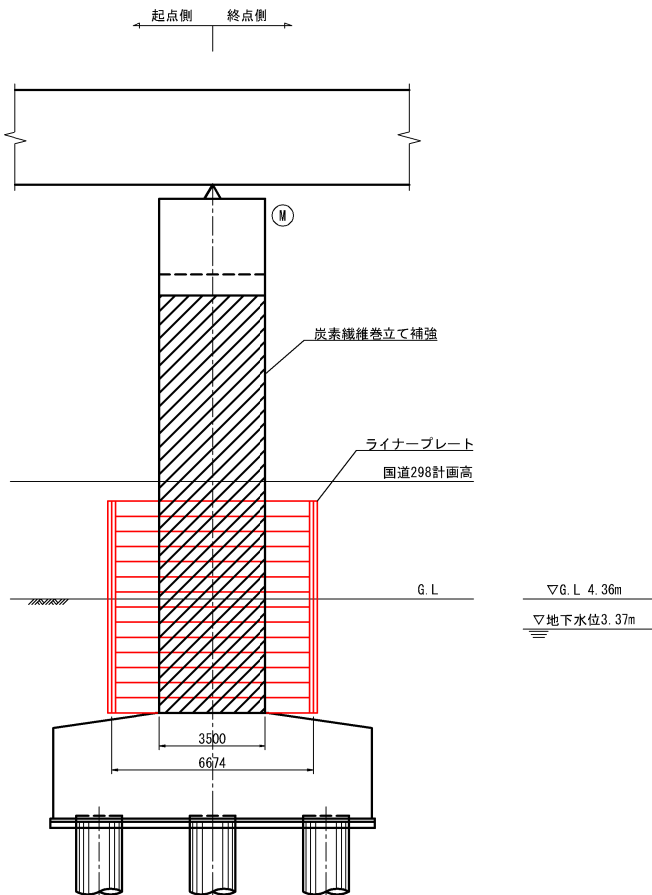
[illegible]

10/3
P1～P5における検査路総延長は253.0m
P4橋脚における検査路撤去延長は45.2mであるため
検査路撤去・設置工における数量
 $M = 15028 \div 253.0 \times 45.2 = 2.7t$

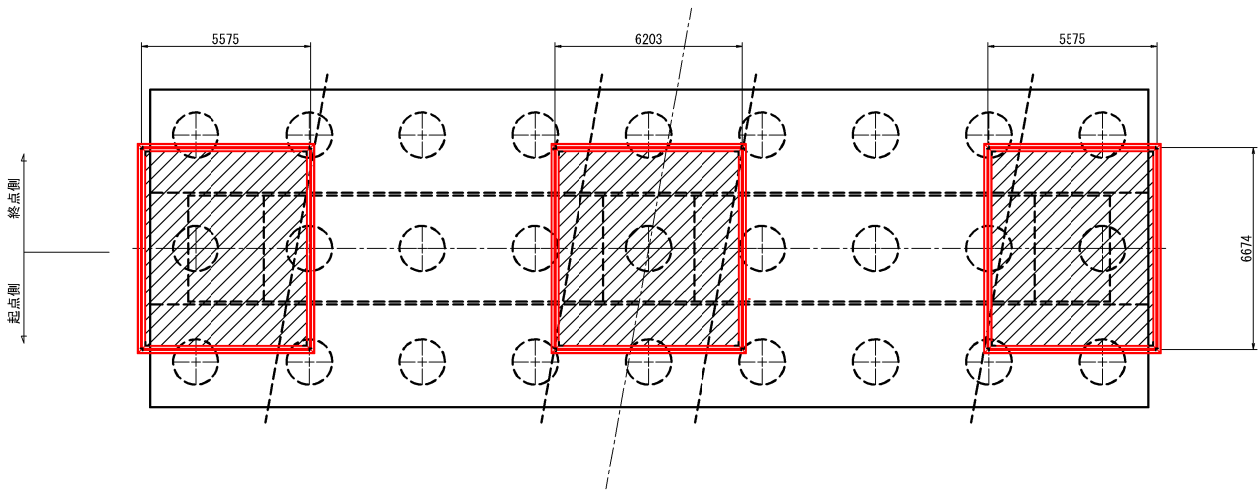
正面図



側面図

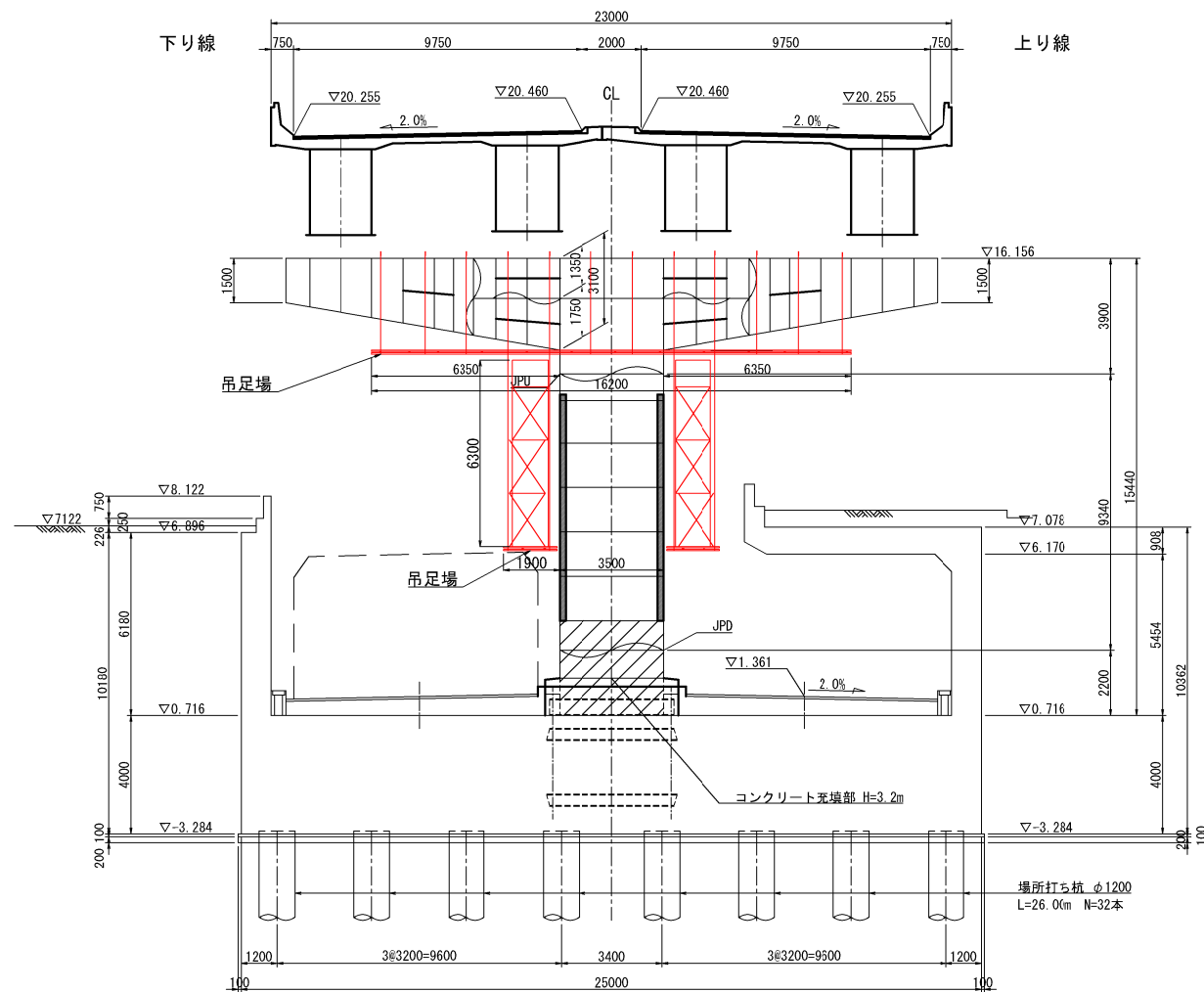


平面図

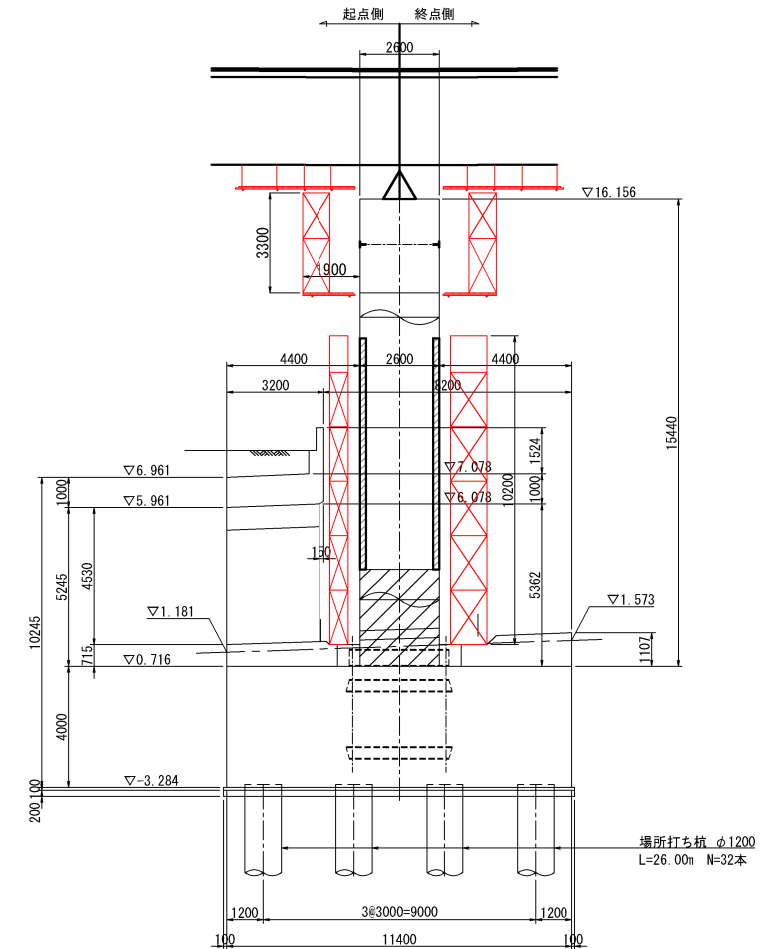


東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準施工計画案（構造物掘削）参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

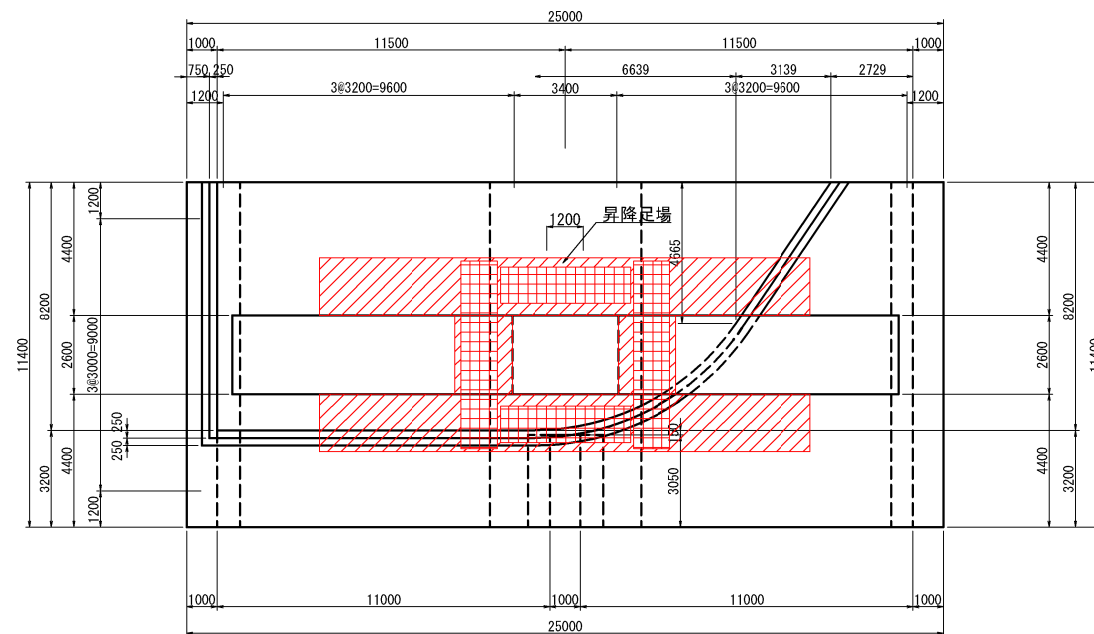
正面図



側面図



平面図



凡例

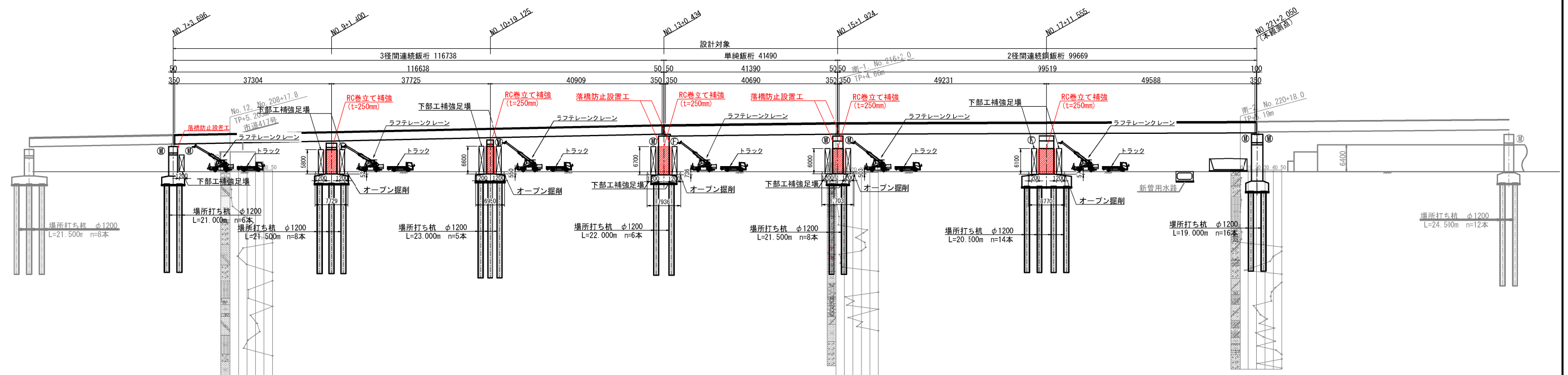


施工方法一覽

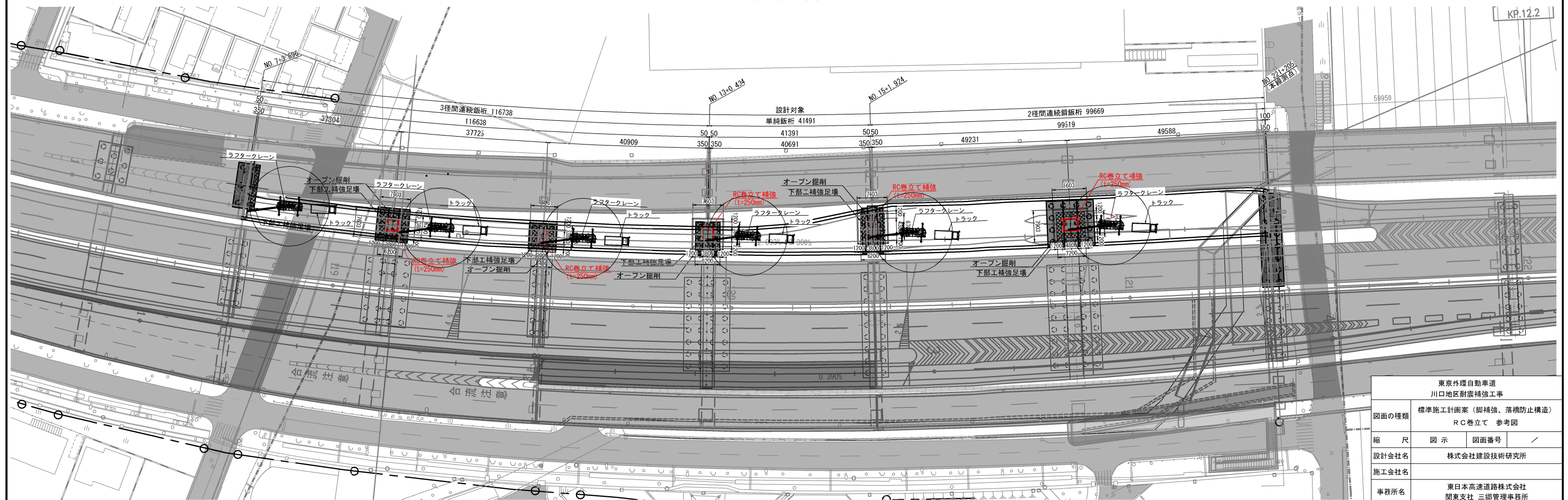
施工部位	施工方法
パラメータ補強	重量物対応吊り足場
角補強	重量物対応吊り足場 高所作業車（建築限界範囲内）

東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準施工計画案（足場工）参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

側面図

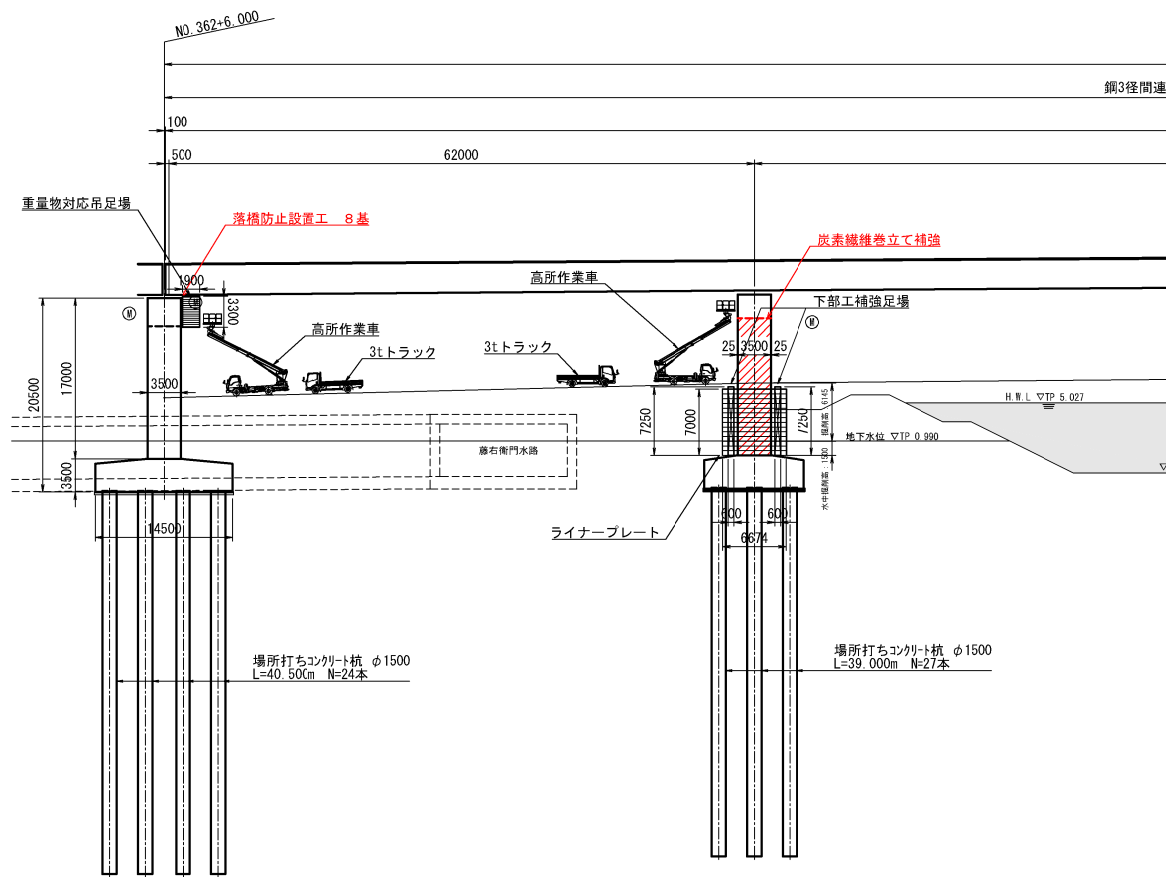


平面図

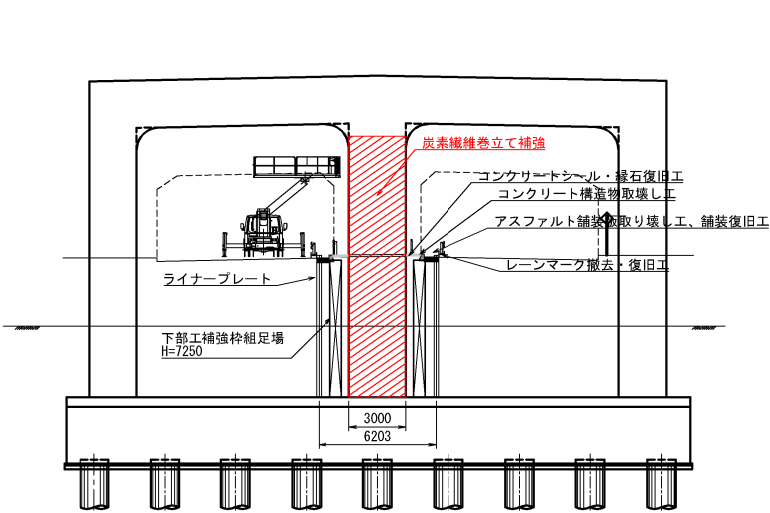


東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準施工計画案（脚補強、落橋防止構造）	RC巻立て 参考図	
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	関東支社 三郷管理事務所		

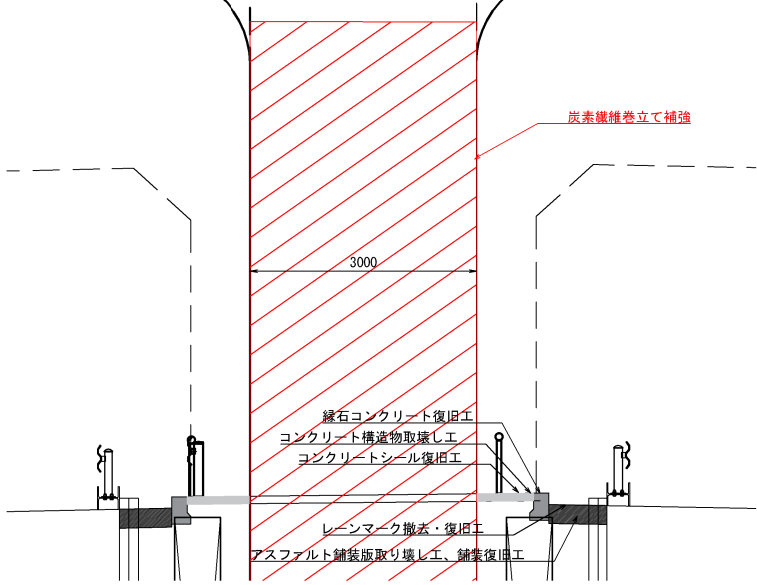
側面図



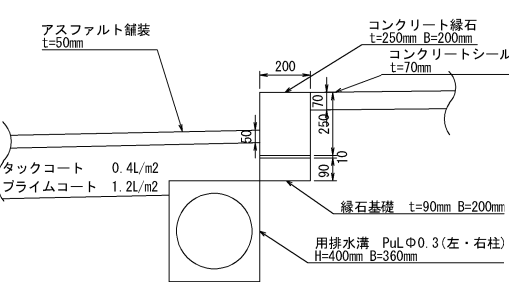
正面図 S=1:400



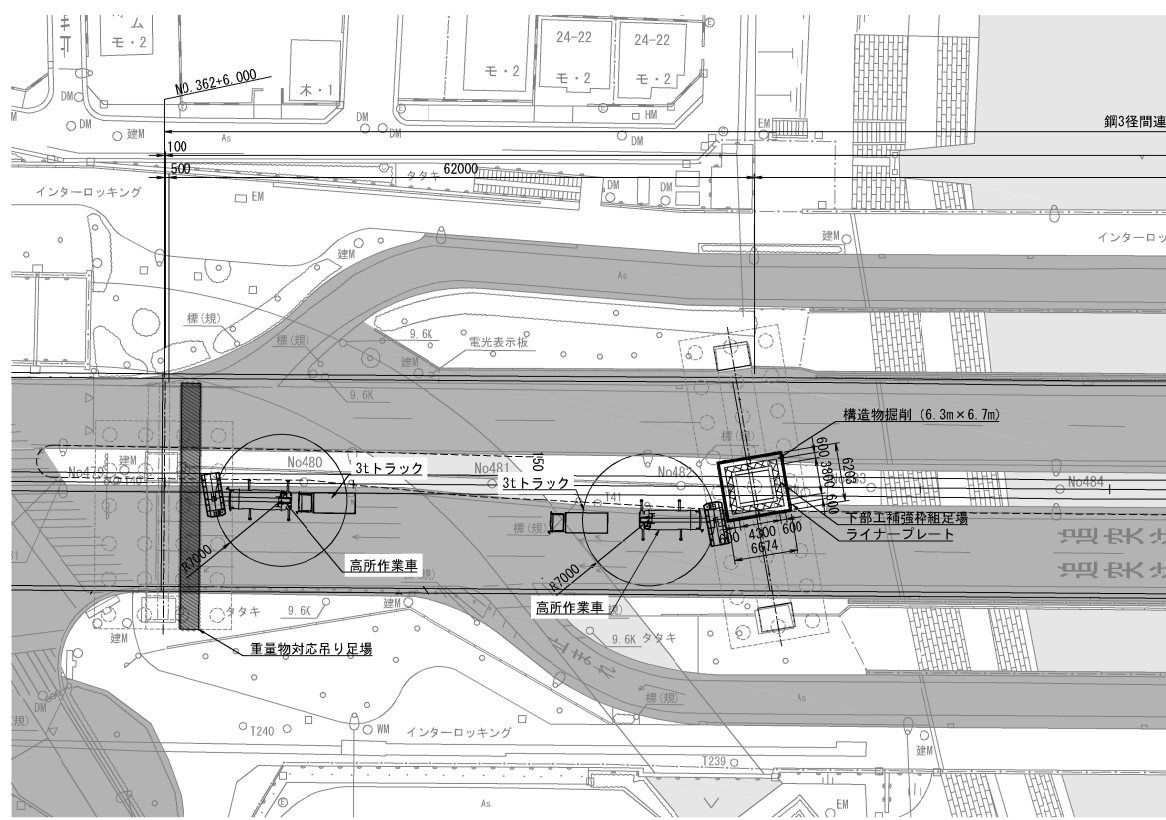
施工ヤード詳細図 S=1:100



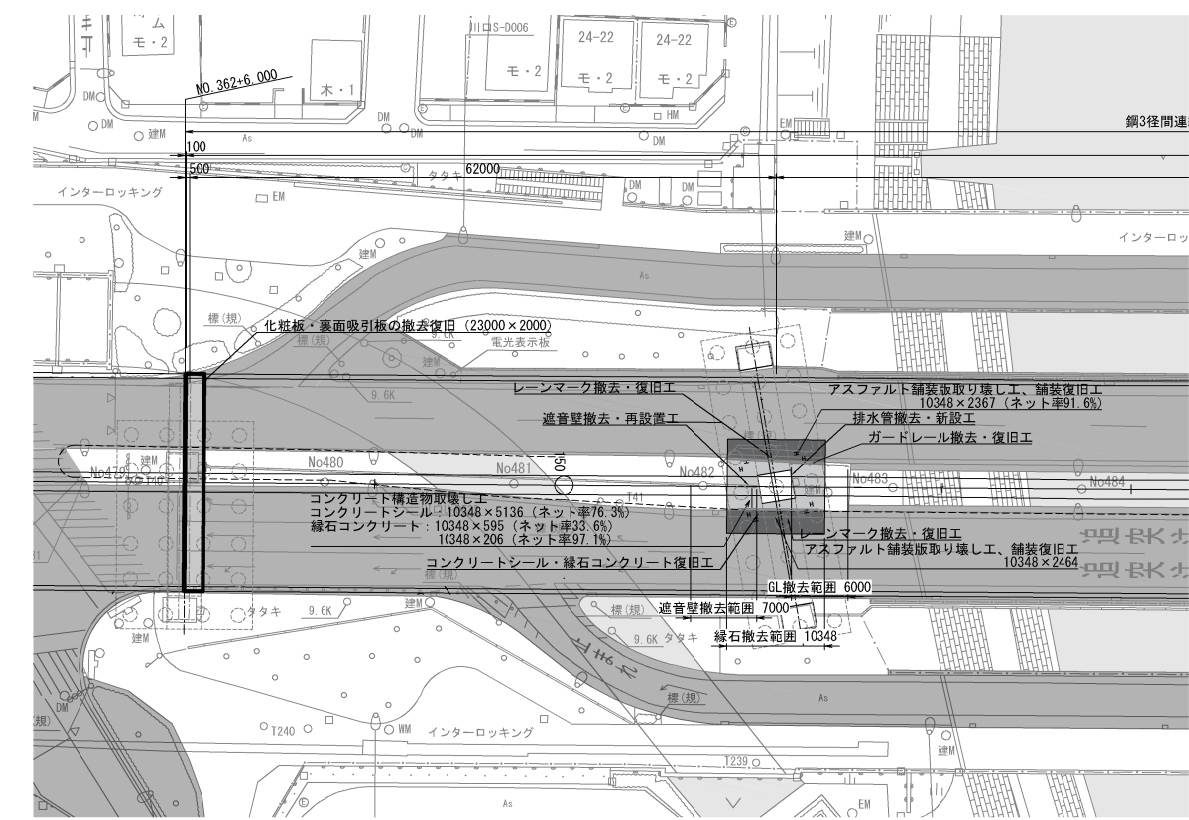
中央分離帯構造図(想定) S=1:30



平面図



平面図



施工凡例

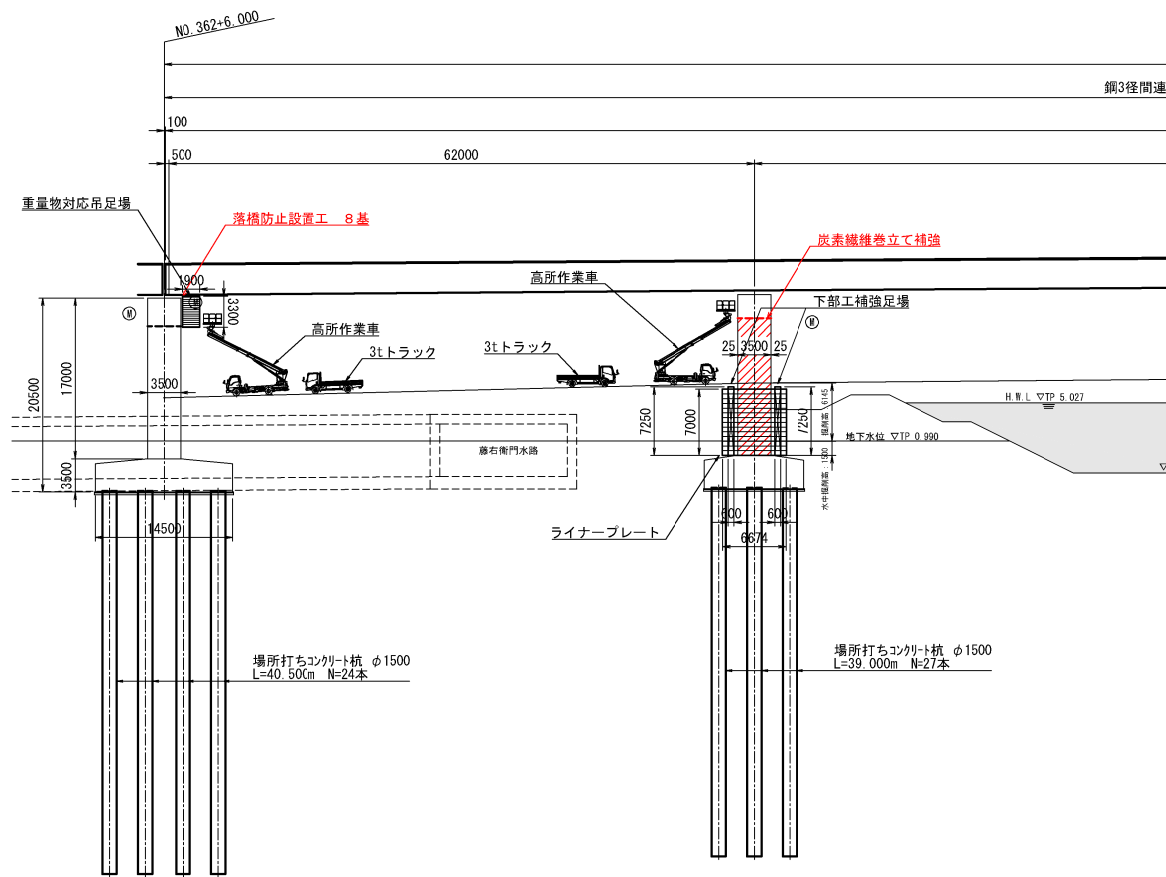
■	現況道路(国道)
■	現況道路(側道・交差道路)
■	河川・水路
—	工事用重機

施工時

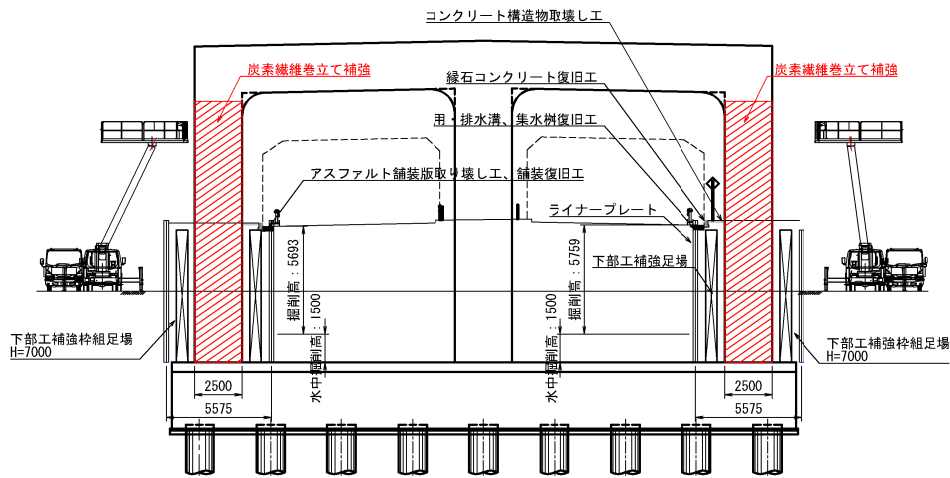
撤去・復旧時

東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準施工計画案（脚補強、落橋防止構造） 炭素繊維巻立て（その1）参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

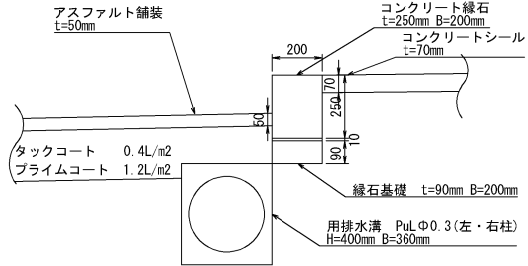
側面図



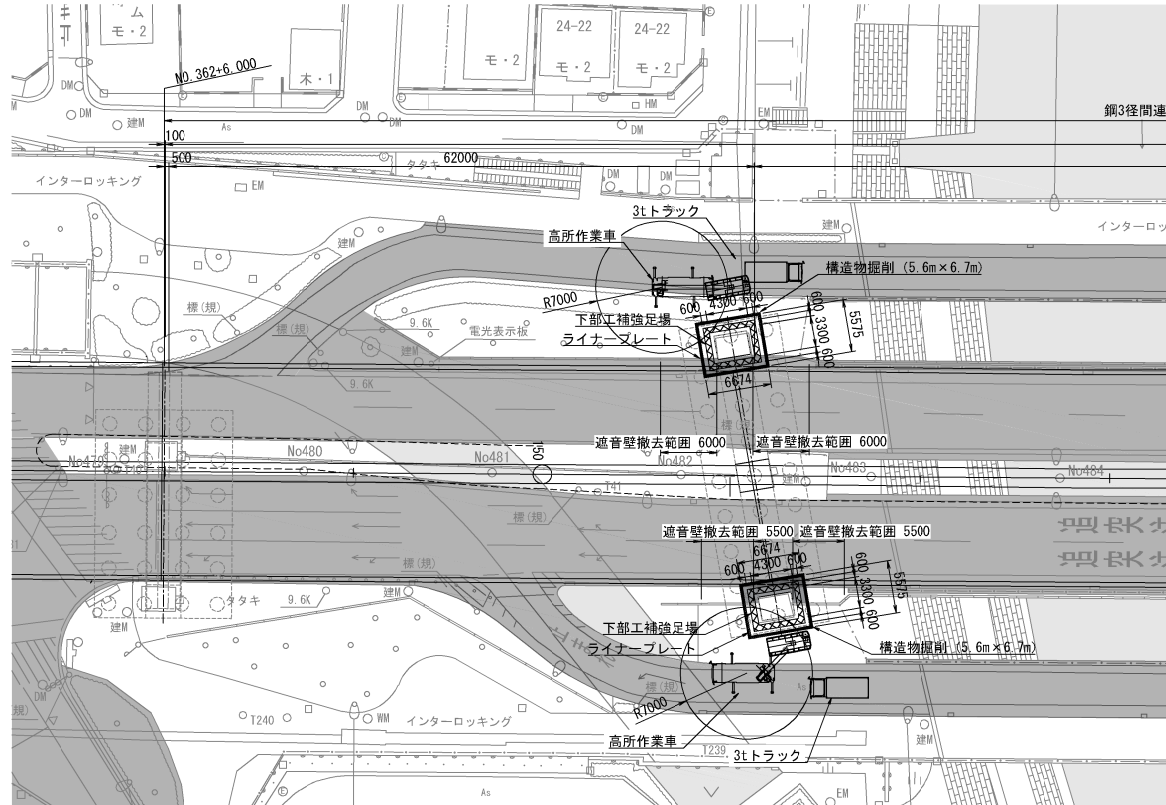
正面図 S=1:400



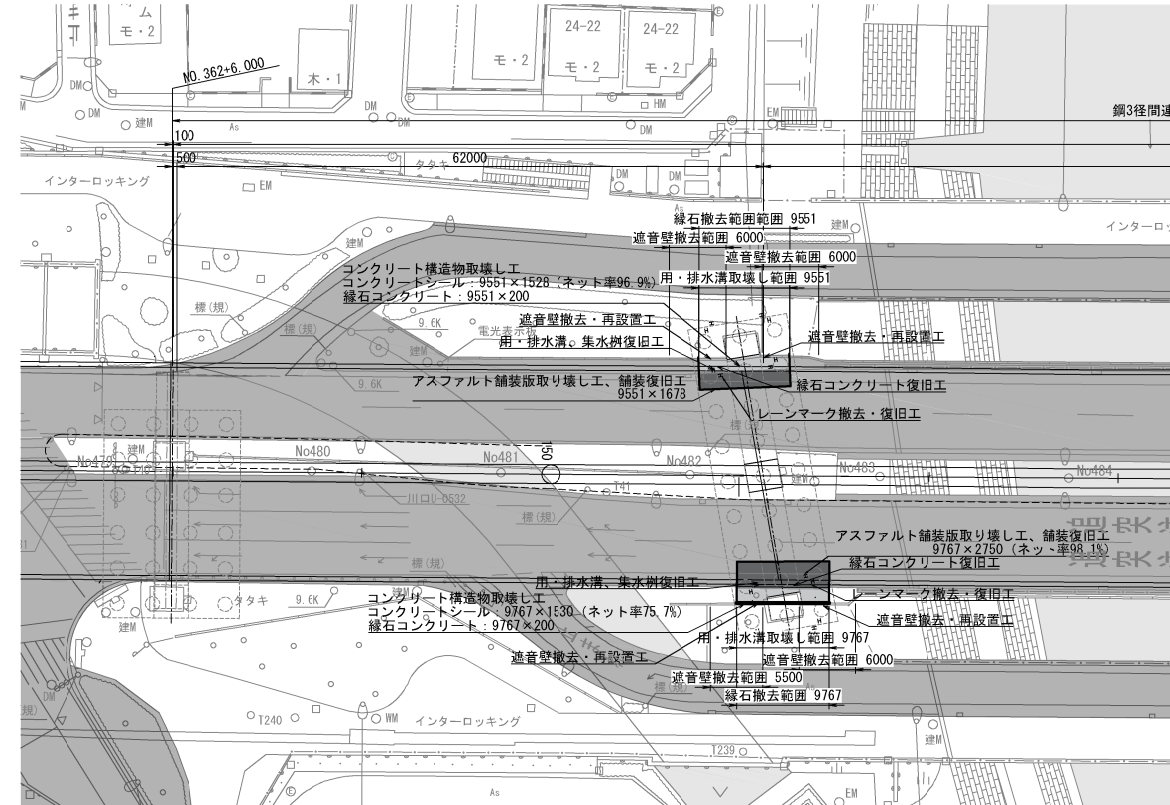
中央分離帯構造図(想定) S=1:30



平面図



平面図



施工凡例	
■	現況道路(国道)
■	現況道路(側道・交差道路)
■	河川・水路
—	工事用重機

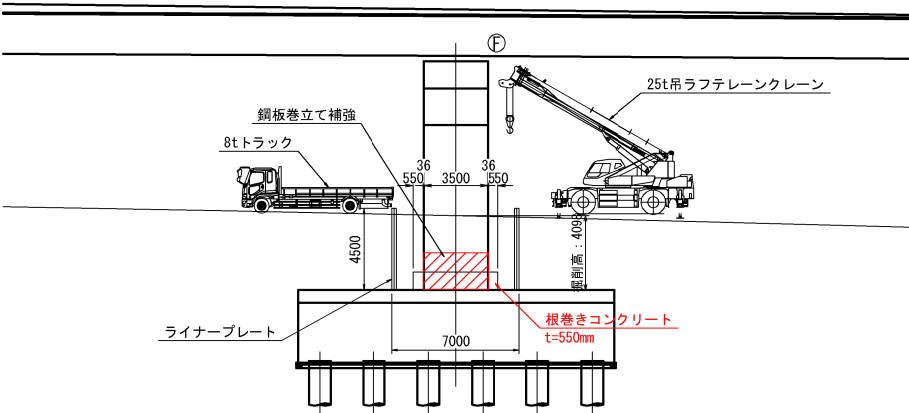
施工時

撤去・復旧時

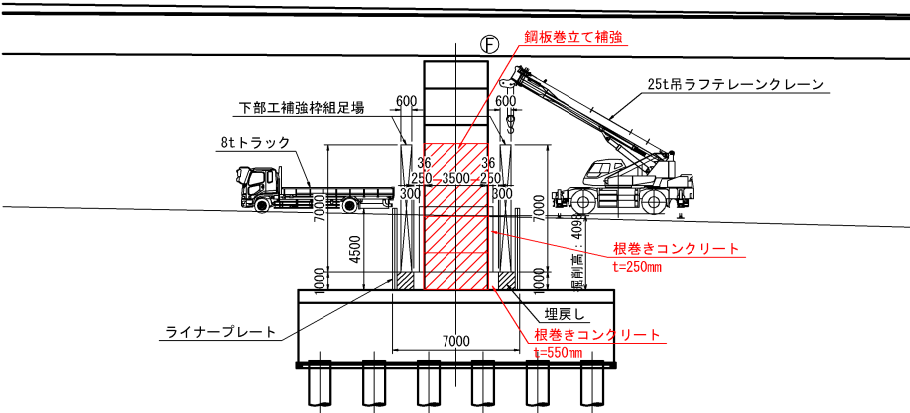
東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準施工計画案（脚補強、落橋防止構造） 炭素繊維巻立て（その2）参考図		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

標準施工計画案（脚補強）鋼板巻立て（その1）参考図 縮尺 1:400

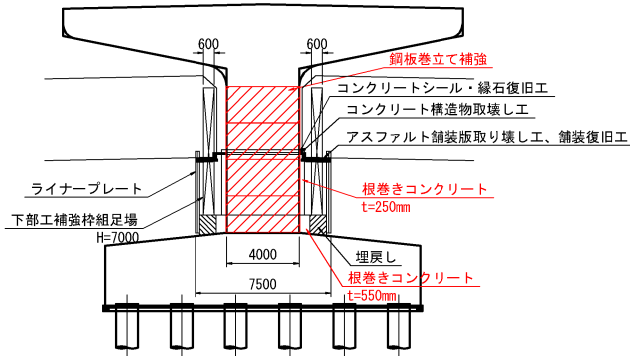
側面図
鋼板基部



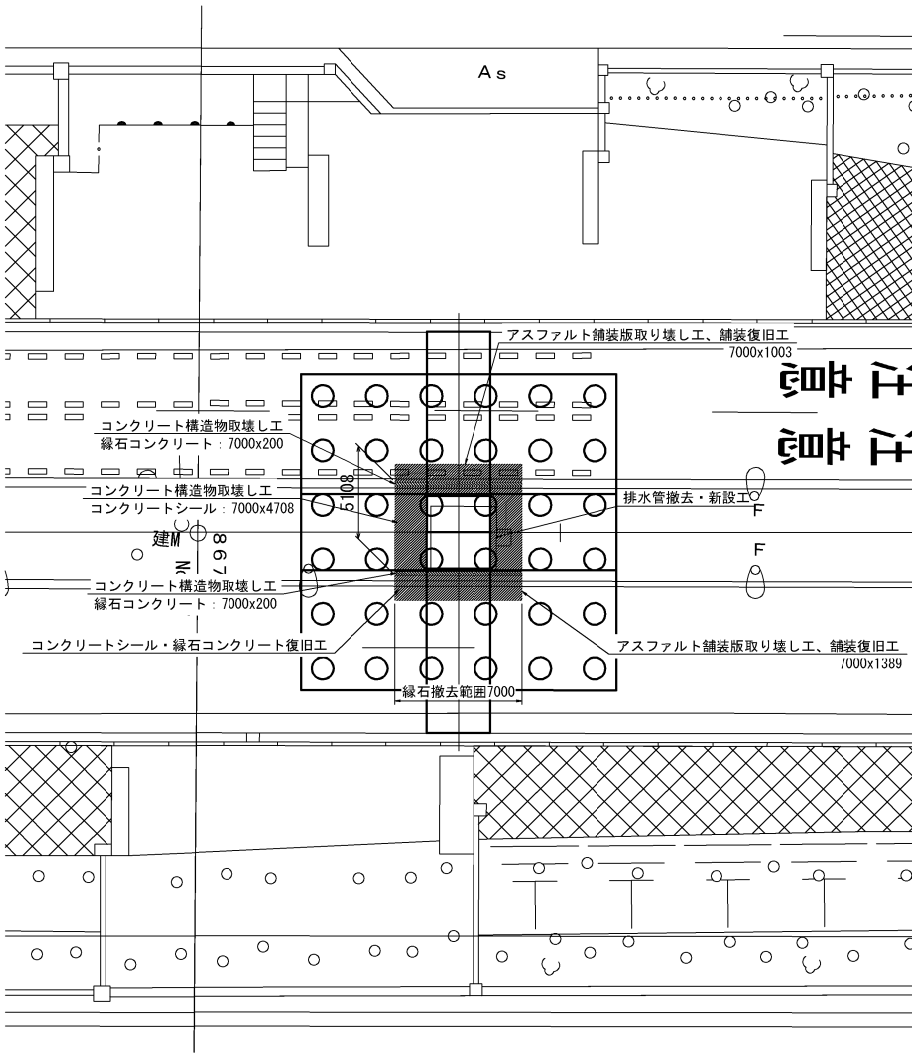
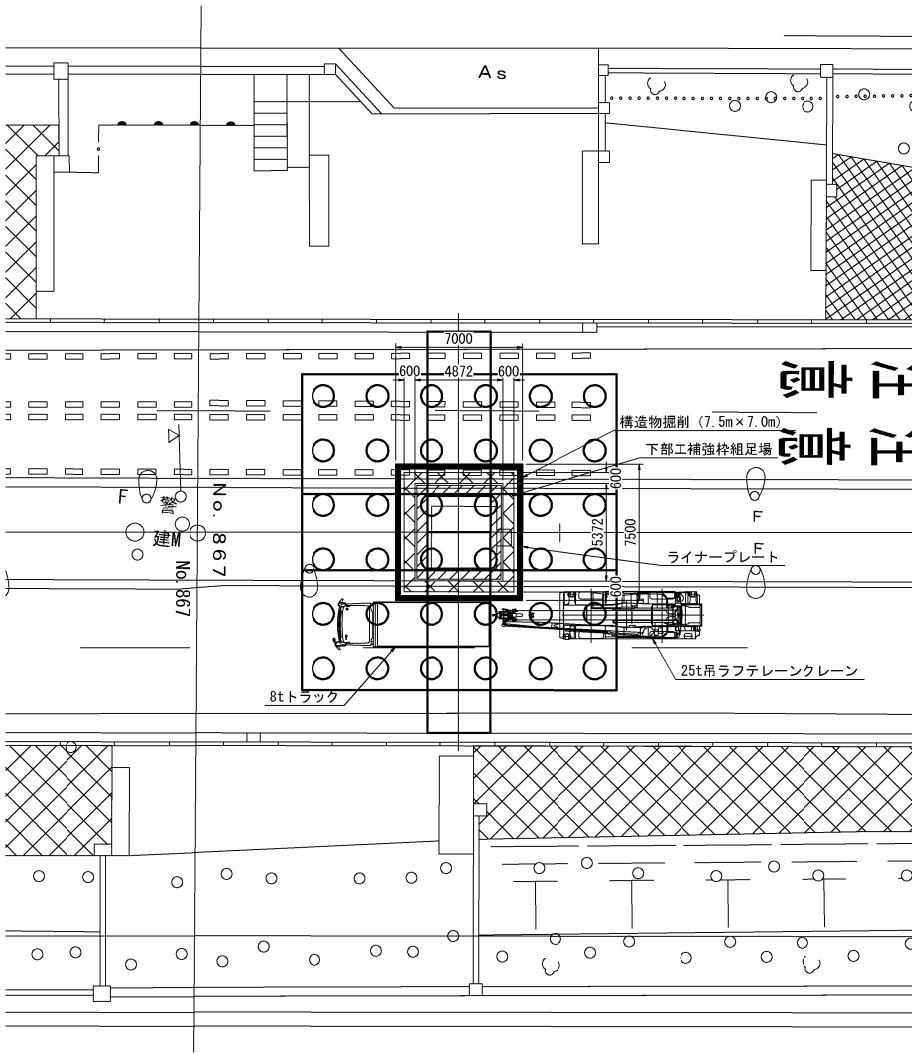
側面図
標準部



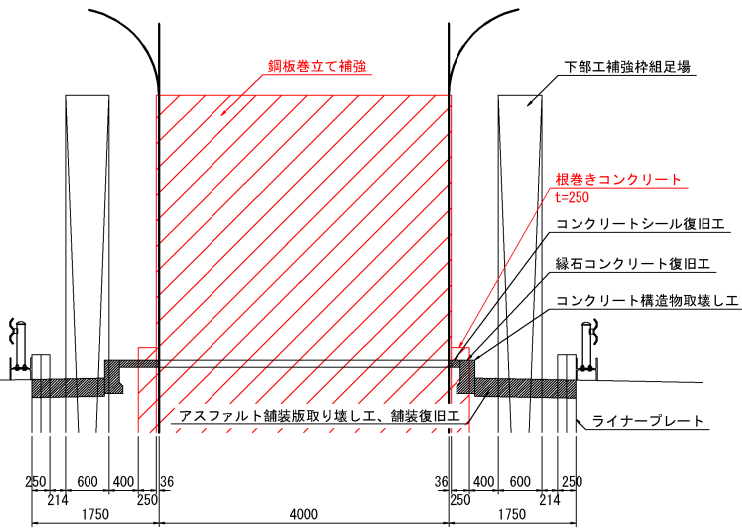
正面図



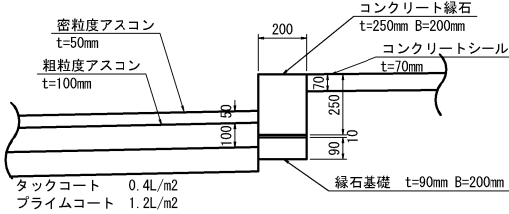
平面図



施工ヤード詳細図 S=1:100



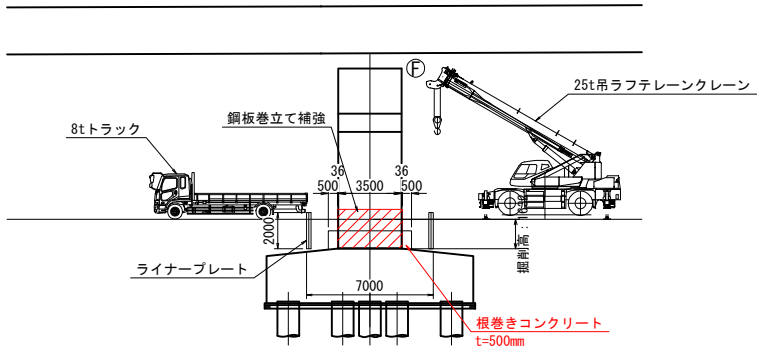
中央分離帯構造図（想定） S=1:30



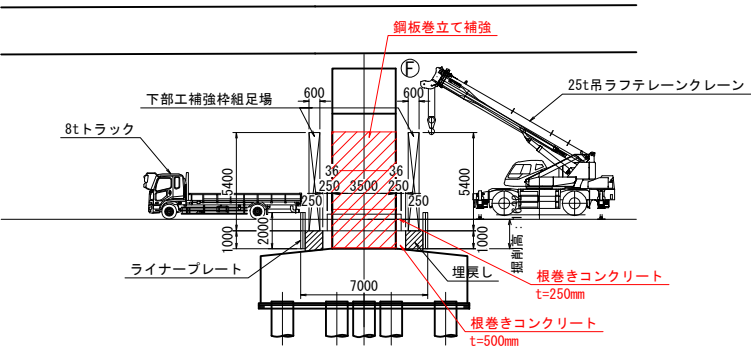
東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準施工計画案（脚補強） 鋼板巻立て（その1）参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名	株式会社エイト日本技術開発		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

標準施工計画案（脚補強）鋼板巻立て（その2）参考図 縮尺 1:400

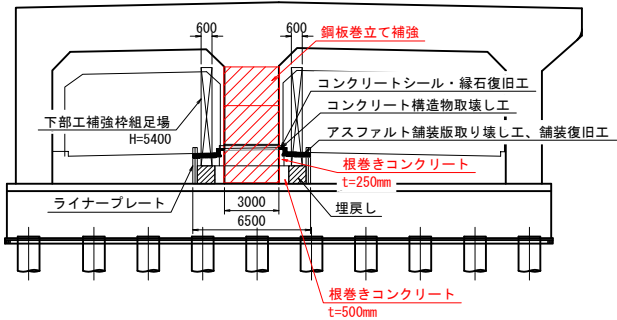
中央柱
側面図
鋼板基部



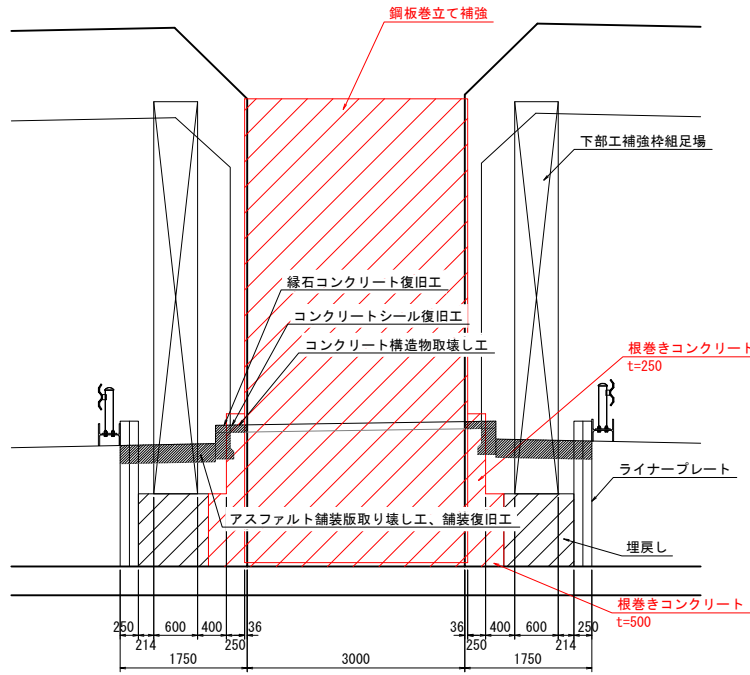
中央柱
側面図
標準部



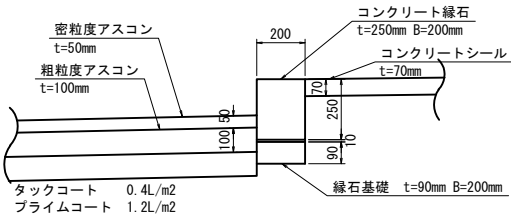
正面図



施工ヤード詳細図 S=1:100

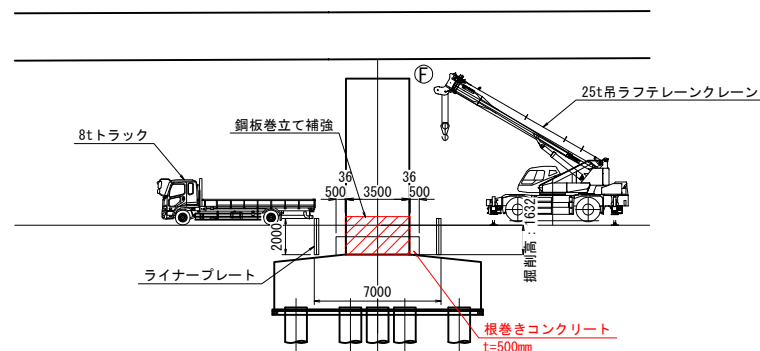


中央分離帯構造図(想定) S=1:30

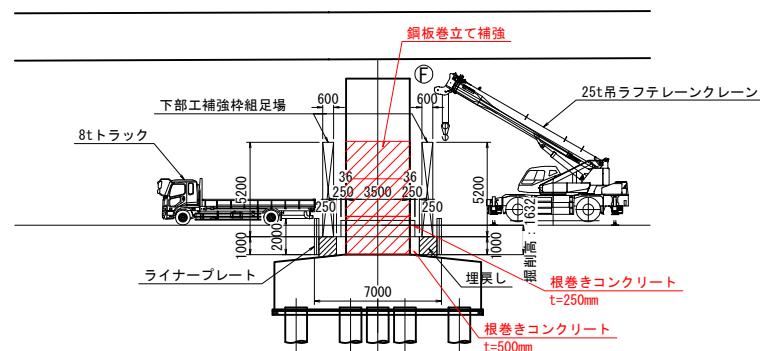


東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準施工計画案（脚補強） 鋼板巻立て（その2）参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

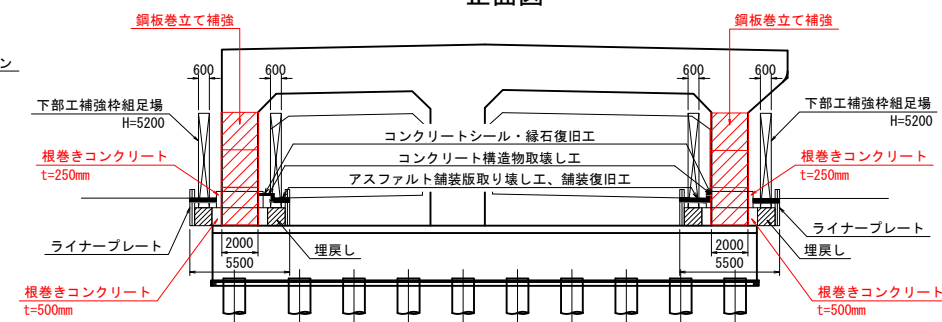
左側柱, 右側柱
側面図
鋼板基部



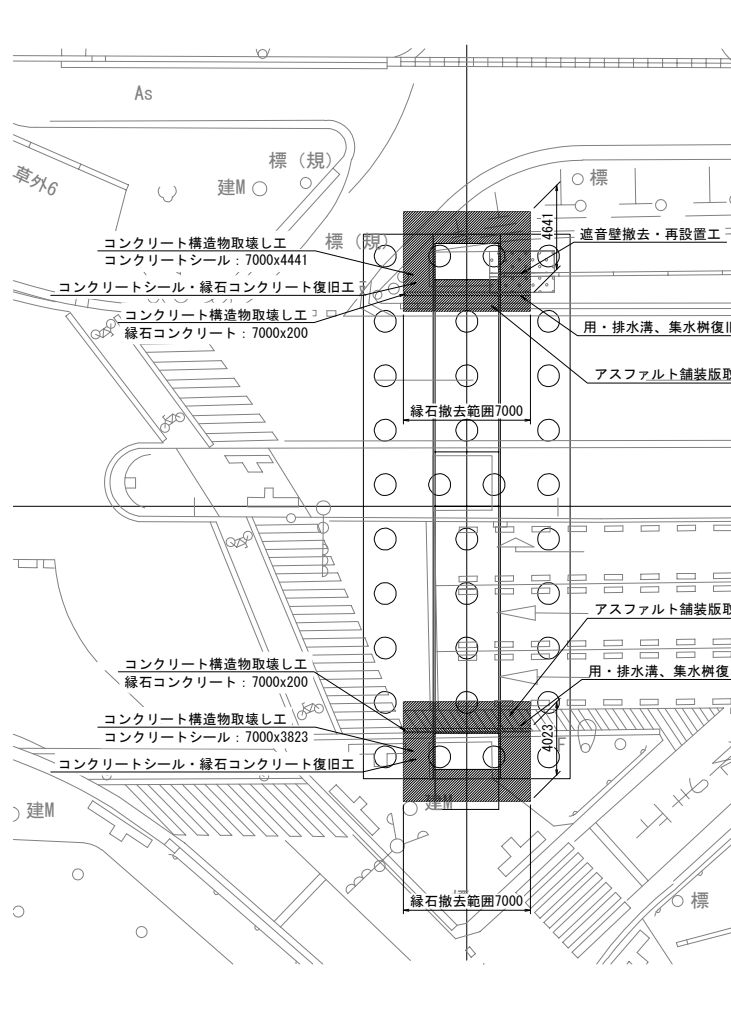
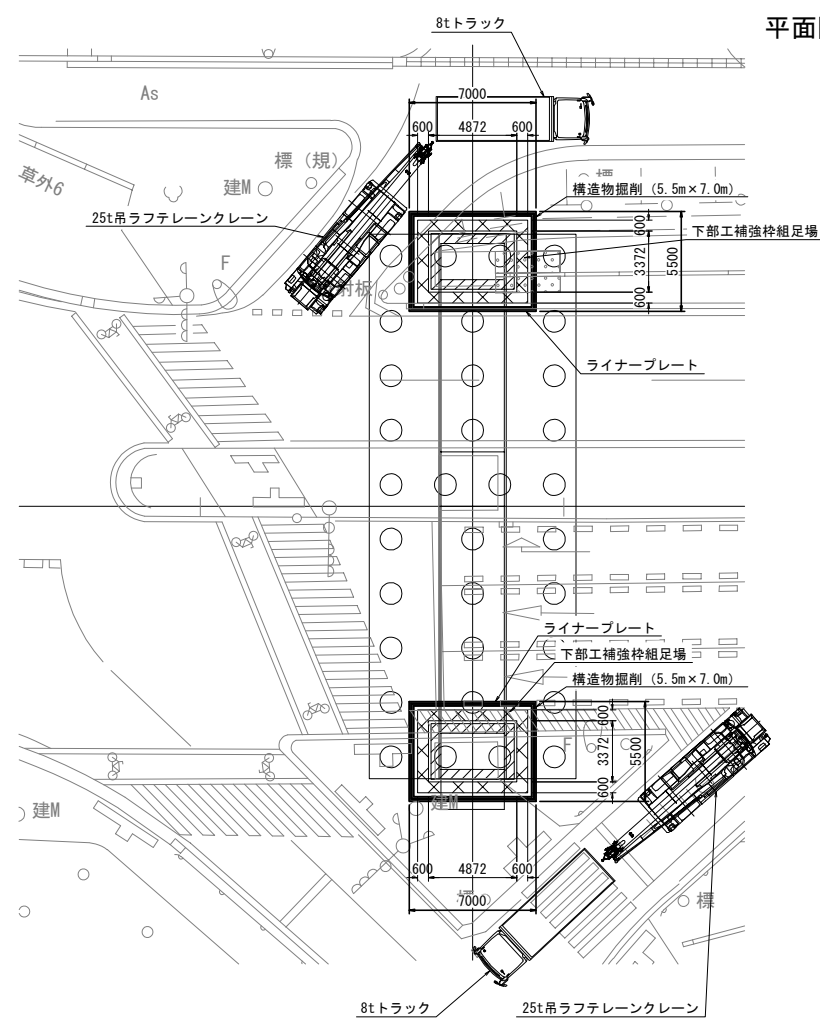
左側柱, 右側柱
側面図
標準部



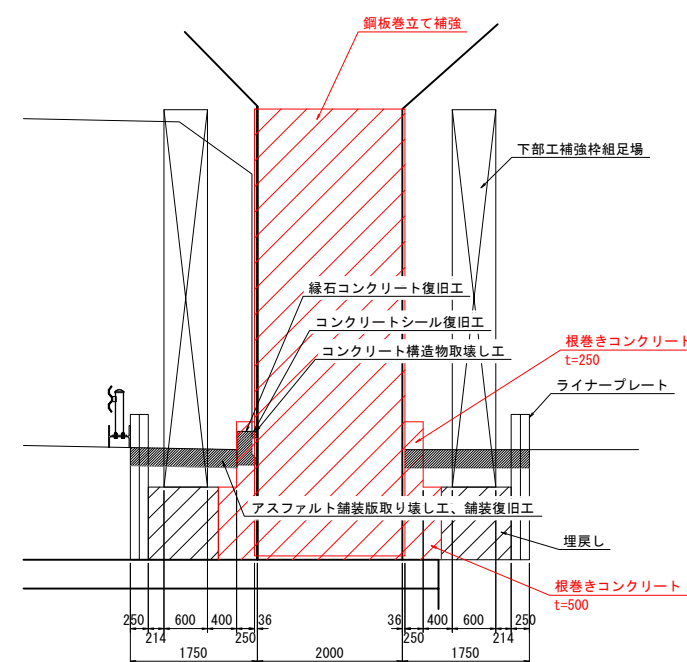
正面図



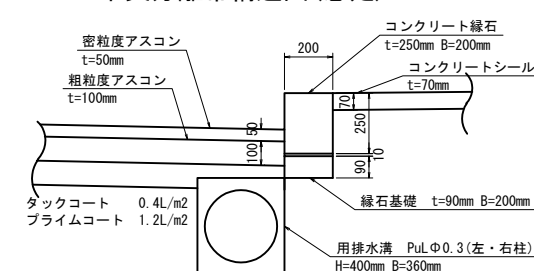
平面图



施工ヤード詳細図 S=1:100

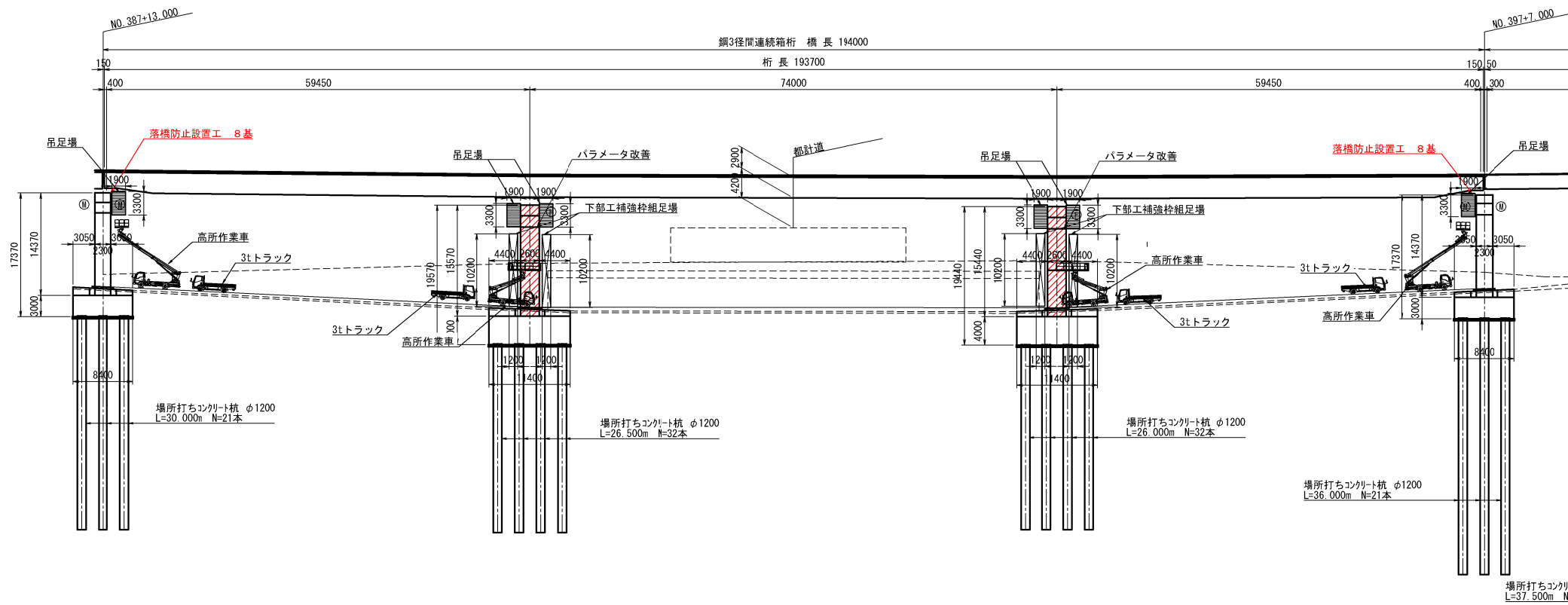


中央分離帯構造図(想定) S=1:30

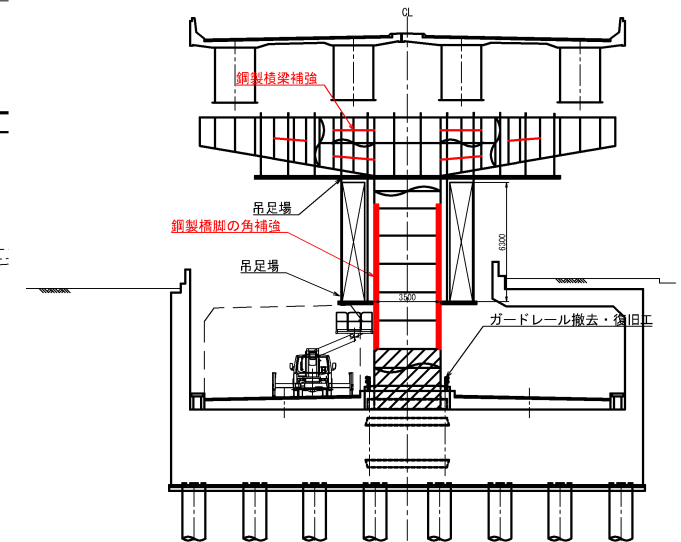


東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	橋樑施工計画案（御補強） 鋼板巻立て（その３）参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社イト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

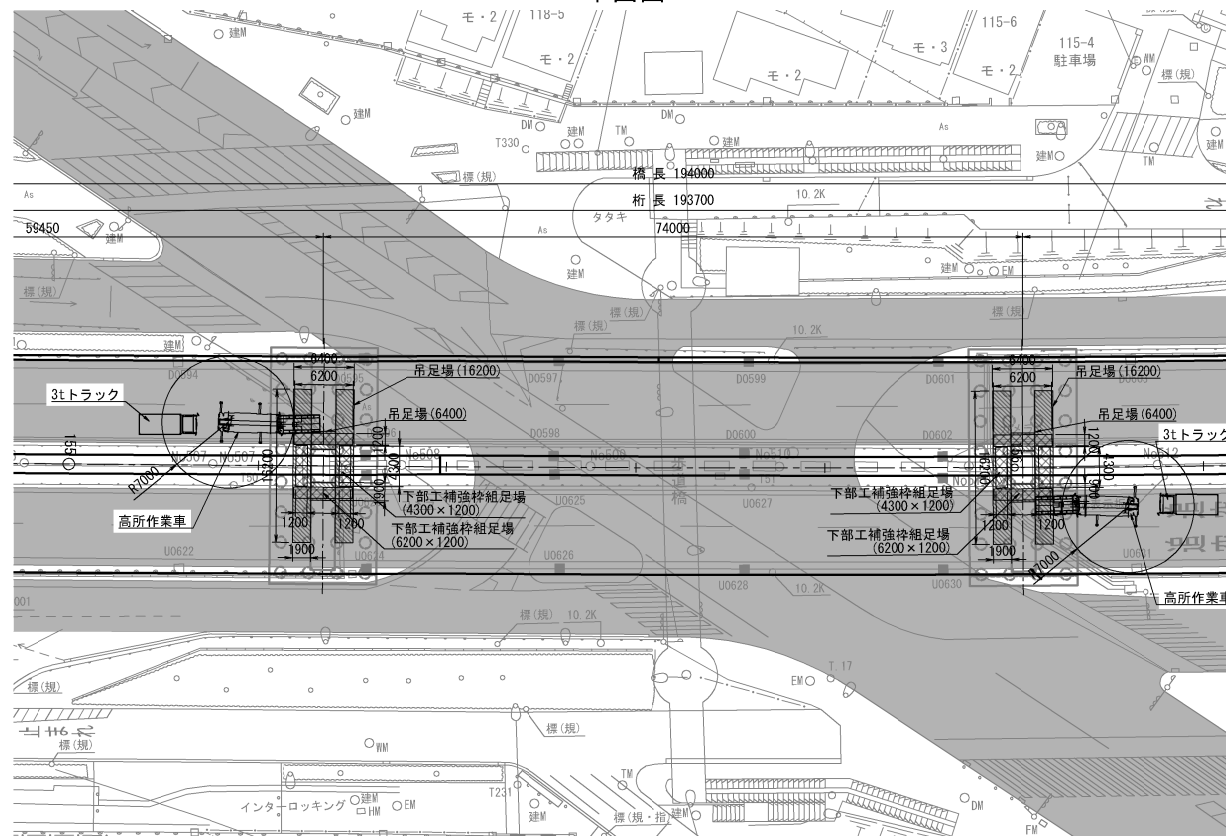
側面図



正面图 S=1:400

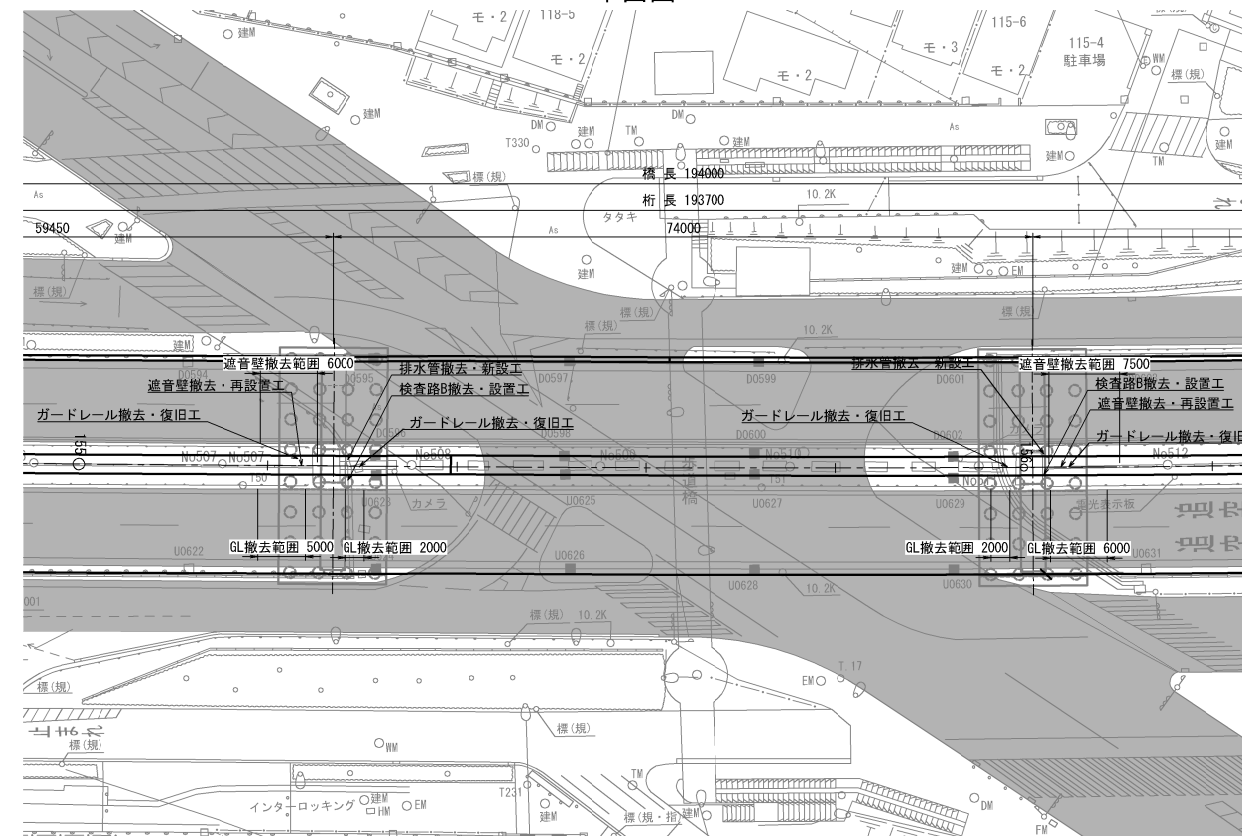


平面图



施工時

平面图



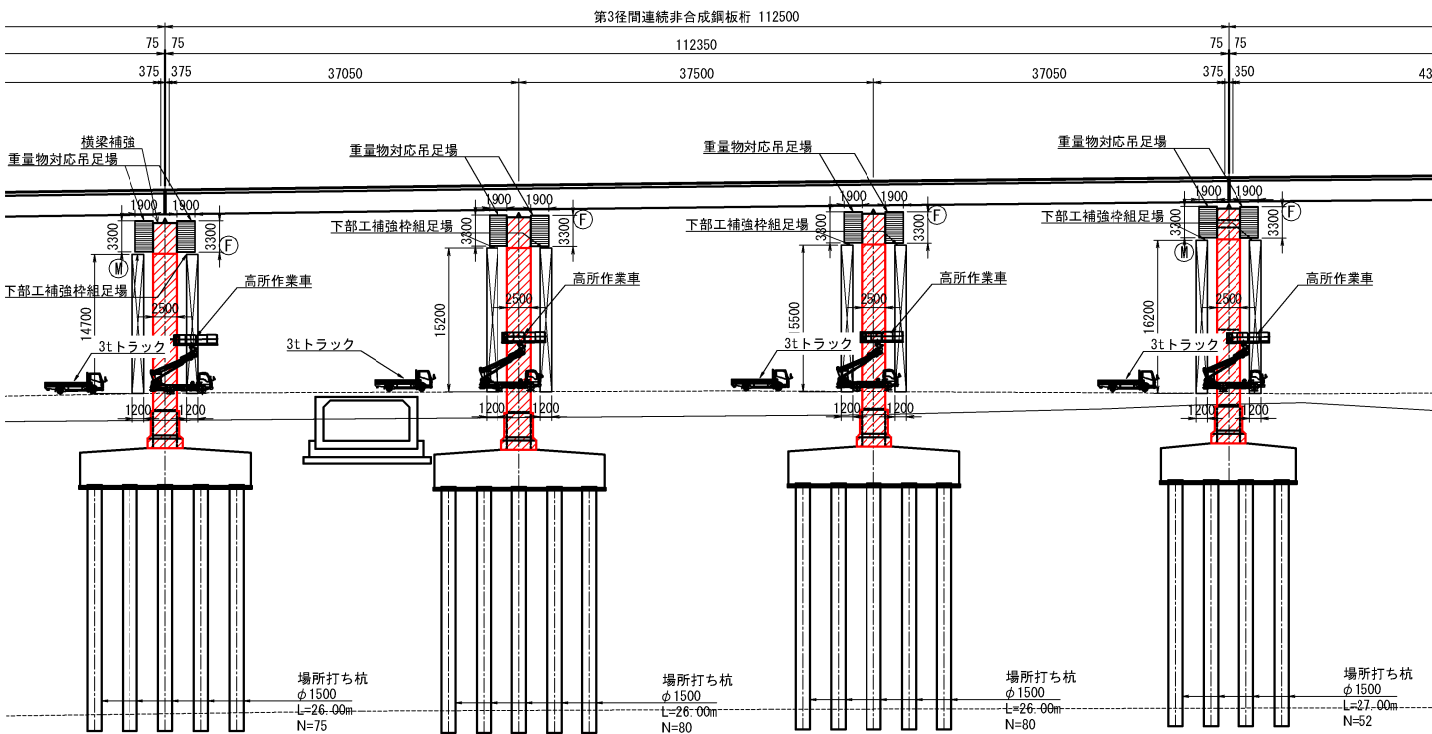
撤去・復旧時

施工凡例

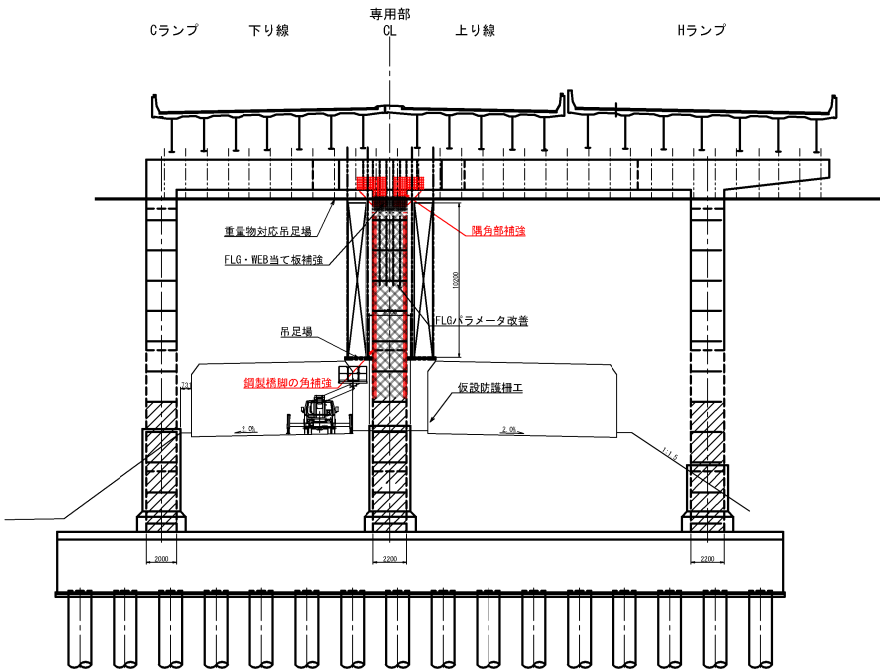
- 現況道路(国道)
- 現況道路(側道・交差道路)
- 河川・水路
- 工事用重機

東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準施工計画案（脚補強、落橋防止構造） 鋼架橋脚（その1） 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

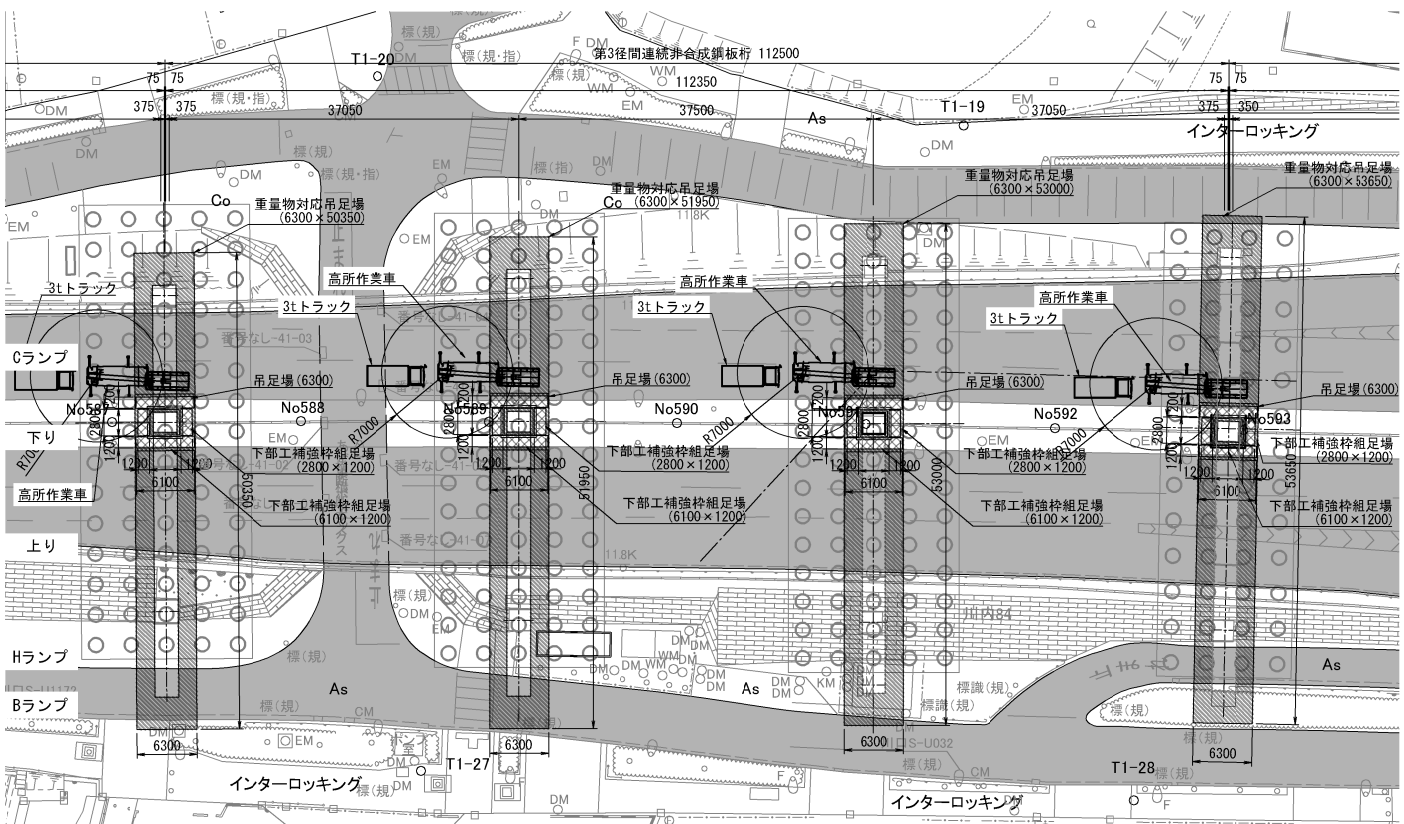
側面図



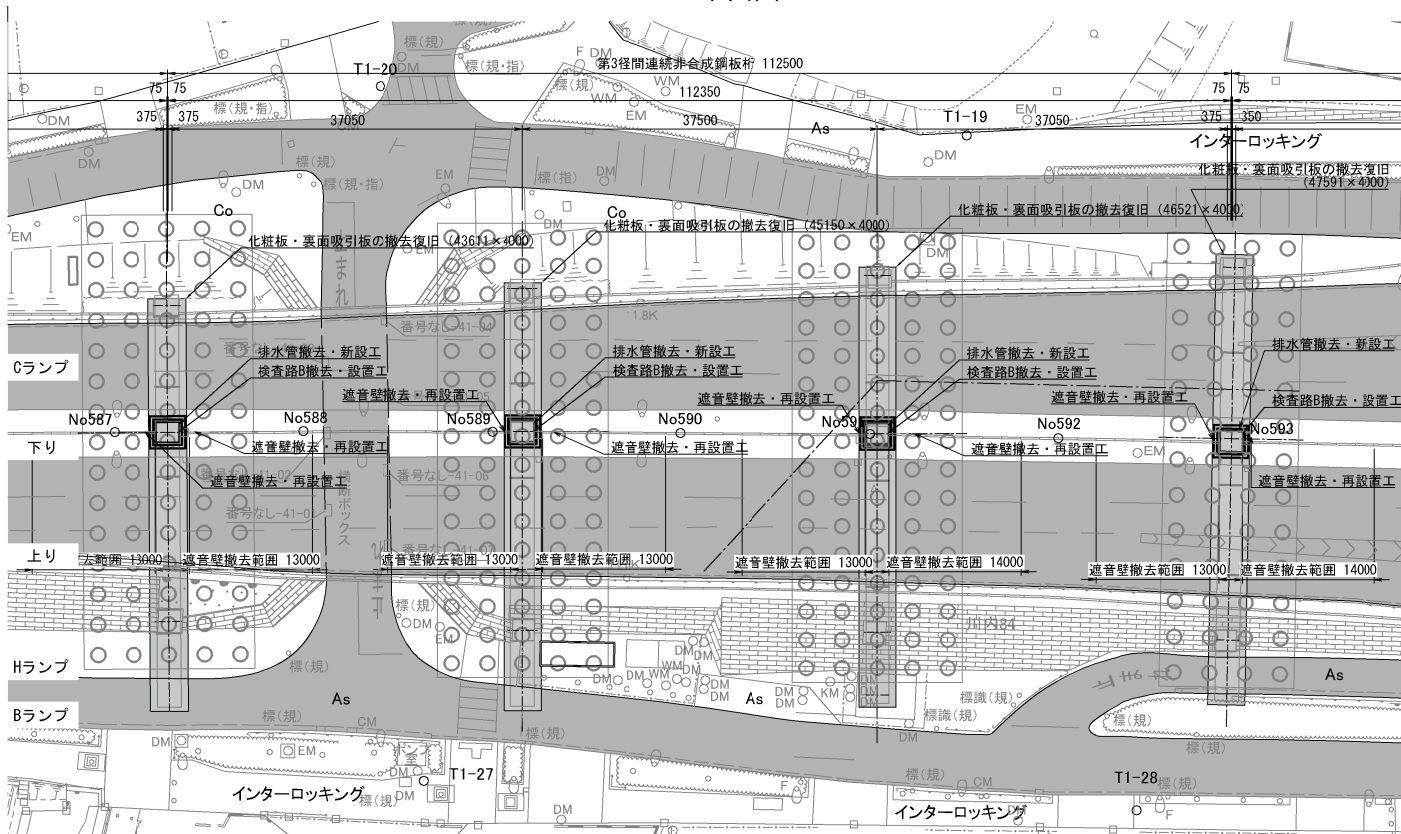
正面図 S=1:500



平面図



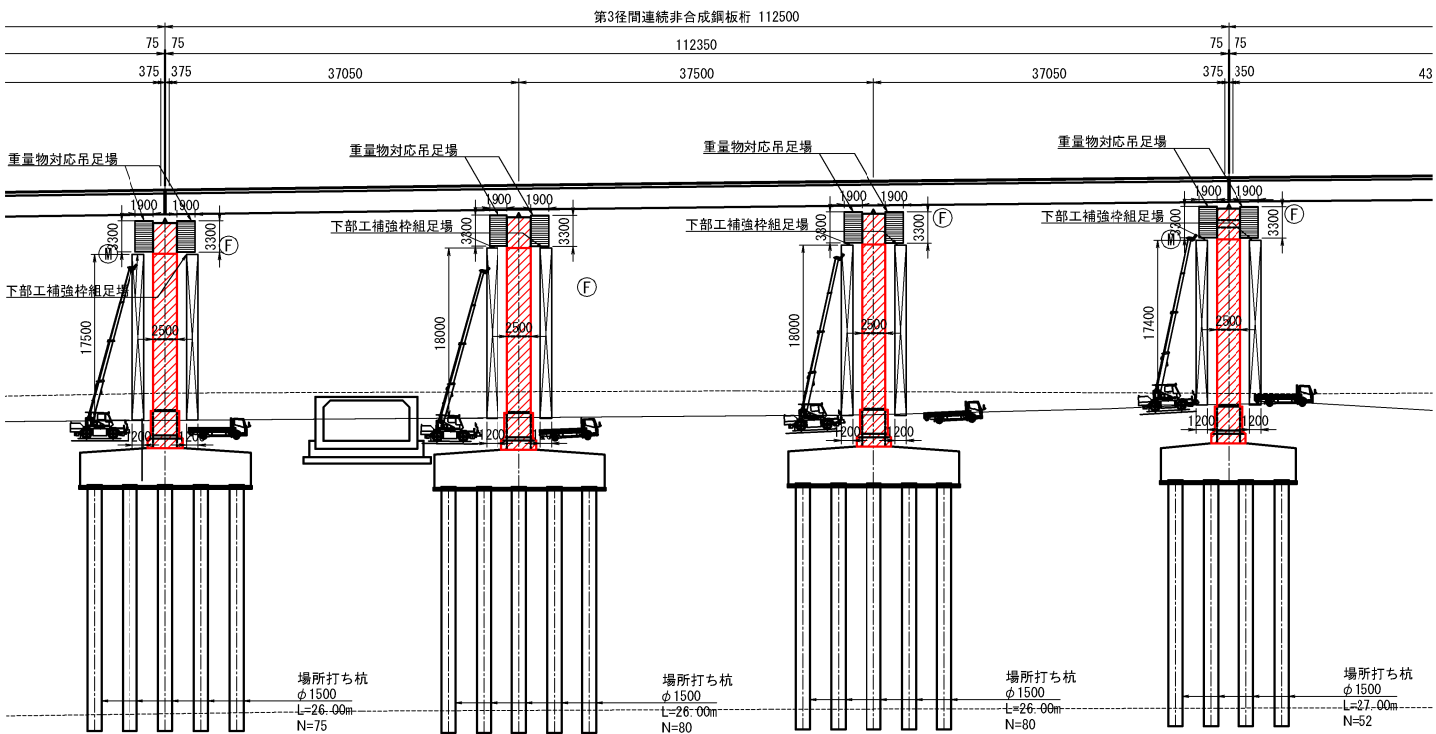
平面図



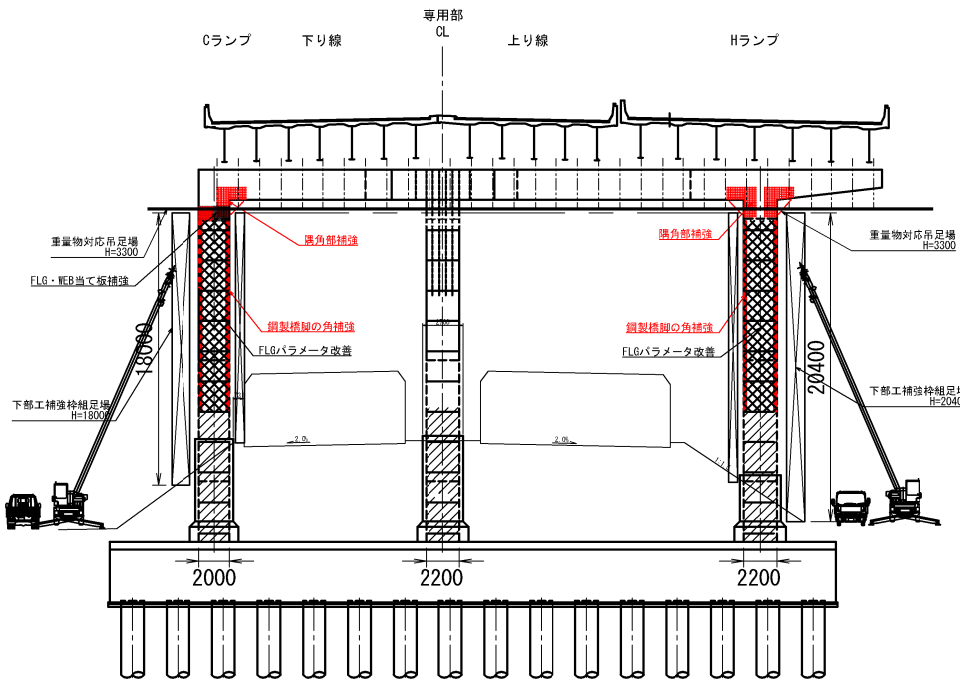
施工凡例	
	現況道路(国道)
	現況道路(側道・交差道路)
	工事用重機

東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準施工計画案（脚補強、落橋防止構造） 鋼製橋脚（その2） 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社建設技術研究所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

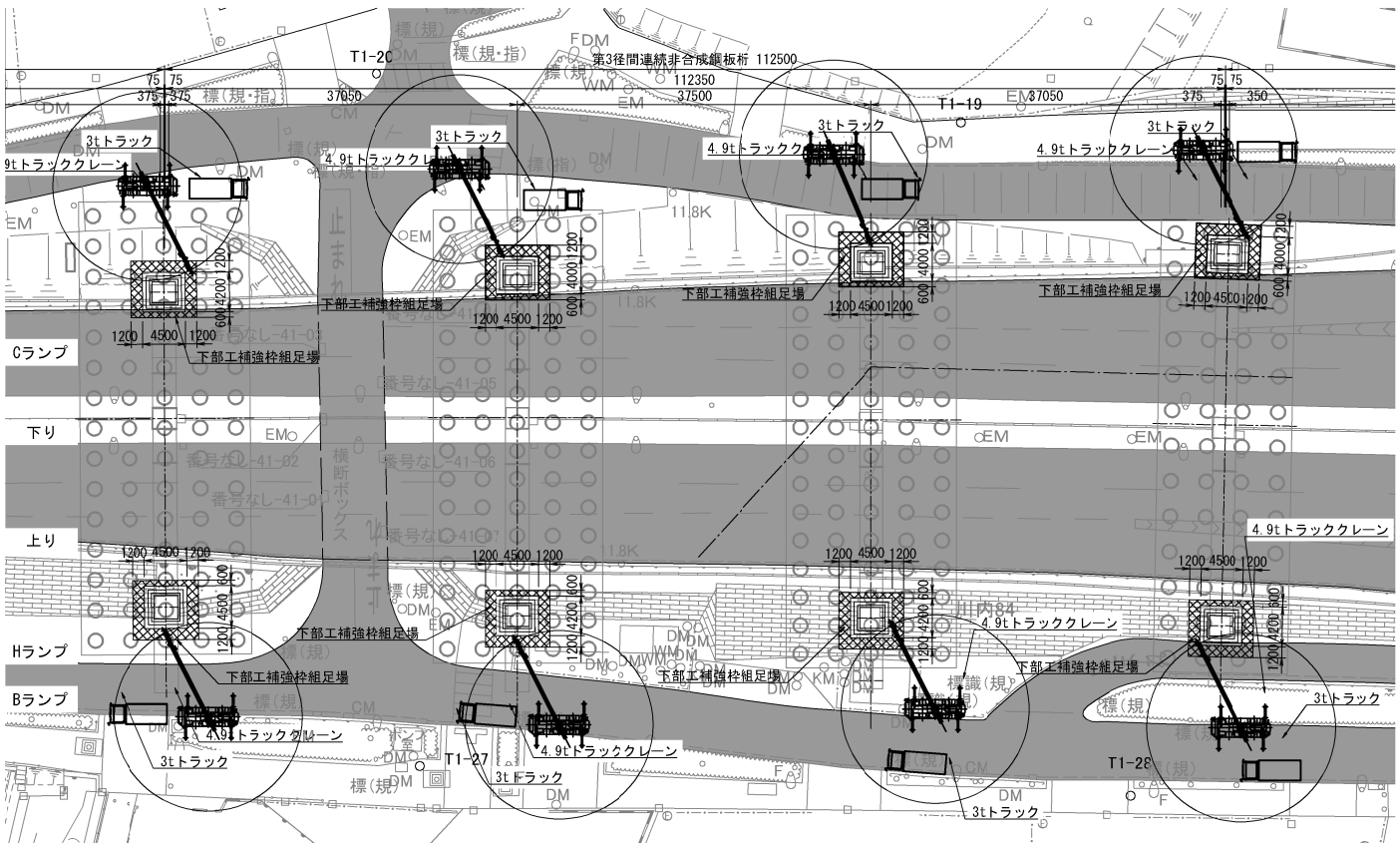
側面図



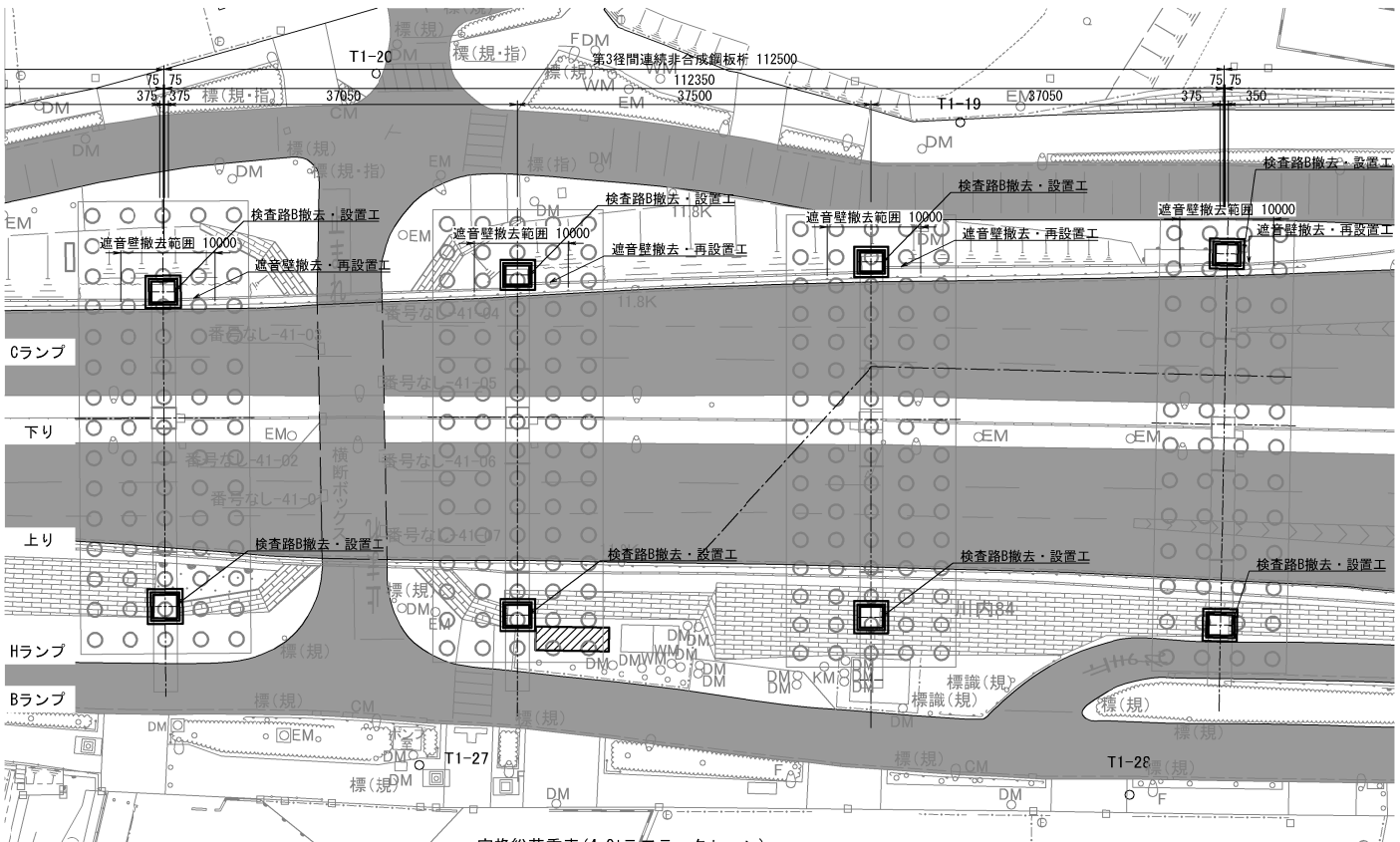
正面図 S=1:500



平面図



平面図



定格総荷重表 (4.9tラフテーククレーン)
アウトリガ中間張出 (3.7m) (t)

ブーム長さ 作業半径	12.78m	16.52m	20.26m
7.0m	2.30	2.50	2.60
8.0m	1.75	1.90	2.00
9.0m	1.35	1.50	1.60
10.0m	1.05	1.20	1.30
11.0m	0.80	1.00	1.10

※フック重量20kg

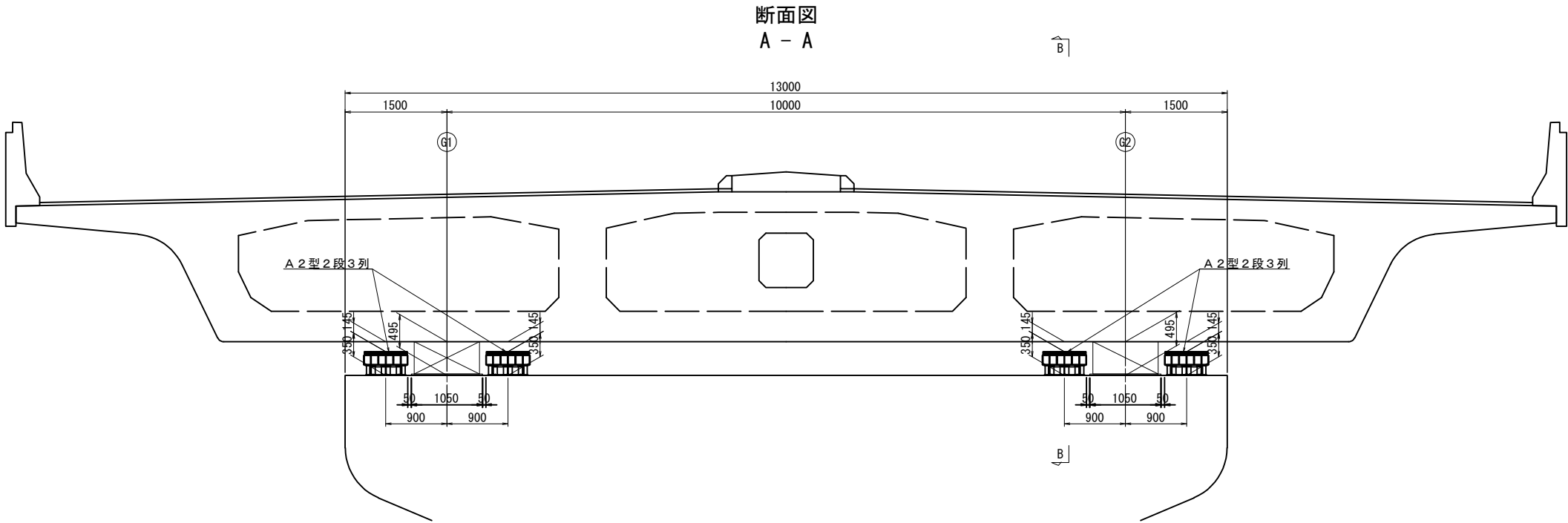
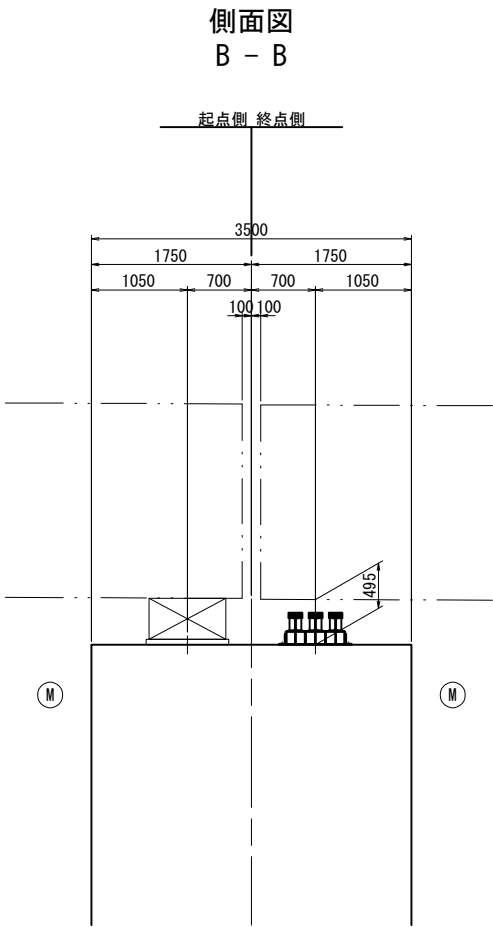
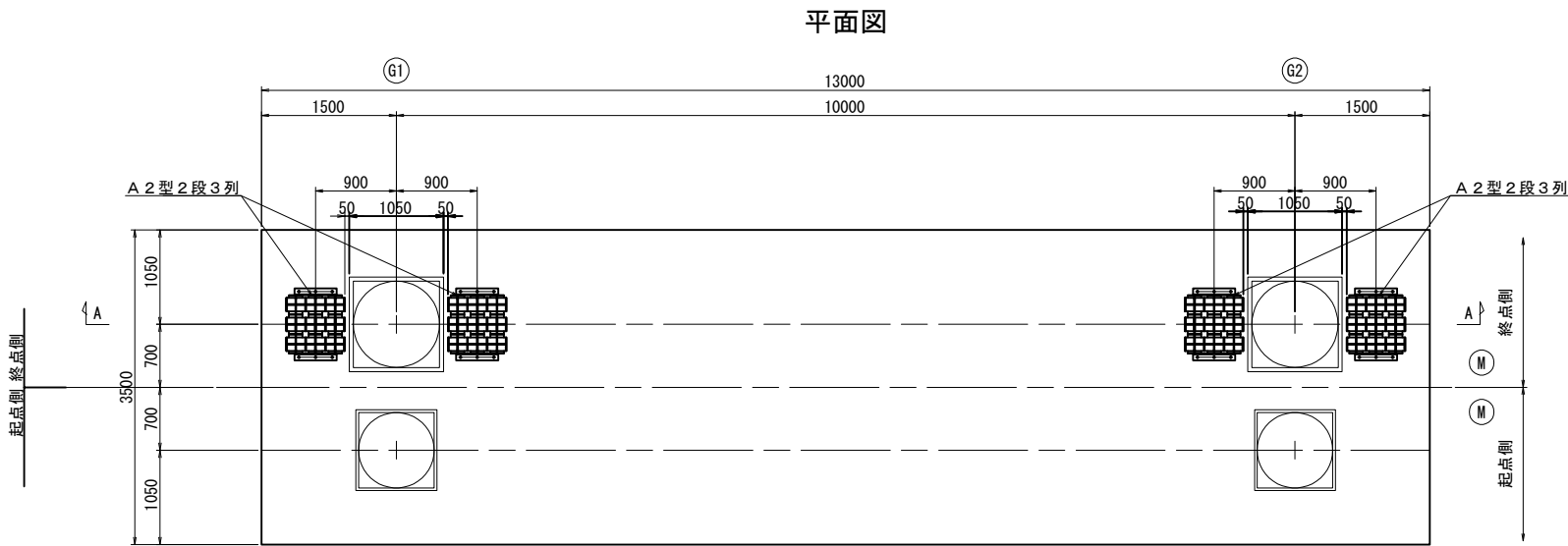
施工凡例

■	現況道路 (国道)
■	現況道路 (側道・交差道路)
—	工事用重機

東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準施工計画案（脚補強、落橋防止構造） 鋼製橋脚（その3）参考図		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所		
施工会社名	株式会社建設技術研究所		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

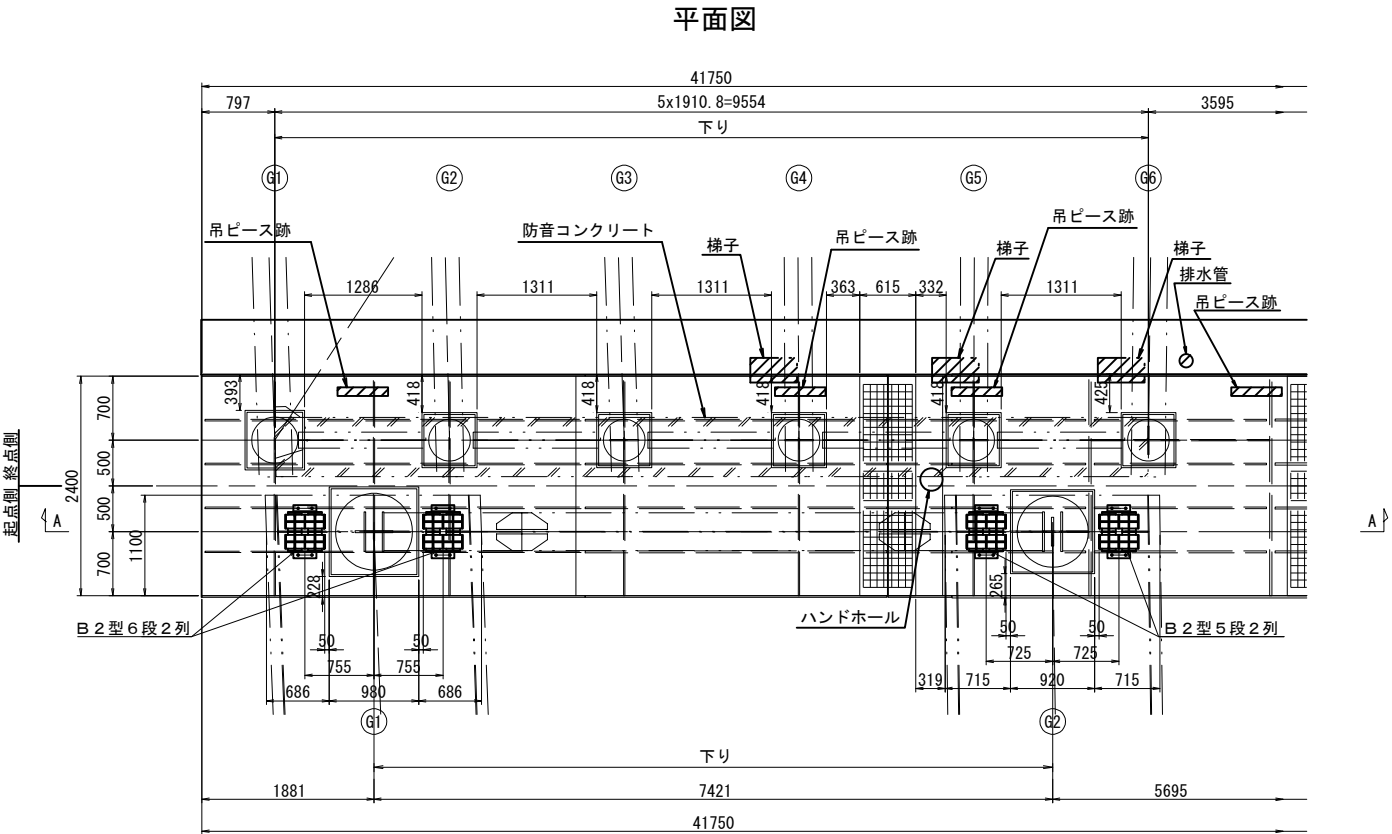
標準段差防止構造D1配置図（R C橋脚） 参考図 S=1/40

		G1		G2	
		495		495	
段差防止構造D1	位置	左側	右側	左側	右側
	サンドル2段目	型 A 2 型	A 2 型	A 2 型	A 2 型
		個数 3	3	3	3
	サンドル1段目	型 A 2 型	A 2 型	A 2 型	A 2 型
		個数 3	3	3	3
緩衝材（硬度55° ±5°）クロプロレングム相当		サイズ	150×50×650		
		個数	3	3	3



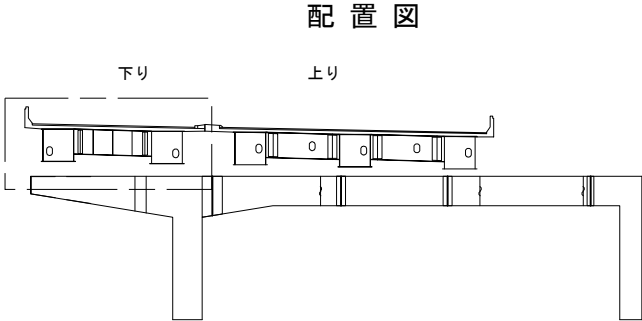
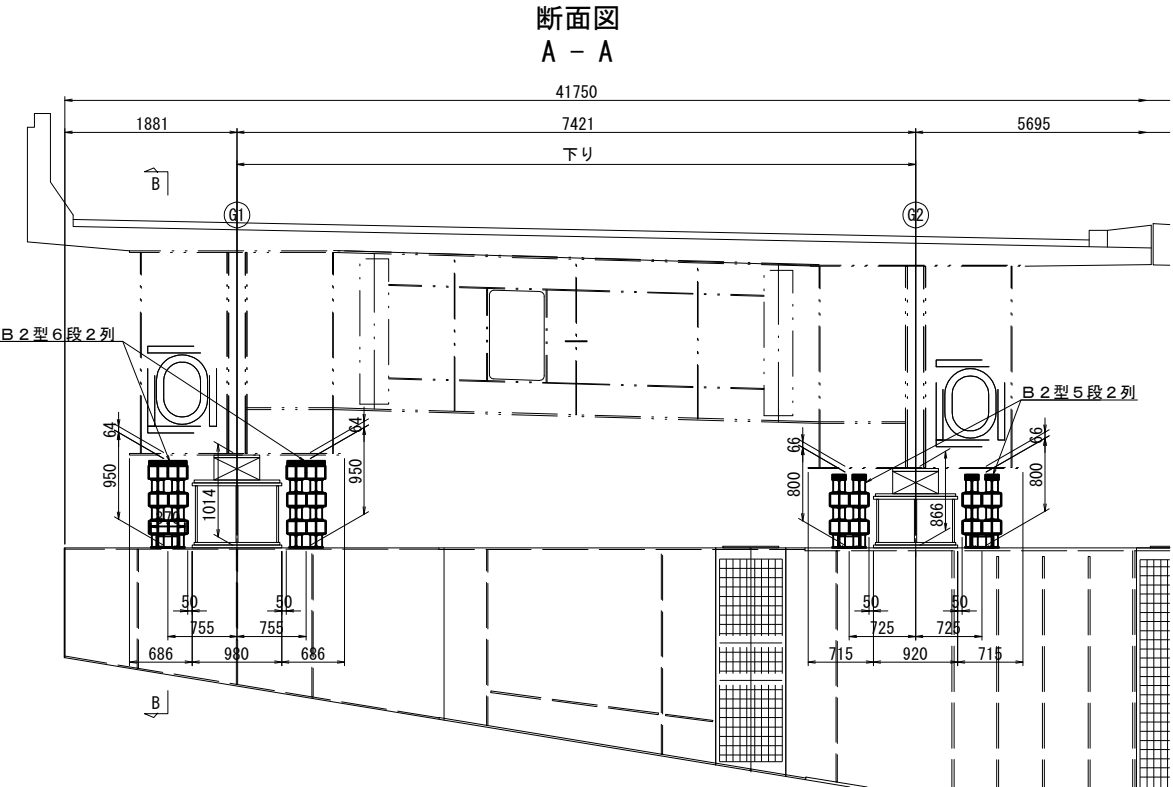
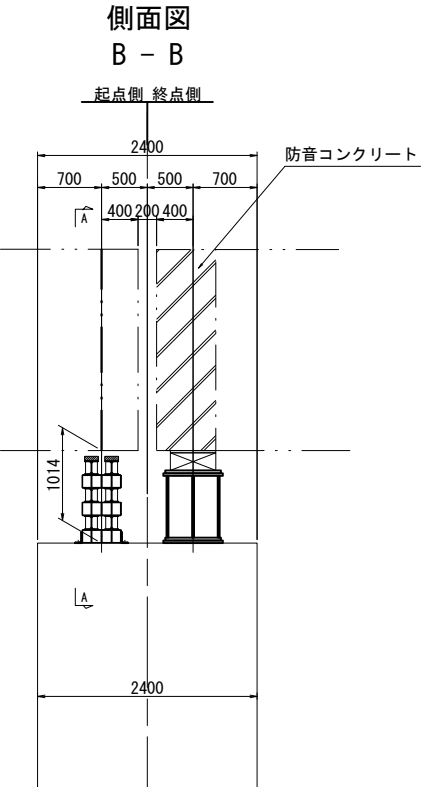
東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準段差防止構造D1配置図 （R C橋脚） 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

標準段差防止構造D1配置図（鋼製橋脚） その1 参考図 S=1/40



数量表

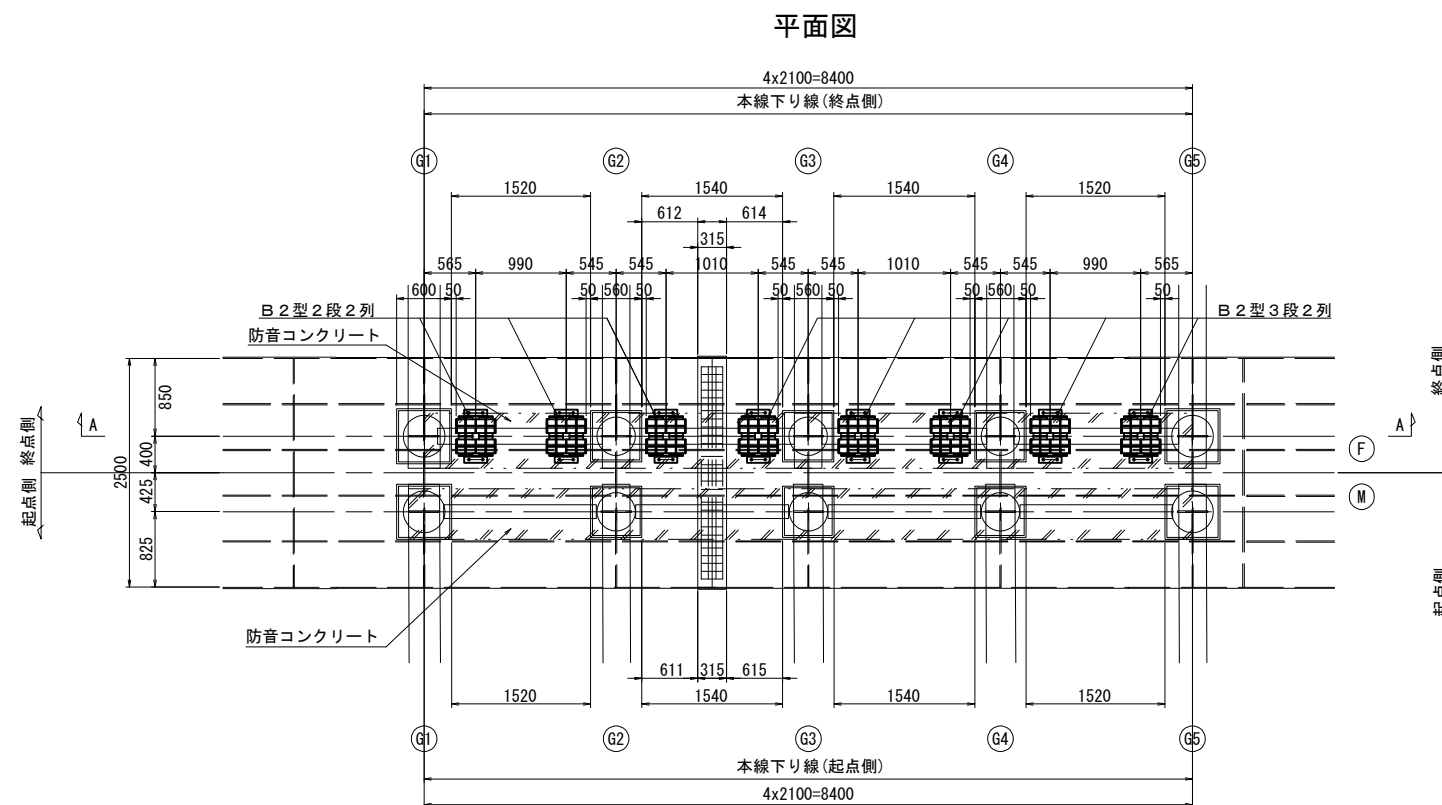
		G1		G2	
		1014		866	
段差防止構造D1	位置	左側	右側	左側	右側
	サンドル 6段目	型 B 2 型	型 B 2 型	-	-
	個数	2	2	-	-
	サンドル 5段目	型 B 2 型	型 B 2 型	型 B 2 型	型 B 2 型
	個数	2	2	2	2
	サンドル 4段目	型 B 2 型	型 B 2 型	型 B 2 型	型 B 2 型
	個数	2	2	2	2
	サンドル 3段目	型 B 2 型	型 B 2 型	型 B 2 型	型 B 2 型
	個数	2	2	2	2
	サンドル 2段目	型 B 2 型	型 B 2 型	型 B 2 型	型 B 2 型
	個数	2	2	2	2
	サンドル 1段目	型 B 2 型	型 B 2 型	型 B 2 型	型 B 2 型
	個数	2	2	2	2
緩衝材（硬度55° ±5° ）クロロレンゴム相当		サイズ		150×50×430	
		個数		2	2



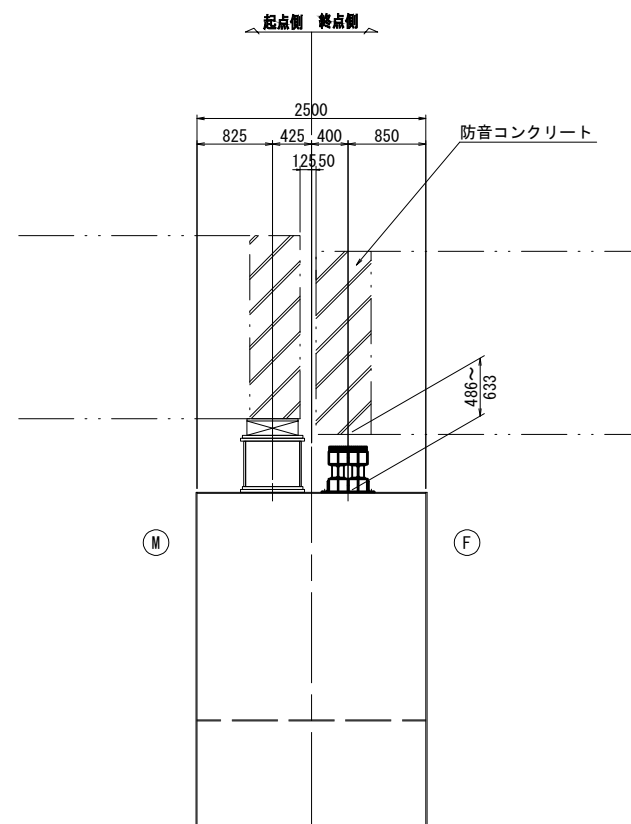
東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準段差防止構造D1配置図 (鋼製橋脚) その1 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

標準段差防止構造D1配置図（鋼製橋脚）その2 参考図 S=1/40

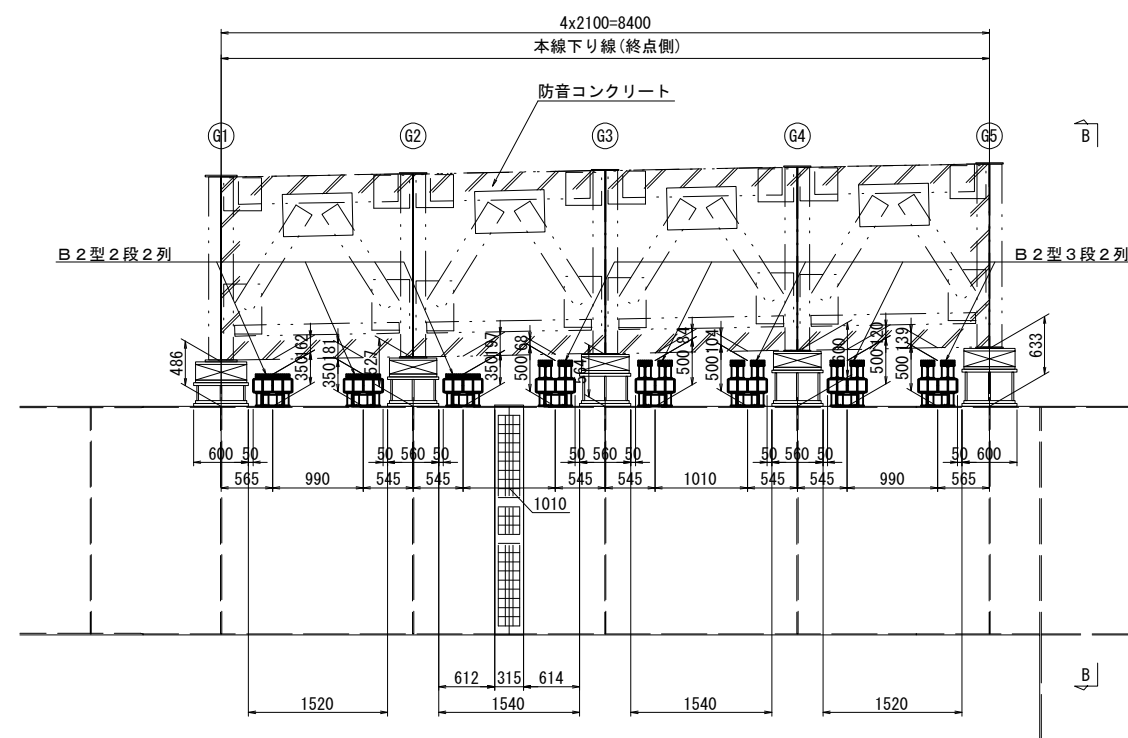
終点側(下り線)



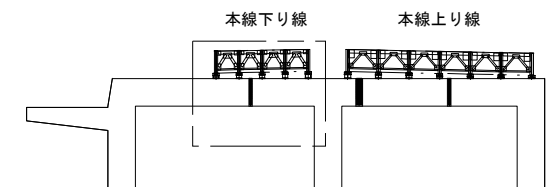
側面図
B - B



終点側 断面図
A - A



配置図



			終点側							
			G1	G2		G3		G4		G5
支那部高			486	527		564		600		633
段差防止 構造D1	位置		右側	左側	右側	左側	右側	左側	右側	左側
	サンドル 3段目	型	-	-	-	B 2 型	B 2 型	B 2 型	B 2 型	B 2 型
		個数	-	-	-	2	2	2	2	2
	サンドル 2段目	型	B 2 型	B 2 型	B 2 型	B 2 型	B 2 型	B 2 型	B 2 型	B 2 型
		個数	2	2	2	2	2	2	2	2
	サンドル 1段目	型	B 2 型	B 2 型	B 2 型	B 2 型	B 2 型	B 2 型	B 2 型	B 2 型
個数		2	2	2	2	2	2	2	2	
緩衝材（硬度55° ±5°） クロロレンゴム相当			サイズ	150×50×430						
			個数	2	2	2	2	2	2	2

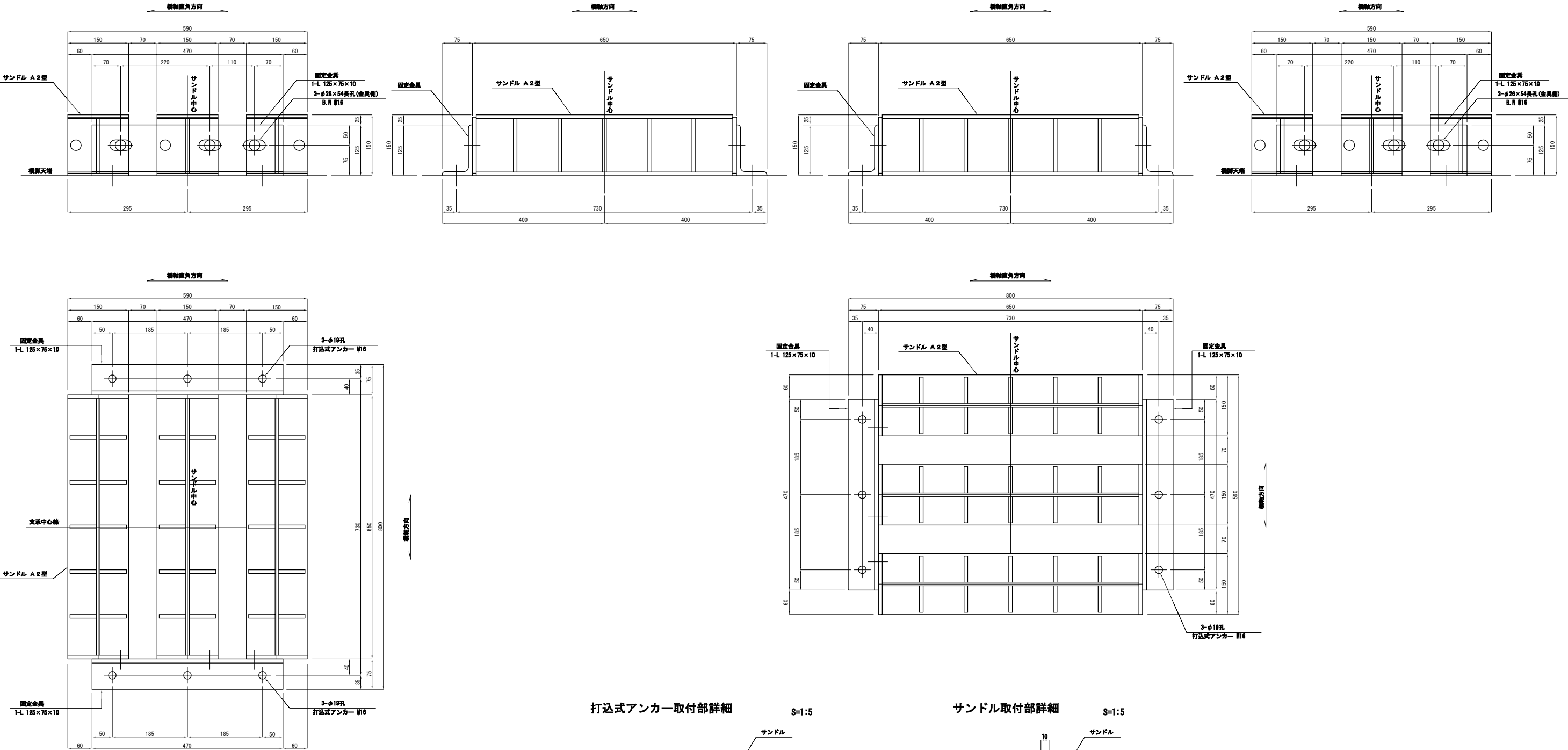
東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準段差防止構造01配置図 (鋼製構棚) その2 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

RC橋脚用 サンドル A 2 型 橋脚固定金具詳細

S=1:10

TYPE-1

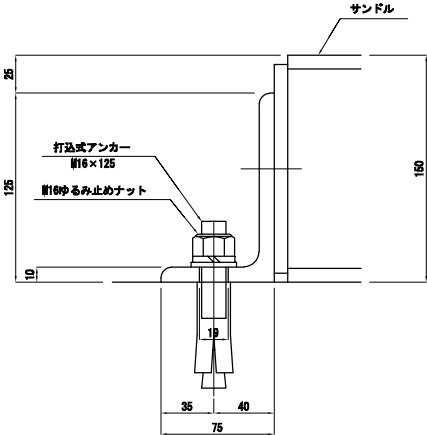
TYPE-2



固定金具 1組組り材料
2-L 125×75×10×470
6-B.N. #16×50 <2-φ22座金付>
6-打込式アンカー #16×125 <1-#1, 1-5併付>

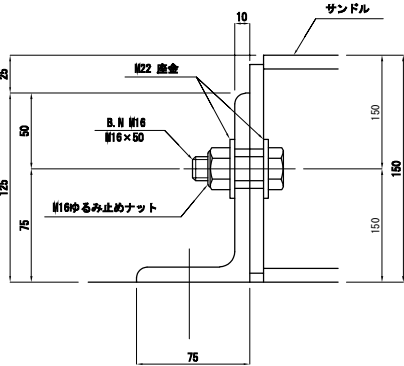
打込式アンカー取付部詳細

S=1:5



サンドル取付部詳細

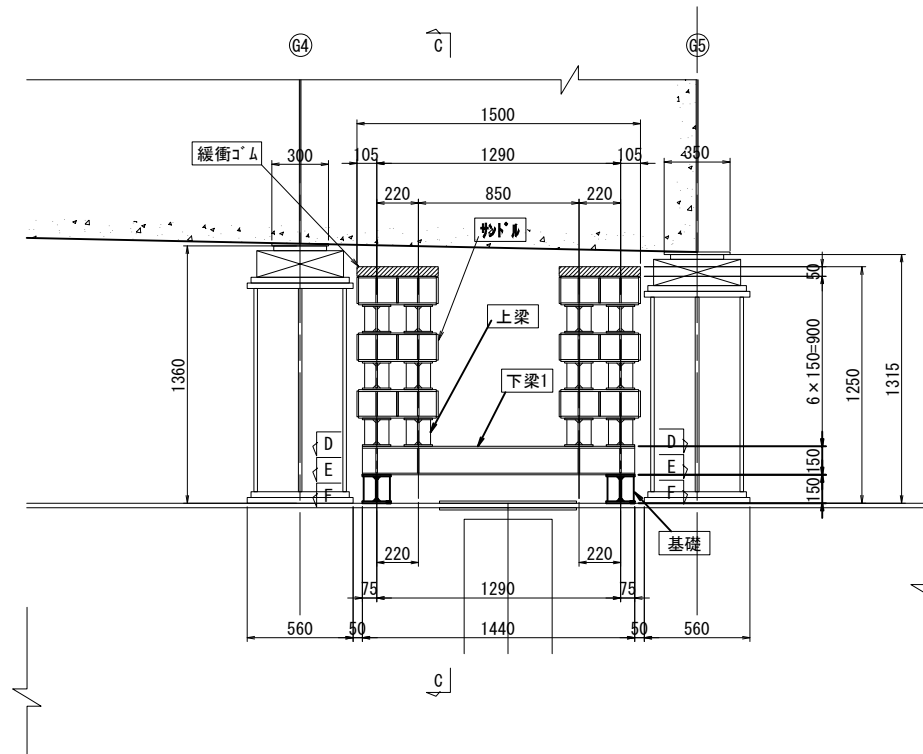
S=1:5



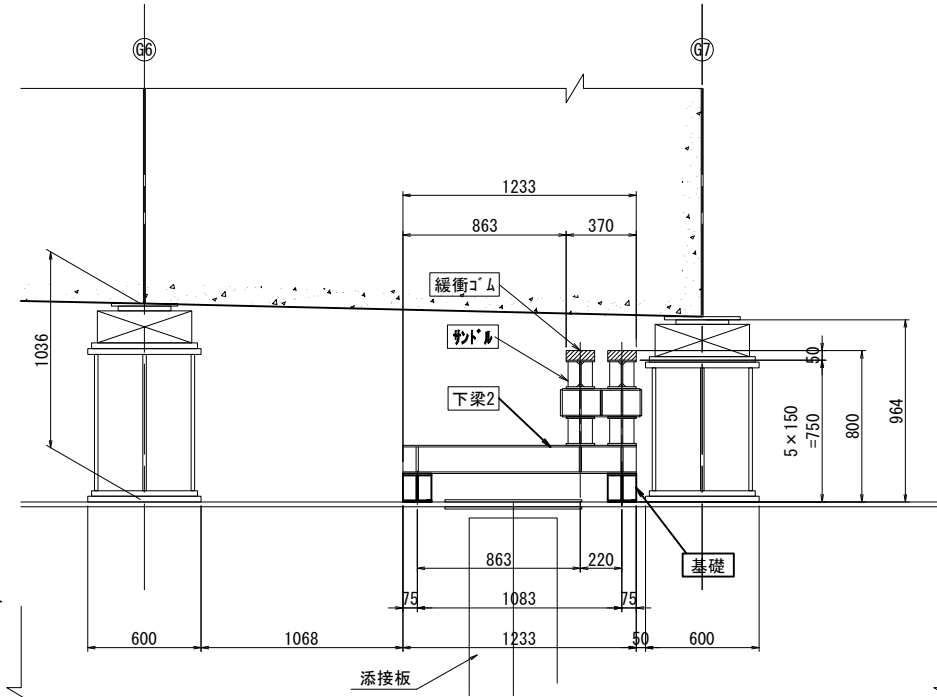
- 注記)
1. 特記なき材質は、全てS45Cとする。
 2. 部材は、金で溶融亜鉛メッキとする。
(亜鉛の膜厚は JIS H8041のHDZ77とする。
ボルト、ナット類はHDZ748とする。)
 3. ナットは、金でゆるみ止めナットを使用する。
 4. 部材の製作、取付けは、現地実測確認の上、実施すること。
 5. 特記なきスカーラップは150とする。

東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事				
標準段差防止構造				
図面の種類	サンドル固定金具詳細図（その１） 参考図			
縮 尺	図 示	図面番号	/	
設計会社名	株式会社富貴沢建設コンサルタンツ			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所			

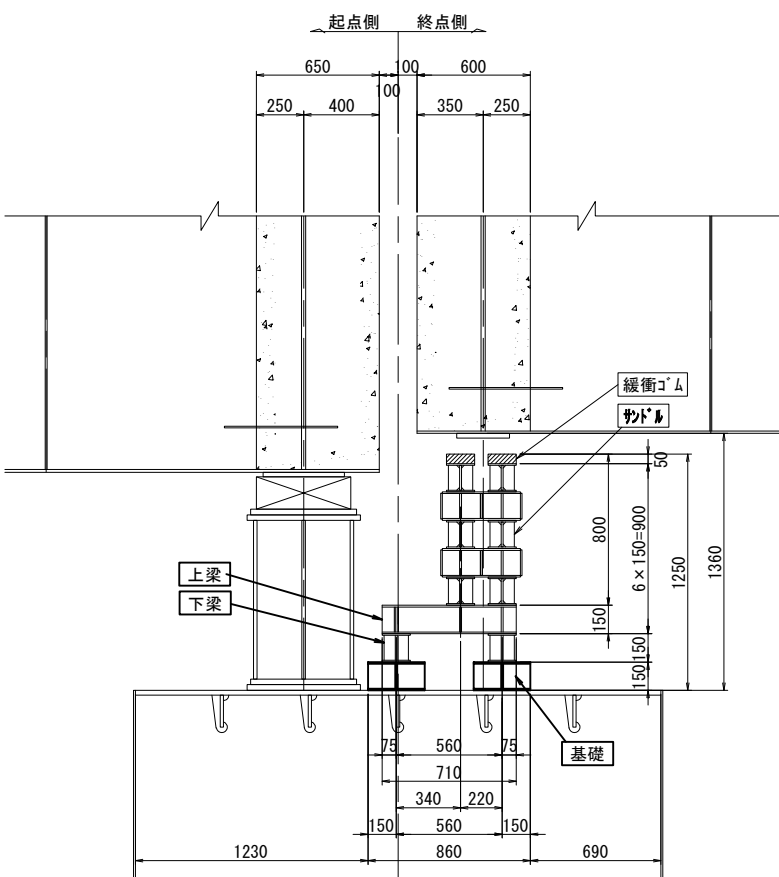
正面図 A - A



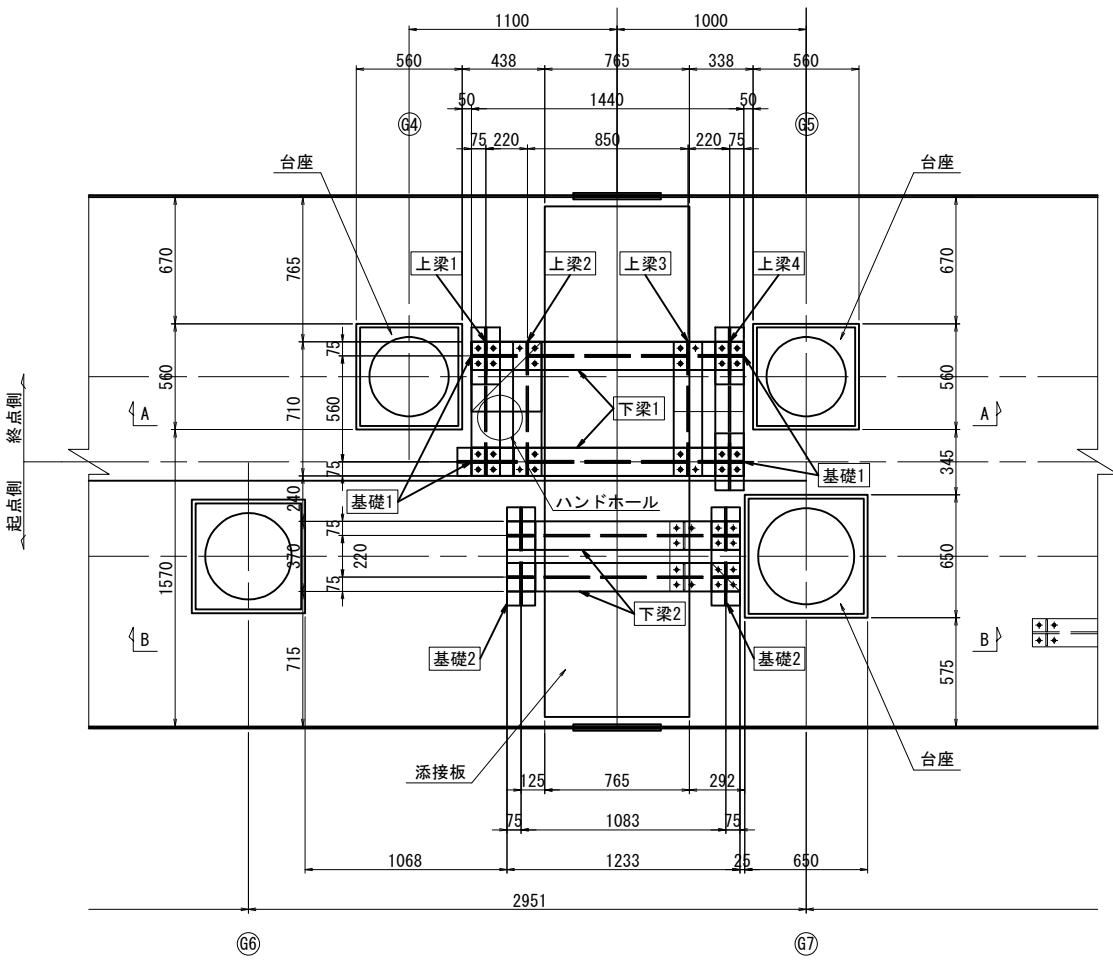
正面図 B - B



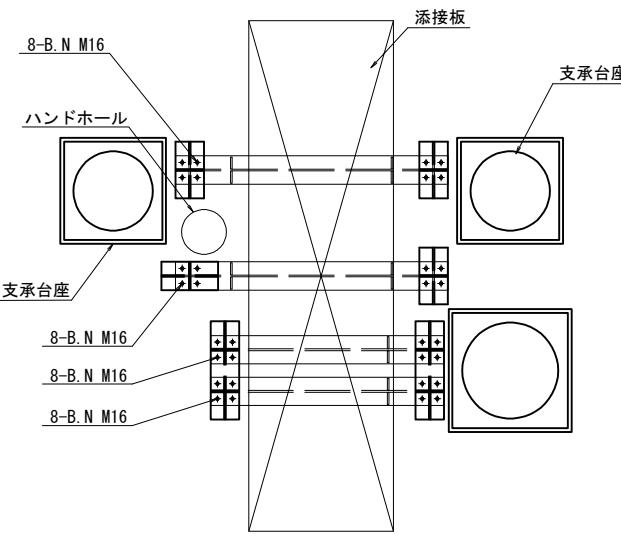
側面図 C - C



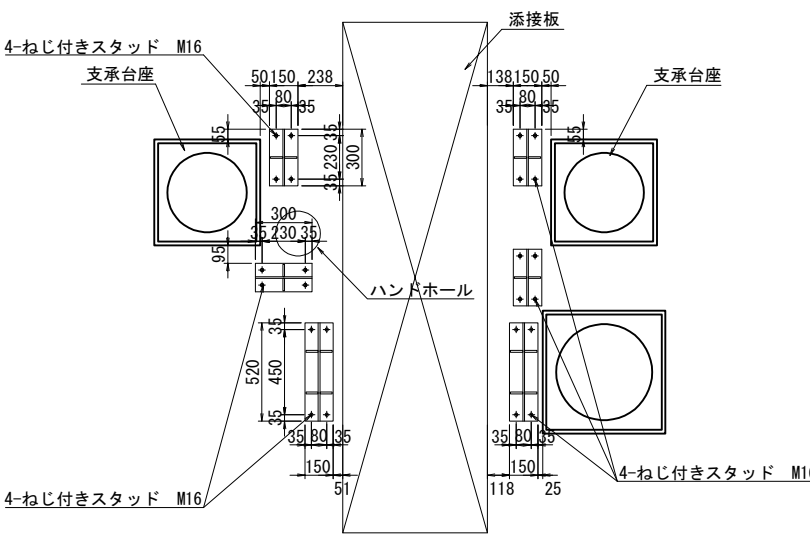
平面図 D - D



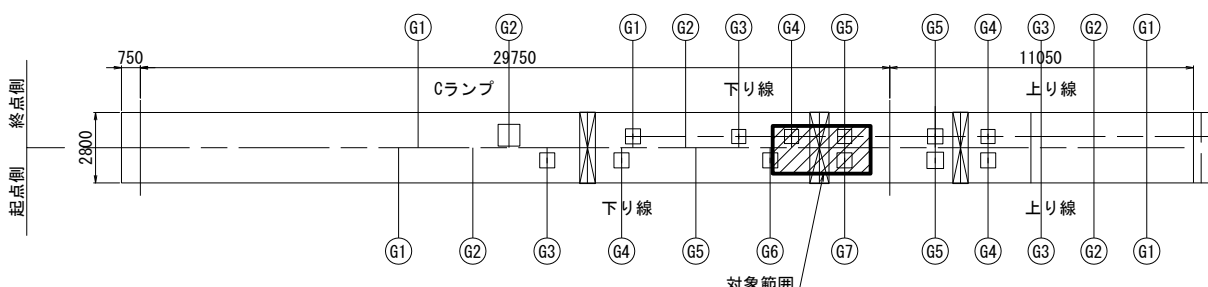
E - E



F - F

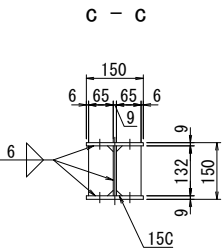
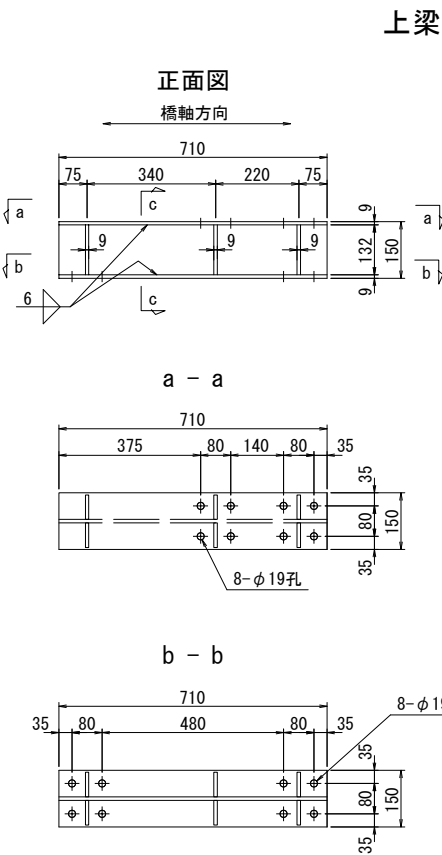


配置平面図



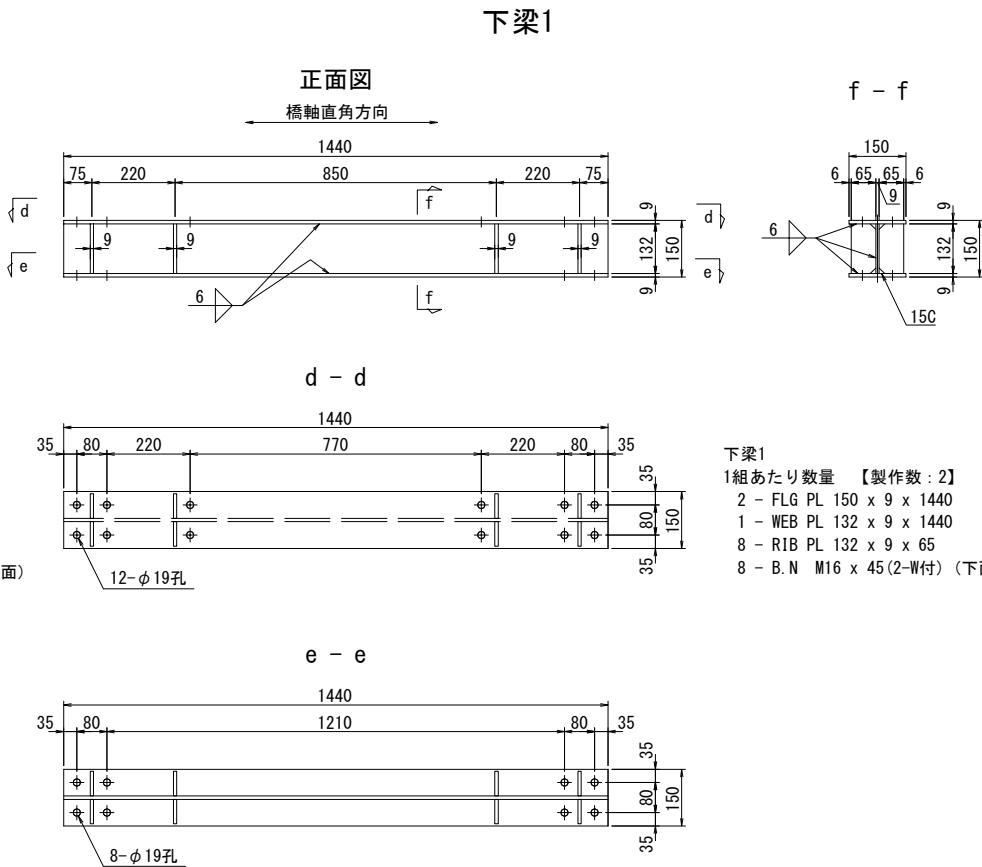
注記:
1. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。

東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準段差防止構造D2 (鋼製橋脚) その1 参考図		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

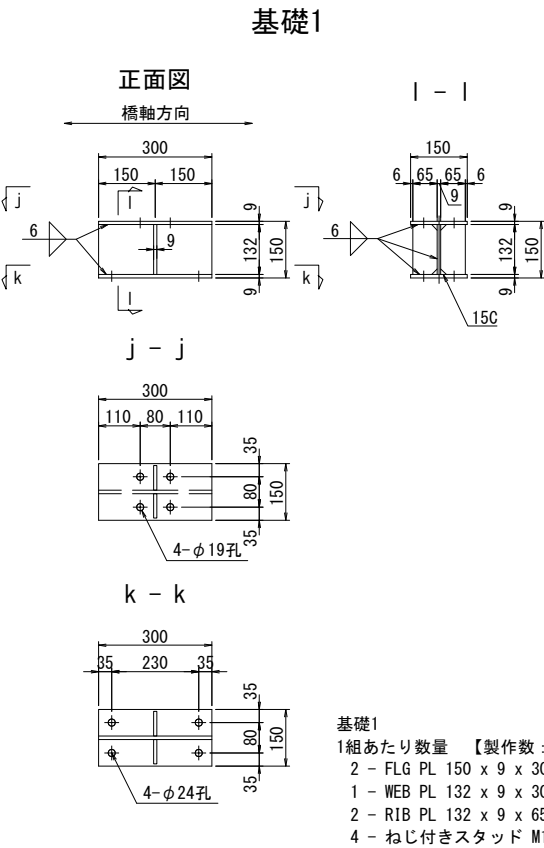


上梁
1組あたり数量 【製作数：4】
2 - FLG PL 150 x 9 x 710
1 - WEB PL 132 x 9 x 710
6 - RIB PL 132 x 9 x 65

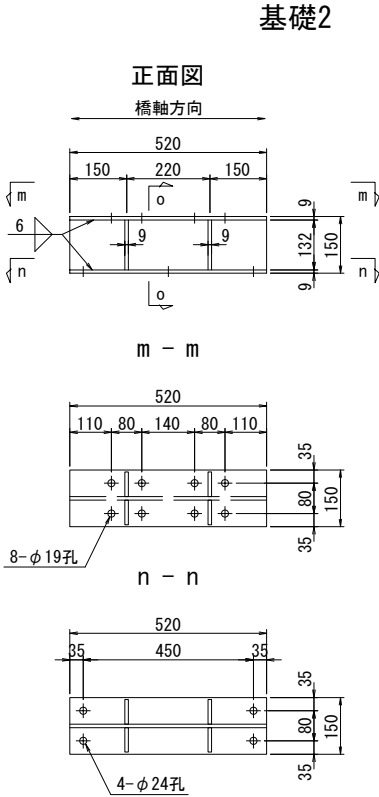
1組あたり数量 【製作数：1】
24 - B.N M16 x 45 (1-M16, 1-M22W付) (上面)
28 - B.N M16 x 45 (2-W付) (下面)



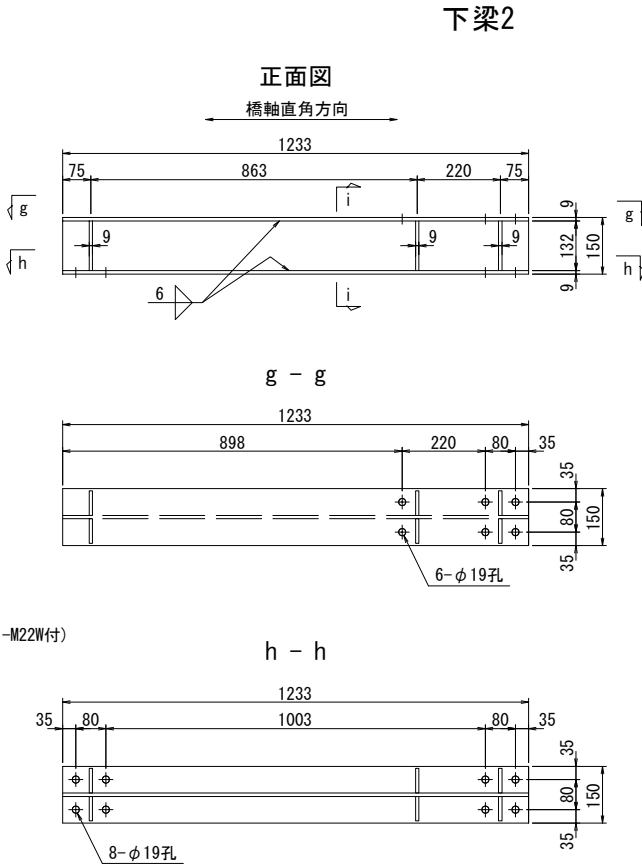
下梁1
1組あたり数量 【製作数：2】
2 - FLG PL 150 x 9 x 1440
1 - WEB PL 132 x 9 x 1440
8 - RIB PL 132 x 9 x 65
8 - B.N M16 x 45 (2-W付) (下面)



基礎1
1組あたり数量 【製作数：4】
2 - FLG PL 150 x 9 x 300
1 - WEB PL 132 x 9 x 300
2 - RIB PL 132 x 9 x 65
4 - ねじ付きスタッド M16 x 35 (強度区分4.8) (1-UN, 1-M22W付)



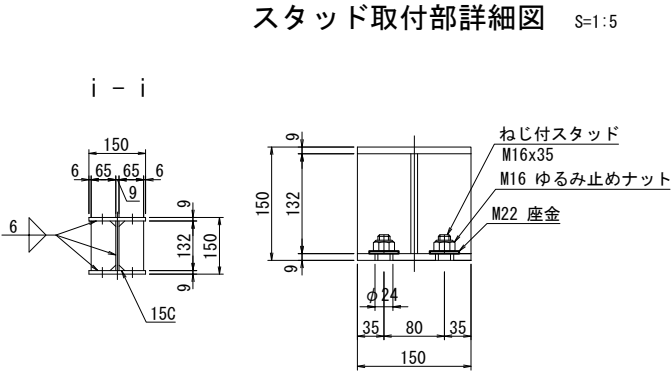
基礎2
1組あたり数量 【製作数：2】
2 - FLG PL 150 x 9 x 520
1 - WEB PL 132 x 9 x 520
4 - RIB PL 132 x 9 x 65
4 - ねじ付きスタッド M16 x 35 (強度区分4.8) (1-UN, 1-M22W付)



下梁2
1組あたり数量 【製作数：2】
2 - FLG PL 150 x 9 x 1233
1 - WEB PL 132 x 9 x 1233
6 - RIB PL 132 x 9 x 65
6 - B.N M16 x 45 (1-M16, 1-M22W付) (上面)
8 - B.N M16 x 45 (2-W付) (下面)

材 料 表 (起点側)						
種別	品 名	規格・寸法		単位	数量	備 考
段差防止構造D1	サンダル	B 2 型	430×150×150	個	6	溶融亜鉛めっき
				t	0.120	
	緩衝材	クロムレンゴム	150×50×430	個	2	硬度55° ±5°
	普通ボルト	SS400	M16	本	20	溶融亜鉛めっき
	ゆるみ止めナット	SS400	M16	個	20	溶融亜鉛めっき
	座金	SS400	M16	個	32	溶融亜鉛めっき
M22			個	8	溶融亜鉛めっき	
段差防止構造D2	鋼材	SM490Y	6 < t ≤ 25	個	1	溶融亜鉛めっき
				t	0.120	
	スタッドボルト	SS400	M16	本	8	溶融亜鉛めっき
	普通ボルト	SS400	M16	本	28	溶融亜鉛めっき
	ゆるみ止めナット	SS400	M16	個	36	溶融亜鉛めっき
	座金	SS400	M16	個	44	溶融亜鉛めっき
			M22	個	20	溶融亜鉛めっき

材 料 表 (終点側)						
種別	品 名	規格・寸法		単位	数量	備 考
段差防止構造D1	サンドル	B 2 型	430×150×150	個	20	溶融亜鉛めっき
				t	0.400	
	緩衝材	クロムレンゴム	150×50×430	個	4	硬度55° ±5°
	普通ボルト	SS400	M16	本	112	溶融亜鉛めっき
	ゆるみ止めナット	SS400	M16	個	112	溶融亜鉛めっき
段差防止構造D2	座金	SS400	M16	個	16	溶融亜鉛めっき
			M22	個	208	溶融亜鉛めっき
	鋼材	SM490Y	6 < t ≤ 25	個	1	溶融亜鉛めっき
				t	0.242	
	スタッドボルト	SS400	M16	本	16	溶融亜鉛めっき
	普通ボルト	SS400	M16	本	68	溶融亜鉛めっき
	ゆるみ止めナット	SS400	M16	個	84	溶融亜鉛めっき
	座金	SS400	M16	個	112	溶融亜鉛めっき
			M22	個	40	溶融亜鉛めっき

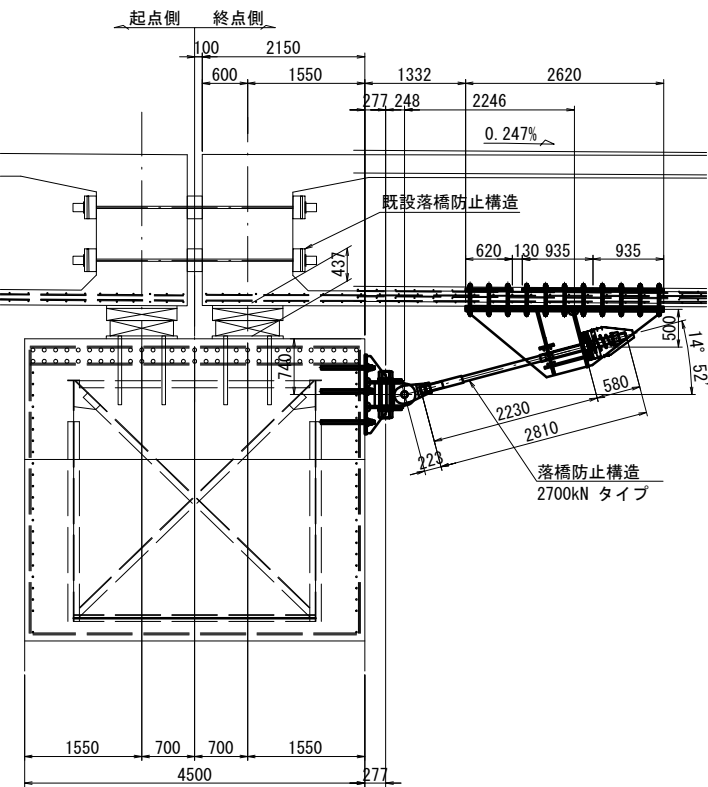


- 注記
- 特記なき材質は、全てSM490Yとする。
 - 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
(亜鉛の膜厚は JIS H8641のHDZT77とする。
ボルト、ナット類はHDZT49とする。)
 - ナットは、全てゆるみ止めナットを使用する。
 - 部材の製作、取付けは、現地実測確認の上、実施すること。
 - スタッドボルトの溶接部は、亜鉛メッキが付着しないように
不メッキ処理を行うこと。

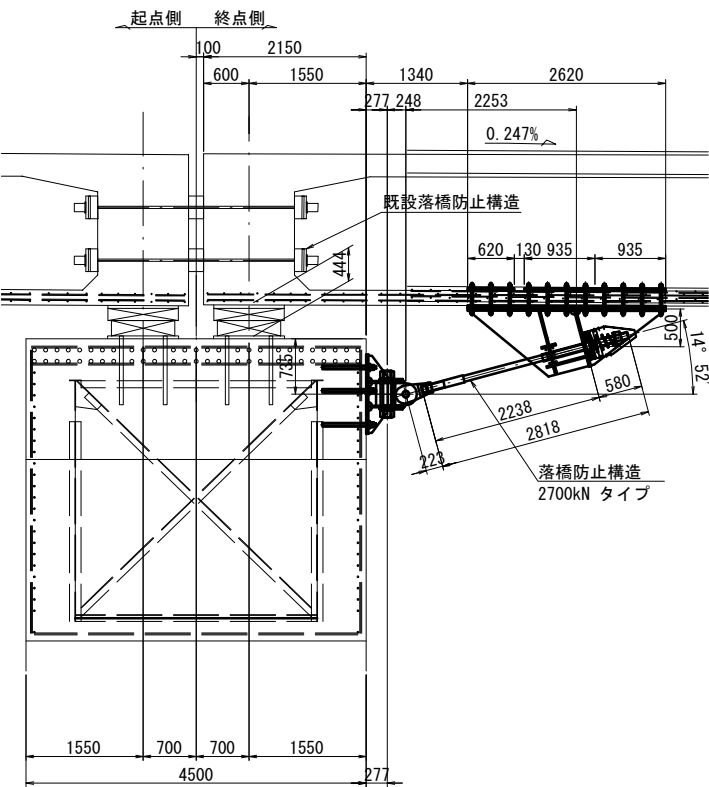
東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準段差防止構造D2 (鋼製橋脚) その2 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

側面図

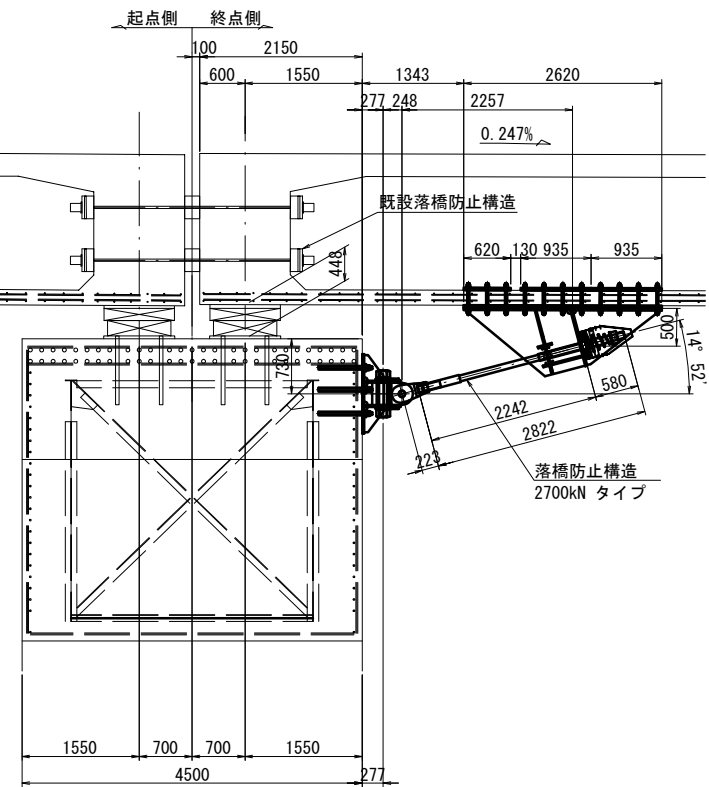
TYPE-1



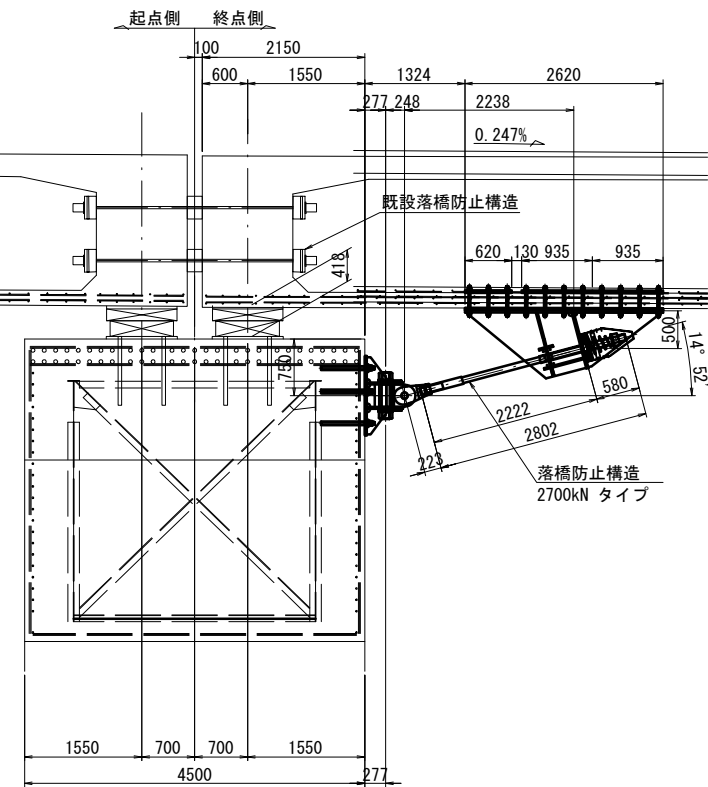
TYPE-2



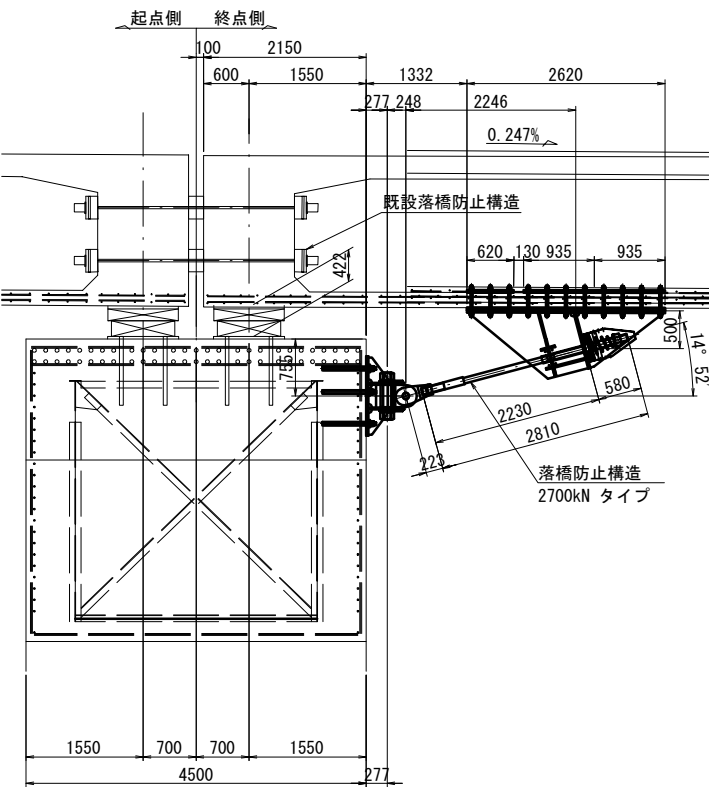
TYPE-3



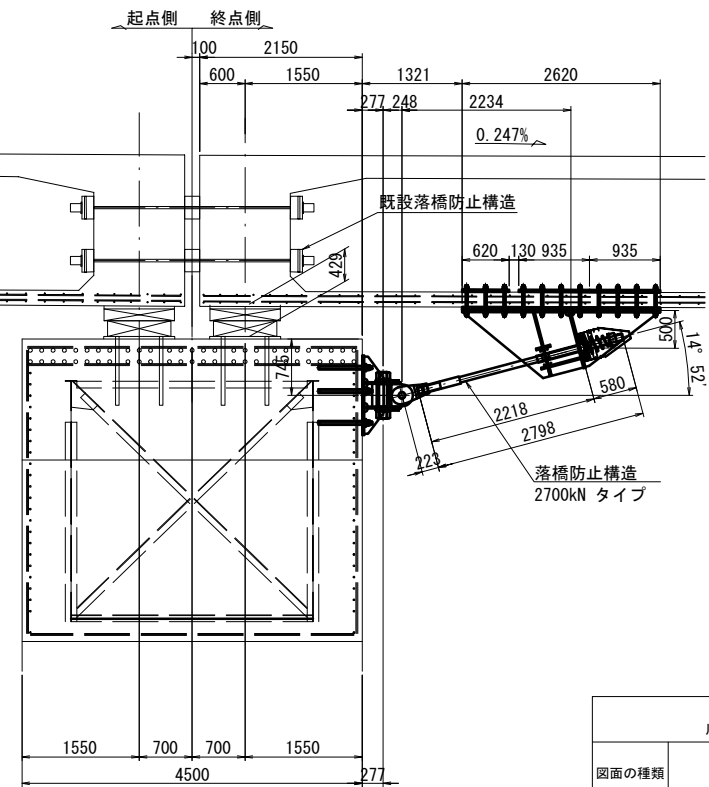
TYPE-4



TYPE-5

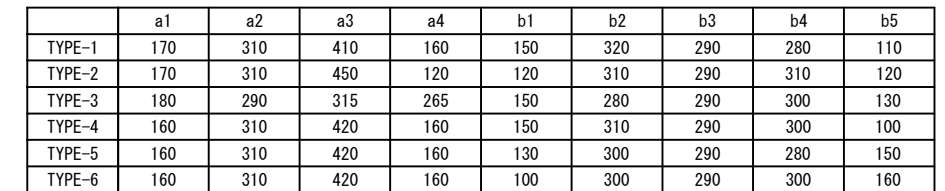


TYPE-6



東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準落橋防止設置工 (P C 桁) その2 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

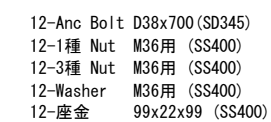
2 - 2



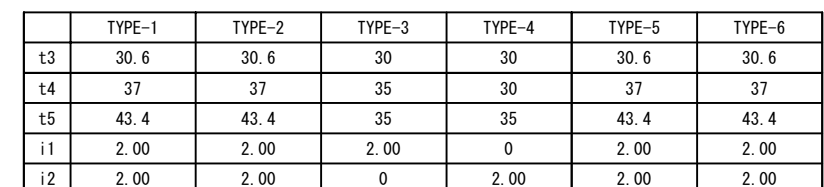
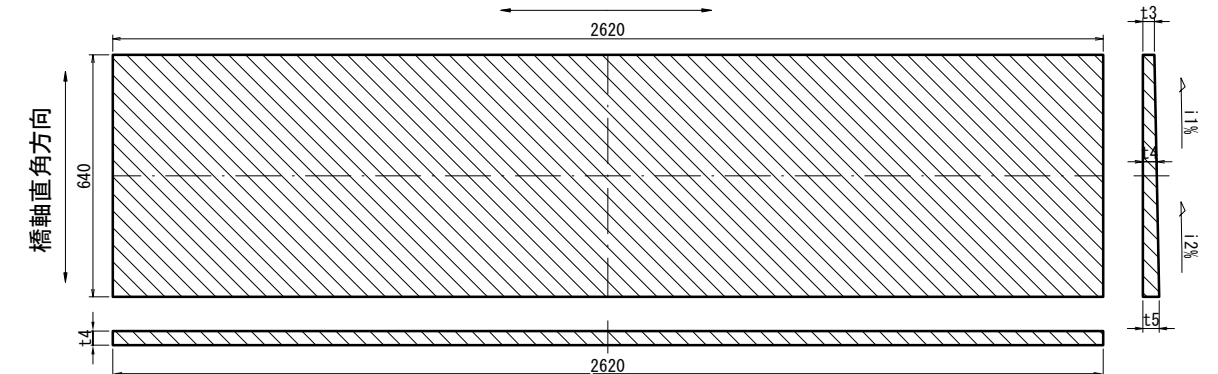
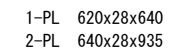
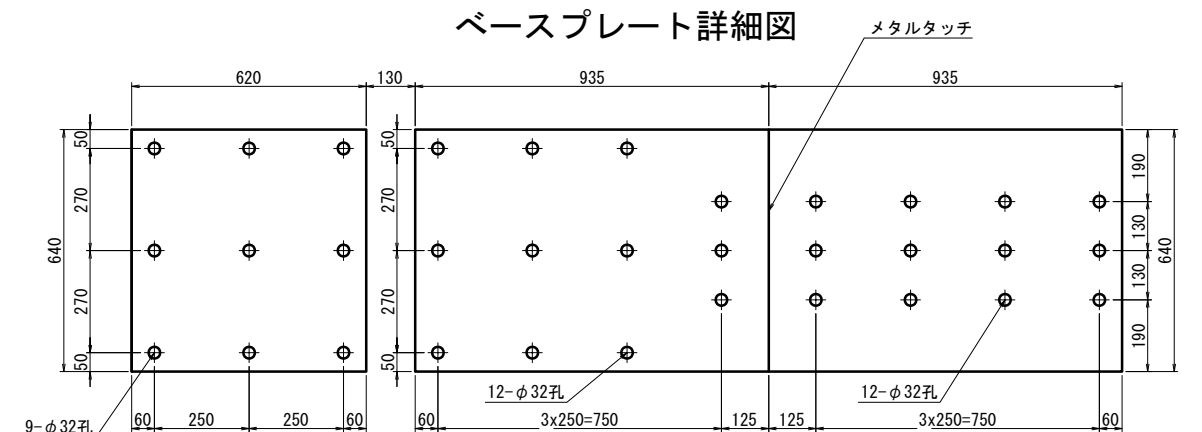
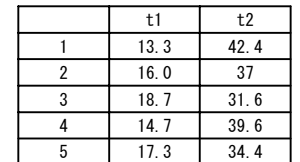
Technical drawing of a mechanical part, labeled "4 - 4" at the top. The drawing shows a side view of a component with a vertical central section and a curved outer profile. Key dimensions are provided: overall height 1150, overall width 476, and various internal dimensions including 250, 226, 260, 288, 530, and 1120. A circular feature with a diameter of 118 is indicated on the right side.

注記)

- 1) 特記なき材質は、全てSM490Aとする。
- 2) 特記なきスカラーアップは50Rとする。
- 3) 下部ブラケットは、全て溶融亜鉛めっき仕上げ
(JIS H8641 HDZT77、HDZT49)とする。
- 4) 工場製作はアンカーボルト削孔位置等、現場実測確認のうえ
行うものとする。
- 5) アンカーボルトは接着系アンカーとする。
- 6) アンカーボルト間隔は5d (d:アンカー径) 以上を確保すること。
- 7) 施工時に既設の落橋防止装置のナットは撤去すること。



東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準落橋防止構造詳細図 (P析付) その1 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		



- 1) 特記なき材質は、全てSM490Bとする。
- 2) 特記なきスカラーアップは50Rとする。
- 3) 上部エブラケットは、全て溶融亜鉛めっき仕上げ
(JIS H8641 HDZT77、HDZT49)とする。
- 4) 工場製作はアンカーボルト削孔位置等、現場実測確認のうえ
行うものとする。
- 5) アンカーボルトは接着系アンカーとする。
- 6) アンカーボルト間隔は5d (d:アンカー径) 以上を確保すること。

東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準落橋防止構造詳細図 (P C 図) その 2 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

2-PL	749x28x1122	
2-PL	1348x28x1118	
2-PL	157x22x866	(SM490A)
2-PL	105x22x240	(SM490A)
1-PL	240x22x540	(SM490A)
1-PL	190x22x240	(SM490A)
1-PL	767x28x610	
1-PL	640x28x2620	

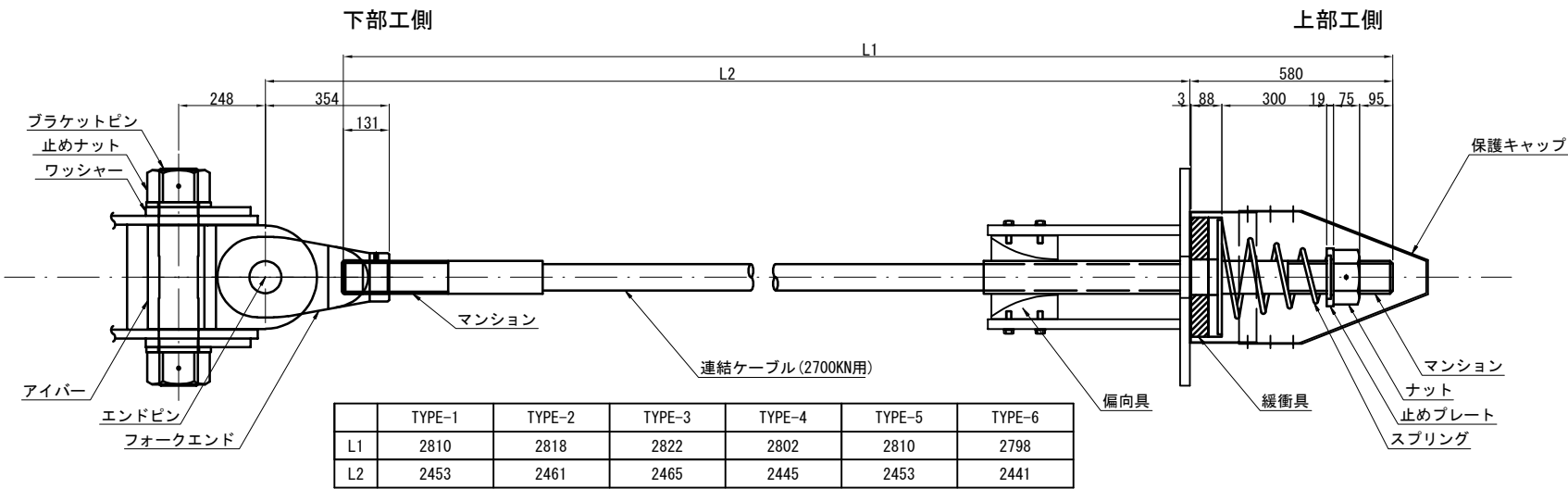
33-Anc Bolt D29x415 (SD345)
66-1種 Nut M27用 (SS400)
66-3種 Nut M27用 (SS400)
66-Washer M27用 (SS400)

標準落橋防止構造詳細図（PC桁）その3 参考図

S=1:10

終点側：取付詳細図及び部品図

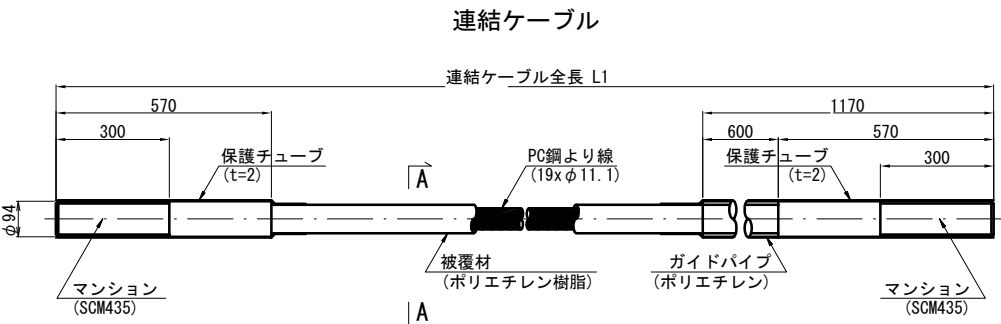
取付詳細図



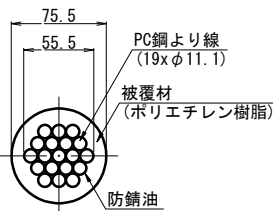
材 料 表（落橋防止構造1組当たり）

全6組(6組/橋脚)

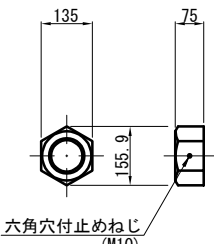
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
連結ケーブル	2700KN L1 mm	本	1	PC鋼より線、ポリエチレン被覆
(マンション)	2700KN用 標準	個	2	SCM435、ネジきり標準〈ケーブルに組込〉
(ガイドパイプ)	2700KN用 600mm	本	1	ポリエチレン〈ケーブルに組込〉
ナット	2700KN用	個	1	S45C:垂鉛めっき(HDZT77)
止めプレート	2700KN用	個	1	SS400:垂鉛めっき(HDZT77)
スプリング	2700KN用 L=400	個	1	SW-C:垂鉛めっき、クロメート処理
異型緩衝具	2700KN用	個	1	SS400:垂鉛めっき(HDZT77) + クロロブレンゴム
偏向具	2700KN用	個	1	ポリエチレン
(取付ボルト)	M16x55 1W付	本	16	SS400相当品:垂鉛めっき(HDZT49) 接着剤付
保護キャップ	2700KN用	組	1	ポリエチレン:6-止めビス付
ユニバーサルシステム	ブラケットピン	本	1	SCM435、ダクロダイズド処理、DMコート
	止めナット	個	2	S45C、垂鉛めっき(HDZT77)
	ワッシャー	個	2	SS400、垂鉛めっき(HDZT77)
	アイバー	個	1	S45C、垂鉛めっき(HDZT77)
	フォークエンド	個	1	S45C、垂鉛めっき(HDZT77)
	エンドピン (ピン)	本	1	SCM435、ダクロダイズド処理、DMコート
	(止めプレート)	個	1	SS400、垂鉛めっき



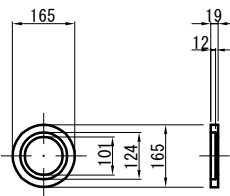
A-A断面図 S=1:3



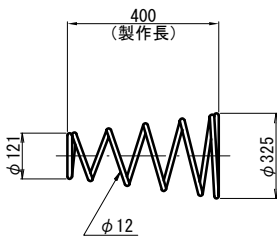
ナット (S45C:垂鉛めっき)



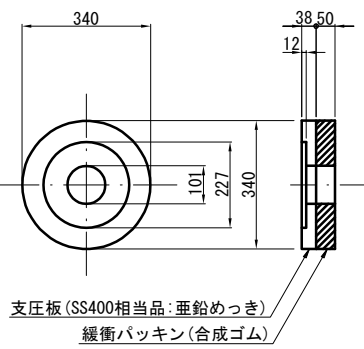
止めプレート (SS400相当品:垂鉛めっき)



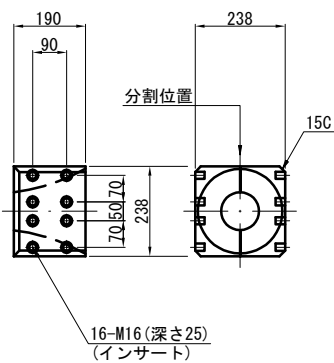
スプリング (SW-C:垂鉛めっき、クロメート処理)



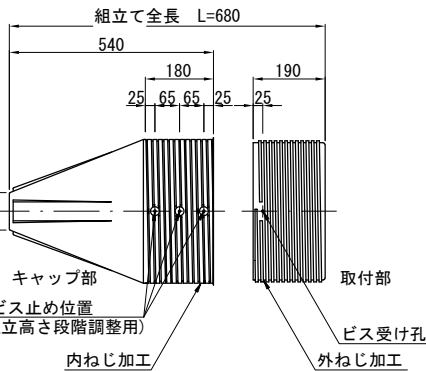
異型緩衝具 (支圧板+緩衝パッキン)



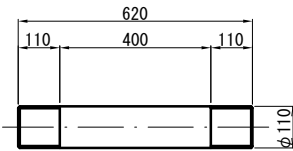
偏向具 (ポリエチレン)



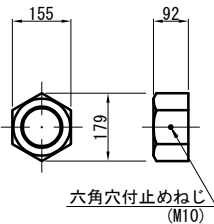
保護キャップ (ポリエチレン)



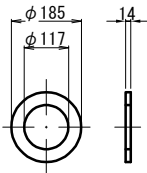
ブラケットピン (SCM435:DMコート)



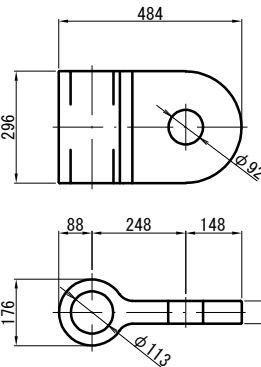
止めナット (S45C:垂鉛めっき)



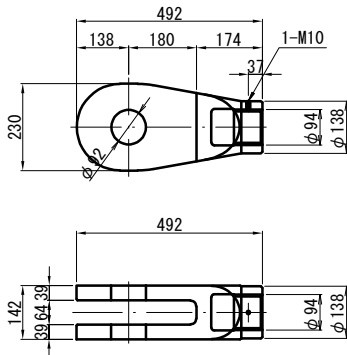
ワッシャー (SS400:垂鉛めっき)



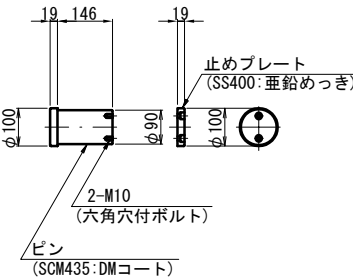
アイバー (S45C:垂鉛めっき)



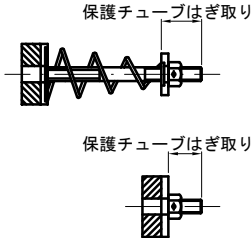
フォークエンド (S45C:垂鉛めっき)



エンドピン (ピン+止めプレート)



マンション端部処理

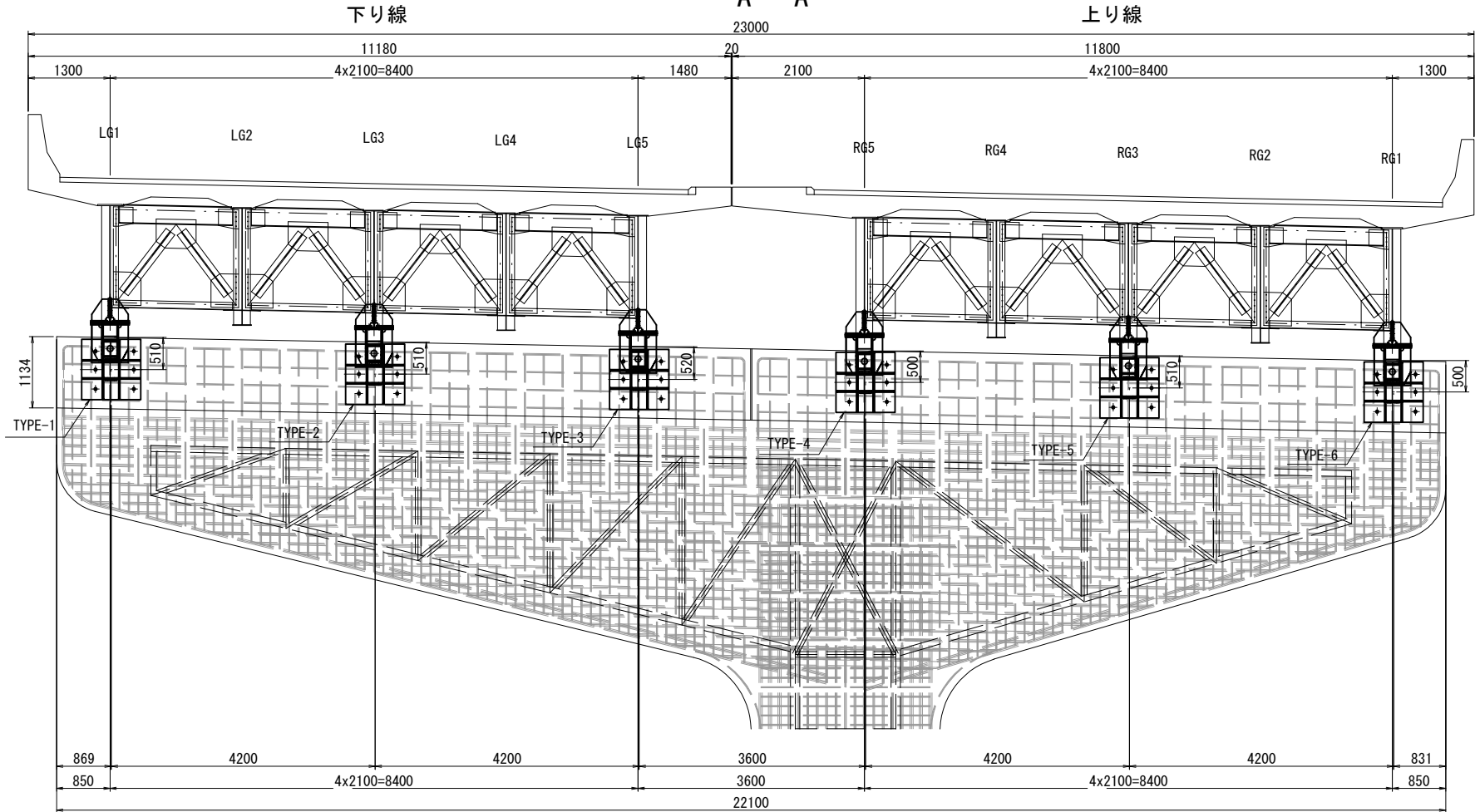


※取付前に保護チューブをはぎ取る。取付後はマンション先端ねじ部に防錆処理をおこなうこと。

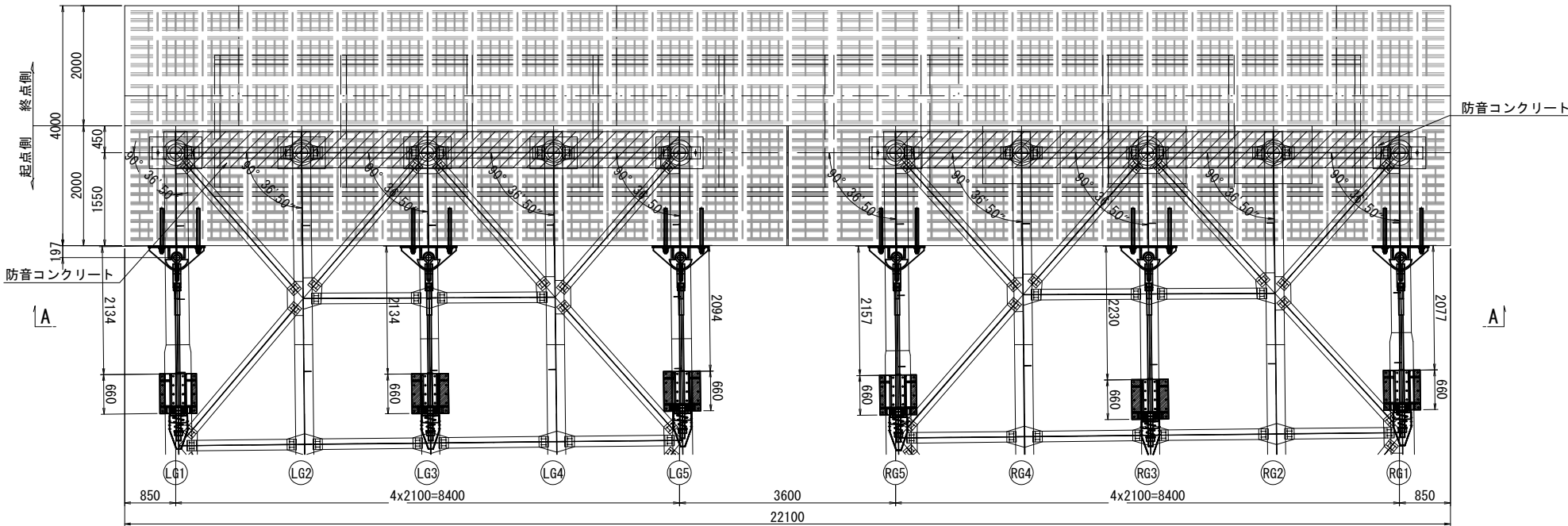
注記) 1. 連結ケーブルの製作は、現場にて取付間距離を確認のうえ、おこなうこと。

東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準落橋防止構造詳細図 (PC桁) その3 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

正面図(起点側)
A - A

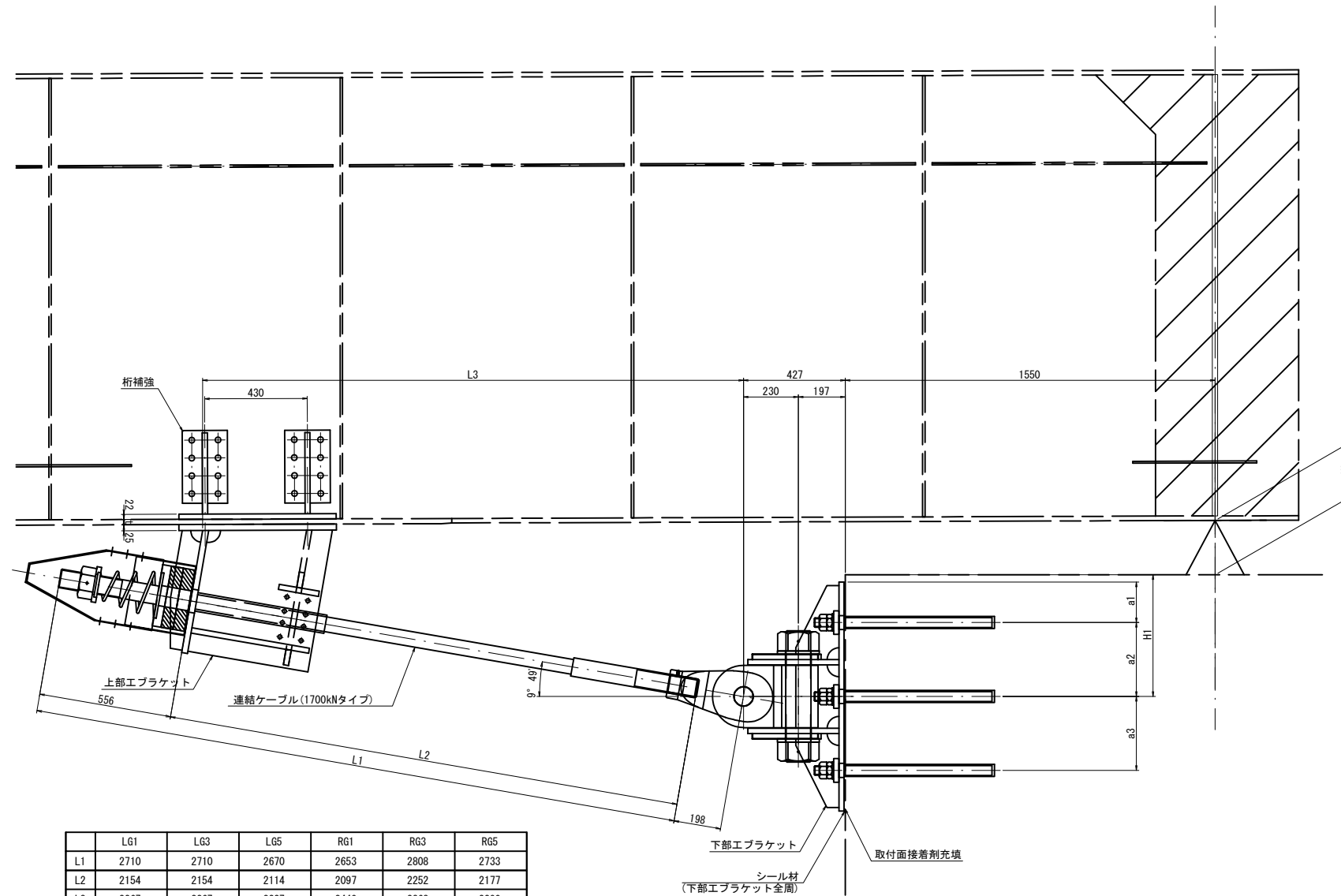


平面図



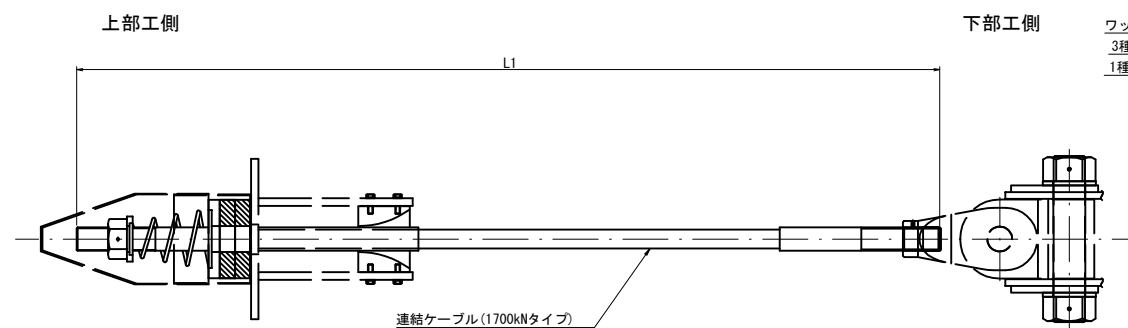
東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準落橋防止設置工 (鋼鈑桁) その１ 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

側面図

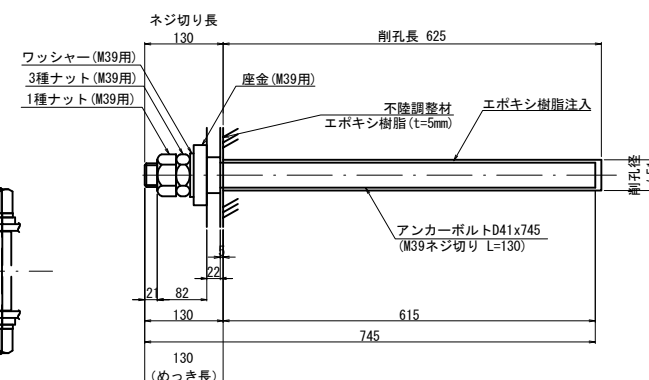


	L61	L63	L65	RG1	RG3	RG5
L1	2710	2710	2670	2653	2808	2733
L2	2154	2154	2114	2097	2252	2177
L3	2267	2267	2227	2440	2363	2290
H1	510	510	520	500	510	500
H2	228	225	213	228	242	242
t	22	12	19	22	12	22

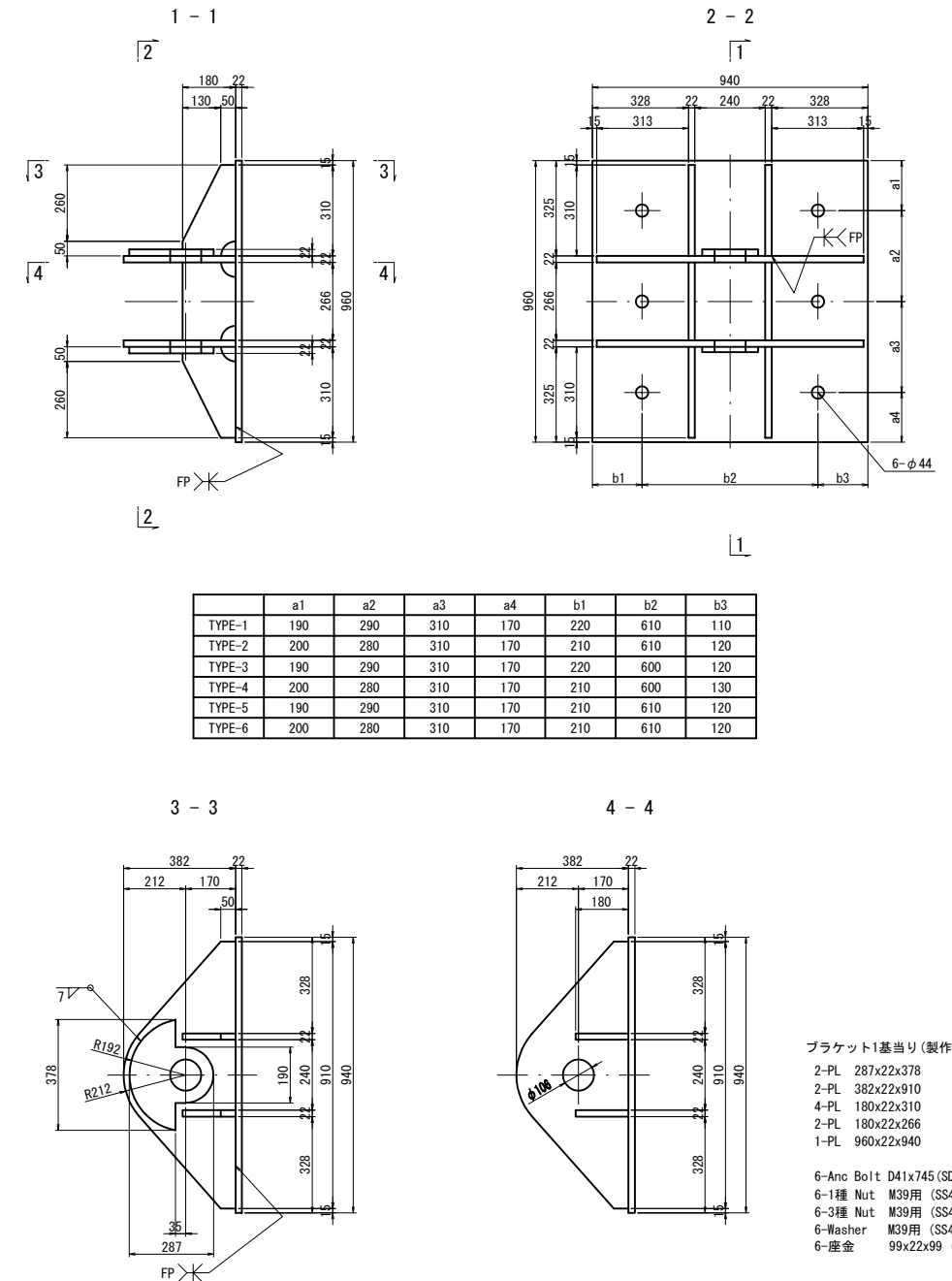
連結ケーブル
取付詳細図



アンカーボルト詳細図 S=1:12.5



下部エブラケット詳細図



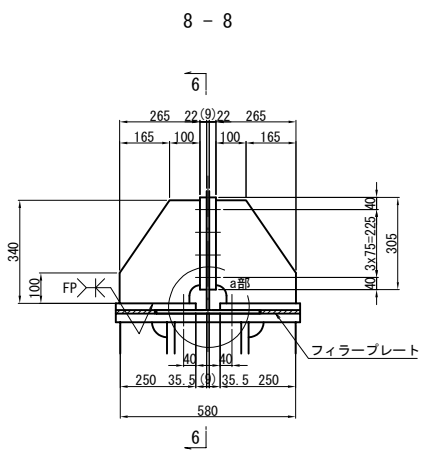
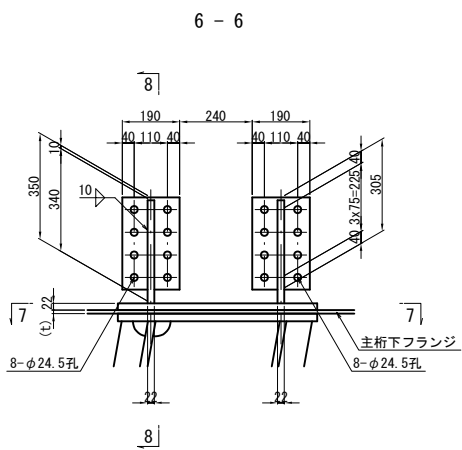
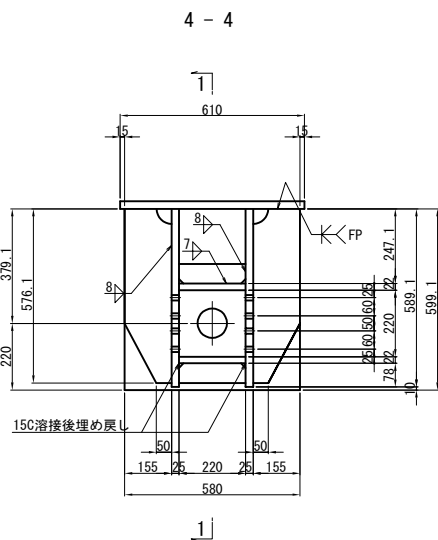
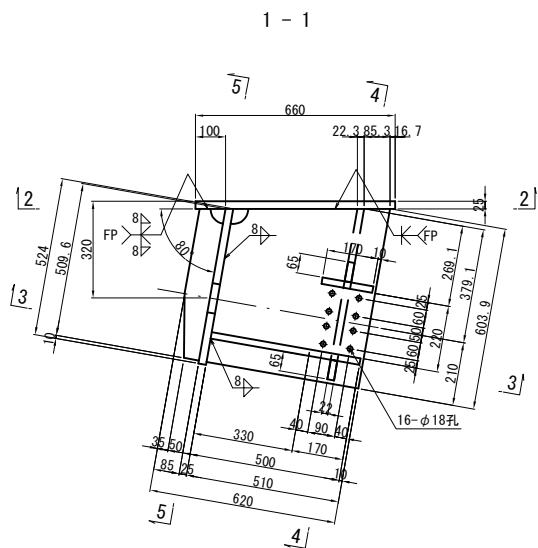
- 注記)
- 1) 特記なき材質は、全てSM490Aとする。
 - 2) 特記なきスカーラップは50Rとする。
 - 3) 下部フラケットは、全て溶接部始めつぎ仕上げ (JIS H8641 HDZ177、HDZ174) とする。
 - 4) 工場製作はアンカーボルト削孔位置等、現場実測確認のうえ行うものとする。
 - 5) アンカーボルトは接着系アンカーとする。
 - 6) アンカーボルト間隔は5d (d:アンカー径) 以上を確保すること。
 - 7) 施工時に既設の落着防止装置のナットは撤去すること。

東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準落橋防止構造詳細図 (鋼板桁) のその 1 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

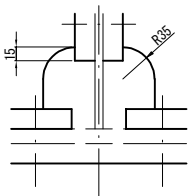
標準落橋防止構造詳細図（鋼鈑桁）その2 参考図
(1700kNタイプ)

S=1:25

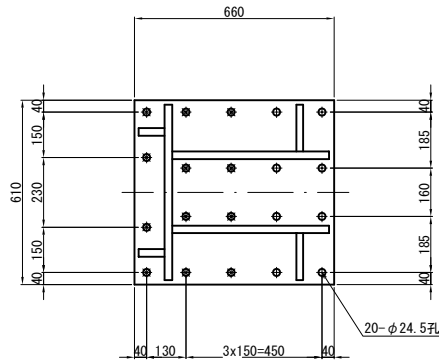
上部エブラケット詳細図



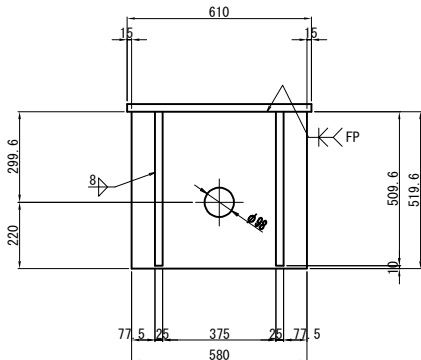
a部詳細



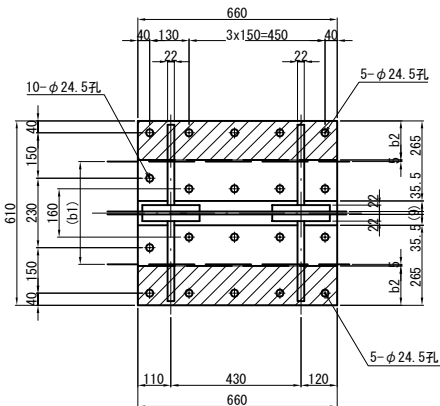
2 - 2



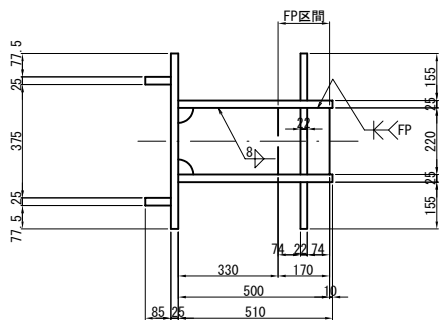
5 - 5



7 - 7

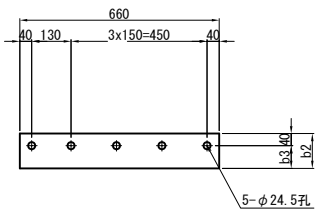


3 - 3



ブラケット1基当り(製作数:6)
2-PL 85x25x510
2-PL 510x25x604
2-PL 155x22x577
2-PL 65x22x220
1-PL 220x22x500
1-PL 170x22x220
1-PL 524x25x580
1-PL 660x25x610
12-TCB M22xL1 (S10T) [+1W]
8-TCB M22xL2 (S10T)

フィラープレート詳細図



ブラケット1基当り(製作数:6)
2-PL 250x22x660(SM400A)
4-PL 265x22x340(SM400A)
4-PL 190x22x305(SM400A)
16-TCB M22x90 (S10T)
2-Fill PL B1xT1x660 (SS400)

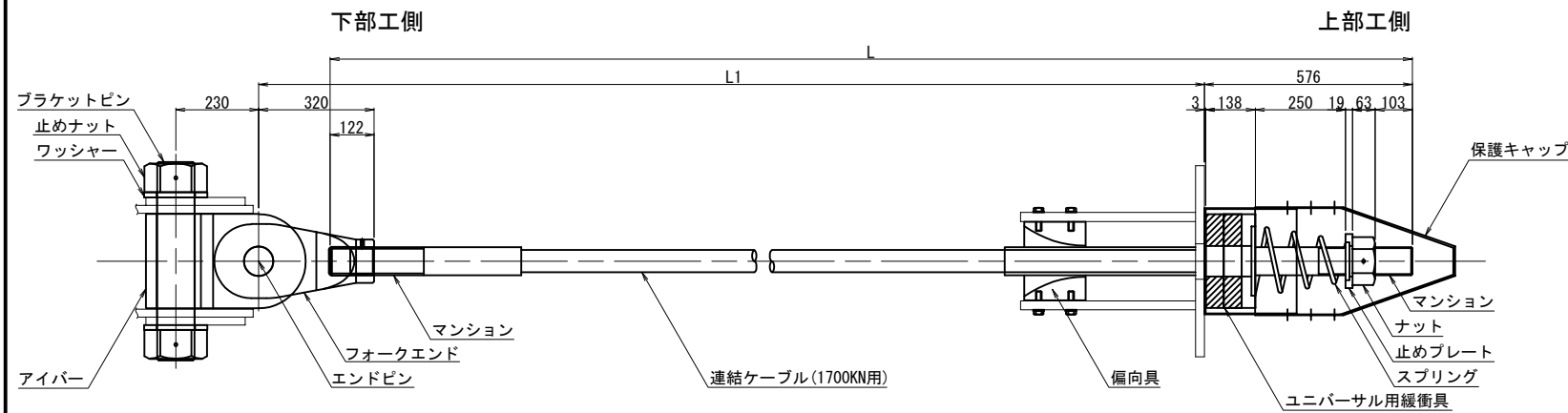
- 注記)
- 特記なき材質は、全てSM490Aとする。
 - 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 - 上部エブラケット及び、桁補強は主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
 - の高力ボルトは頭部側にも座金を用いるものとする。
 - ()内は既設主桁の仮定寸法値であるため取付位置に合わせて適宜変更すること。

	t	b1	b2	b3	T1	B1	L1	L2
LG1	22	440	80	40	22	80	110	105
LG3	12	300	150	110	12	150	100	95
LG5	19	330	135	95	19	135	110	105
RG5	22	420	90	50	22	90	110	105
RG3	12	300	150	110	12	150	100	95
RG1	22	390	105	65	22	105	110	105

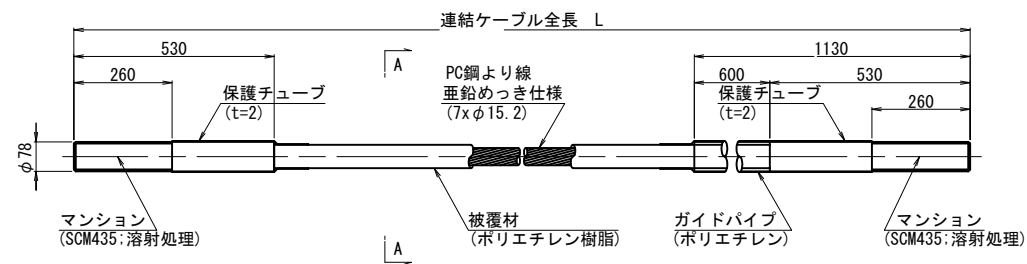
東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準落橋防止構造詳細図 (鋼鈑桁) その2 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

起点側：取付詳細図及び部品図

取付詳細図



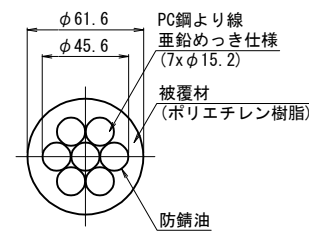
連結ケーブル



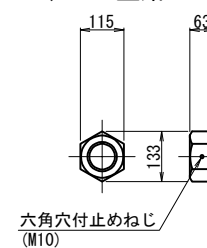
連結ケーブル寸法表

	L1	L
LG1	2332	2710
LG3	2332	2710
LG5	2292	2670
RG1	2275	2653
RG3	2430	2808
RG5	2355	2733

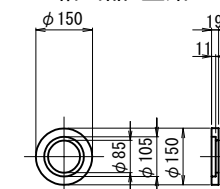
A-A断面図 S=1:2



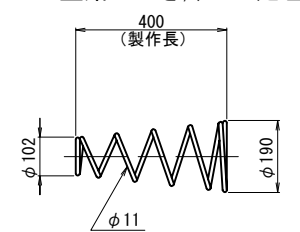
ナット
(S45C:亜鉛めっき)



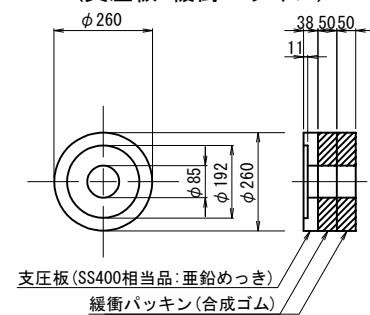
止めプレート
(SS400相当品:亜鉛めっき)



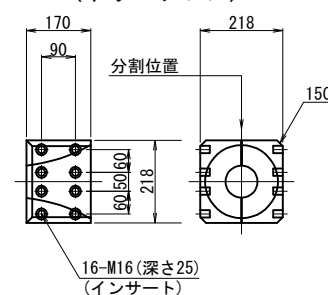
スプリング
(SW-C:亜鉛めっき, ｸﾛﾒｰﾄ処理)



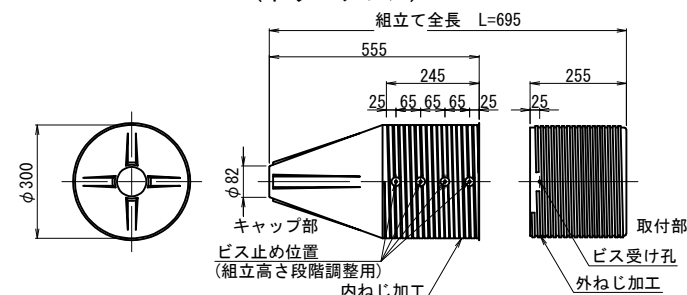
ユニバーサル用緩衝具
(支圧板+緩衝パッキン)



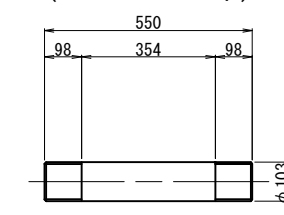
偏 向 具
(ポリエチレン)



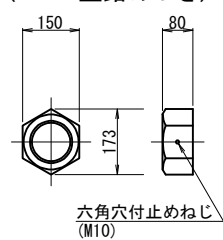
保護キャップ
(ポリエチレン)



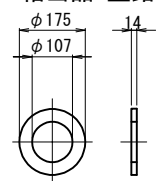
ブラケットピン
(SCM435:DMコート)



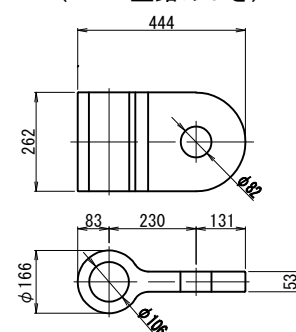
止めナット
(S45C:亜鉛めっき)



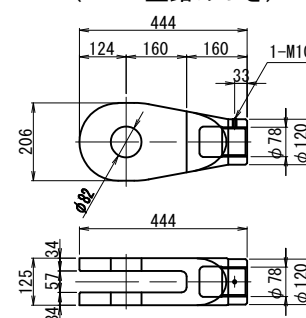
ワッシャー
(SS400相当品:亜鉛めっき)



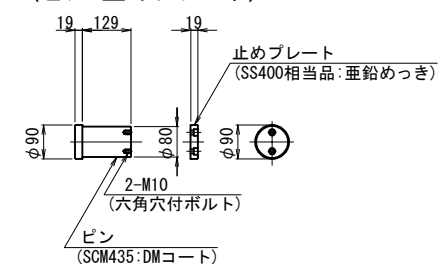
アイバー
(S45C:亜鉛めっき)



フォークエンド
(S45C:亜鉛めっき)

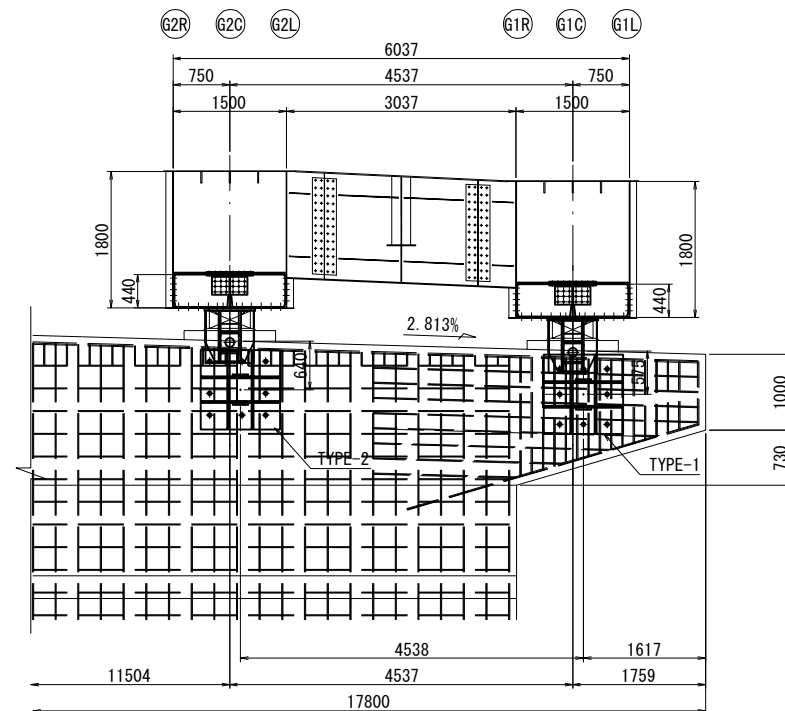


エンドピン
(ピン+止めプレート)

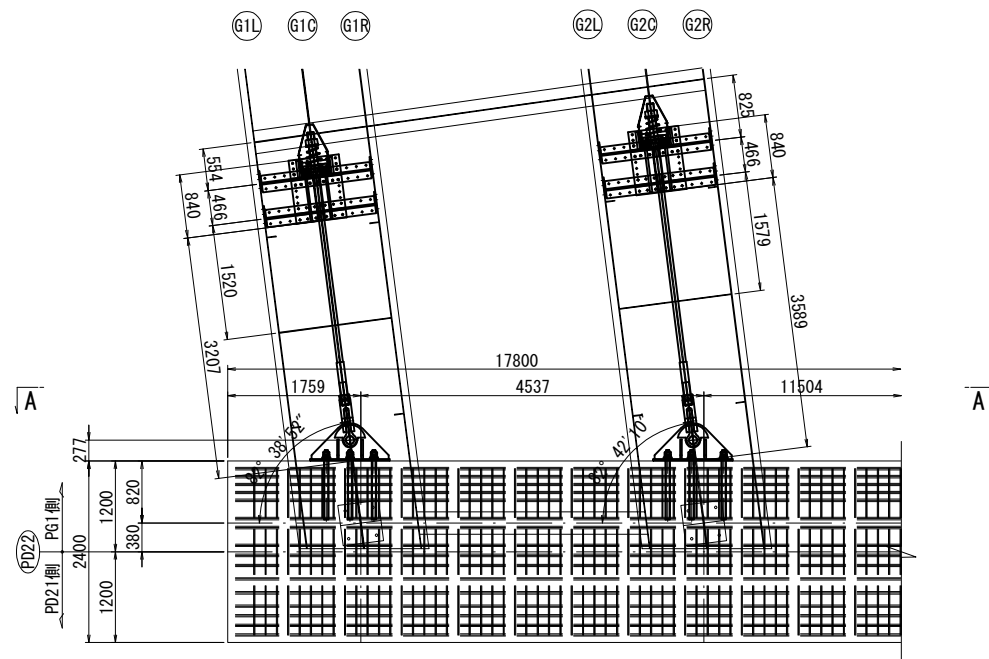
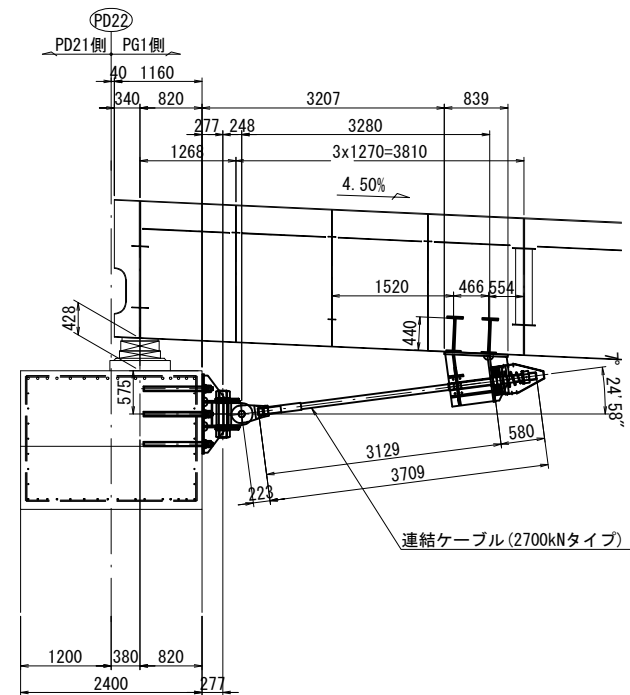


注記)
1. 連結ケーブルの製作は、現場にて取付間距離を確認のうえ、おこなうこと。

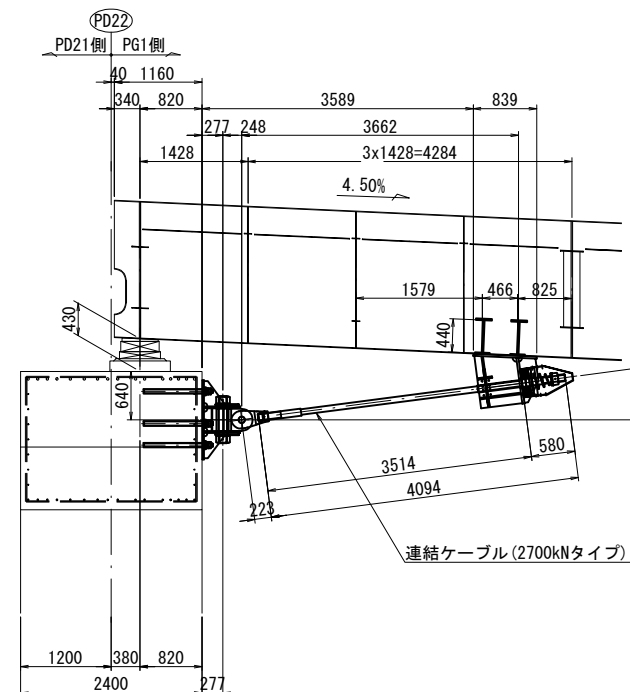
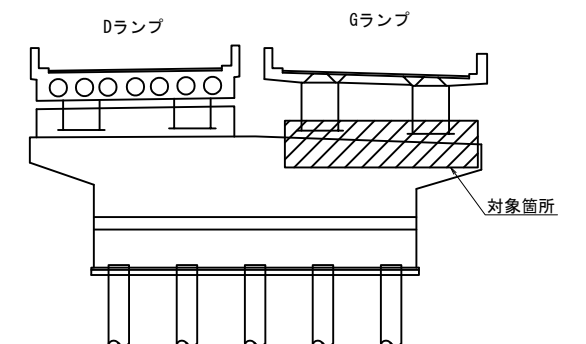
<p>東日本高速自動車道 川口地区耐震補強工事</p>			
図面の種類	<p>標準落橋防止構造詳細図 (鋼板桁) その3 参考図</p>		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	<p>東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所</p>		

正面図 (PG1側)
A - A

平面図

側面図
G1桁

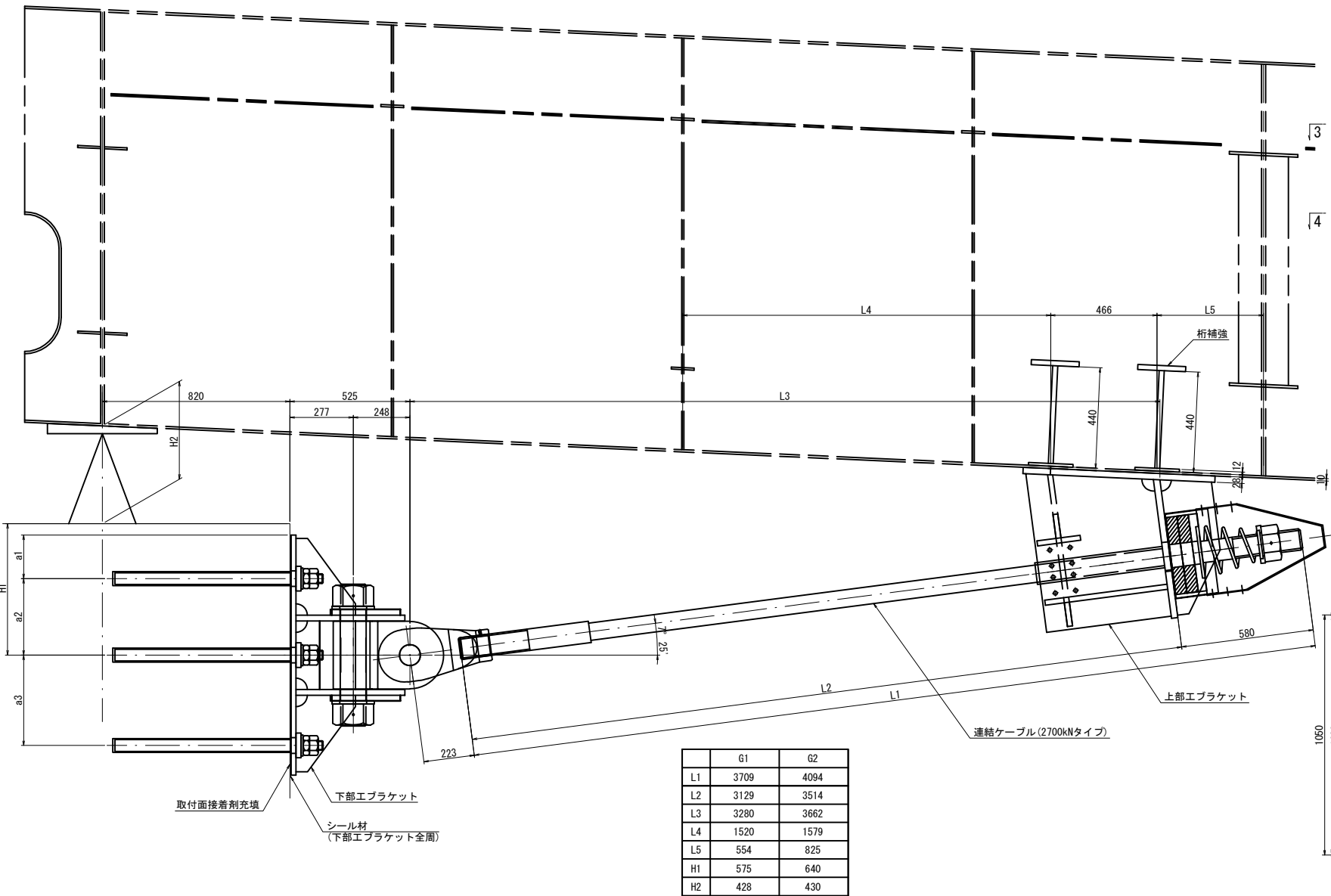
G2桁

位置図
DP22橋脚

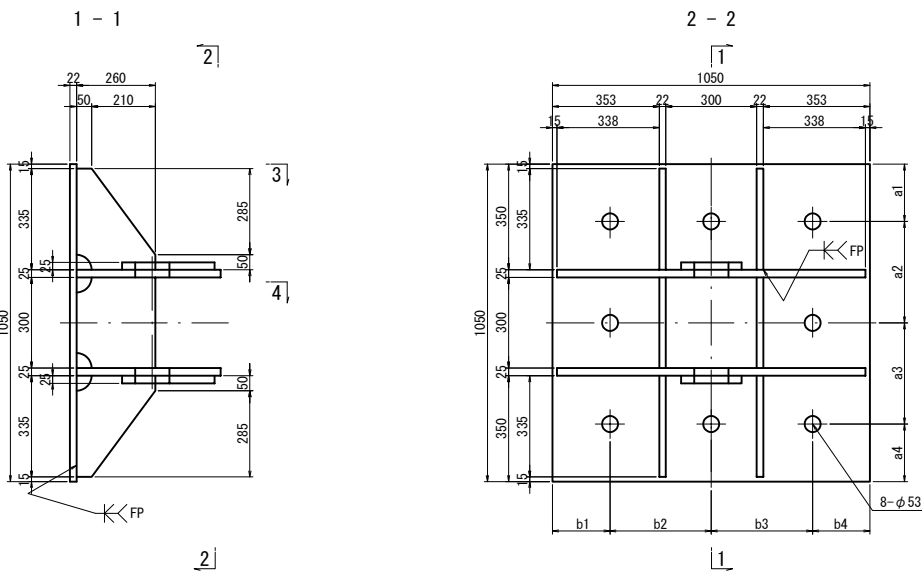
東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準落橋防止設置工 (鋼箱桁) 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

(2700kNタイプ)

側面図

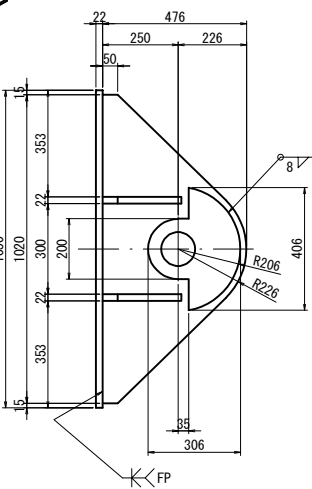


下部エブラケット詳細図



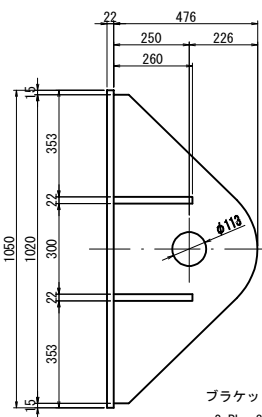
	a1	a2	a3	a4	b1	b2	b3	b4
TYPE-1	190	335	395	130	210	315	315	210
TYPE-2	150	425	285	190	120	425	315	190

3 - 3



アンカーボルト詳細図 S=1:12.5

4 - 4



ブラケット1基当り (製作数:2)

- 2-PL 306x25x406
- 2-PL 476x25x1020
- 4-PL 260x22x335
- 2-PL 260x22x300
- 1-PL 1050x22x1050

- 8-Anc Bolt D51x910 (SD345)
- 8-1種 Nut M48用 (SS400)
- 8-3種 Nut M48用 (SS400)
- 8-Washer M48用 (SS400)
- 8-座金 108x22x108 (SS400)

注記)

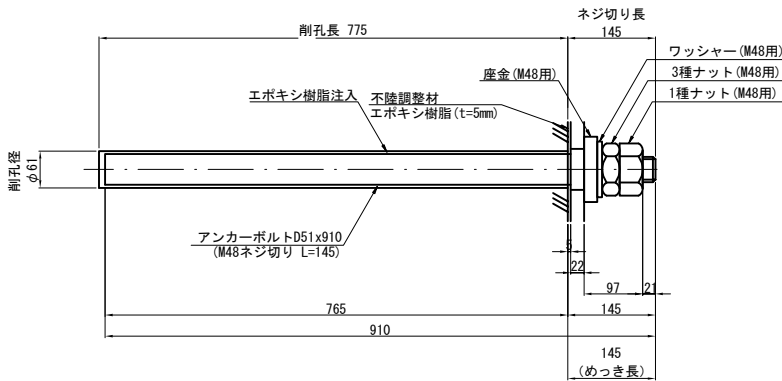
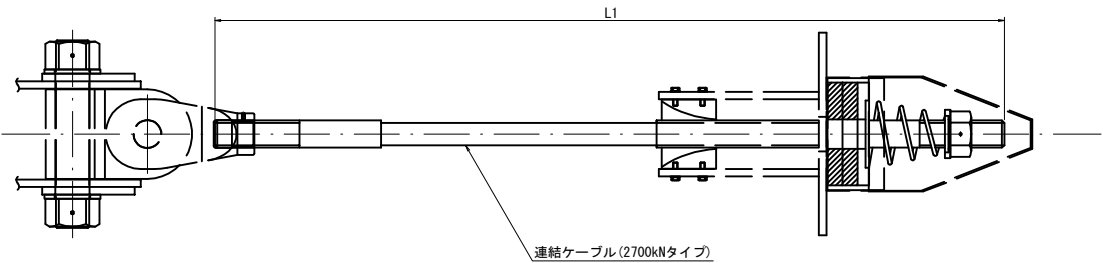
- 特記なき材質は、全てSM490Aとする。
- 特記なきスカーラップは50Rとする。
- 下部エブラケットは、全て溶融亜鉛めっき仕上げ (JIS H8641 HDZT77, HDZT49) とする。
- 工場製作はアンカーボルト削孔位置等、現場実測確認のうえ行うものとする。
- アンカーボルトは接着系アンカーとする。
- アンカーボルト間隔は5d (d:アンカー径) 以上を確保すること。
- 施工時に既設の落橋防止装置のナットは撤去すること。

連結ケーブル

取付詳細図

下部工側

上部工側

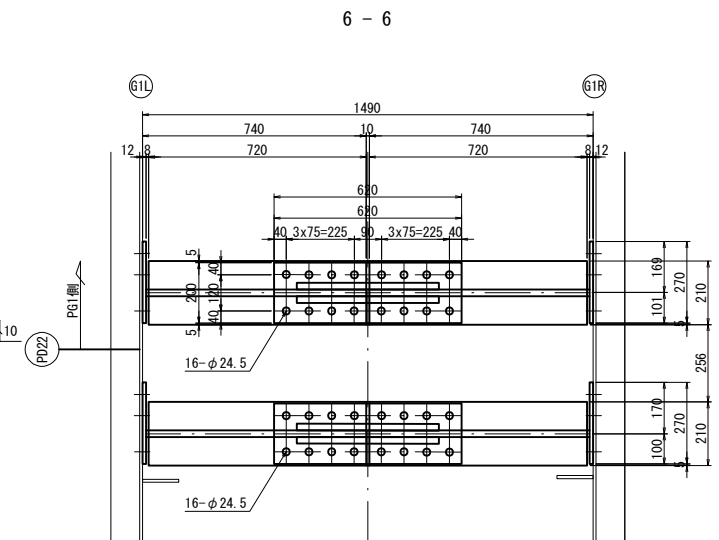
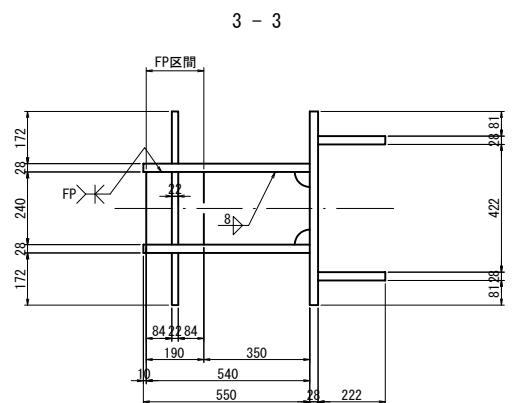
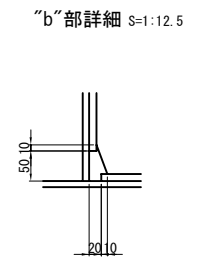
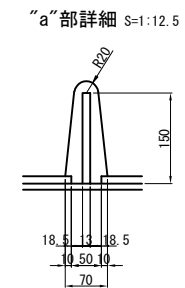
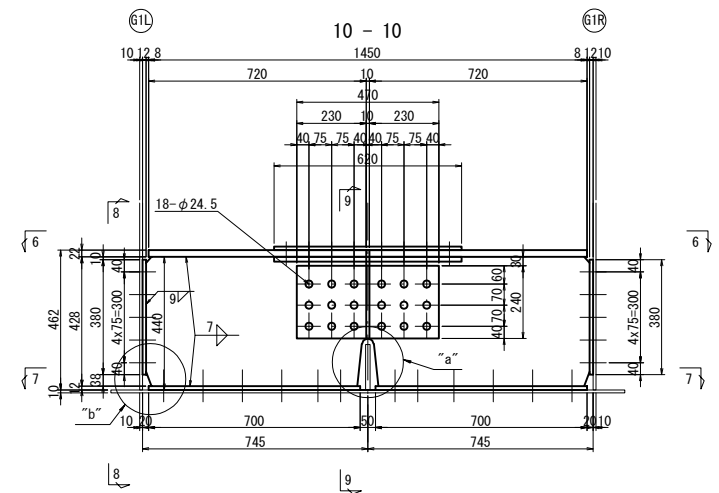
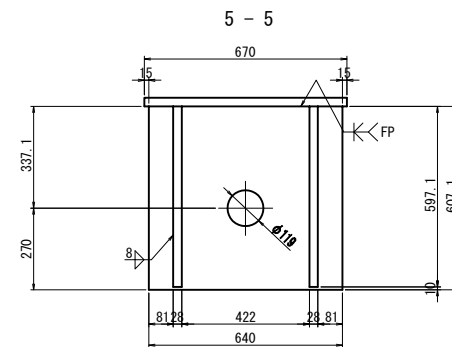
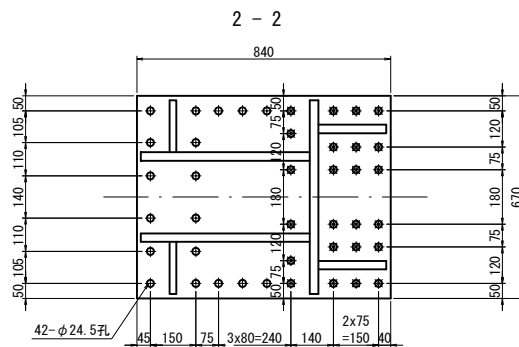
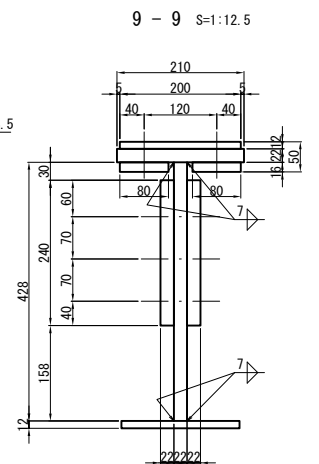
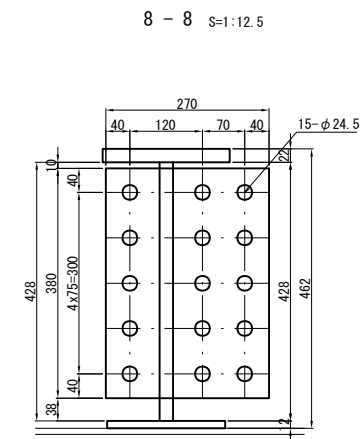
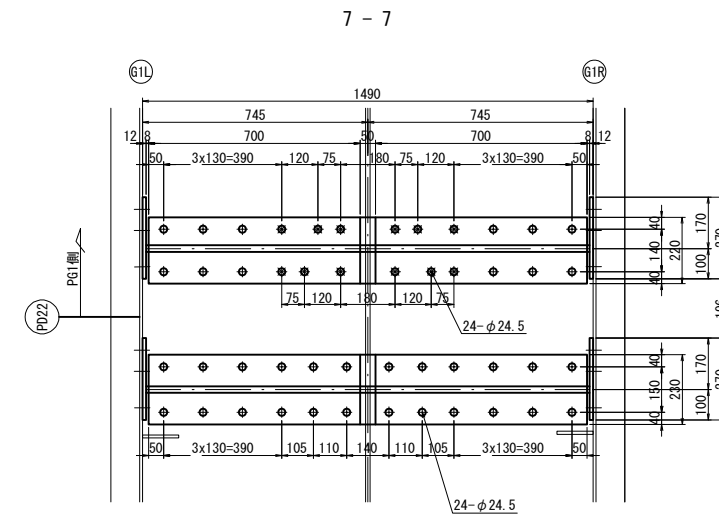
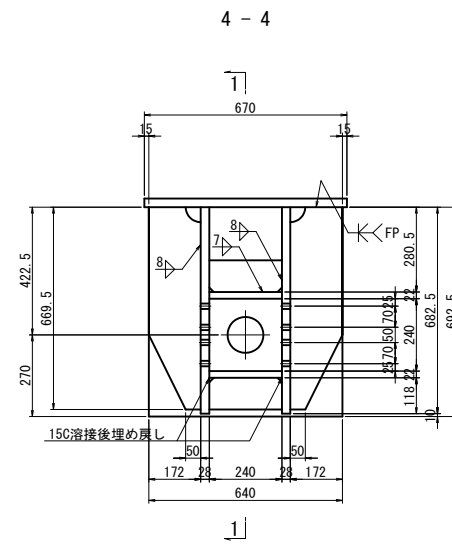
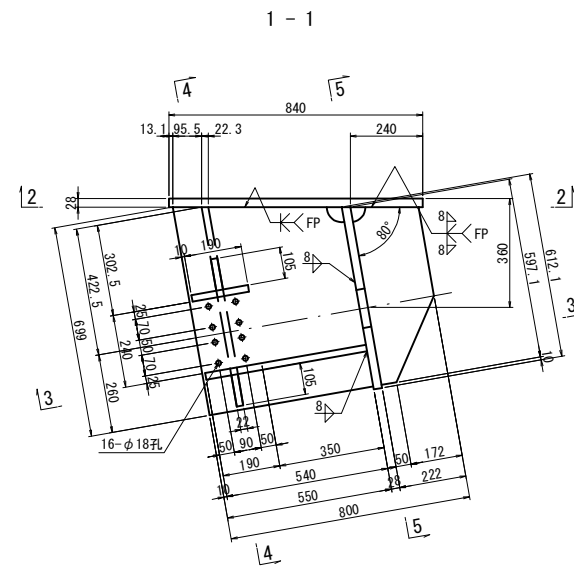


東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準落橋防止構造詳細図 (鋼箱桁) その1 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

(2700kNタイプ)

上部エブラケット詳細図

桁補強詳細図



ブラケット1基당り (製作数:2)

- 2-PL 222x28x598 (SM490B)
- 2-PL 550x28x699 (SM490B)
- 2-PL 172x22x670 (SM490A)
- 2-PL 105x22x240 (SM490A)
- 1-PL 240x22x540 (SM490A)
- 1-PL 190x22x240 (SM490A)
- 1-PL 613x28x640 (SM490B)
- 1-PL 840x28x670 (SM490B)

12-TCB M22x80 (S10T) [+1W]
6-TCB M22x75 (S10T)

上工付付き補強材1基当り(製作数:2基)

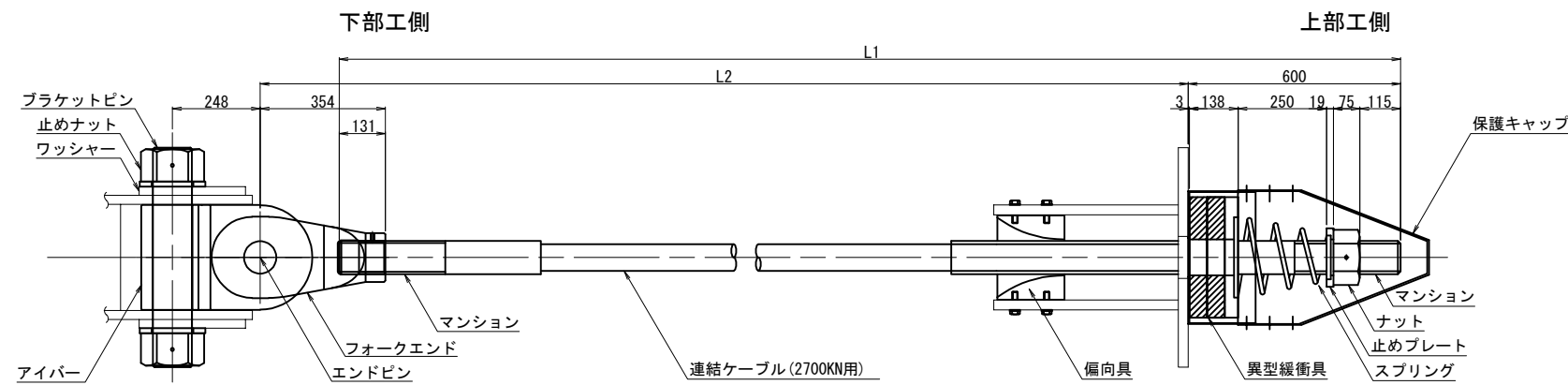
- 2-SPL PL 200×12×620
- 4-PL 210×22×720(SM90YB)
- 4-SPL PL 80×16×620
- 4-PL 428×22×728(SM90YB)
- 4-SPL PL 240×22×470(SM90YB)
- 4-BASE PL 270×12×380
- 2-BASE PL 220×12×700
- 2-BASE PL 230×12×700
- 32-TCB M22×85(S10T)
- 36-TCB M22×105(S10T)
- 60-TCB M22×60(S10T)
- 24-TCB M22×60(S10T)
- 12-TCB M22×85(S10T)
- 12-TCB M22×90(S10T)[+1W]

- 注記)
- 1) 特記なき材質は、全てSM490YAとする。
 - 2) 特記なきスカラープは全て50Rとする。
 - 3) 工場製作は現場実測確認のうえ行ふものとする。
 - 4) 上部工ブラケット及び、桁補強は主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
 - 5) ●の強力ボルトは頭部側にも座金を用いるものとする。

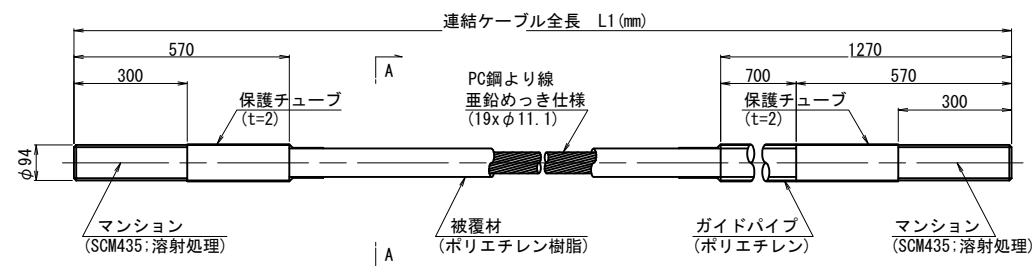
東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準落橋防止構造詳細図 (鋼箱桁) その2 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

DP22橋脚(終点側):取付詳細図及び部品図

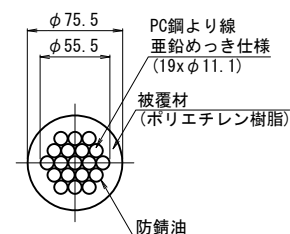
取付詳細図



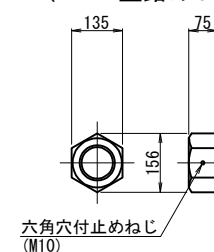
連結ケーブル



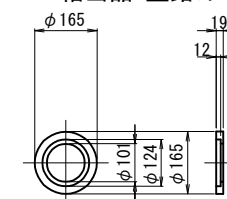
A-A断面图 S=1:3



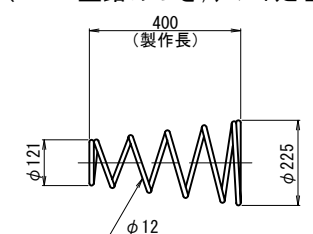
ナット
(S45C:亜鉛めっき)



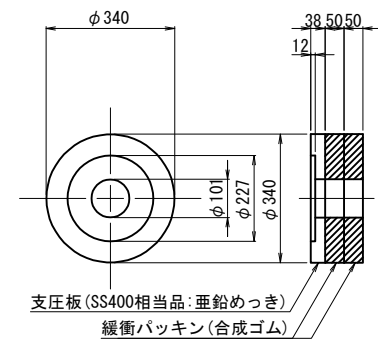
止めプレート
(SS400相当品:亜鉛めっき)



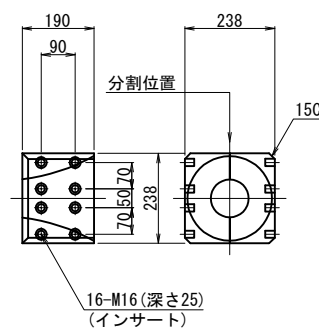
スプリング
(SW-C:亜鉛めっき, クロメート処理)



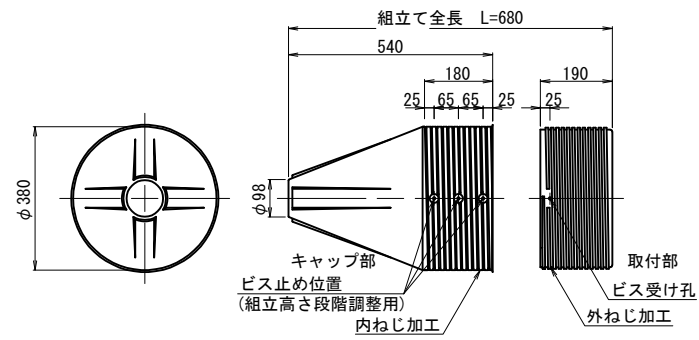
異型緩衝具
(支圧板+緩衝パッキン)



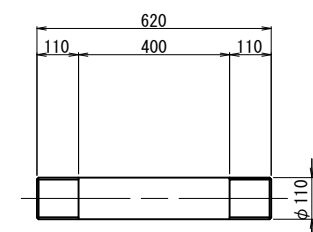
偏 向 具
(ポリエチレン)



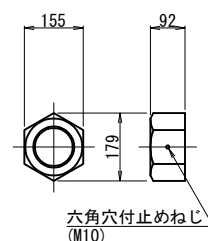
保護キャップ
(ポリエチレン)



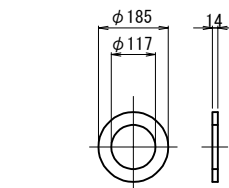
ブラケットピン
(SCM435:DMコート)



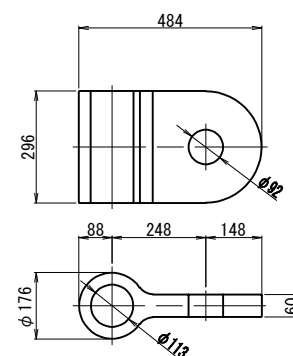
止めナット
(S45C:亜鉛めっき)



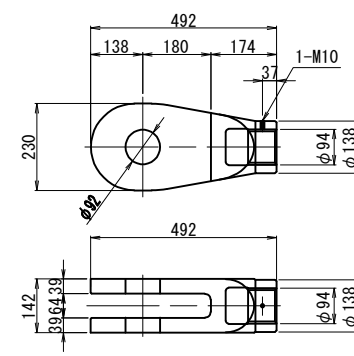
ワッシャー
(SS400相当品:亜鉛めっき)



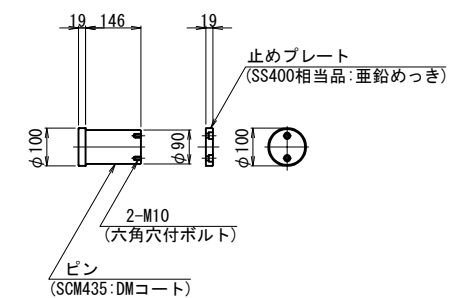
アイバー
(S45C:亜鉛めっき)



フォークエンド
(S45C:亜鉛めっき)



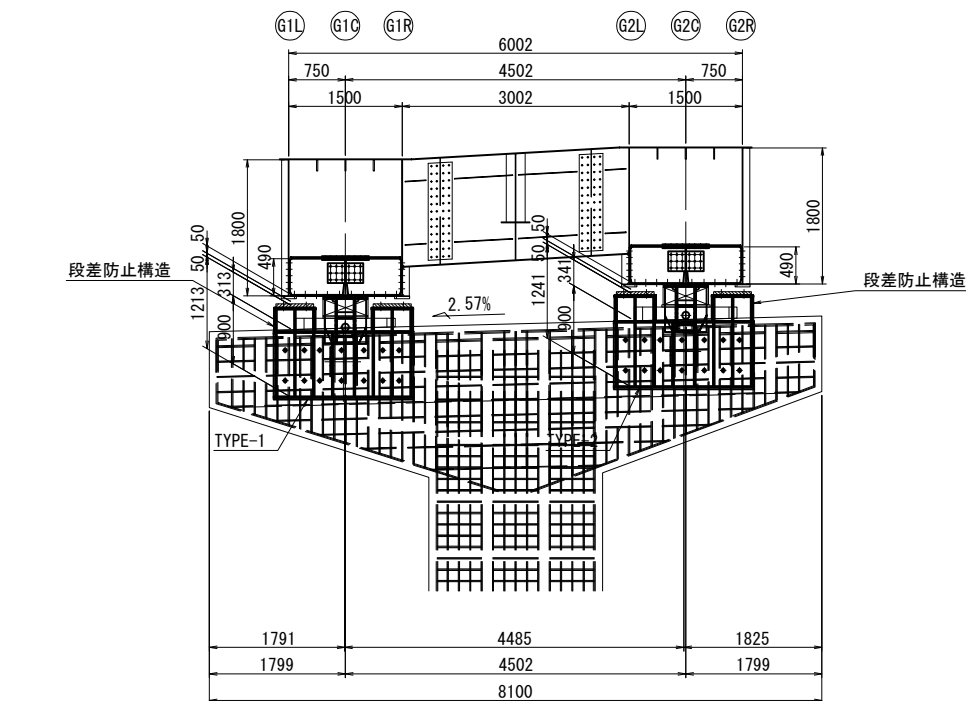
エンドピン
(ピン+止めプレート)



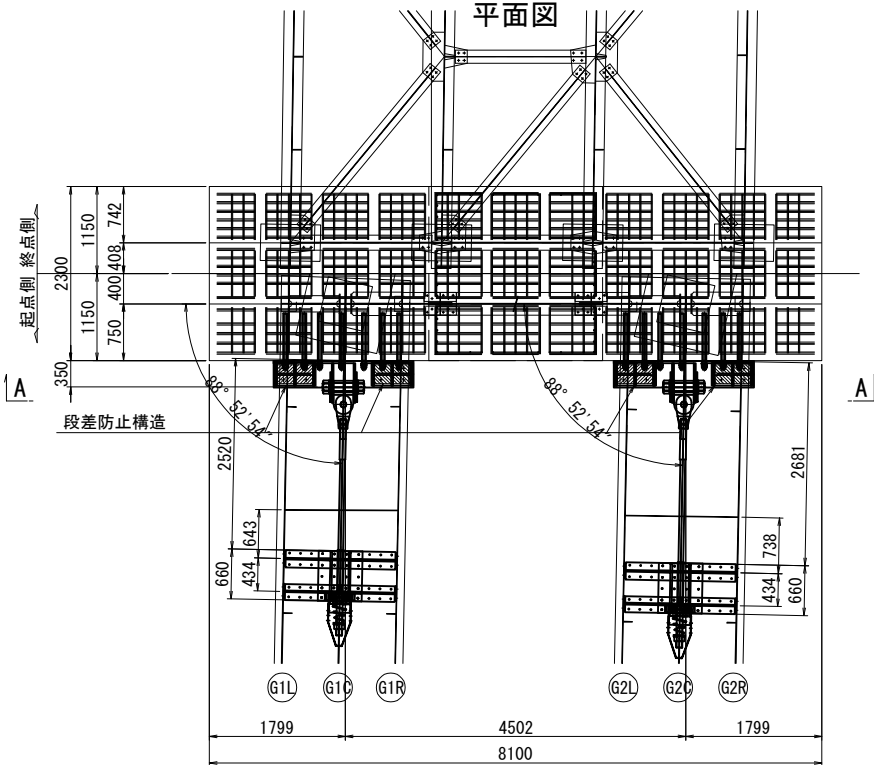
注記)
1. 連結ケーブルの製作は、現場にて取付間
距離を確認のうえ、おこなうこと。

東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準落橋防止構造詳細図 (鋼筋類) の 3 の 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

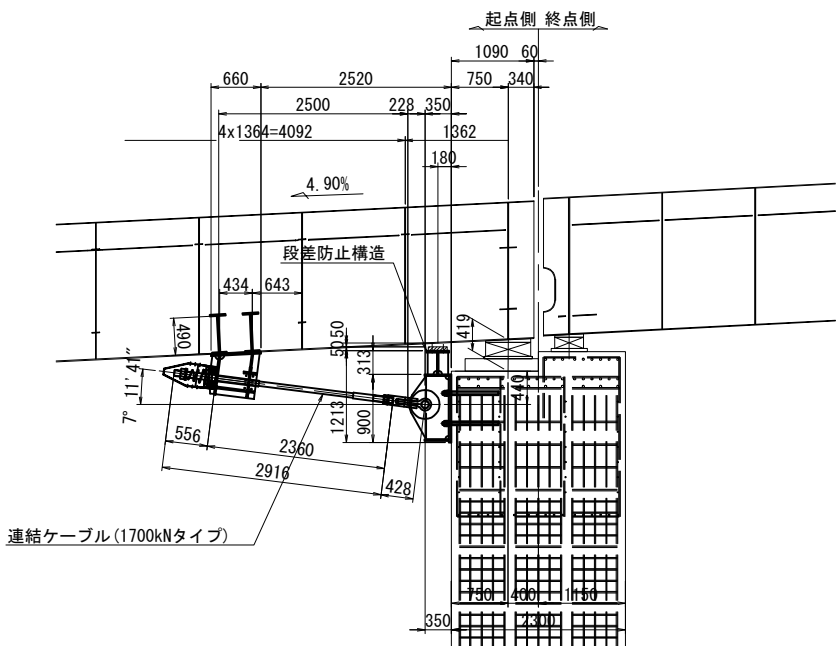
正面図(起点側)
A - A



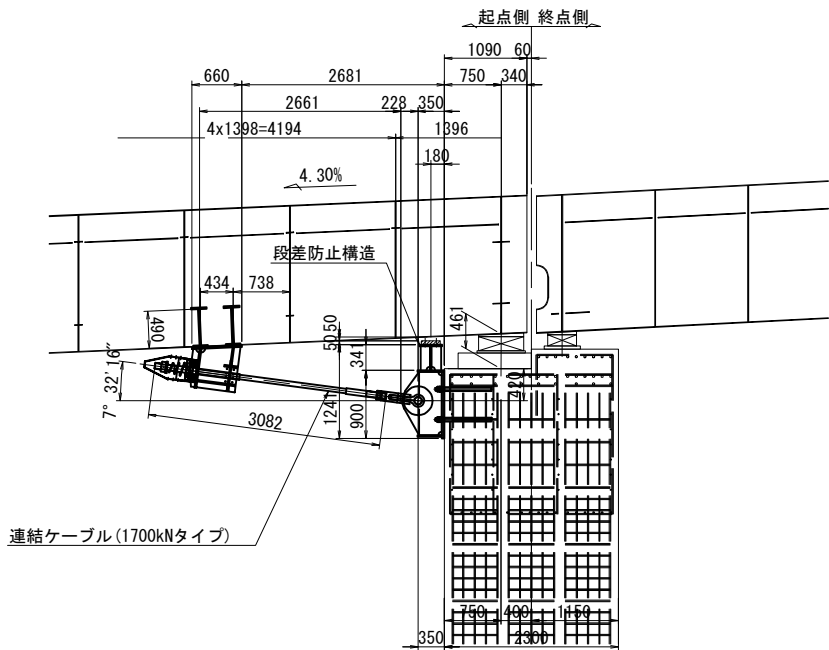
平面図



側面図
G1桁

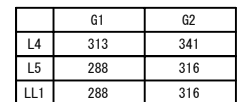


G2桁



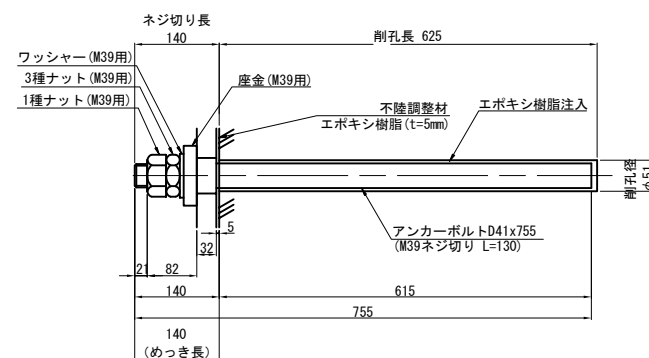
東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準落橋防止設置工 (落橋防止・段差防止兼用) 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

B - B



注記)

- 1) 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
- 2) 特記なきスカラーリングは50Rとする。
- 3) 下部工ブラケットは、全て溶融亜鉛めっき仕上げ
(JIS H8641 H27T77、H27T49)とする。
- 4) 工場製作はアンカーボルト削孔位置等、現場実測確認のうえ行うものとする。
- 5) アンカーボルトは接着系アンカーとする。
- 6) アンカーボルト間隔は5d (d:アンカー径) 以上を確保すること。
- 7) 施工時に既設の落着防止置のナットは撤去すること。



東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準落橋防止構造詳細図 (落橋防止・段差防止兼用) その 1 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

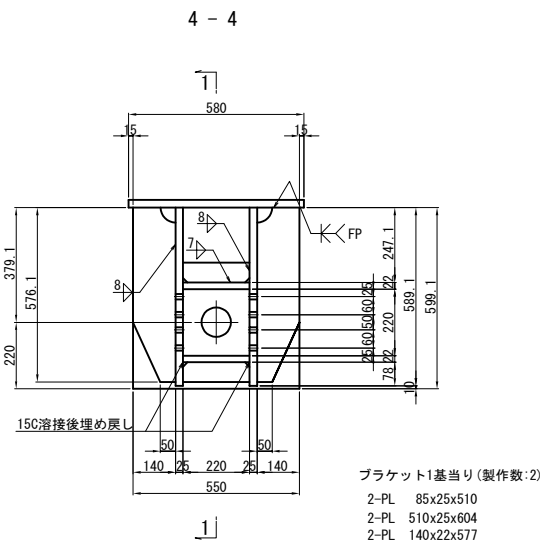
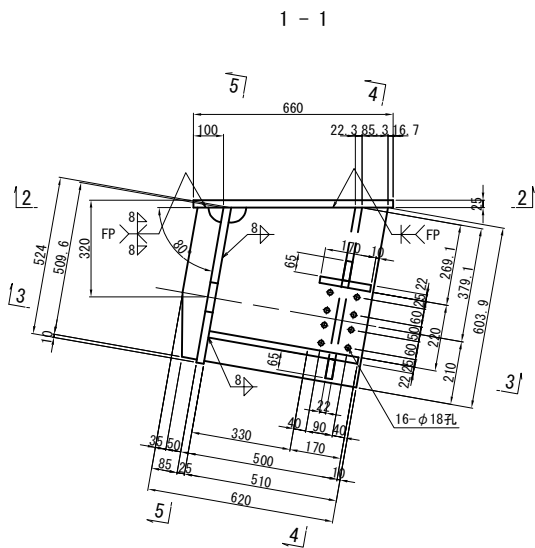
標準落橋防止構造詳細図（落橋防止・段差防止兼用）その2 参考図
(1700kNタイプ)

S=1:25

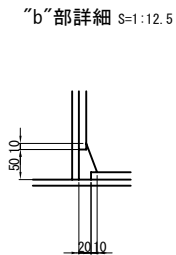
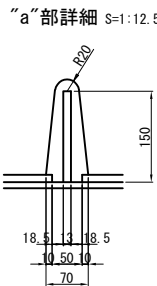
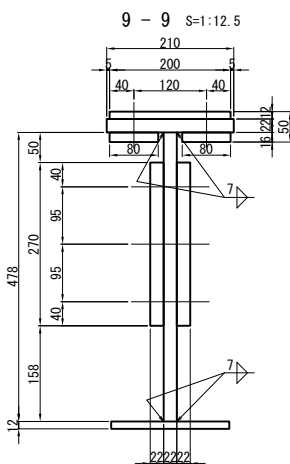
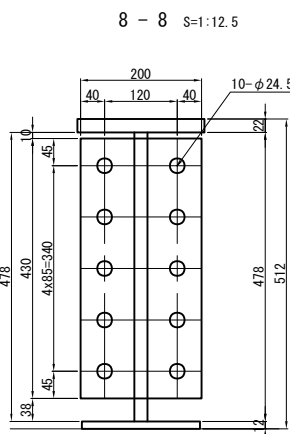
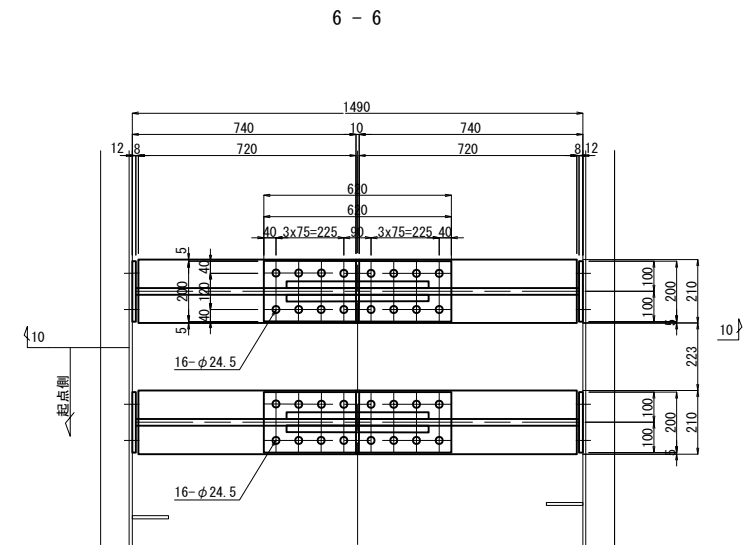
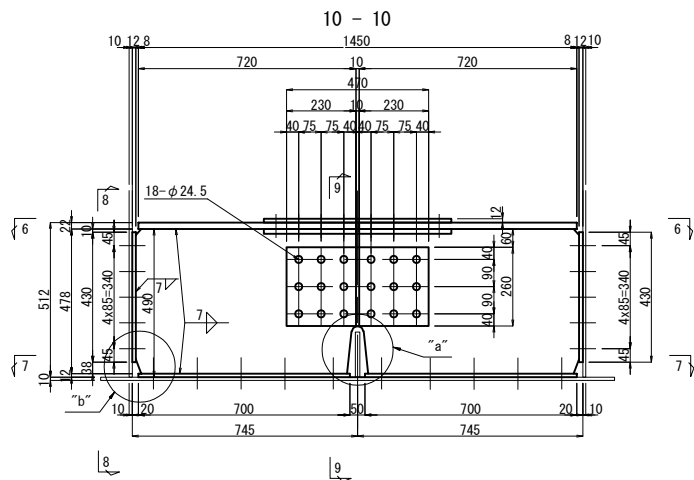
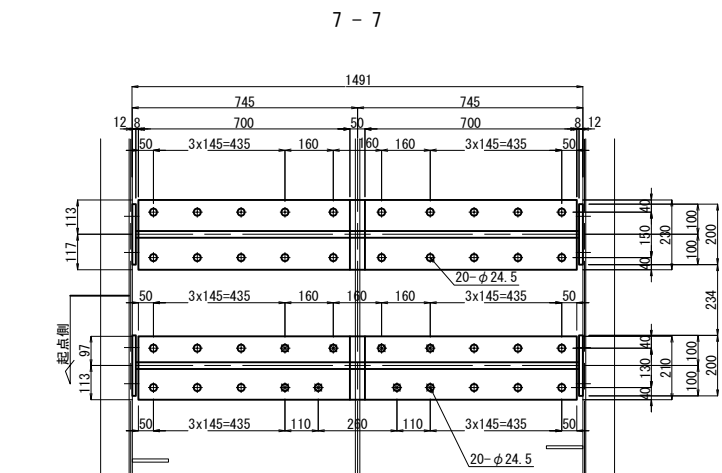
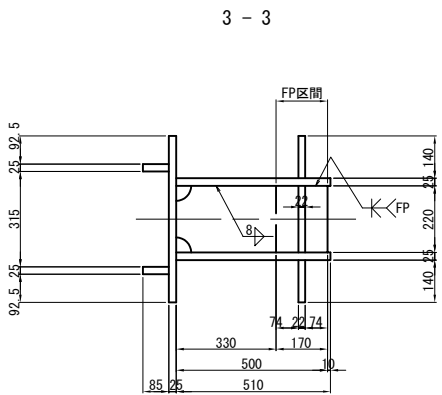
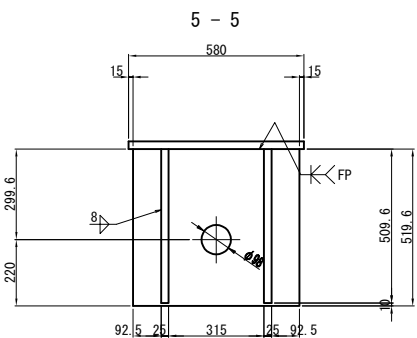
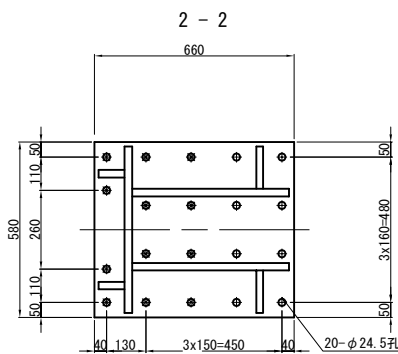
117/133

上部エブラケット詳細図

桁補強詳細図



ブラケット1基当り(製作数:2)
2-PL 85x25x510
2-PL 510x25x604
2-PL 140x22x577
2-PL 65x22x220
1-PL 220x22x500
1-PL 170x22x220
1-PL 524x25x550
1-PL 660x25x580
4-TCB M22x75 (S10T) [+1W]



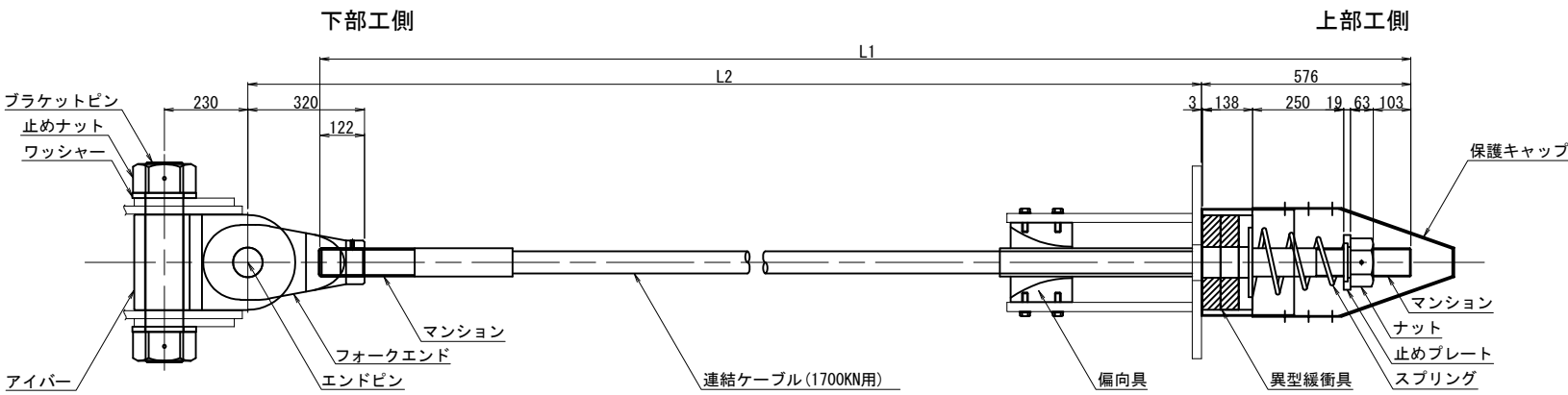
上部工付き補強材1基当り(製作数:2基)
2-SPL PL 200×12×620 (SM490YA)
4-PL 210×22×720 (SM490YB)
4-SPL PL 80×16×620 (SM490YA)
4-PL 478×22×728 (SM490YB)
4-SPL PL 260×22×470 (SM490YB)
4-BASE PL 200×12×430 (SM490YA)
2-BASE PL 210×12×700 (SM490YA)
2-BASE PL 230×12×700 (SM490YA)
32-TCB M22×85 (S10T)
36-TCB M22×105 (S10T)
40-TCB M22×60 (S10T)
24-TCB M22×60 (S10T)
8-TCB M22×85 (S10T)
8-TCB M22×90 (S10T) [+1W]

- 注記)
- 1) 特記なき材質は、全てSM490Aとする。
 - 2) 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 - 3) 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 - 4) 上部エブラケット及び、桁補強は主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
 - 5) ●の高力ボルトは頭部側にも座金を用いるものとする。

東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準落橋防止構造詳細図 (落橋防止・段差防止兼用) その2 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

起点側：取付詳細図及び部品図

取付詳細図



材 料 表（落橋防止構造1組当たり）

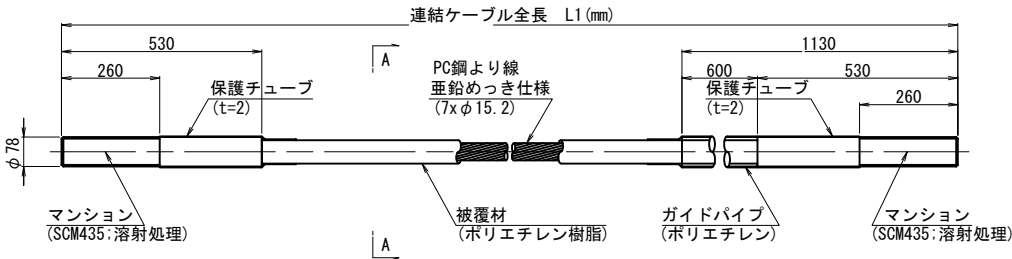
全2組

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
連結ケーブル	1700KN用 L1 (mm)	本	1	PC鋼より線、亜鉛めっき仕様、ポリエチレン被覆
(マンション)	1700KN用 標準	個	2	SCM435、亜鉛アルミ溶射、ねじり標準〈ケーブルに組込〉
(ガイドパイプ)	1700KN用 600mm	本	1	ポリエチレン〈ケーブルに組込〉
ナット	1700KN用	個	1	S45C、亜鉛めっき (HDZT77)
止めプレート	1700KN用	個	1	SS400相当品、亜鉛めっき (HDZT77)
スプリング	1700KN用 L=400	個	1	SW-C、亜鉛めっき、クロメート処理
異型緩衝具	1700KN用	個	1	SS400相当品、亜鉛めっき (HDZT77) + 合成ゴム
偏向具	1700KN用	個	1	ポリエチレン
(取付ボルト)	M16x55 1W付	本	16	SS400相当品、亜鉛めっき (HDZT49) 接着剤付
保護キャップ	1700KN用	組	1	ポリエチレン：8-止めビス付
ブラケットピン	1700KN用	本	1	SCM435、ダクロダイズド処理、DMコート
止めナット	1700KN用	個	2	S45C、亜鉛めっき (HDZT77)
ワッシャー	1700KN用	個	2	SS400相当品、亜鉛めっき (HDZT77)
アイバー	1700KN用	個	1	S45C、亜鉛めっき (HDZT77)
フォークエンド	1700KN用	個	1	S45C、亜鉛めっき (HDZT77)
エンドピン (ピン)	1700KN用	本	1	SCM435、ダクロダイズド処理、DMコート
(止めプレート)	1700KN用	個	1	SS400相当品、亜鉛めっき (HDZT77)

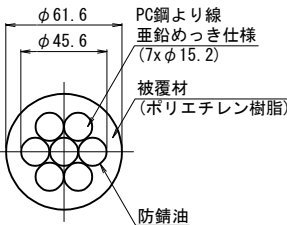
連結ケーブル寸法表

	L1	L2
G1	2916	2538
G2	3082	2704

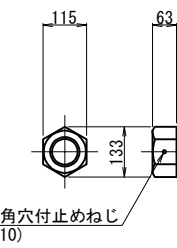
連結ケーブル



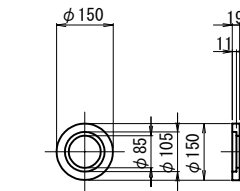
A-A断面図 S=1:2



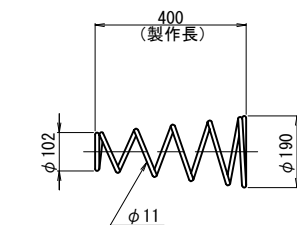
ナット (S45C：亜鉛めっき)



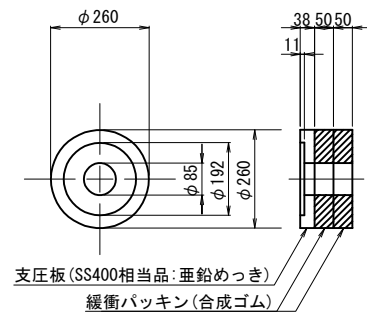
止めプレート (SS400相当品：亜鉛めっき)



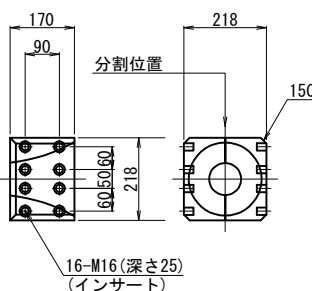
スプリング (SW-C：亜鉛めっき、クロメート処理)



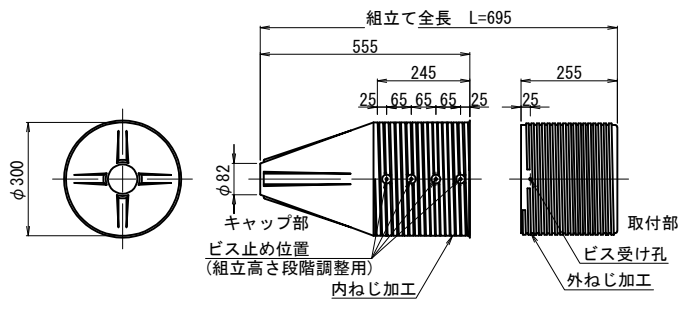
異型緩衝具 (支圧板+緩衝パッキン)



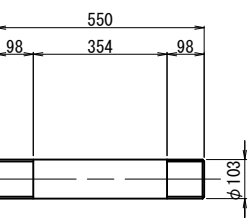
偏向具 (ポリエチレン)



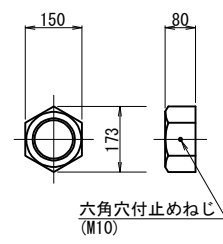
保護キャップ (ポリエチレン)



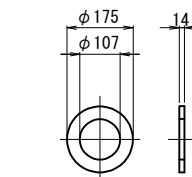
ブラケットピン (SCM435：DMコート)



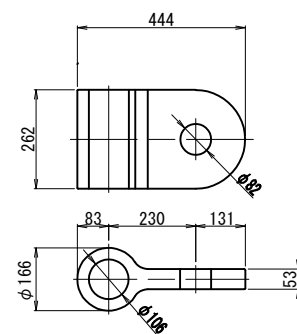
止めナット (S45C：亜鉛めっき)



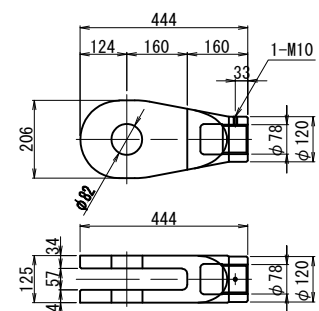
ワッシャー (SS400相当品：亜鉛めっき)



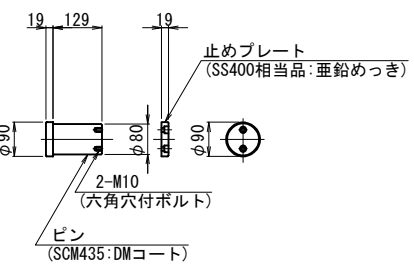
アイバー (S45C：亜鉛めっき)



フォークエンド (S45C：亜鉛めっき)

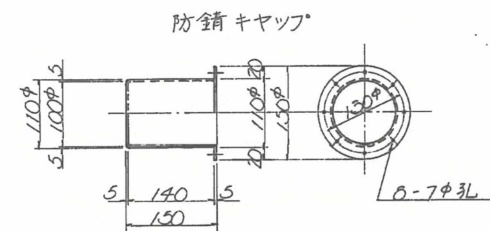
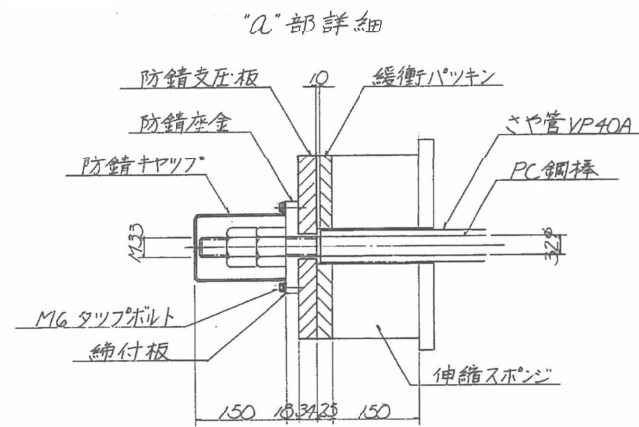
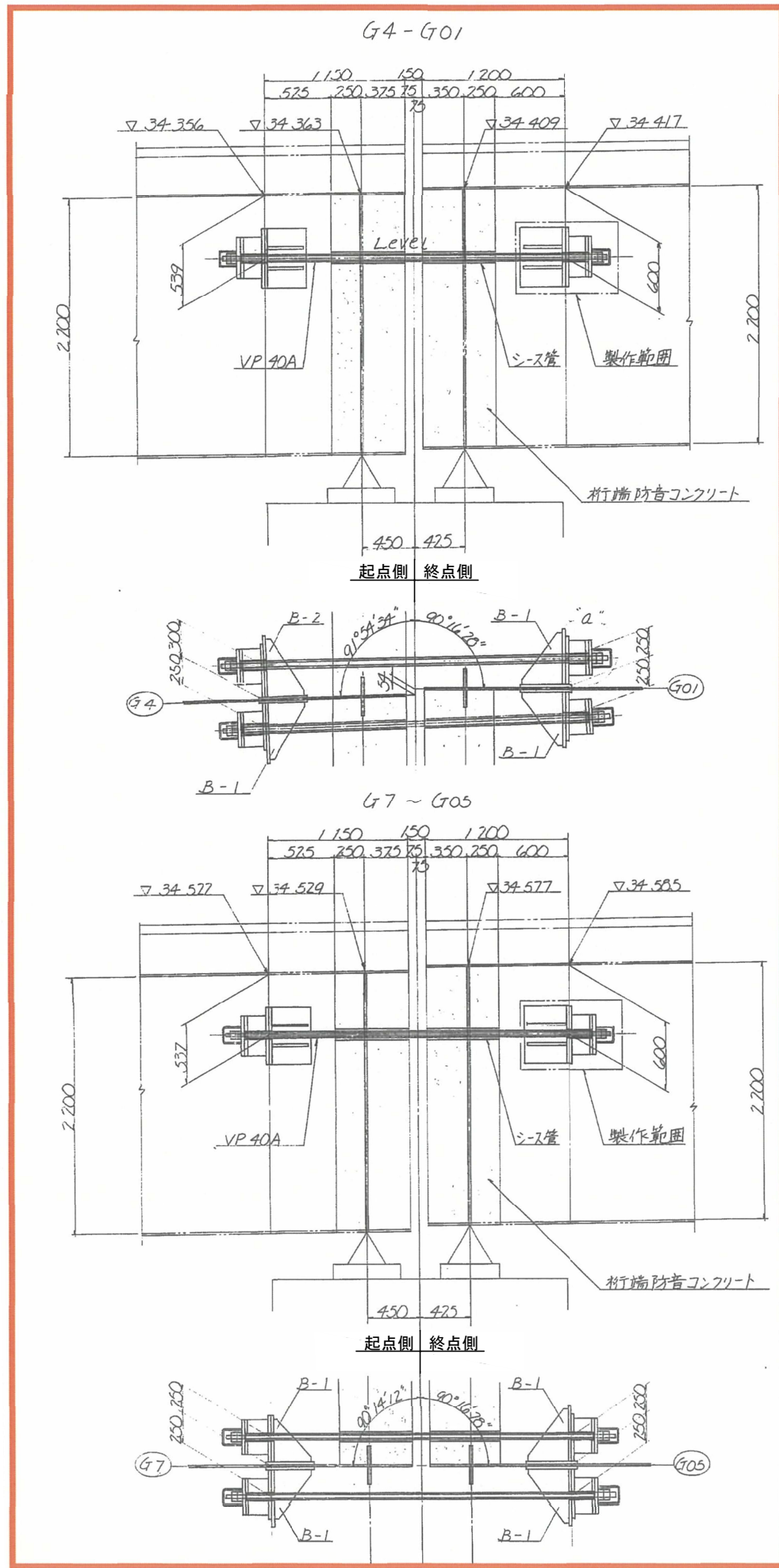


エンドピン (ピン+止めプレート)

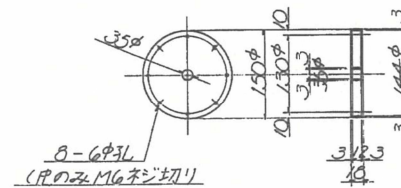


注記
1. 連結ケーブルの製作は、現場にて取付間距離を確認のうえ、おこなうこと。

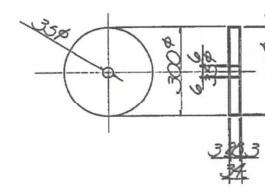
東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準落橋防止構造詳細図 (落橋防止・段差防止兼用) その3 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		



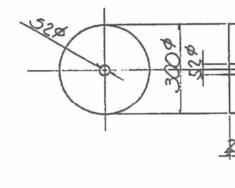
防銷座金



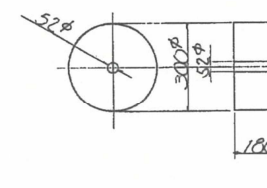
防銷支壓板



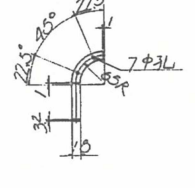
緩衝ハツキン



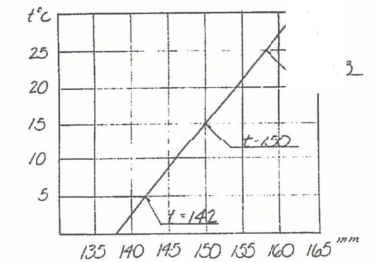
伸縮スポンジ



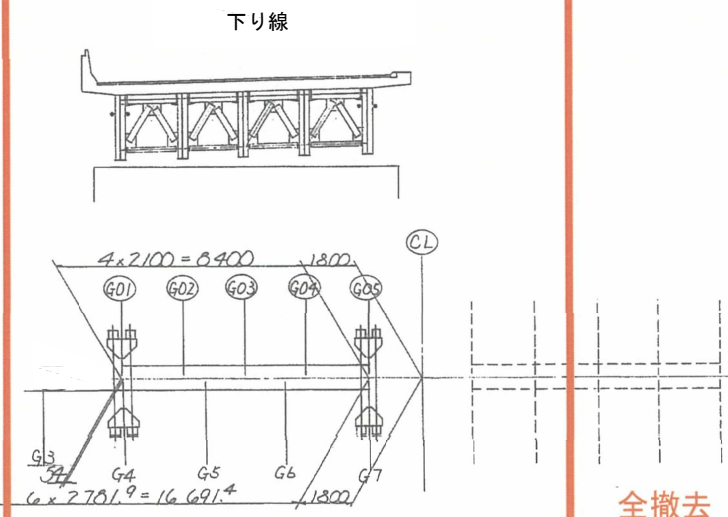
締付板 $s = 1/5$



伸縮スポンジセツ外厚



配置図



全撤去

找料表
(P6上外回り線)

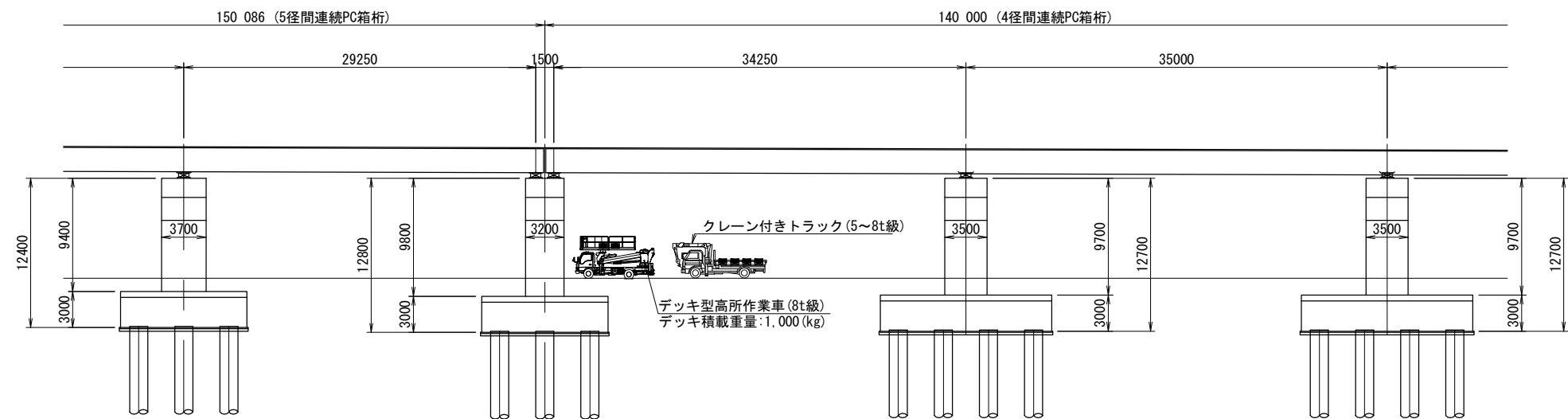
名称	寸法	材質	数量
伸縮スポンジ	300φ×100	単板板アリスポンジ	0
緩衝バツケン	300φ×25	ネオプレン	0
防錆圧圧板	300φ×34	ネオプラス S541	0
防錆垫金	150φ×10	"	0
防錆キャップ	150φ×150	ネオプレン	0
締付板(タツ付)	10×3.2	S541	32
六角ボルト(。)	M6×20	"	6A
平ワッシャー(。)	M6	"	6A
PC鋼棒	32φ×3260	SBPRB種1号	4
ナット	M33	STSCN(要組タツ付)	16
さや管	40A×2820	VP	4
シース管	90A×625	S4P	3
	90A×600	サ	2

注)

1. 特記なき材質は全てSS41とする。
2. 製作範囲はP7側本体寸材料のみとする
3. 亜鉛メッキはJIS H 8641 HDZ35とする。

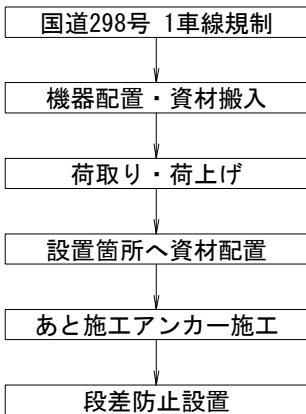
東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準落橋防止構造 撤去図 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

側面図

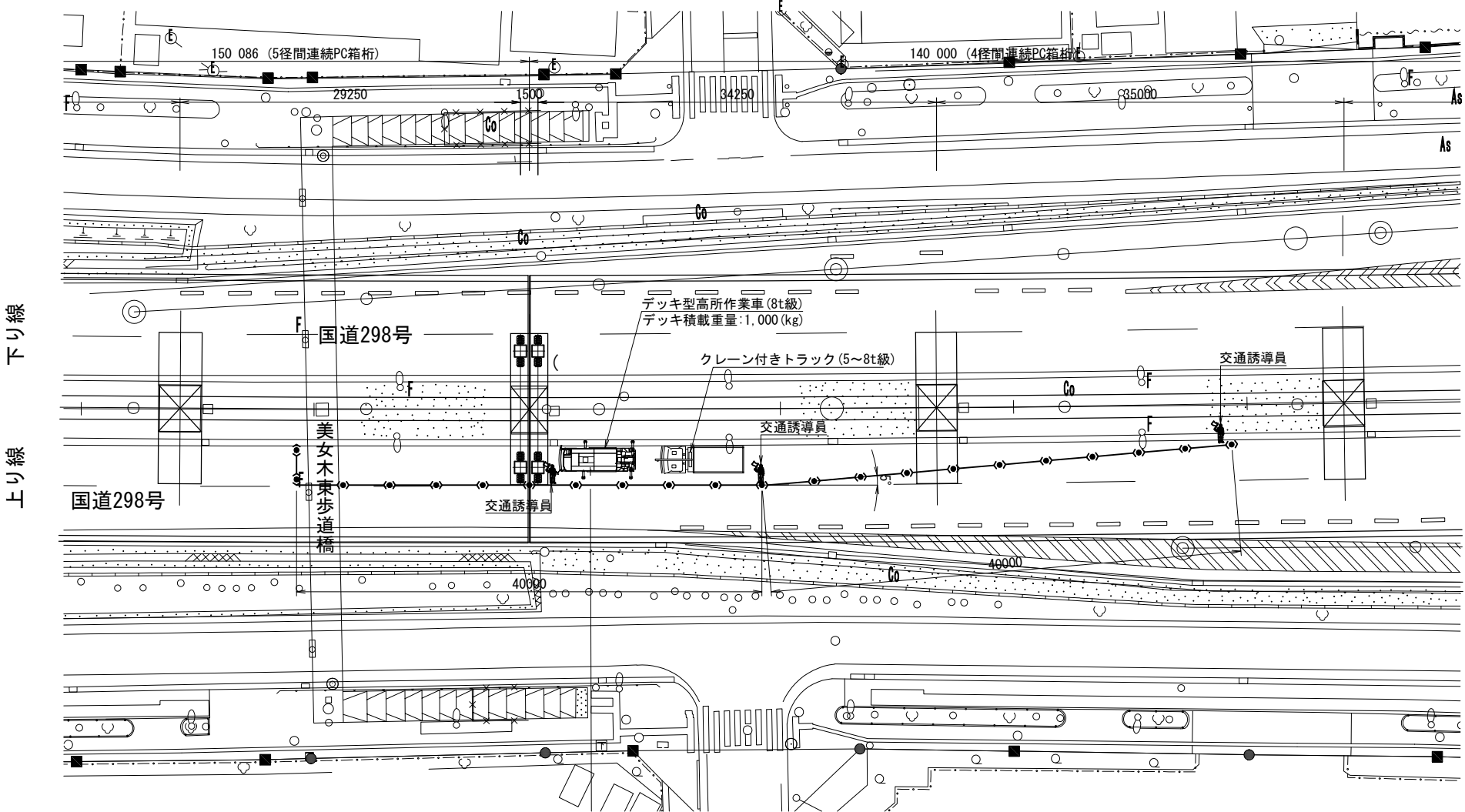


段差防止構造 施工フロー

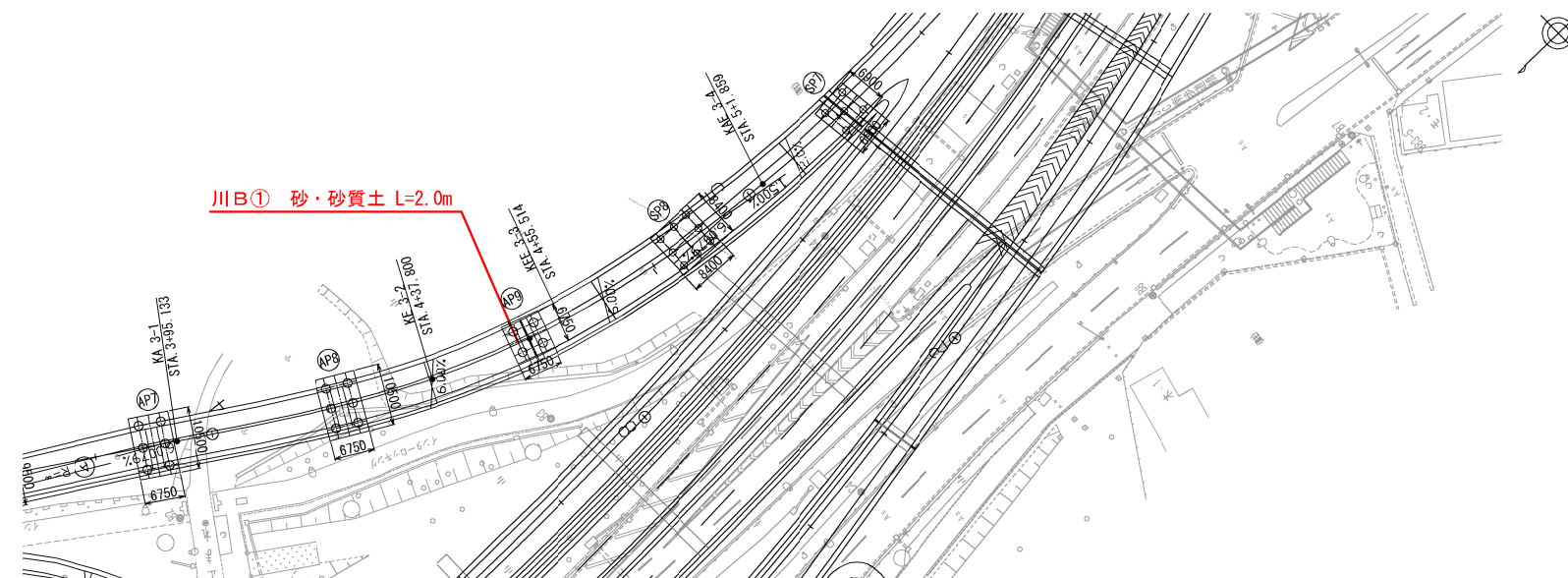
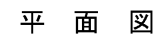
夜間施工



平面図



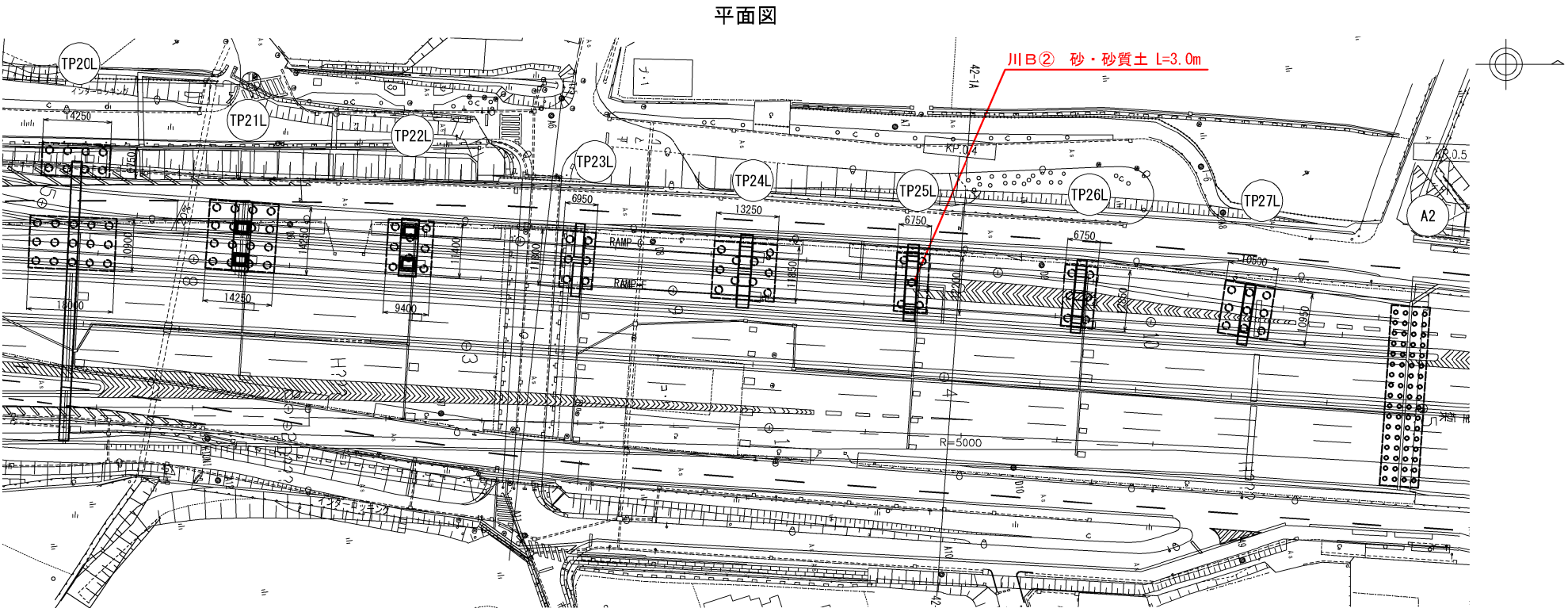
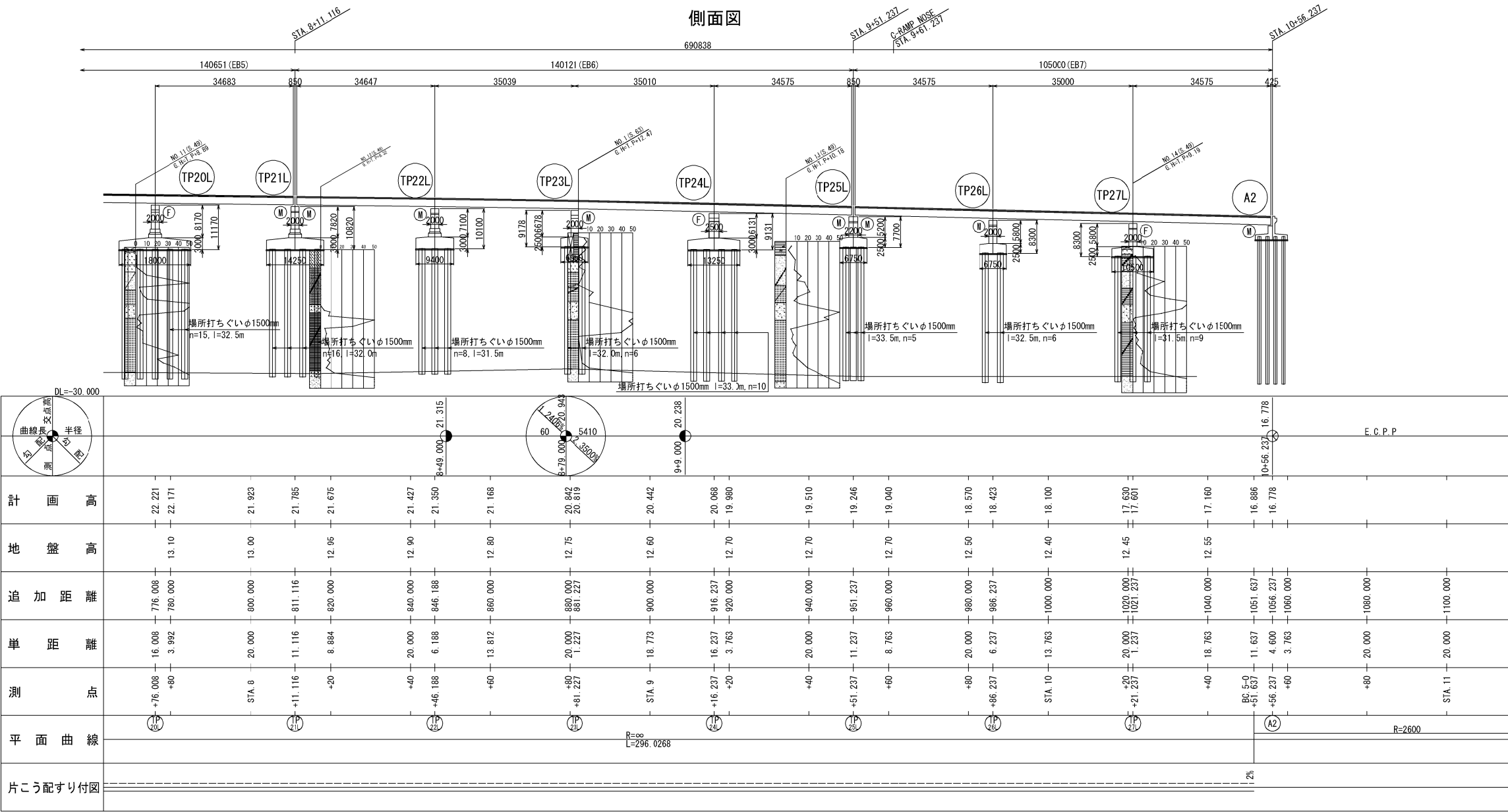
東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	標準施工計画案 (段差防止・落橋防止) 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社富貴沢建設コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		



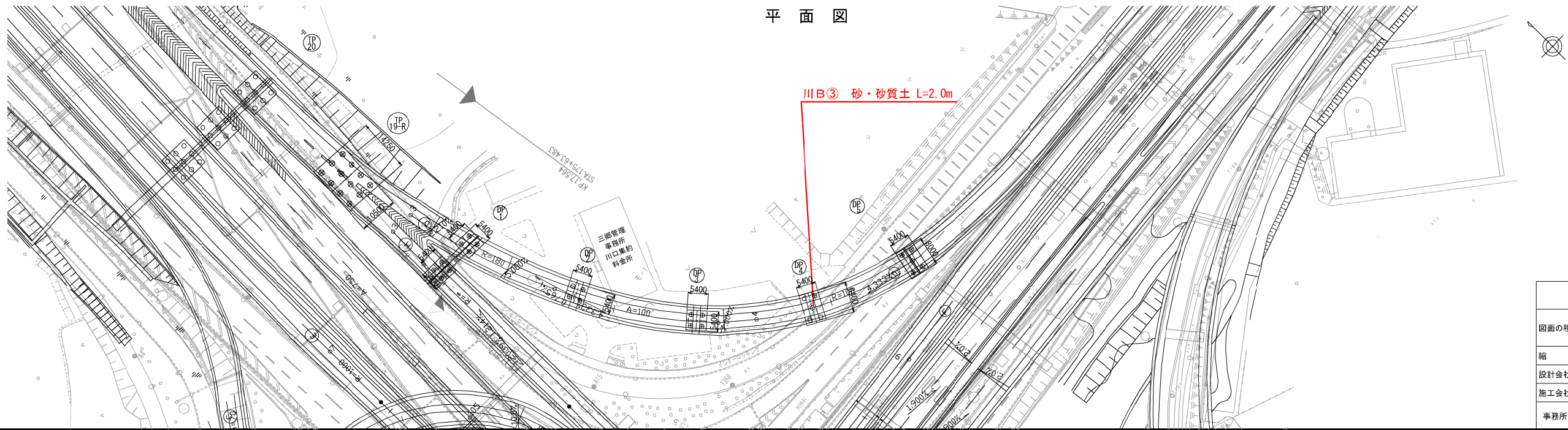
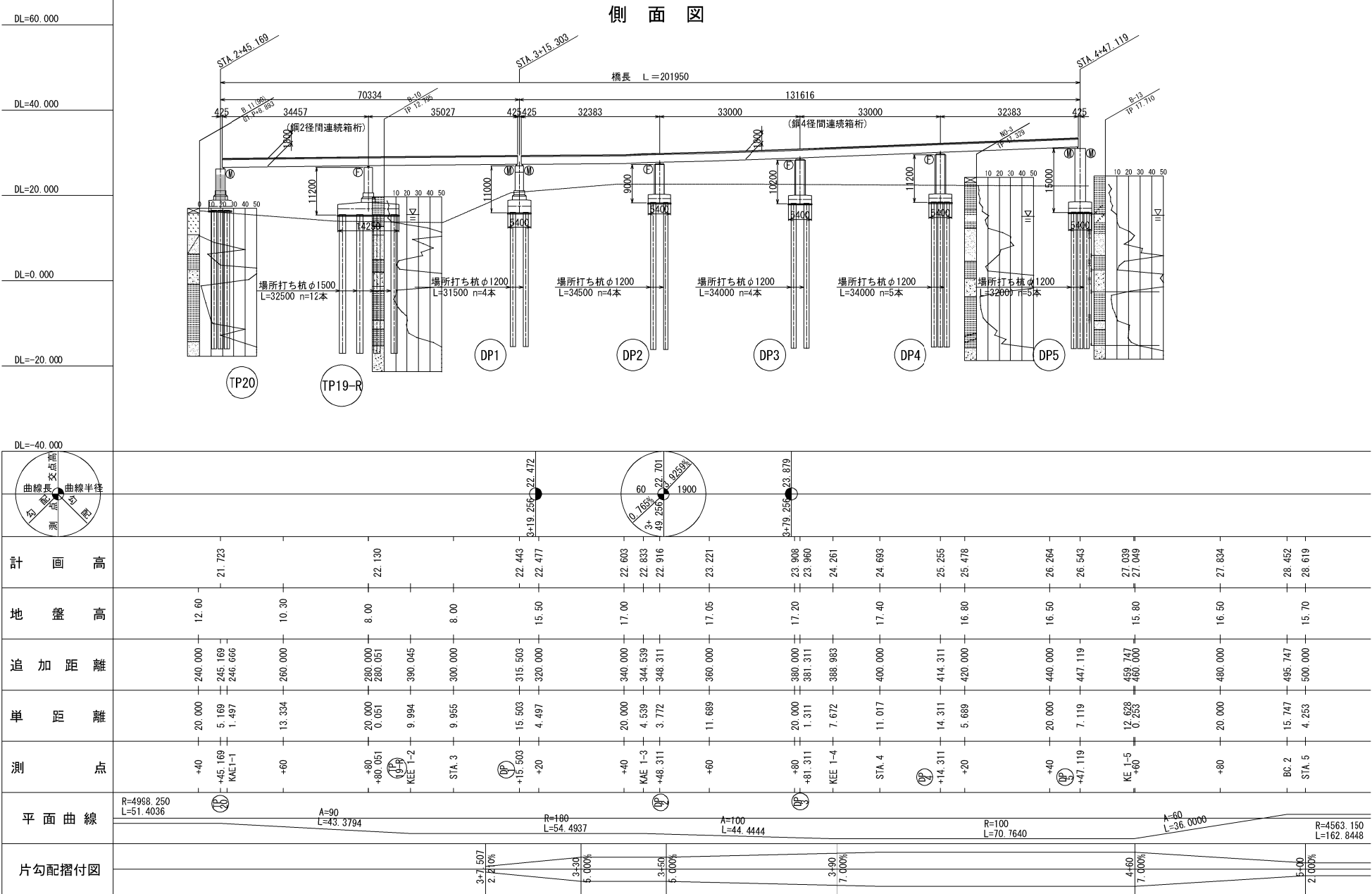
東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	調査ボーリング 位置図（その１）参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

調査ボーリング 位置図（その2）参考図

縮 尺 1:1250

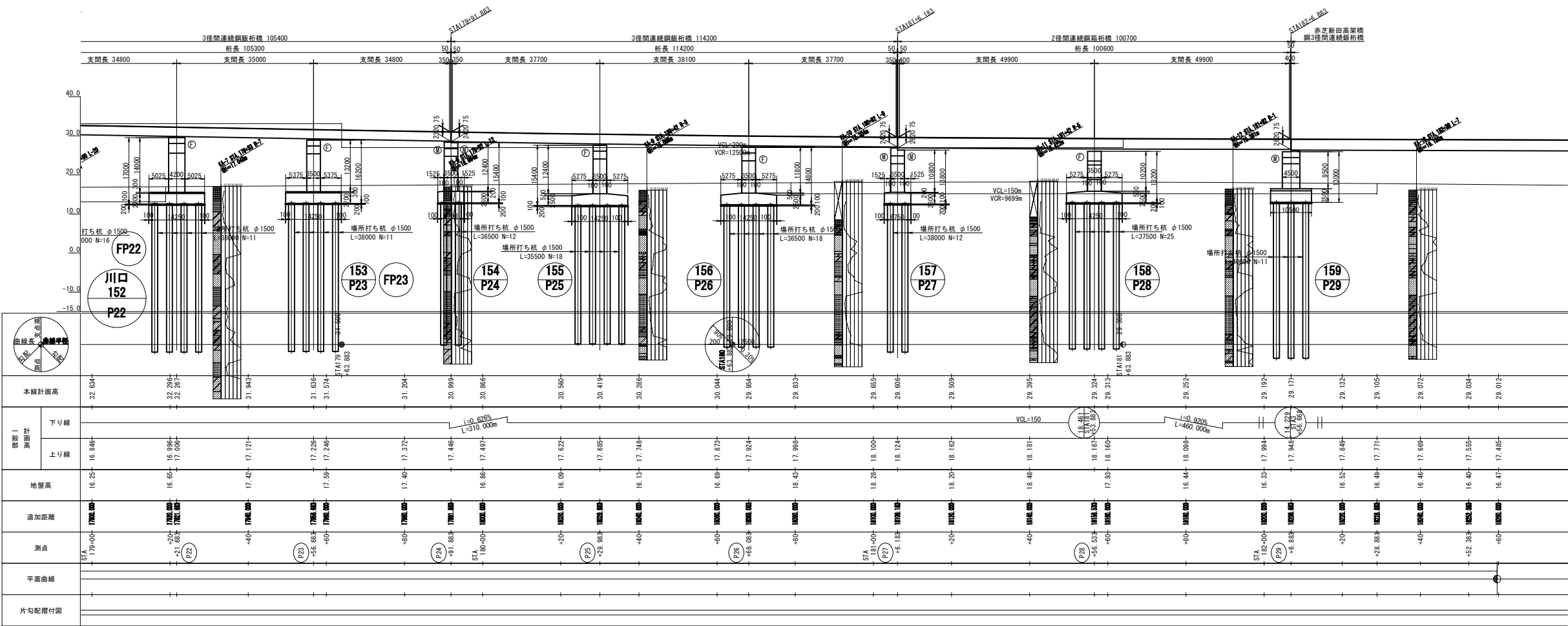


東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	調査ボーリング 位置図（その2）参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

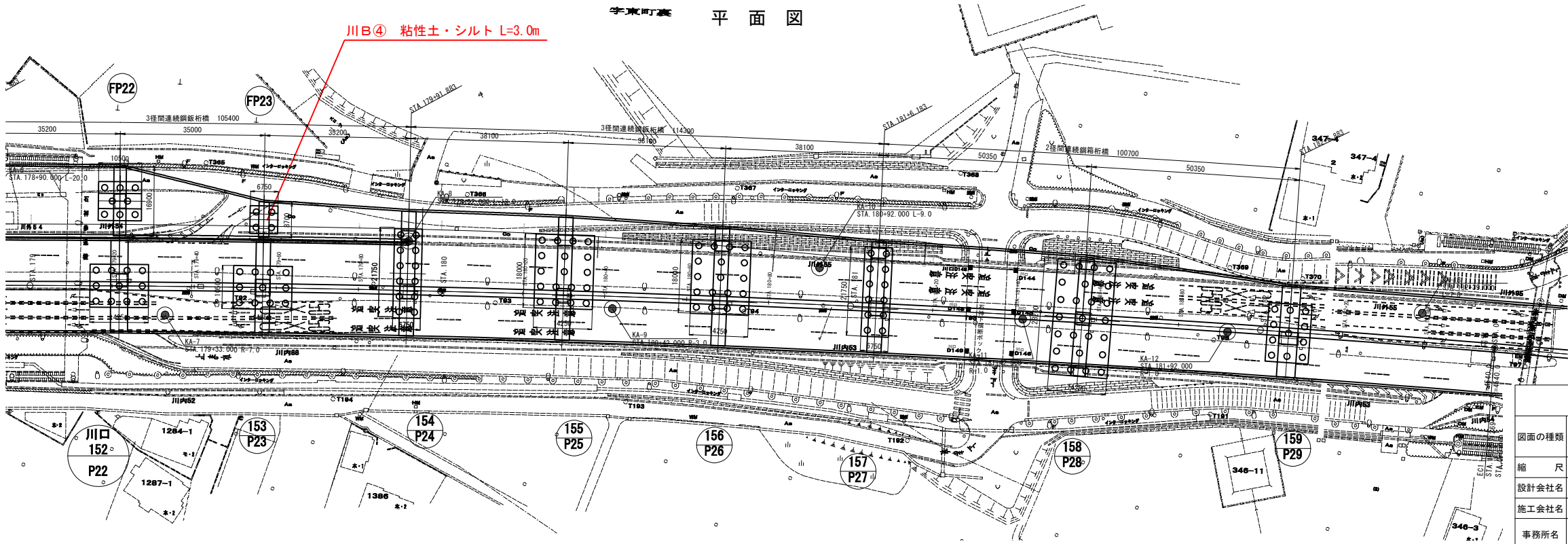


東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	調査ボーリング 位置図（その3）参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

側面図



宇東町裏 平面図



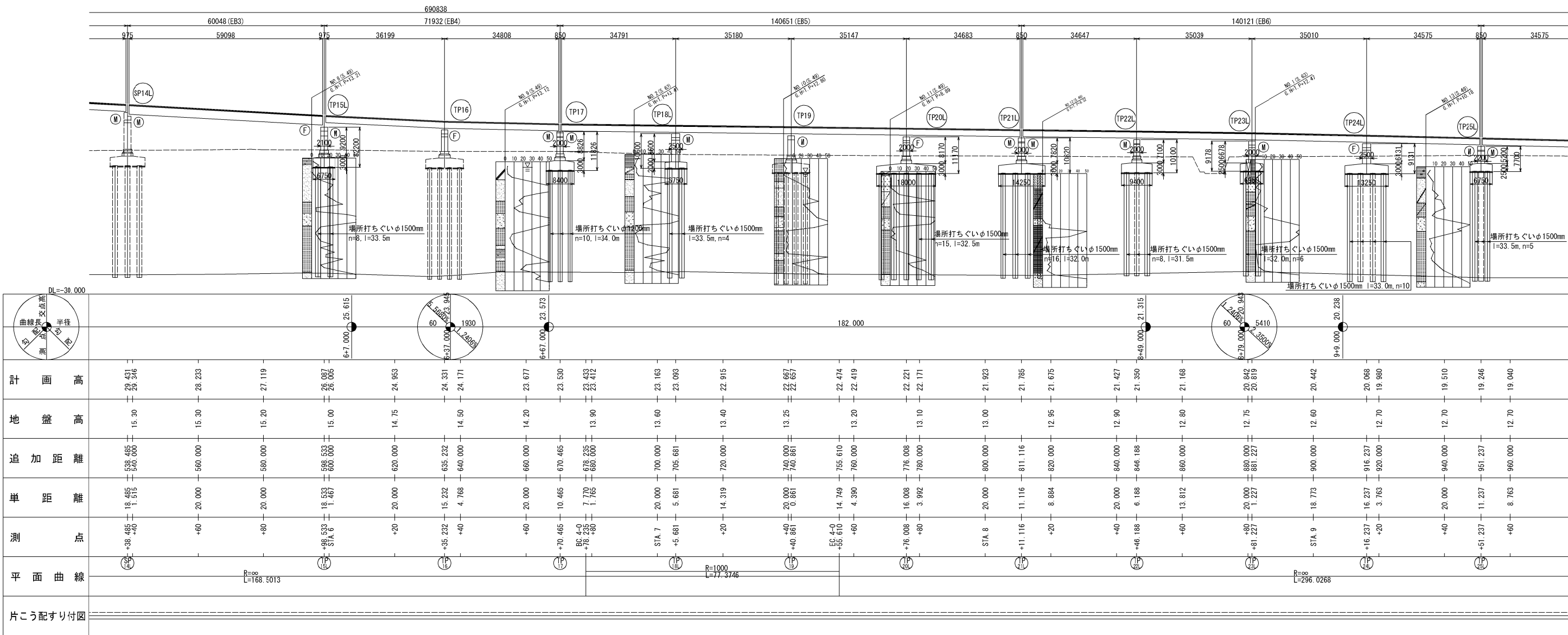
東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	調査ボーリング 位置図（その4）参考図		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

調査ボーリング 位置図 (その5) 参考図

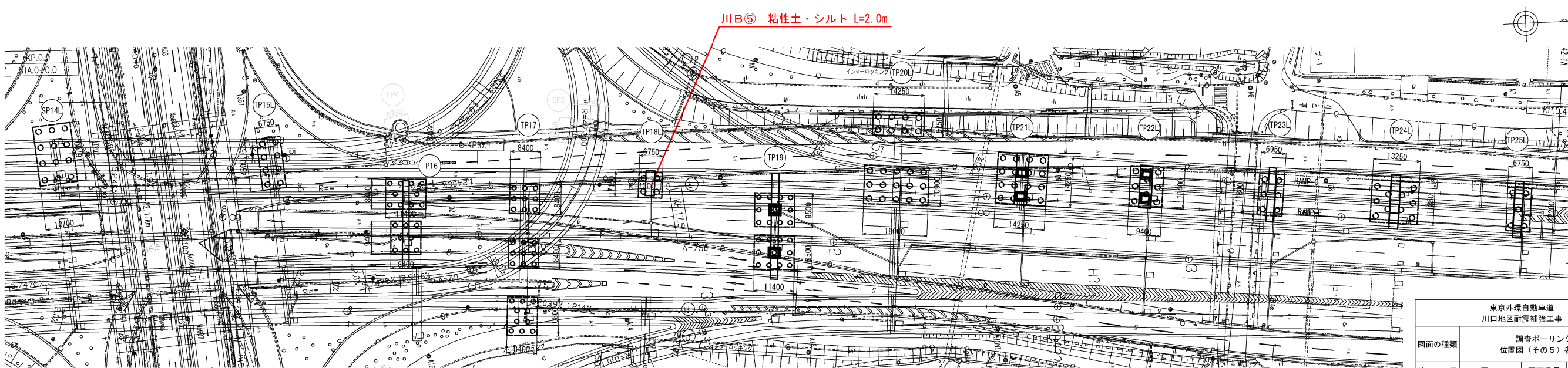
縮 尺 1:1250

125/133

側面図

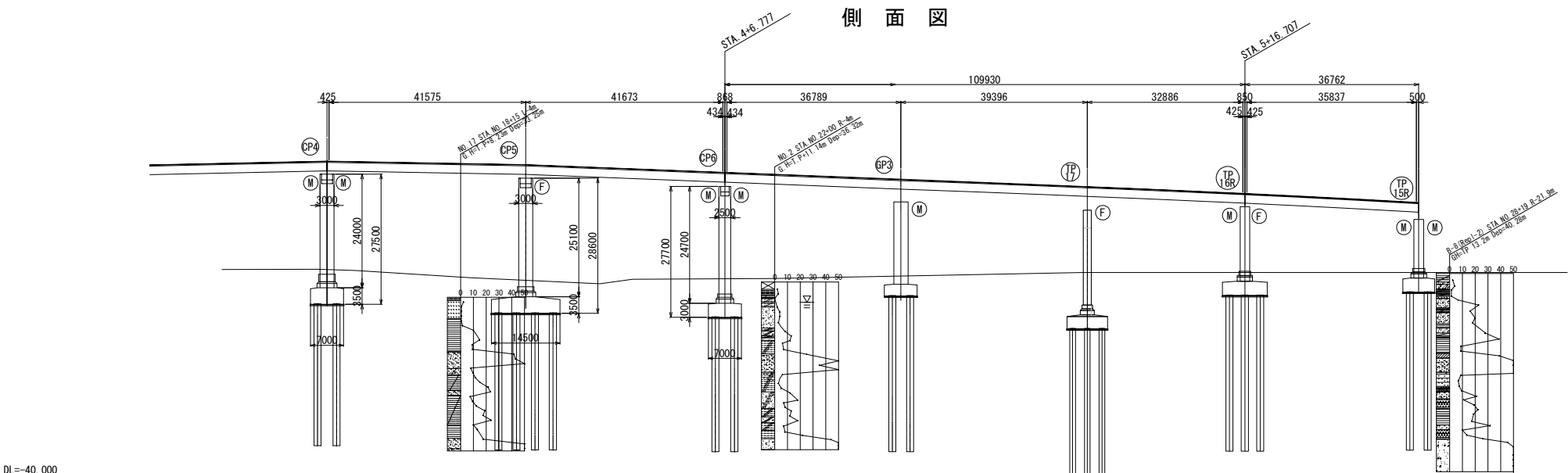


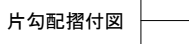






















































平面図



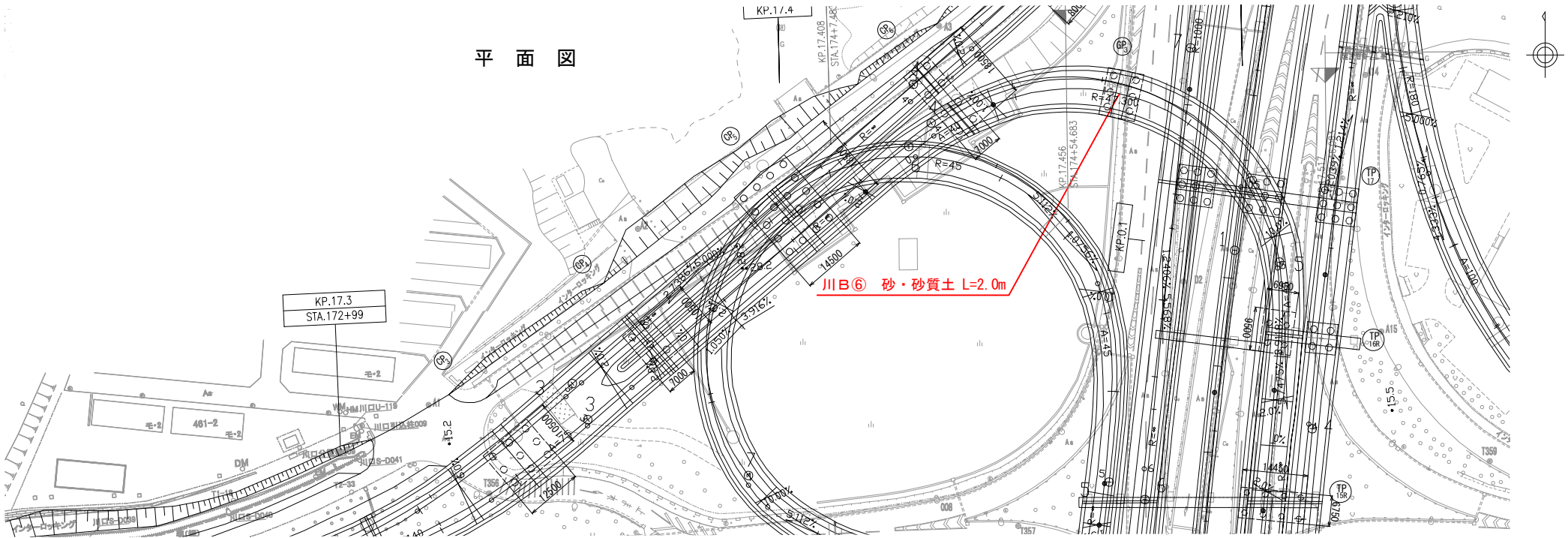
東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	調査ボーリング 位置図 (その5) 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

側面図

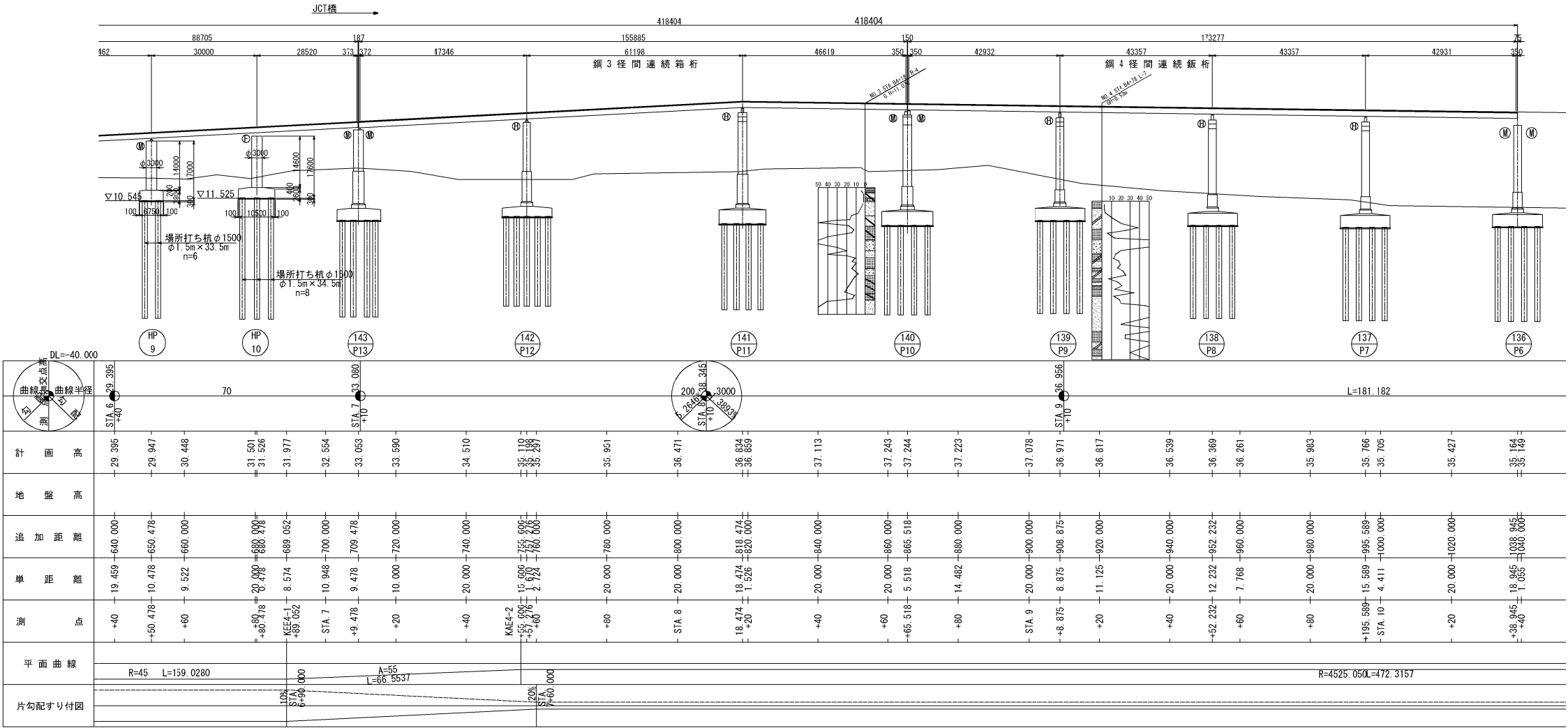


片勾配摺付図	平面曲線	測点	単距離	追加距離	地盤高	計画高
		STA. 3 +20.000	20.000	300.000	37.435	
		KA1-2 +13.080	13.080	313.080	38.068	
		+20 +320.000	6.920	320.000	38.128	
		+22.670 +322.670	2.670	322.670	38.140	
		+40 +340.000	17.330	340.000	38.040	
		+60 +360.000	20.000	360.000	37.555	
		-64.670 +364.670	4.670	364.670	37.385	
		+80 +380.000	15.330	380.000	36.785	
		KA2-1 +381.202	1.202	381.202	36.738	
		STA. 4 +400.000	18.798	400.000	36.001	
		+6.777 +406.777	6.777	406.777	35.736	
		KE2-1 +415.029	8.252	415.029	35.413	
	+20 +420.000	4.971	420.000	35.218		
	+40 +440.000	20.000	440.000	34.435		
	+44.0 +444.000	4.000	444.000	34.278		
	+60 +460.000	16.000	460.000	33.652		
	+80 +480.000	20.000	480.000	32.868		
	-83.396 +483.396	3.396	483.396	32.734		
	KE2-2 +493.921	10.525	493.921	32.302		
	STA. 5 +500.000	6.079	500.000	32.040		
	+16.707 +516.707	16.707	516.707	31.277		
	+20 +520.000	3.293	520.000	31.120		
	KA2-2 +527.747	7.747	527.747	30.738		
	+40 +540.000	12.253	540.000	30.107		
	+53.469 +553.469	13.469	553.469	29.311		
	BC-3 +554.591	0.977	554.591	29.003		
	+60 +560.000	5.409	560.000	29.007		

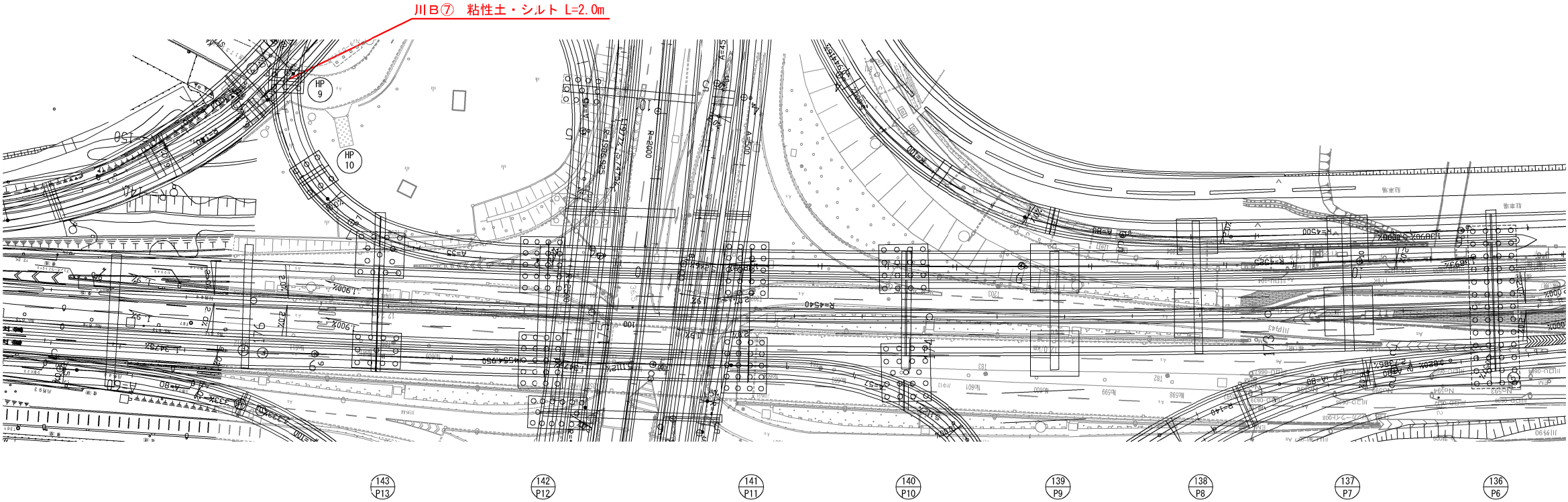
平面図



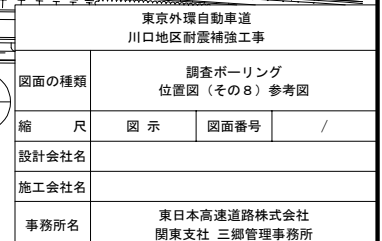
東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	調査ボーリング 位置図（その6）参考図		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

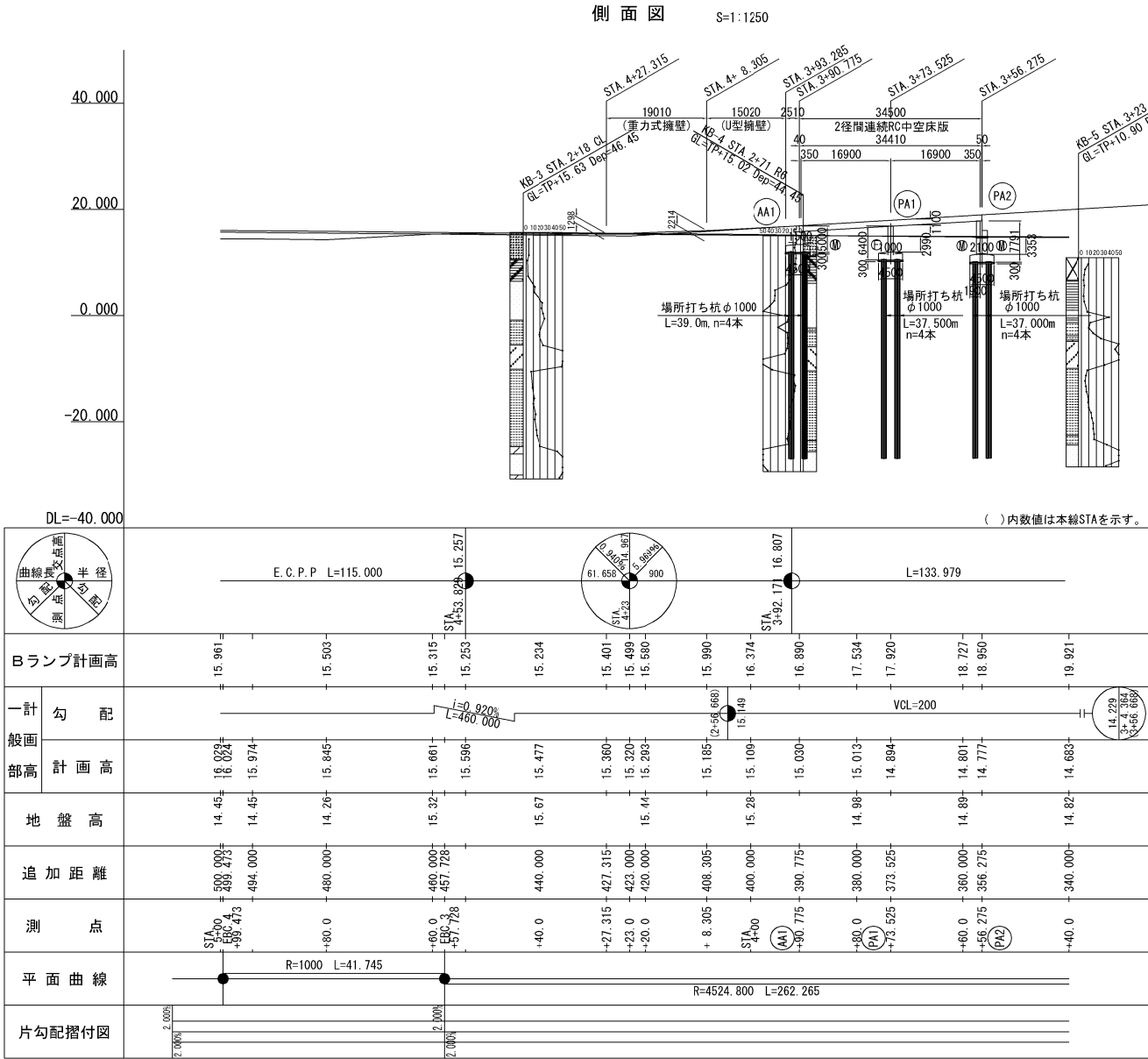


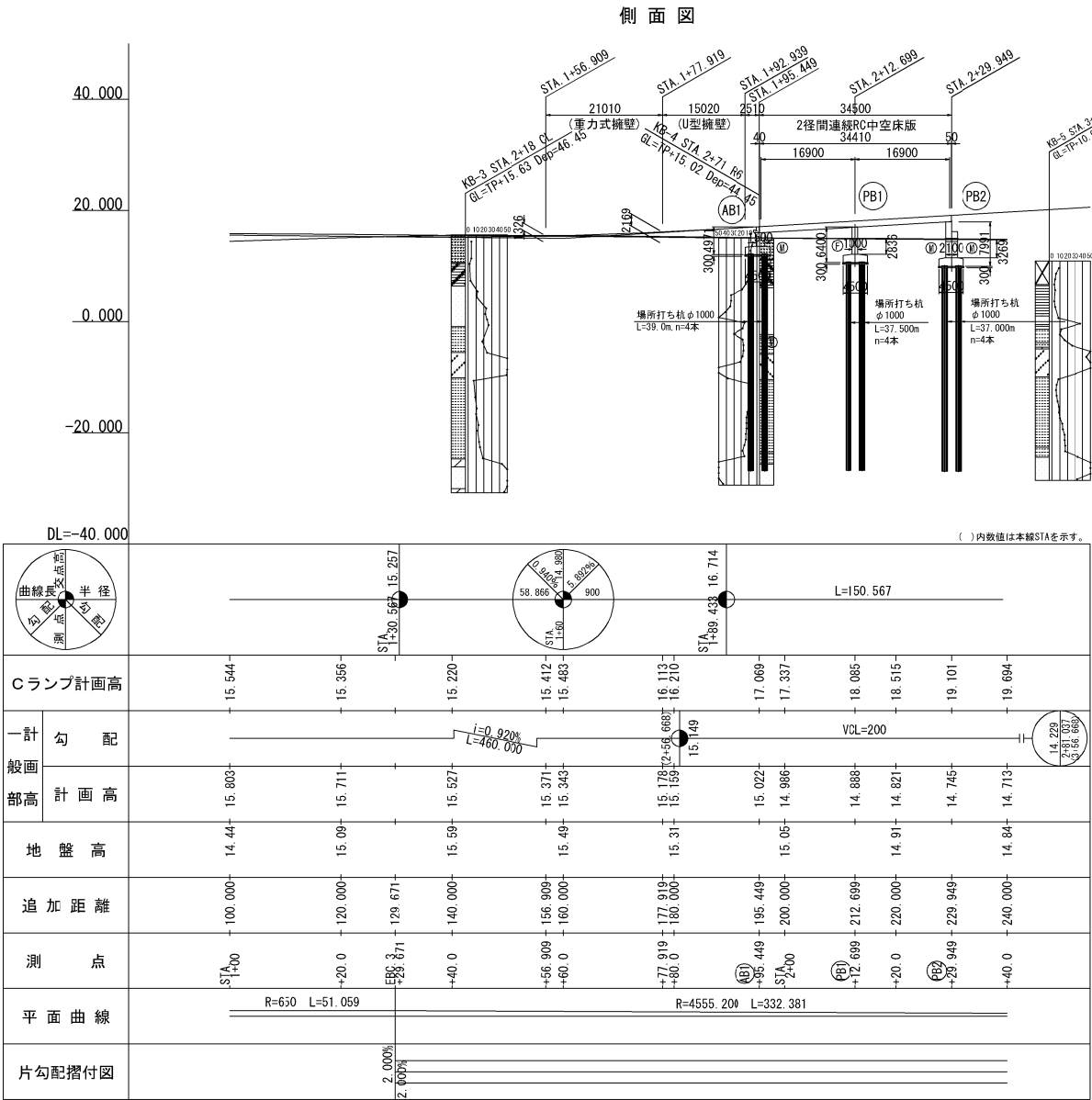
平面図



東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	調査ボーリング 位置図（その7）参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

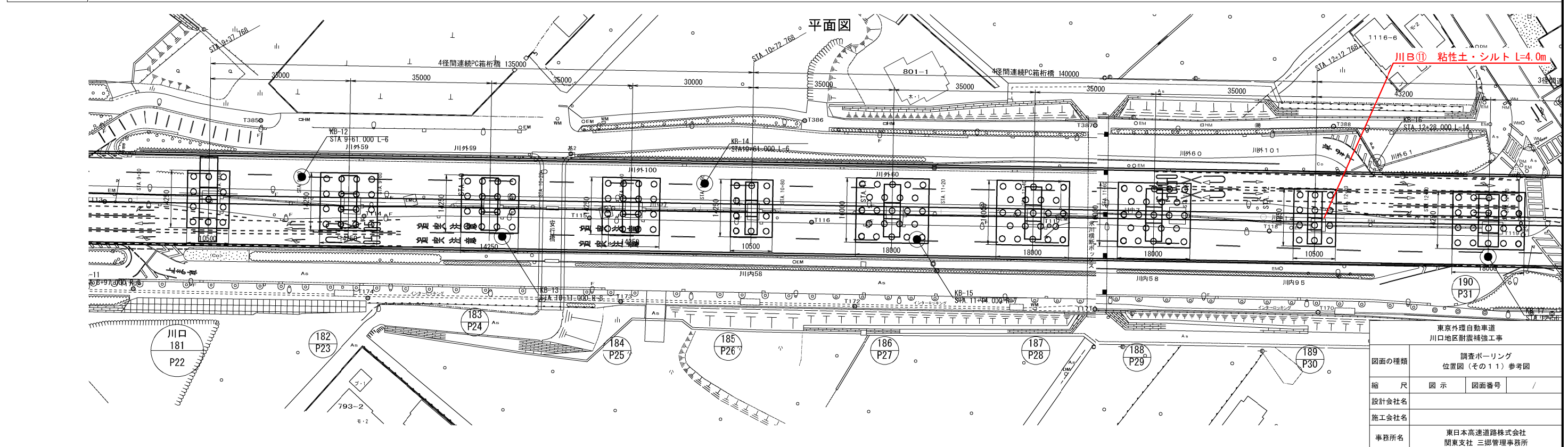




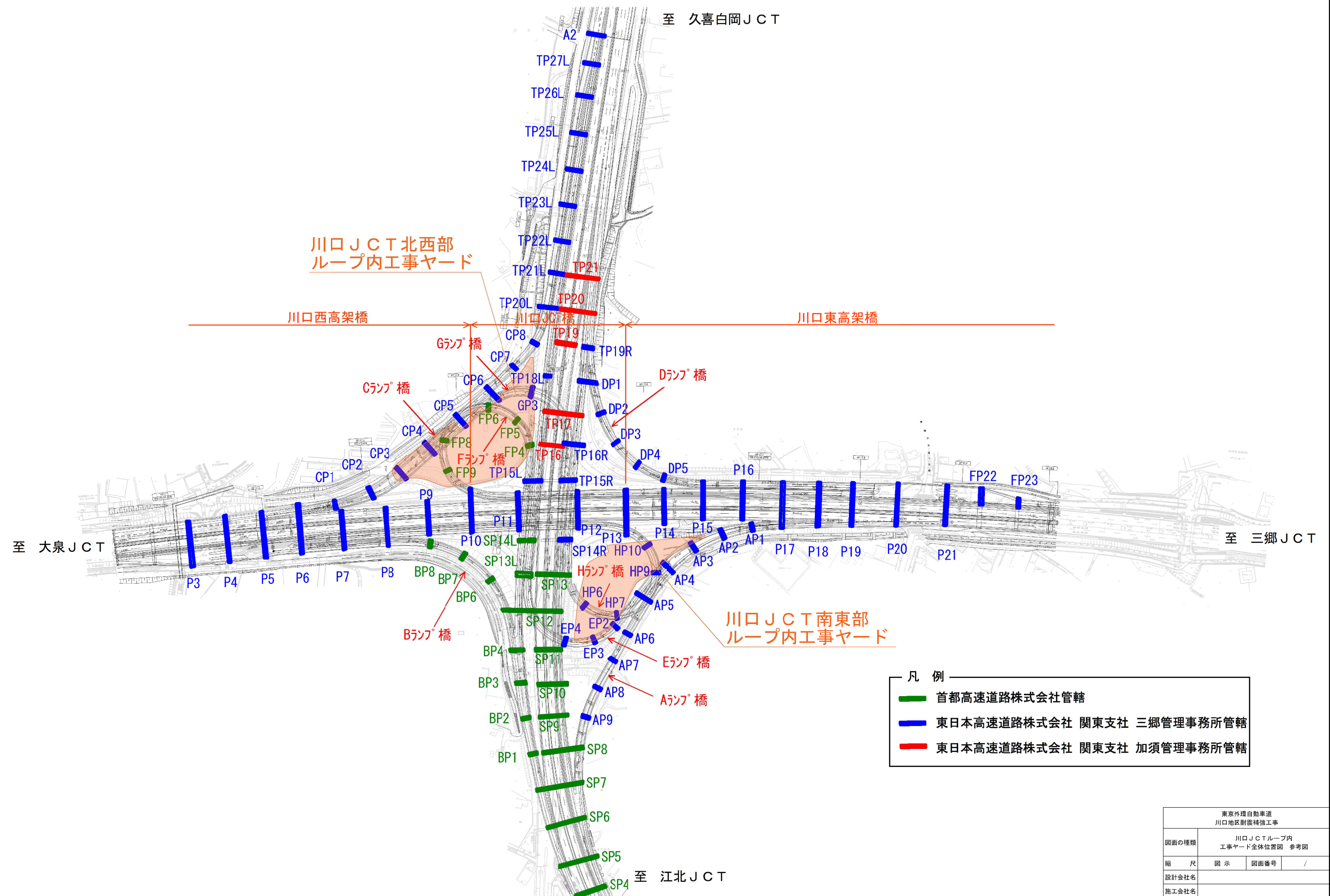


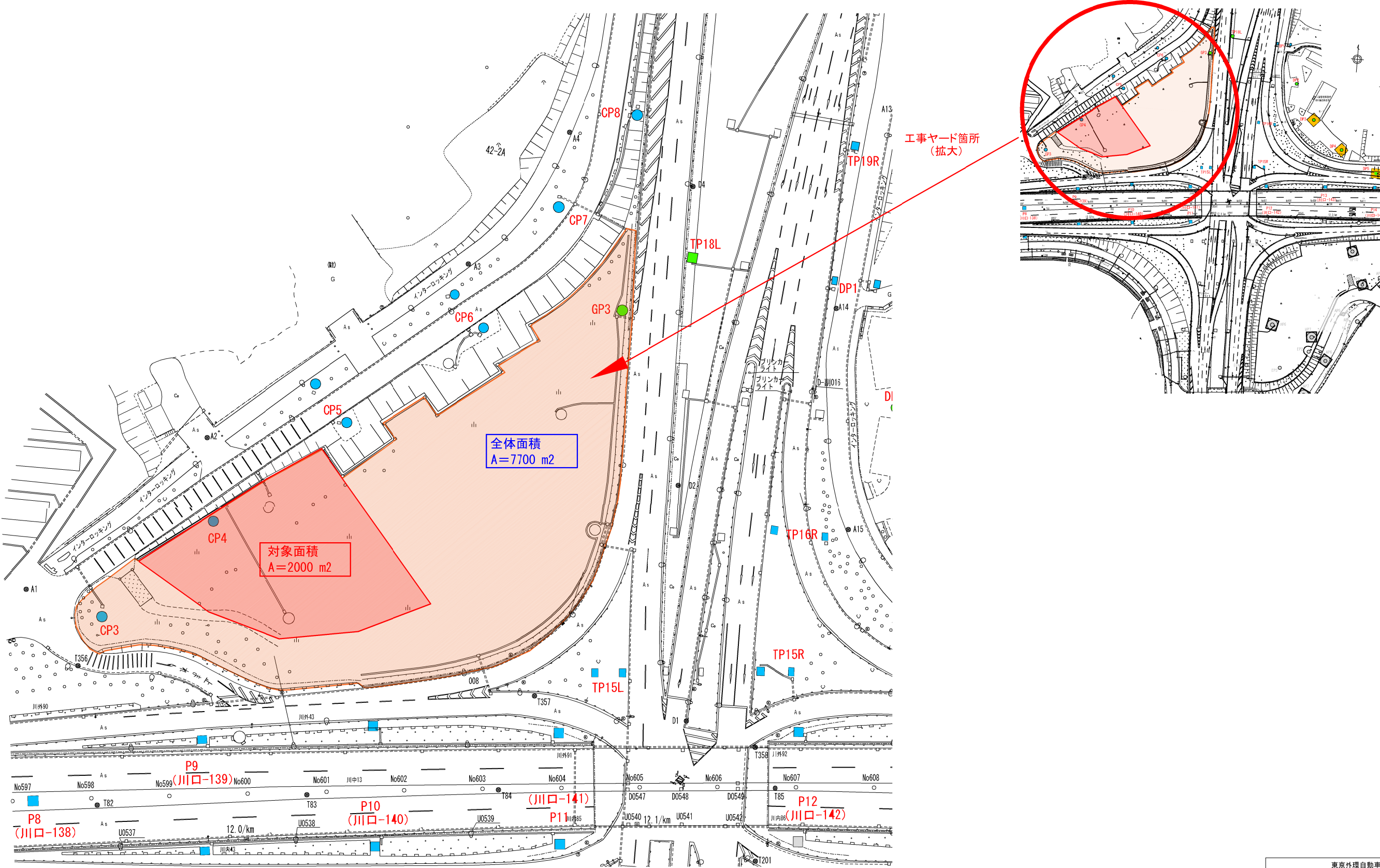
131/133

S=1 : 1000



東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	調査ボーリング 位置図（その１１） 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		





東京外環自動車道 川口地区耐震補強工事			
図面の種類	川口JCT北西部 ループ内工事ヤード位置図 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		